

**平成27年度
地方創生に関するアンケート調査結果報告書**

**平成 27 年 10 月
函 館 市**

目 次

第1部 本調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査内容と回収結果	2
3 留意点	2
第2部 調査結果(20歳以上)	5
1 回答者の属性	6
2 「函館のまち」に関する満足度調査結果	13
(1) 函館のまちに対する満足度	13
(2) 函館のまちに対し特に満足と思うこと、不満と思うこと	15
3 「函館市の魅力」に関する調査結果	17
(1) 函館市の魅力や誇れるもの	17
4 「函館市の今後のまちづくり」に関する調査結果	18
(1) 函館市の経済を活性化するための施策	18
(2) まちの魅力を高めるための取り組み	19
(3) 安心して住めるまちづくりを進めるために取り組むべきこと	20
(4) 安心して子どもを産み子育てできる環境を整備するために取り組むべきこと.....	21
(5) 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために取り組むべきこと... 22	
5 「結婚・出産・子育て」に対する考え方	23
(1) 現在結婚しているか	23
(2) 結婚をしていない理由	24
(3) 行政が結婚を支援するために取り組むべきこと	25
(4) 子育てに対するイメージ	26
(5) 現在の子どもの数、理想的な子どもの数	27
(6) 「理想的な子どもの数」が「現在の子どもの数」より多い理由.....	29
6 自由意見のまとめ	30
7 資料(調査票)	33
第3部 調査結果(転入者)	41
1 回答者の属性	42
2 「函館のまち」に関する満足度調査結果	50
(1) 函館のまちに対する満足度	50
(2) 函館のまちに対し特に満足と思うこと、不満と思うこと	52
3 「函館市の魅力」に関する調査結果	54
(1) 函館市の魅力や誇れるもの	54
4 「函館市の今後のまちづくり」に関する調査結果	55
(1) 函館市の経済を活性化するための施策	55

(2) まちの魅力を高めるための取り組み	56
(3) 安心して住めるまちづくりを進めるために取り組むべきこと	57
(4) 安心して子どもを産み子育てできる環境を整備するために取り組むべきこと...	58
(5) 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために取り組むべきこと...	59
5 「転入」に関する調査結果	60
(1) 転入のきっかけ	60
(2) 実際の転入先以外にも検討したところ	61
(3) 転入先を選択した理由	62
(4) 転入する前と後での函館市のイメージ	63
6 自由意見のまとめ	64
7 資料（調査票）	67
第4部 調査結果(転出者)	75
1 回答者の属性	76
2 「函館のまち」に関する満足度調査結果	82
(1) 函館のまちに対する満足度	82
(2) 函館のまちに対し特に満足と思うこと、不満と思うこと	84
3 「函館市の魅力」に関する調査結果	86
(1) 函館市の魅力や誇れるもの	86
4 「転出」に関する調査結果	87
(1) 転出のきっかけ	87
(2) 実際の転居先以外にも検討したところ	88
(3) 転出先を選択した理由	89
(4) 将来的に函館市に再び居住したいと思うか	90
(5) 再び居住したいと思う（または思わない）理由	91
(6) 再び居住したいと考えている時期	93
5 自由意見のまとめ	94
6 資料（調査票）	96
第5部 調査結果(高校生・大学生)	105
1 回答者の属性	106
2 「函館のまち」に関する満足度調査結果	112
(1) 函館のまちに対する満足度	112
(2) 函館のまちに対し特に満足と思うこと、不満と思うこと	114
3 「函館市の魅力」に関する調査結果	118
(1) 函館市の魅力や誇れるもの	118
4 「函館市の今後のまちづくり」に関する調査結果	120
(1) 函館市の経済を活性化するための施策	120
(2) まちの魅力を高めるための取り組み	122

(3) 安心して住めるまちづくりを進めるために取り組むべきこと	124
(4) 安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために取り組むべきこと	126
(5) 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために取り組むべきこと..	128
5 「結婚・出産・子育て」に対する考え方	130
(1) 将来の結婚について	130
(2) 行政が結婚を支援するために取り組むべきこと	132
(3) 子育てに対するイメージ	134
(4) 理想的な子どもの数	136
6 「卒業後の進路」について	138
(1) 卒業後の進路	138
(2) 将来の就職希望業種	140
(3) 就職希望企業を選択する際の条件	142
(4) 卒業後の実際の居住予定地	144
(5) 卒業後の函館市への居留意向	146
(6) 「卒業後も住み続けたい」と思う理由	148
(7) 「卒業後も住み続けたい」と思わない理由	152
7 自由意見のまとめ	156
8 資料（調査票）	159

第1部 本調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民、転入者、高校生・大学生のまちづくりや結婚などに対するイメージおよび転出者の意見を把握することで、将来にわたって活力のある地域社会の形成に向けた、人口の将来展望を示す「人口ビジョン」および今後5か年の対策を取りまとめた「総合戦略」の策定や市政運営にあたっての基礎資料とすることを目的としています。

2 調査内容と回収結果

本調査の調査対象・調査方法・調査期間・有効回答率・調査項目は、次のとおりです。

区分	調査対象	調査方法	調査期間	有効回答数(率)
20歳以上	平成27年4月30日時点における住民基本台帳から、満20歳～39歳までの男女1,500人および満40歳以上の男女1,500人合わせて3,000人を無作為抽出	郵送にて配布・回収	平成27年5月30日(土) ～6月12日(金)	931件 (31.0%)
転入者	平成27年3月から4月の間に、本市に転入された満20歳以上の500人を無作為抽出			173件 (34.6%)
転出者	平成27年3月から4月の間に本市から転出された満20歳以上の500人を無作為抽出			157件 (31.4%)
高校生・大学生	市内の高校生、大学生のうち、主に最高学年の者1,529人を対象	調査票を高等学校および大学等の高等教育機関にて配布・回収		1,118件 (73.1%)

区分	調査項目	
	共通項目	その他の項目
20歳以上	属性に関する質問 函館のまちへの満足度に関する質問 函館市の魅力に関する質問	函館市の今後のまちづくりに関する質問 結婚・出産・子育てに関する質問
転入者		函館市の今後のまちづくりに関する質問 転入に関する質問
転出者		転出に関する質問
高校生・大学生		函館市の今後のまちづくりに関する質問 結婚・出産・子育てに関する質問 卒業後の進路に関する質問

3 留意点

- ① 結果は百分率で表示しました。百分率は小数点第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。
- ② 複数回答可の質問の百分率の合計は、100%を超えます。
- ③ 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。
- ④ 各質問のサンプル数は「n＝」で表しています。

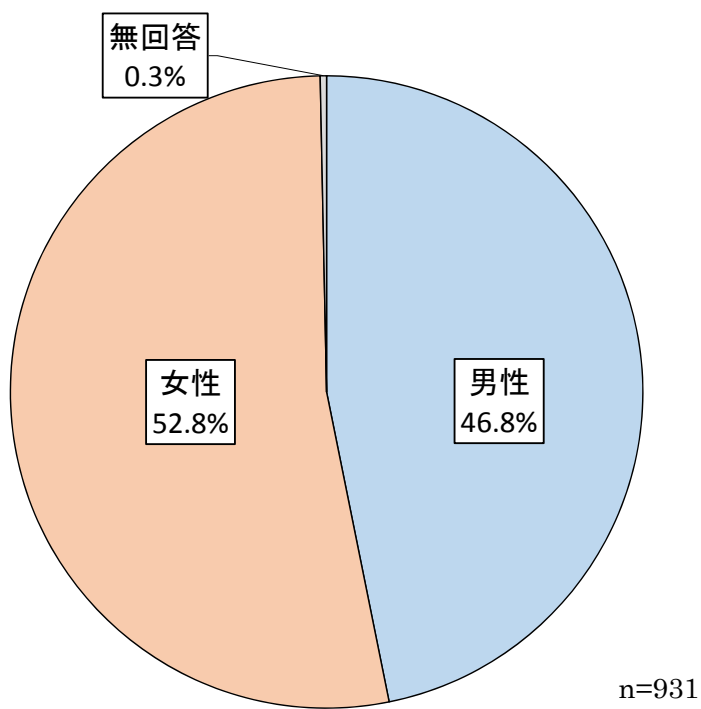
⑤ 居住地の地区区分は、次のとおりとします。

地区区分		対象となる町名
西部地区		入舟町、船見町、弥生町、弁天町、大町、末広町、元町、青柳町、谷地頭町、住吉町、宝来町、東川町、豊川町、大手町、栄町、旭町、東雲町、大森町、松風町、若松町
中央部地区		千歳町、新川町、上新川町、海岸町、大縄町、松川町、万代町、亀田町、大川町、田家町、白鳥町、八幡町、宮前町、中島町、千代台町、堀川町、高盛町、宇賀浦町、日乃出町、的場町、時任町、杉並町、本町、梁川町、五稜郭町、柳町、松陰町、人見町、金堀町、乃木町、柏木町
東央部地区		川原町、深掘町、駒場町、広野町、湯浜町、湯川町1～3丁目、戸倉町、榎本町、花園町、日吉町1～4丁目、上野町、高丘町、滝沢町、見晴町、鈴蘭丘町、上湯川町、銅山町、旭岡町、西旭岡町1～3丁目、鱒川町、寅沢町、三森町、紅葉山町、庵原町、亀尾町、米原町、東畑町、鉄山町、蛾眉野町、根崎町、高松町、志海苔町、瀬戸川町、赤坂町、銭亀町、中野町、新湊町、石倉町、古川町、豊原町、石崎町、鶴野町、白石町
北東部地区		富岡町1～3丁目、中道1～2丁目、山の手1～3丁目、本通1～4丁目、鍛冶1～2丁目、陣川町、陣川1～2丁目、神山町、神山1～3丁目、東山町、東山1～3丁目、美原1～5丁目、赤川町、赤川1丁目、亀田中野町、北美原1～3丁目、水元町、亀田大森町、石川町、昭和1～4丁目、亀田本町
北部地区		浅野町、吉川町、北浜町、港町1～3丁目、追分町、桔梗町、桔梗1～5丁目、西桔梗町、昭和町、亀田港町
東部地区	戸井地区	小安町、小安山町、釜谷町、汐首町、瀬田来町、弁才町、泊町、館町、浜町、新二見町、厚木町、丸山町
	恵山地区	日浦町、吉畑町、豊浦町、大潤町、中浜町、女那川町、川上町、日和山町、高岱町、日ノ浜町、古武井町、恵山町、柏野町、御崎町
	楸法華地区	恵山岬町、元村町、富浦町、島泊町、新恵山町、絵紙山町、新八幡町、新浜町、銚子町
	南茅部地区	古部町、木直町、尾札部町、川汲町、安浦町、臼尻町、豊崎町、大船町、双見町、岩戸町

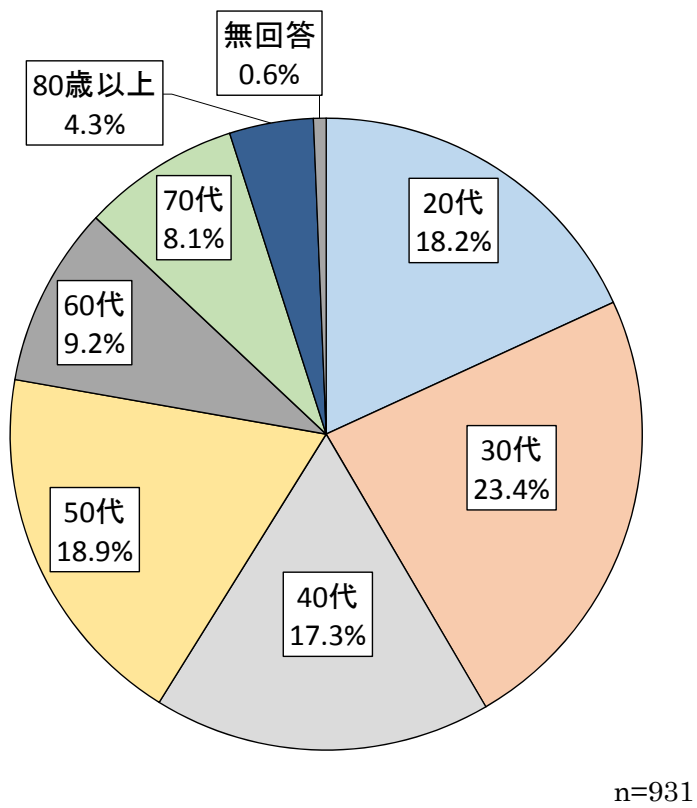
第2部 調査結果(20 歳以上)

1 回答者の属性

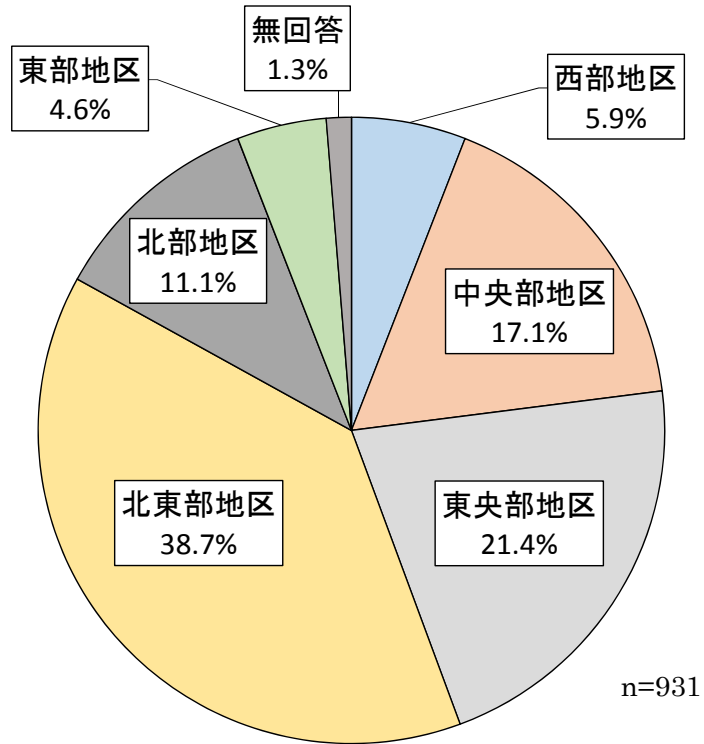
(1) 性別



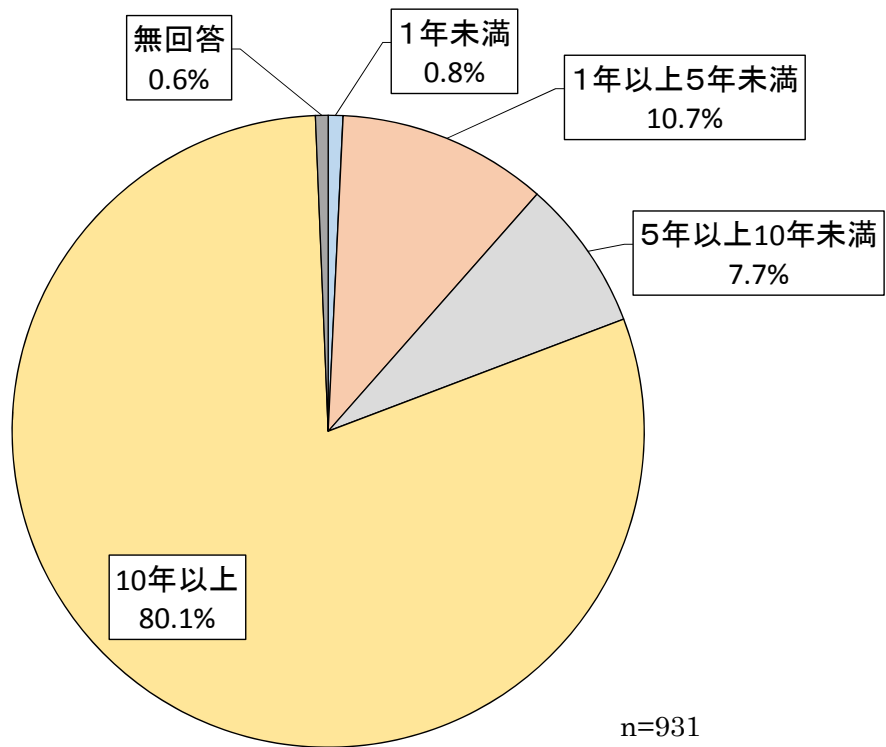
(2) 年代



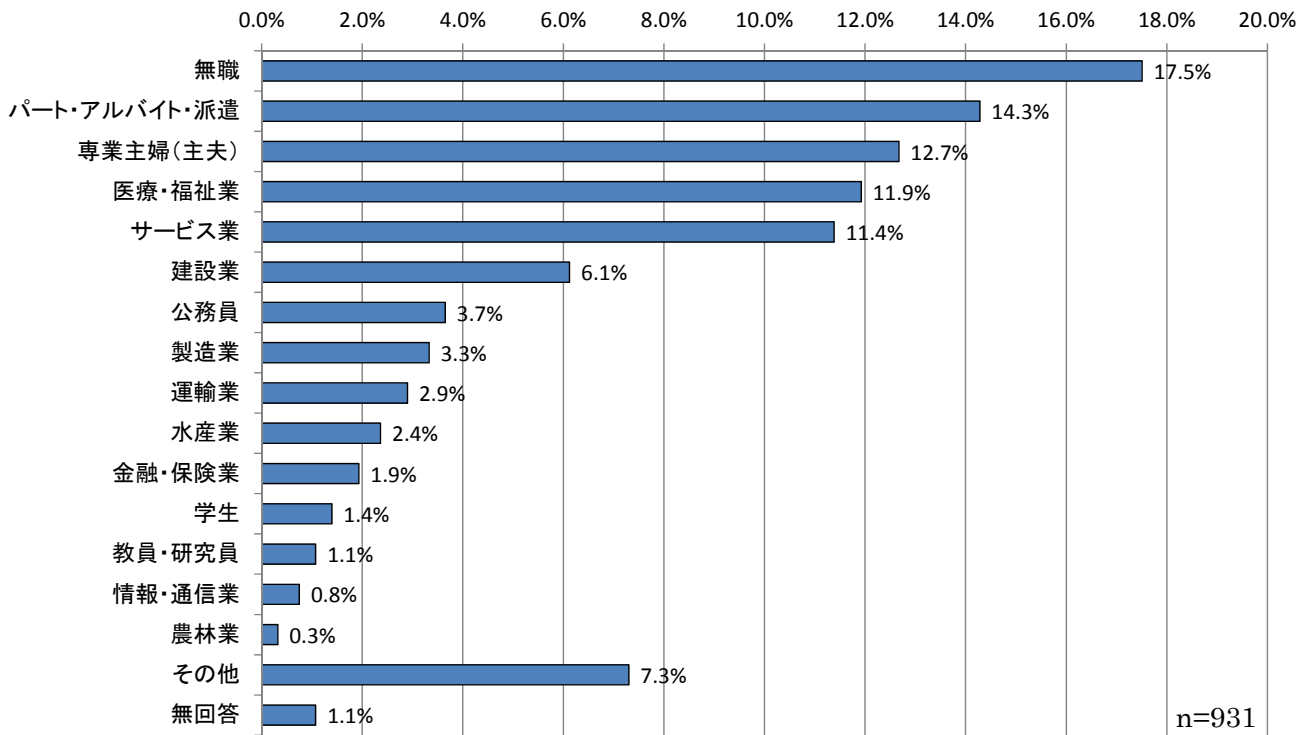
(3) 居住地



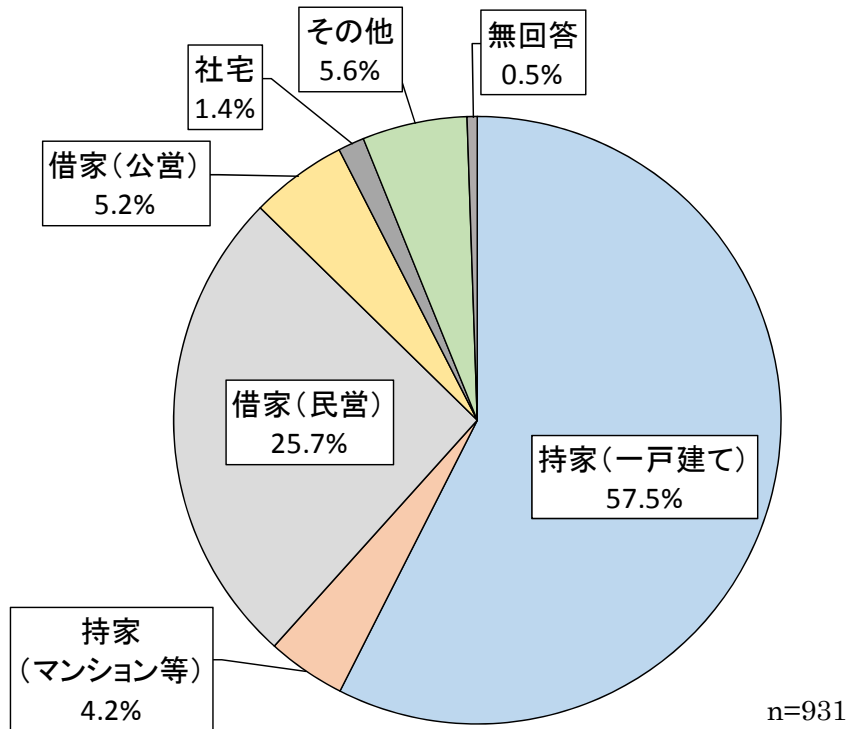
(4) 居住年数



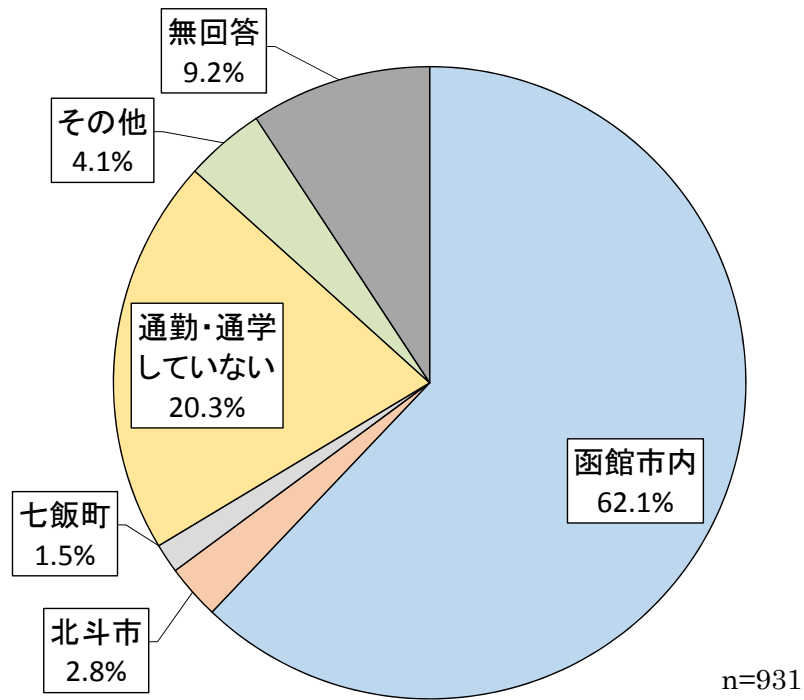
(5) 職業



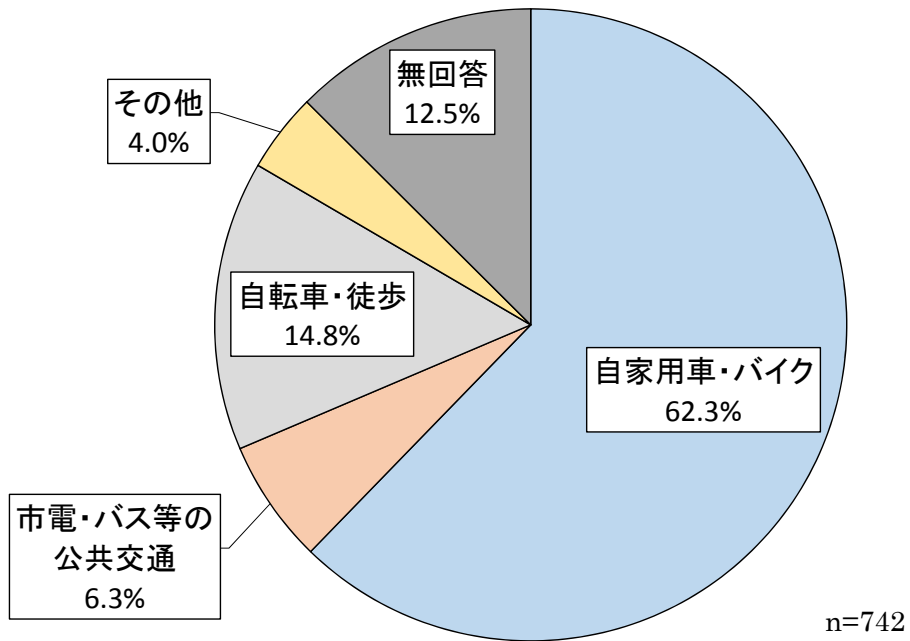
(6) 住宅形態



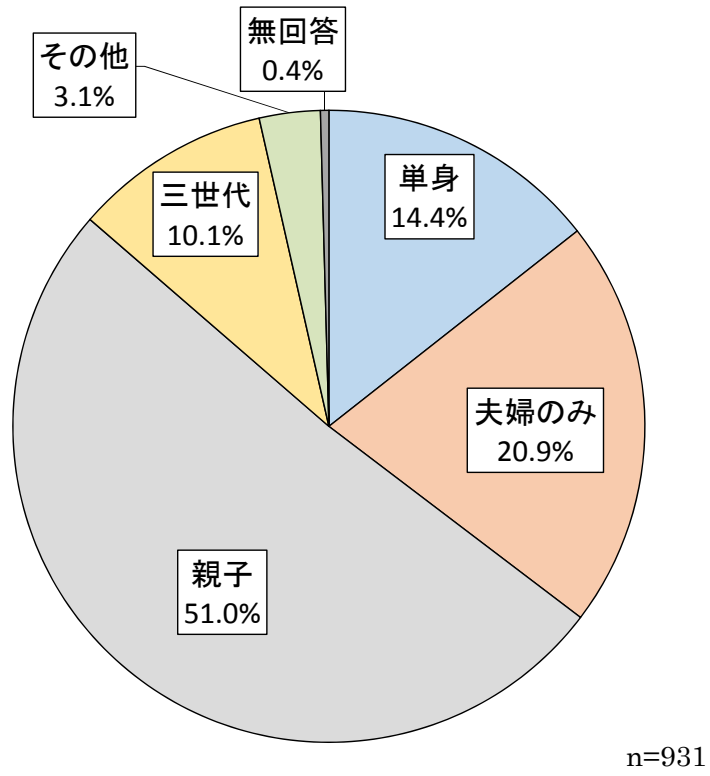
(7) 通勤・通学地



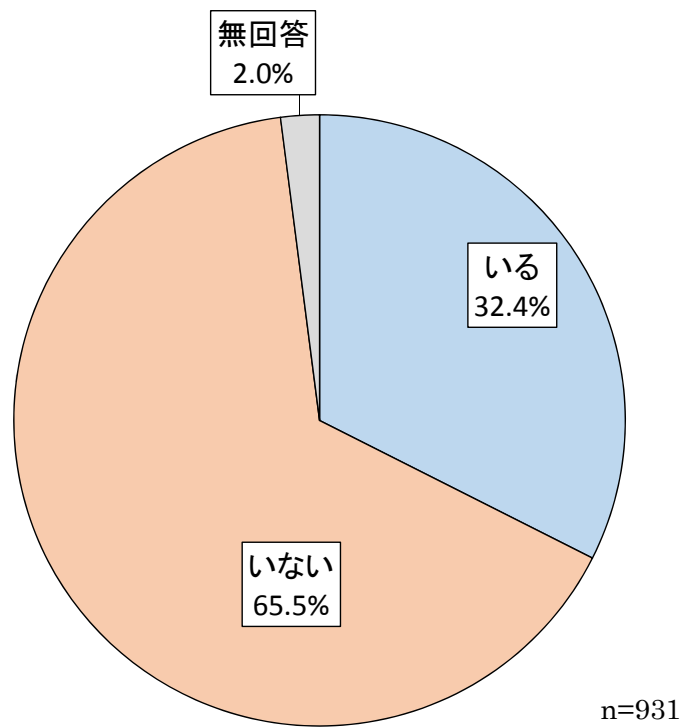
(8) 通勤・通学手段



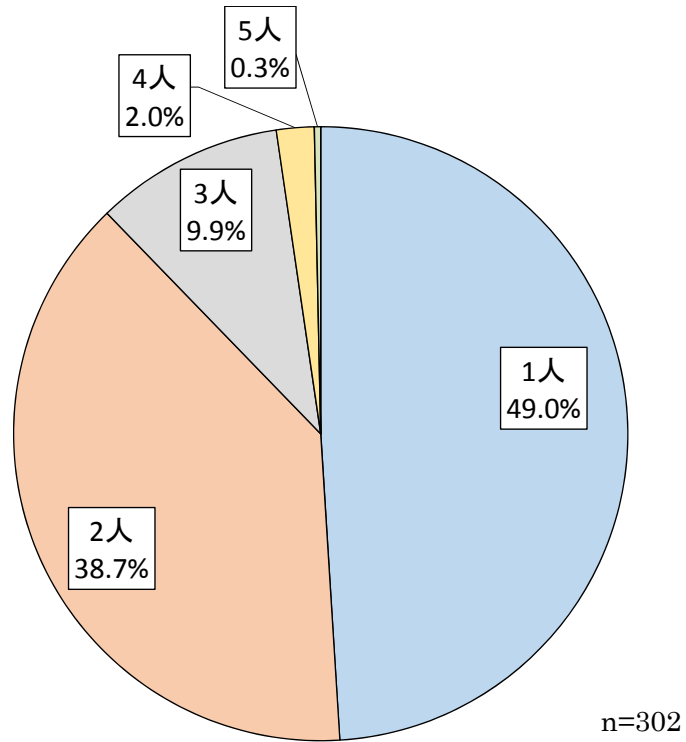
(9) 家族構成



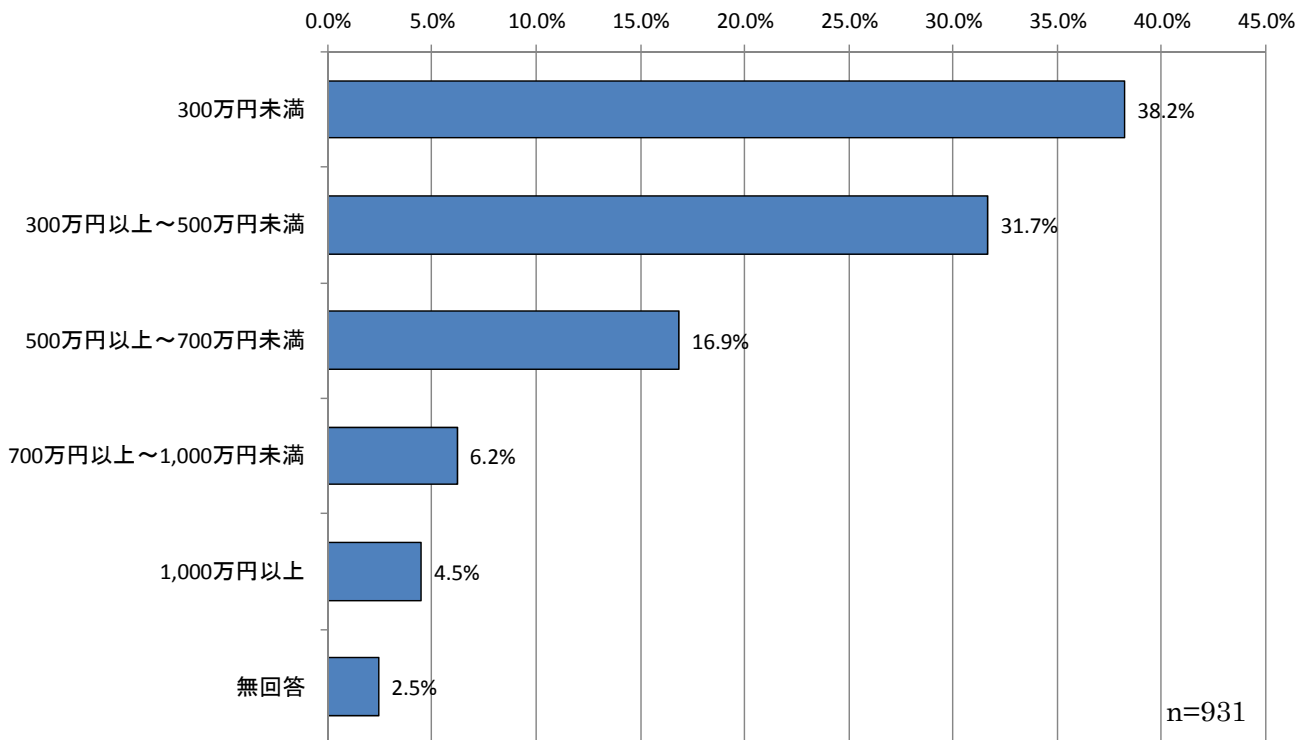
(10) 養育中の子どもの有無



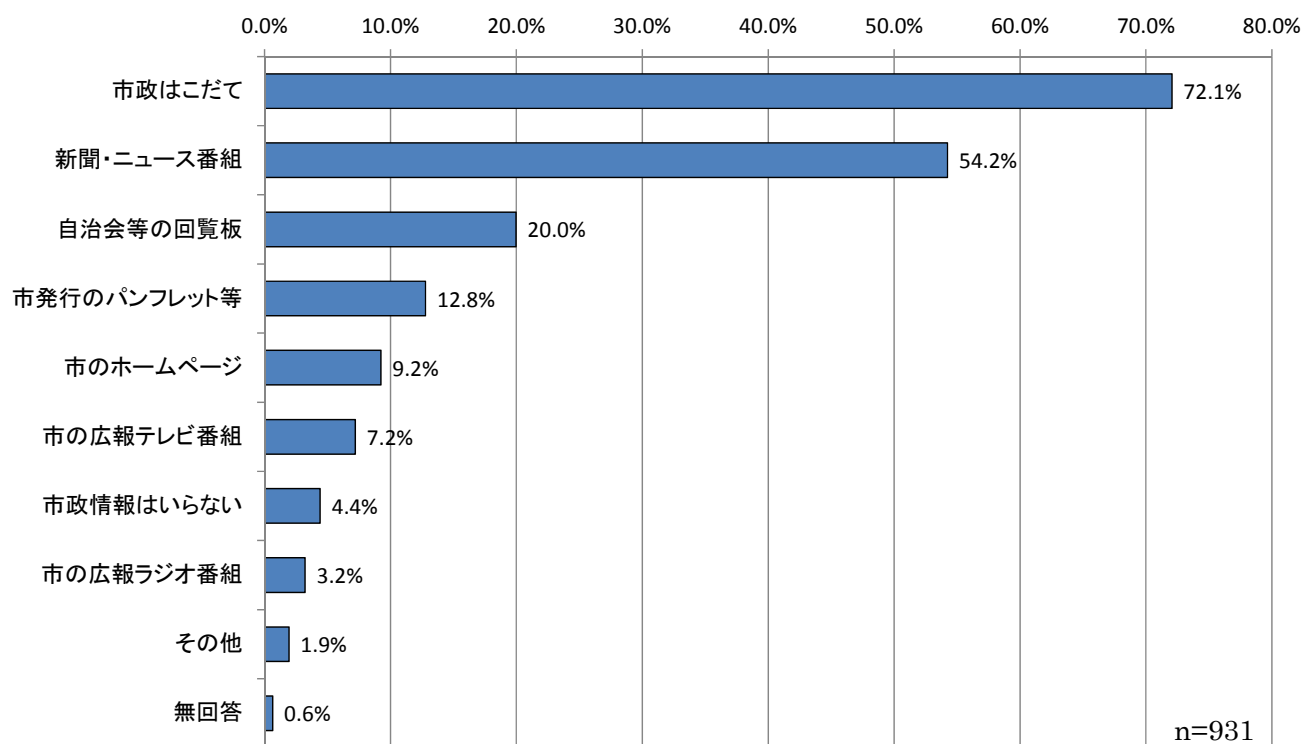
(11) 養育中の子どもの数



(12) 世帯年収



(13) 市政情報入手方法（複数回答）

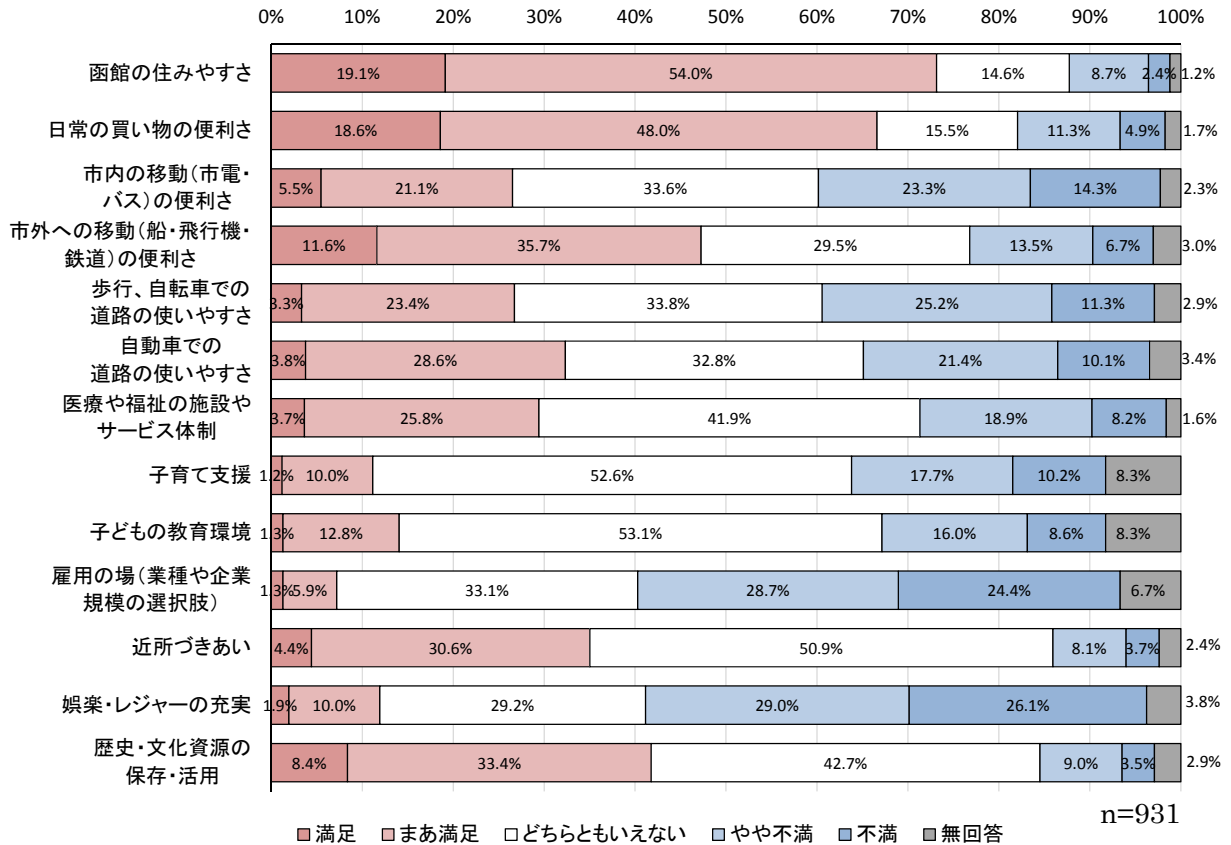


2 「函館のまち」に関する満足度調査結果

(1) 函館のまちに対する満足度

問2

函館のまちに対し、あなたはどの程度満足していますか？
それぞれの項目ごとに1つ選んでください。



「函館の住みやすさ」、「日常の買い物の便利さ」については、65%以上の人が満足と感じている一方、「娯楽・レジャーの充実」、「雇用の場（業種や企業規模の選択肢）」については、50%以上の人が不満と感じています。

また、各項目の満足度スコア（「満足」と「やや満足」と回答した人の割合から「不満」と「やや不満」と回答した人の割合を引いたもの）を算定し、分析を行いました。

この数値がプラスの場合は「満足」、「やや満足」と答えた人の数が「不満」、「やや不満」と回答した人の数を上回っていることを示しています。

分析の結果は、次ページのとおりです。

① 項目間の満足度スコアの状況

	全体	順位	20代	順位	30代	順位	40代	順位	50代	順位	60代	順位	70代	順位	80歳以上	順位
① 函館の住みやすさ	62.1%	1	54.4%	1	53.2%	1	68.3%	1	66.5%	1	65.1%	1	69.3%	1	80.0%	1
② 日常の買い物の便利さ	50.4%	2	31.4%	2	50.5%	2	57.1%	2	61.9%	2	58.1%	2	53.3%	2	37.5%	3
③ 市内の移動（市電・バス）の便利さ	-11.1%	10	-17.8%	10	-17.9%	10	-17.4%	10	-12.5%	8	-4.7%	9	20.0%	8	10.0%	8
④ 市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	27.1%	4	9.5%	5	11.9%	5	29.2%	5	47.2%	3	37.2%	3	44.0%	3	35.0%	5
⑤ 歩行、自転車での道路の使いやすさ	-9.8%	8	-4.1%	7	-10.1%	7	-13.0%	8	-12.5%	8	-33.7%	12	8.0%	10	7.5%	9
⑥ 自動車での道路の使いやすさ	0.9%	7	-10.7%	8	-0.5%	6	7.5%	6	0.6%	7	-15.1%	10	29.3%	7	12.5%	7
⑦ 医療や福祉の施設やサービス体制	2.4%	6	3.0%	6	-16.5%	9	-0.6%	7	1.1%	6	7.0%	6	36.0%	6	50.0%	2
⑧ 子育て支援	-16.8%	11	-20.1%	11	-28.4%	11	-18.6%	11	-15.9%	11	-1.2%	7	-1.3%	12	-2.5%	12
⑨ 子どもの教育環境	-10.5%	9	-11.2%	9	-16.1%	8	-13.7%	9	-13.1%	10	-2.3%	8	0.0%	11	7.5%	9
⑩ 雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	-45.9%	13	-45.0%	12	-44.5%	12	-43.5%	12	-60.2%	13	-45.3%	13	-36.0%	13	-22.5%	13
⑪ 近所づきあい	23.3%	5	15.4%	4	15.1%	4	29.8%	4	25.6%	4	26.7%	5	40.0%	4	27.5%	6
⑫ 娯楽・レジャーの充実	-43.2%	12	-65.1%	13	-61.0%	13	-49.7%	13	-39.8%	12	-22.1%	11	13.3%	9	0.0%	11
⑬ 歴史・文化資源の保存・活用	29.2%	3	29.6%	3	26.6%	3	32.3%	3	23.9%	5	30.2%	4	37.3%	5	37.5%	3

項目間の満足度スコアの状況について、全体では「函館の住みやすさ」が62.1%と最も高く、「日常の買い物の便利さ」が50.4%、「歴史・文化資源の保存・活用」が29.2%で続いています。

一方、「雇用の場（業種や企業規模の選択肢）」が-45.9%と最も低く、「娯楽・レジャーの充実」が-43.2%、「子育て支援」が-16.8%で続いています。

年代別では、概ね、全体の状況と同じ傾向にありますが、「歩行・自転車での道路の使いやすさ」および「自動車での道路の使いやすさ」について、60代の満足度スコアが全体に比べ低くなっており、全体と異なる傾向が見られます。

② 年代別満足度スコアの順位

	全体	20代	順位	30代	順位	40代	順位	50代	順位	60代	順位	70代	順位	80歳以上	順位
① 函館の住みやすさ	62.1%	54.4%	6	53.2%	7	68.3%	3	66.5%	4	65.1%	5	69.3%	2	80.0%	1
② 日常の買い物の便利さ	50.4%	31.4%	7	50.5%	5	57.1%	3	61.9%	1	58.1%	2	53.3%	4	37.5%	6
③ 市内の移動（市電・バス）の便利さ	-11.1%	-17.8%	6	-17.9%	7	-17.4%	5	-12.5%	4	-4.7%	3	20.0%	1	10.0%	2
④ 市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	27.1%	9.5%	7	11.9%	6	29.2%	5	47.2%	1	37.2%	3	44.0%	2	35.0%	4
⑤ 歩行、自転車での道路の使いやすさ	-9.8%	-4.1%	3	-10.1%	4	-13.0%	6	-12.5%	5	-33.7%	7	8.0%	1	7.5%	2
⑥ 自動車での道路の使いやすさ	0.9%	-10.7%	6	-0.5%	5	7.5%	3	0.6%	4	-15.1%	7	29.3%	1	12.5%	2
⑦ 医療や福祉の施設やサービス体制	2.4%	3.0%	4	-16.5%	7	-0.6%	6	1.1%	5	7.0%	3	36.0%	2	50.0%	1
⑧ 子育て支援	-16.8%	-20.1%	6	-28.4%	7	-18.6%	5	-15.9%	4	-1.2%	1	-1.3%	2	-2.5%	3
⑨ 子どもの教育環境	-10.5%	-11.2%	4	-16.1%	7	-13.7%	6	-13.1%	5	-2.3%	3	0.0%	2	7.5%	1
⑩ 雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	-45.9%	-45.0%	5	-44.5%	4	-43.5%	3	-60.2%	7	-45.3%	6	-36.0%	2	-22.5%	1
⑪ 近所づきあい	23.3%	15.4%	6	15.1%	7	29.8%	2	25.6%	5	26.7%	4	40.0%	1	27.5%	3
⑫ 娯楽・レジャーの充実	-43.2%	-65.1%	7	-61.0%	6	-49.7%	5	-39.8%	4	-22.1%	3	13.3%	1	0.0%	2
⑬ 歴史・文化資源の保存・活用	29.2%	29.6%	5	26.6%	6	32.3%	3	23.9%	7	30.2%	4	37.3%	2	37.5%	1

年代別満足度スコアの順位については、30代が最低スコアの数最も多く、年代が上がるにつれて、満足度スコアも高くなる傾向が見られます。

(2) 函館のまちに対し特に満足と思うこと、不満と思うこと

問3

函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。

下表は、問3の回答内容を問2の選択肢別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、特に満足と思うことについて合計603人（回答者全体の64.8%）、特に不満と思うことについて722人（回答者全体の77.6%）からご意見をいただきました。なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

① 特に満足と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	185	30.7%
日常の買い物の便利さ	52	8.6%
市内の移動(市電・バス)の便利さ	28	4.6%
市外への移動(船・飛行機・鉄道)の便利さ	28	4.6%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	9	1.5%
自動車での道路の使いやすさ	17	2.8%
医療や福祉の施設やサービス体制	23	3.8%
子育て支援	4	0.7%
子どもの教育環境	6	1.0%
雇用の場(業種や企業規模の選択肢)	3	0.5%
近所づきあい	17	2.8%
娯楽・レジャーの充実	25	4.1%
歴史・文化資源の保存・活用	48	8.0%
その他	272	45.1%
合計	717	

「その他」の意見としては「食べ物がおいしい（特に新鮮な海産物がある）（44件）」、「景観がきれい（特に西部地区）（36件）」、「海や山があり自然に囲まれている（34件）」、「観光資源が豊富（33件）」、「気候がよく大きな災害もなく過ごしやすい（20件）」、「温泉がある（3件）」等が挙げられています。

② 特に不満と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	29	4.0%
日常の買い物の便利さ	52	7.2%
市内の移動(市電・バス)の便利さ	88	12.2%
市外への移動(船・飛行機・鉄道)の便利さ	22	3.0%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	103	14.3%
自動車での道路の使いやすさ	108	15.0%
医療や福祉の施設やサービス体制	55	7.6%
子育て支援	35	4.8%
子どもの教育環境	21	2.9%
雇用の場(業種や企業規模の選択肢)	114	15.8%
近所づきあい	10	1.4%
娯楽・レジャーの充実	177	24.5%
歴史・文化資源の保存・活用	7	1.0%
その他	176	24.4%
合計	997	

「その他」の意見としては「税金が高い(14件)」、「雇用環境が悪く、賃金も低い(13件)」、「活気がない(13件)」、「市や市職員の市民へのサービスに不満がある(10件)」、「公共交通機関の充実(8件)」、「観光振興が不十分(8件)」、「生活道路の整備が不十分(特に冬場の除雪)(7件)」等が挙げられています。

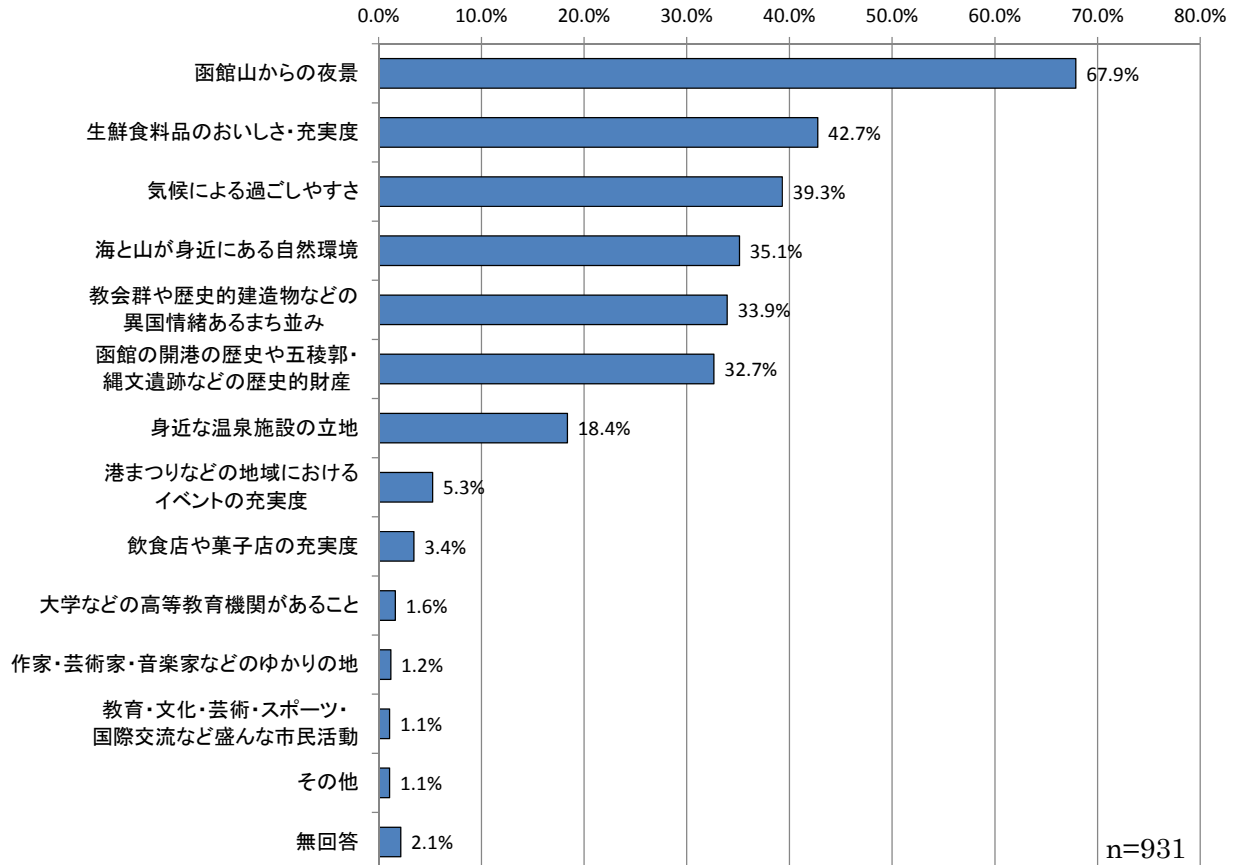
3 「函館市の魅力」に関する調査結果

(1) 函館市の魅力や誇れるもの

問 4

函館市の魅力や誇れるものは何だと思いますか？

主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	割合	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
函館山からの夜景	632	67.9%	71.0%	70.2%	65.2%	73.3%	61.6%	60.0%	57.5%
生鮮食料品のおいしさ・充実度	398	42.7%	45.0%	48.2%	41.6%	50.0%	27.9%	33.3%	32.5%
気候による過ごしやすさ	366	39.3%	34.3%	31.7%	39.1%	47.7%	47.7%	42.7%	40.0%
海と山が身近にある自然環境	327	35.1%	32.0%	39.0%	31.7%	30.7%	43.0%	41.3%	32.5%
教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み	316	33.9%	27.8%	32.1%	38.5%	40.3%	34.9%	32.0%	27.5%
函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産	304	32.7%	31.4%	27.5%	36.0%	24.4%	43.0%	50.7%	35.0%
身近な温泉施設の立地	171	18.4%	14.2%	20.2%	19.9%	14.8%	19.8%	21.3%	27.5%
港まつりなどの地域におけるイベントの充実度	49	5.3%	9.5%	6.9%	3.1%	2.8%	2.3%	2.7%	7.5%
飲食店や菓子店の充実度	32	3.4%	8.3%	3.2%	5.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
大学などの高等教育機関があること	15	1.6%	1.2%	0.0%	1.9%	0.6%	3.5%	4.0%	7.5%
作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地	11	1.2%	3.0%	0.5%	0.6%	0.6%	1.2%	2.7%	0.0%
教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動	10	1.1%	2.4%	0.5%	1.2%	0.6%	1.2%	0.0%	2.5%
その他	10	1.1%	0.6%	1.4%	0.6%	0.6%	2.3%	2.7%	0.0%
無回答	20	2.1%	1.2%	2.3%	1.9%	1.7%	1.2%	1.3%	10.0%

「函館山からの夜景」が67.9%と最も高く、「生鮮食料品のおいしさ・充実度」が42.7%で続いています。

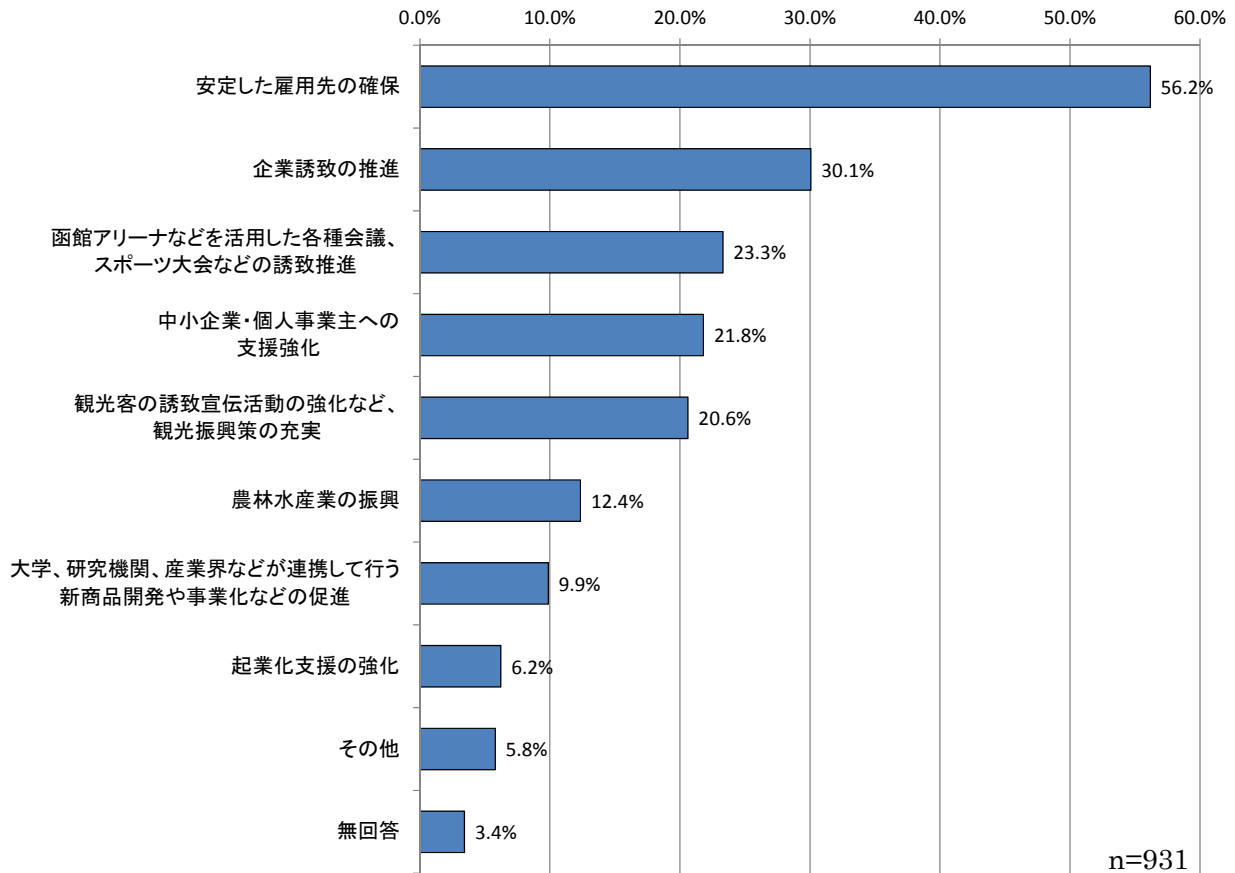
回答者の年代別では、各年代とも「函館山からの夜景」が最も高く、60代以上では「函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産」の割合が高くなっています。

4 「函館市の今後のまちづくり」に関する調査結果

(1) 函館市の経済を活性化するための施策

問 5

函館市の経済を活性化するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
安定した雇用先の確保	523	56.2%	58.0%	56.4%	53.4%	61.4%	62.8%	48.0%	40.0%
企業誘致の推進	280	30.1%	26.0%	22.9%	33.5%	40.9%	22.1%	33.3%	37.5%
函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進	217	23.3%	29.6%	26.1%	29.2%	21.0%	12.8%	14.7%	10.0%
中小企業・個人事業主への支援強化	203	21.8%	23.1%	28.0%	18.6%	19.9%	18.6%	17.3%	20.0%
観光客の誘致宣伝活動の強化など、観光振興策の充実	192	20.6%	21.9%	18.3%	21.1%	21.0%	23.3%	21.3%	20.0%
農林水産業の振興	115	12.4%	9.5%	9.6%	11.8%	8.5%	20.9%	28.0%	7.5%
大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進	92	9.9%	7.1%	5.5%	9.9%	8.0%	12.8%	21.3%	22.5%
起業化支援の強化	58	6.2%	5.9%	10.1%	2.5%	6.3%	4.7%	4.0%	10.0%
その他	54	5.8%	6.5%	6.0%	8.7%	4.5%	5.8%	1.3%	2.5%
無回答	32	3.4%	0.6%	4.1%	1.9%	2.8%	4.7%	4.0%	15.0%

「安定した雇用先の確保」が56.2%と最も高く、「企業誘致の推進」が30.1%で続いており、就労に関する施策へのニーズが高くなっています。

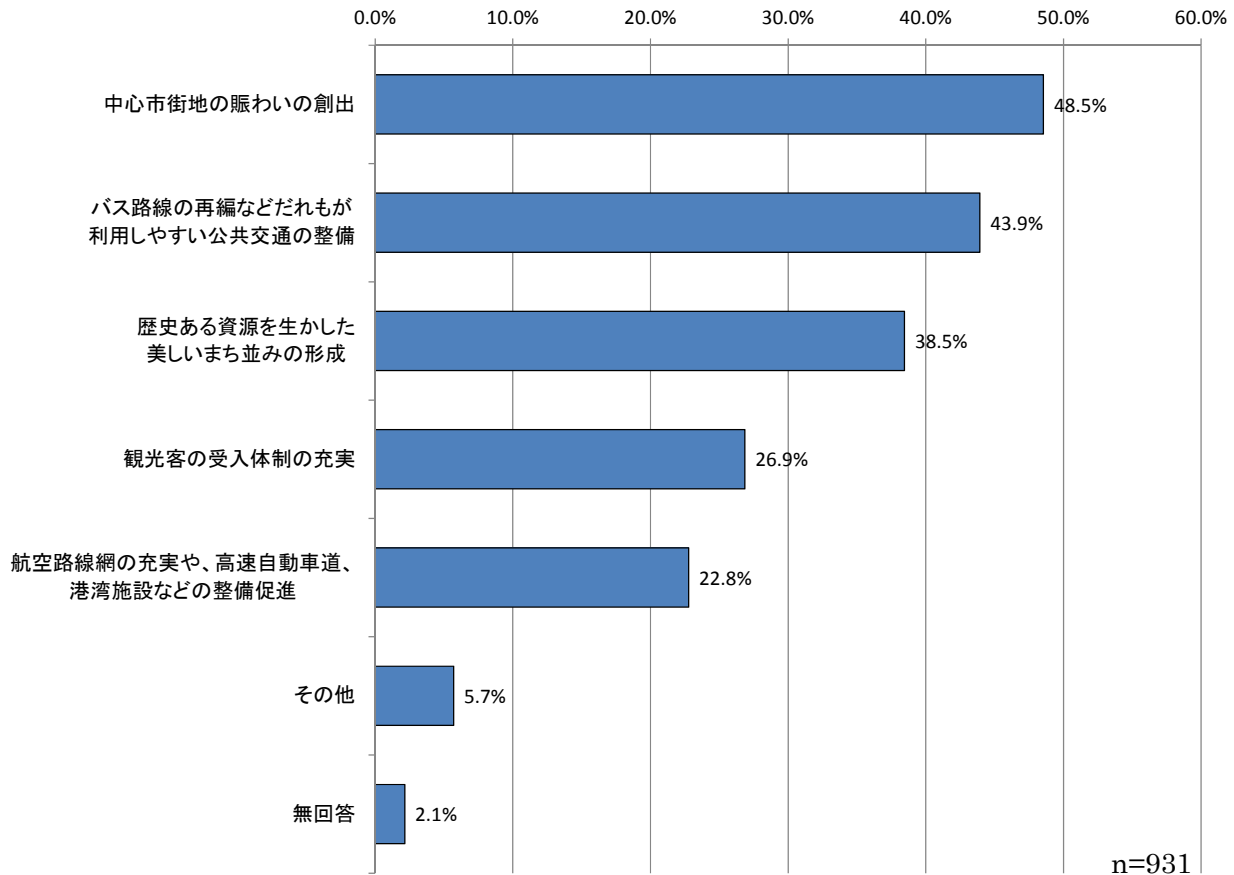
回答者の年代別では、各年代とも「安定した雇用先の確保」が最も高く、30代を除き「企業誘致の推進」が上位3項目に含まれており、全体と同様、就労に関する施策へのニーズが高くなっています。

また、50代以下では「函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進」の割合が上位3項目に入っています。

(2) まちの魅力を高めるための取り組み

問6

まちの魅力を高めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
中心市街地の賑わいの創出	452	48.5%	61.5%	59.2%	43.5%	46.0%	30.2%	32.0%	40.0%
バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備	409	43.9%	43.2%	39.9%	47.8%	40.9%	48.8%	52.0%	42.5%
歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成	358	38.5%	27.2%	33.0%	42.2%	40.3%	46.5%	53.3%	42.5%
観光客の受入体制の充実	250	26.9%	24.3%	27.5%	26.1%	29.0%	29.1%	25.3%	27.5%
航空路線網の充実や、高速自動車道、港湾施設などの整備促進	212	22.8%	27.2%	21.1%	16.8%	26.1%	24.4%	20.0%	25.0%
その他	53	5.7%	5.9%	6.0%	7.5%	4.0%	8.1%	4.0%	2.5%
無回答	20	2.1%	1.2%	1.4%	2.5%	1.7%	0.0%	5.3%	10.0%

「中心市街地の賑わいの創出」が48.5%と最も高く、「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」が43.9%で続いています。

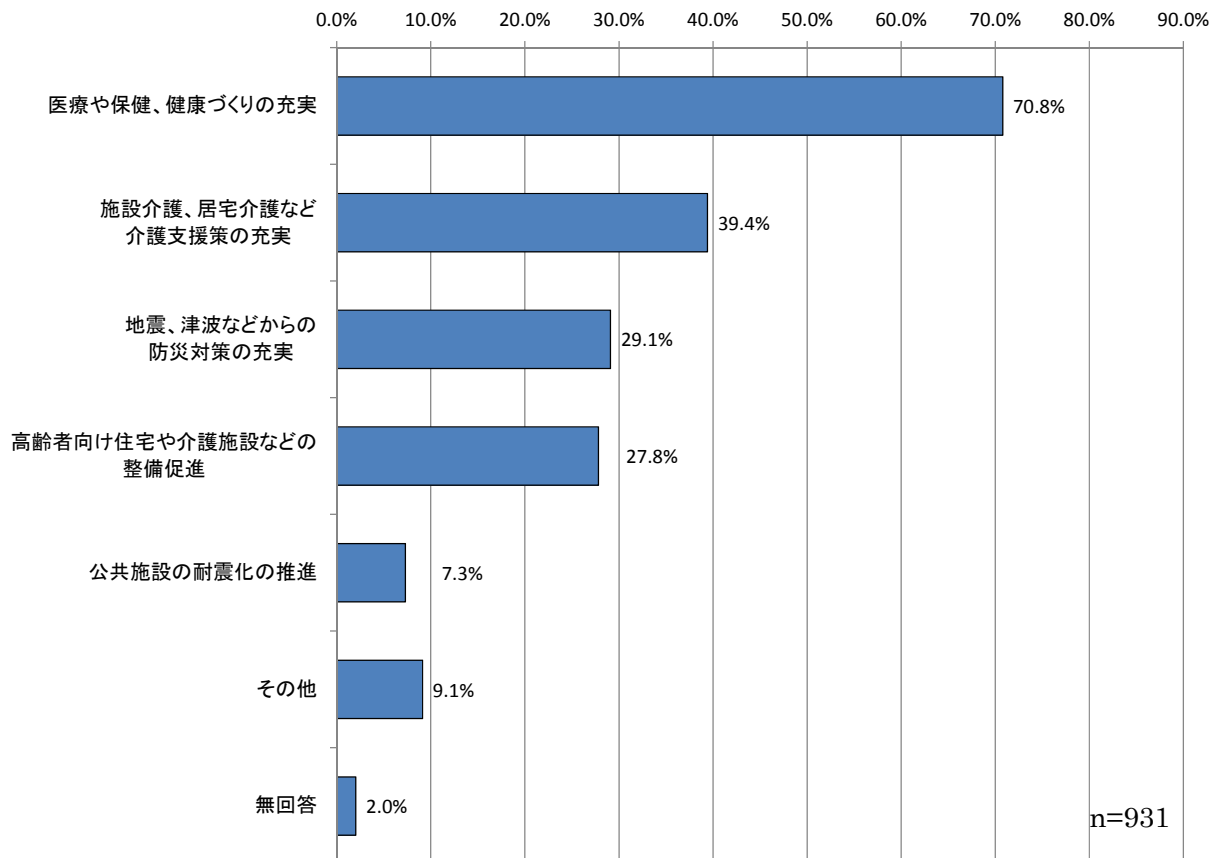
回答者の年代別では、20、30、50代では全体と同様に、「中心市街地の賑わいの創出」が最も高くなっていますが、40、60代では「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」が最も高くなっています。

(3) 安心して住めるまちづくりを進めるために取り組むべきこと

問 7

だれもが安心して住めるまちづくりを進めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？

主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
医療や保健、健康づくりの充実	659	70.8%	77.5%	77.1%	76.4%	63.1%	59.3%	68.0%	47.5%
施設介護、居宅介護など介護支援策の充実	367	39.4%	26.6%	30.7%	38.5%	48.9%	51.2%	53.3%	55.0%
地震、津波などからの防災対策の充実	271	29.1%	38.5%	37.2%	27.3%	19.3%	24.4%	20.0%	22.5%
高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進	259	27.8%	20.1%	19.3%	25.5%	35.8%	38.4%	37.3%	42.5%
公共施設の耐震化の推進	68	7.3%	13.6%	8.3%	3.1%	5.1%	5.8%	6.7%	7.5%
その他	85	9.1%	10.1%	9.2%	9.9%	9.7%	10.5%	6.7%	2.5%
無回答	19	2.0%	0.6%	1.4%	1.9%	2.3%	1.2%	2.7%	10.0%

「医療や保健、健康づくりの充実」が70.8%と最も高く、「施設介護、居宅介護など介護支援策の充実」が39.4%で続いています。

回答者の年代別では、80歳以上以外では全体と同様に「医療や保健、健康づくりの充実」が最も高く、80歳以上では「施設介護、居宅介護など介護支援策の充実」が最も高くなっています。

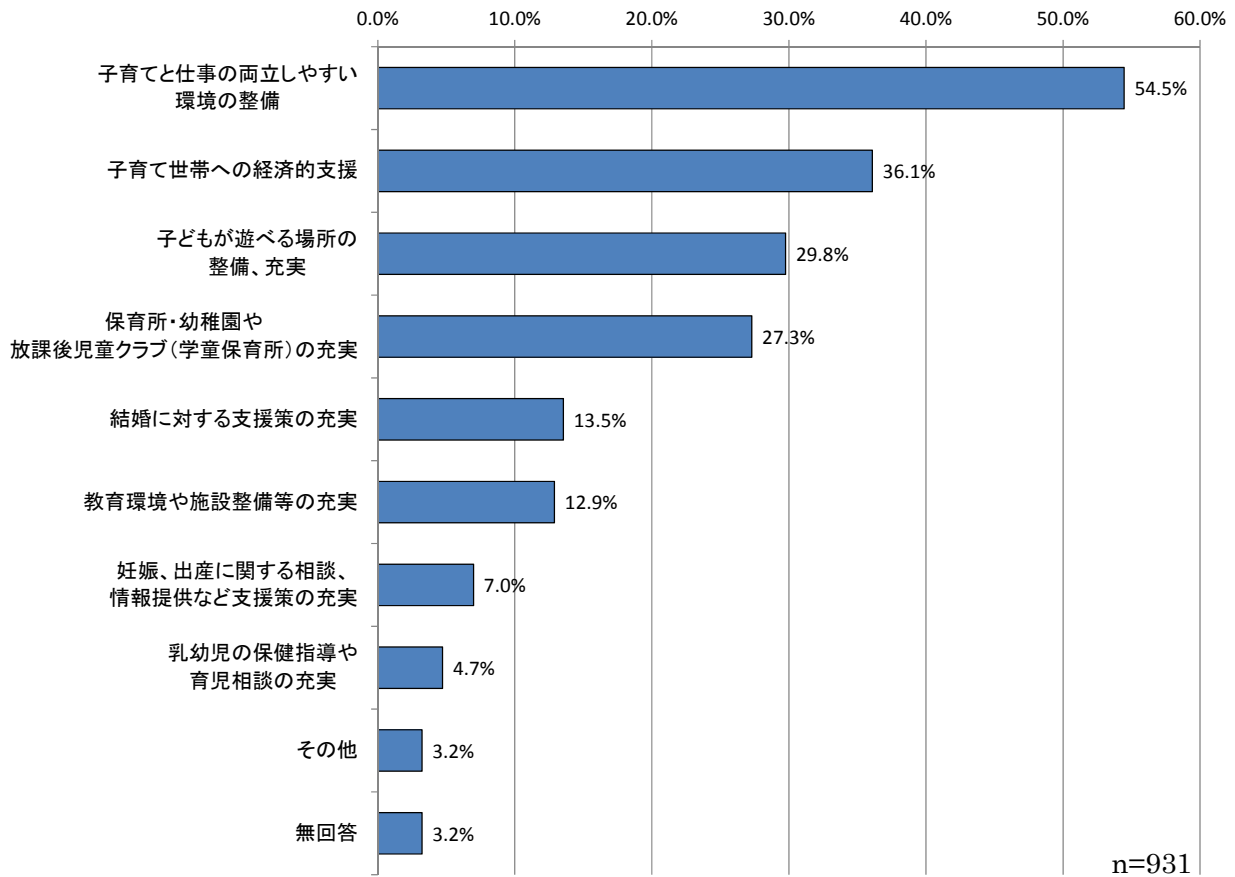
また、20～40代では「地震、津波などからの防災対策の充実」が上位3項目に入っている一方で、50代以上では「高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進」が上位3項目に入っています。

「その他」の意見としては「雇用環境の向上（特に賃金）（13件）」、「防犯対策（10件）」、「子育て世代への支援（8件）」、「高齢者の生活支援（5件）」、「大間原発の廃止（5件）」、「老後の生活保障（3件）」等が挙げられています。

(4) 安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、取り組むべきこと

問 8

安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
子育てと仕事の両立しやすい環境の整備	507	54.5%	52.1%	54.6%	49.1%	58.5%	62.8%	58.7%	45.0%
子育て世帯への経済的支援	336	36.1%	43.8%	48.6%	43.5%	24.4%	17.4%	21.3%	27.5%
子どもが遊べる場所の整備、充実	277	29.8%	24.9%	42.2%	28.6%	27.8%	26.7%	20.0%	17.5%
保育所・幼稚園や放課後児童クラブ(学童保育所)の充実	254	27.3%	25.4%	17.9%	27.3%	35.8%	31.4%	38.7%	17.5%
結婚に対する支援策の充実	126	13.5%	20.7%	10.1%	10.6%	13.1%	11.6%	16.0%	17.5%
教育環境や施設整備等の充実	120	12.9%	7.1%	8.7%	16.1%	16.5%	17.4%	16.0%	17.5%
妊娠、出産に関する相談、情報提供など支援策の充実	65	7.0%	12.4%	4.6%	3.1%	8.0%	7.0%	5.3%	12.5%
乳幼児の保健指導や育児相談の充実	44	4.7%	4.1%	2.8%	3.7%	5.1%	5.8%	5.3%	12.5%
その他	30	3.2%	1.8%	2.3%	6.2%	2.8%	4.7%	2.7%	2.5%
無回答	30	3.2%	1.8%	2.3%	3.1%	1.1%	3.5%	8.0%	12.5%

「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」が 54.5%と最も高く、「子育て世帯への経済的支援」が 36.1%で続いています。

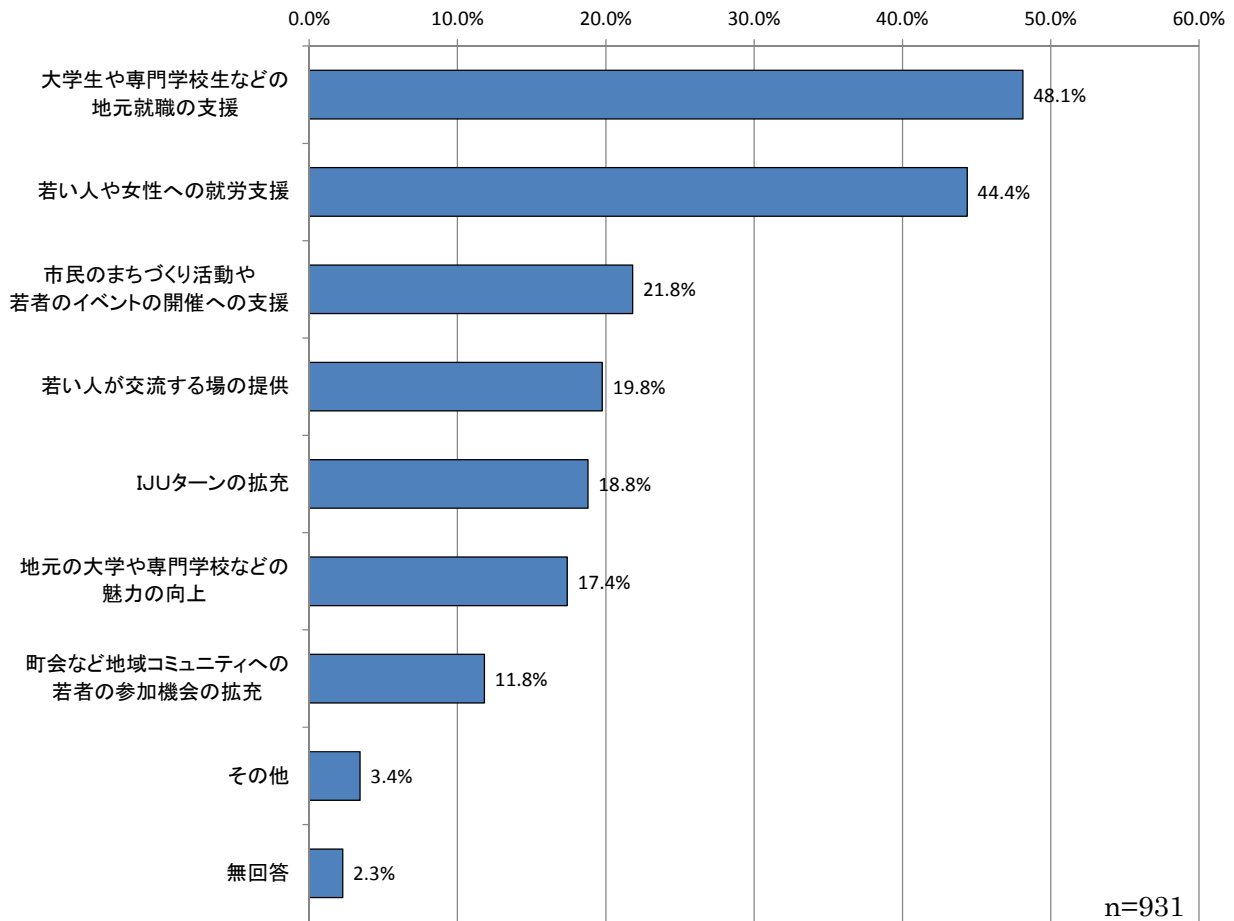
回答者の年代別でも、各年代とも全体と同様に「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」が最も高くなっています。

また、40代以下および80歳以上では「子育て世帯への経済的支援」が2番目に高くなっている一方で、50～70代では「保育所・幼稚園や放課後児童クラブ(学童保育所)の充実」が2番目に高くなっています。

(5) 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、取り組むべきこと

問 9

若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
大学生や専門学校生などの地元就職の支援	448	48.1%	44.4%	45.4%	49.7%	49.4%	47.7%	58.7%	50.0%
若い人や女性への就労支援	413	44.4%	47.9%	46.8%	45.3%	44.3%	43.0%	33.3%	37.5%
市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援	203	21.8%	28.4%	25.2%	19.9%	19.3%	12.8%	16.0%	20.0%
若い人が交流する場の提供	184	19.8%	28.4%	22.0%	18.0%	15.9%	16.3%	17.3%	10.0%
IJUターンの拡充	175	18.8%	9.5%	12.8%	19.9%	30.1%	29.1%	18.7%	15.0%
地元の大学や専門学校などの魅力の向上	162	17.4%	14.8%	17.0%	16.1%	20.5%	16.3%	20.0%	22.5%
町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充	110	11.8%	10.1%	14.2%	7.5%	6.8%	12.8%	24.0%	20.0%
その他	32	3.4%	4.1%	3.2%	5.0%	2.8%	4.7%	1.3%	0.0%
無回答	21	2.3%	0.6%	0.9%	2.5%	1.1%	3.5%	4.0%	12.5%

「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」が48.1%と最も高く、「若い人や女性への就労支援」が44.4%で続いています。上位2項目は3番目に高い「市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援」21.8%の2倍以上であり、若い世代、女性の就労支援への取り組みを求める割合が高くなっています。

また、回答者の年代別でも、各年代とも全体と同様に、「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」、「若い人や女性への就労支援」の割合が高くなっています。

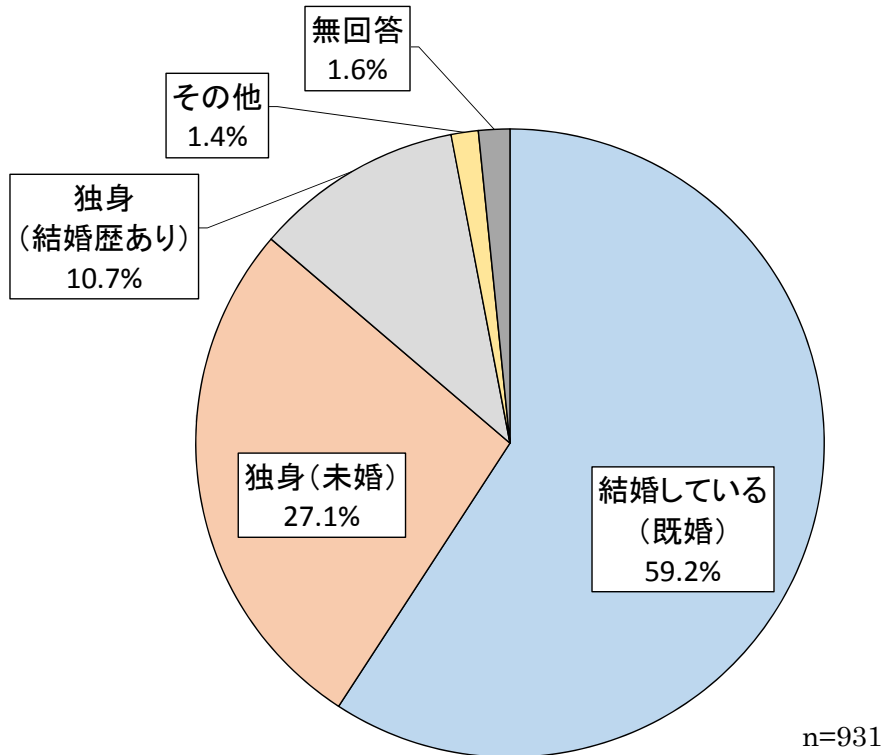
5 「結婚・出産・子育て」に対する考え方

(1) 現在結婚しているか

問 10

あなたは、現在結婚していますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
結婚している(既婚)	551	59.2%	24.9%	62.4%	60.9%	72.7%	76.7%	78.7%	47.5%
独身(未婚)	252	27.1%	71.0%	28.4%	23.6%	10.2%	7.0%	4.0%	7.5%
独身(結婚歴あり)	100	10.7%	3.6%	8.7%	14.3%	14.8%	11.6%	8.0%	25.0%
その他	13	1.4%	0.6%	0.5%	0.0%	1.7%	1.2%	4.0%	10.0%
無回答	15	1.6%	0.0%	0.0%	1.2%	0.6%	3.5%	5.3%	10.0%

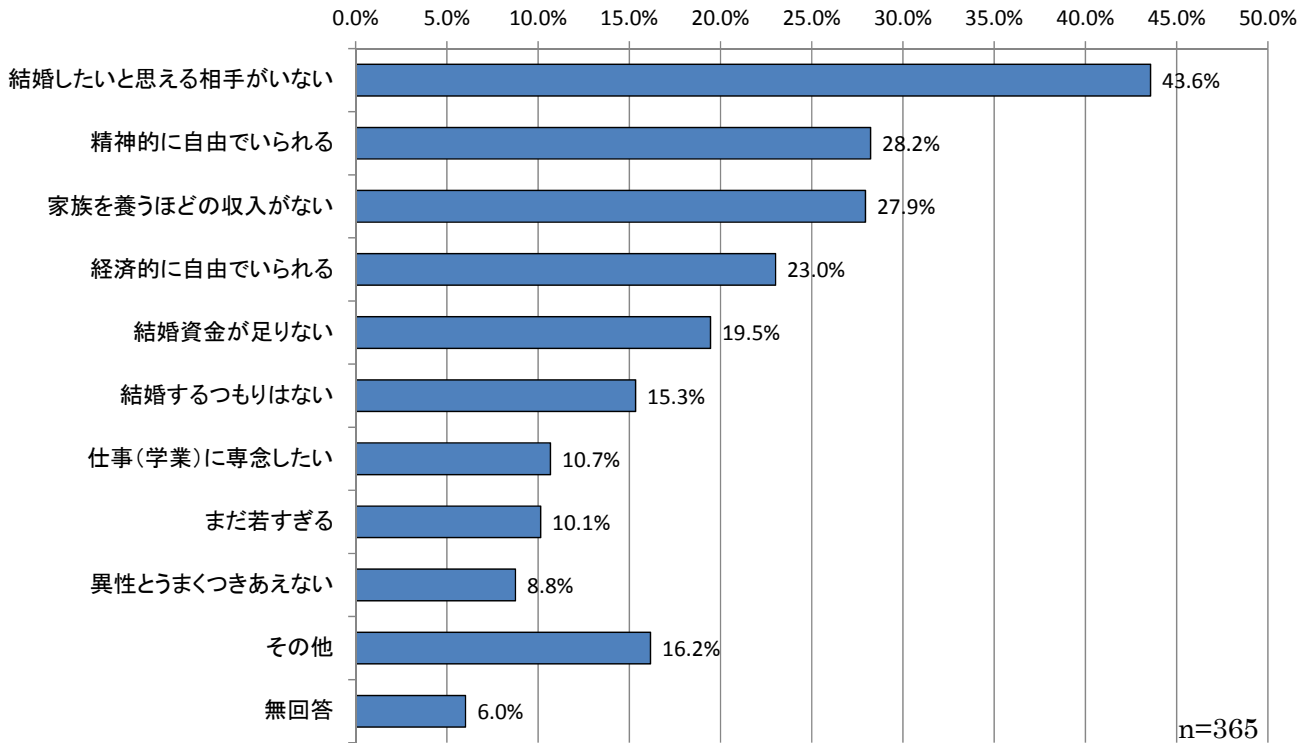
「結婚している (既婚)」が 59.2%と最も高く、「独身 (未婚)」が 27.1%で続いています。

また、回答者の年代別では、結婚している割合は 30～40 代では 60%を、50～70 代では 70%を超えている一方で、20 代は 24.9%となっています。30～40 代では「独身 (未婚)」が 2 番目に高く、50 代以上では「独身 (結婚歴あり)」が 2 番目に高くなっています。

(2) 結婚をしていない理由

問 11

結婚をしていない理由は何ですか？あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。(回答対象者：問10で「独身(未婚)」、「独身(結婚歴あり)」、「その他」を選択した人)



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
結婚したいと思える相手がない	159	43.6%	43.3%	52.4%	62.3%	42.6%	0.0%	8.3%	5.9%
精神的に自由でいられる	103	28.2%	13.4%	35.4%	37.7%	46.8%	29.4%	41.7%	11.8%
家族を養うほどの収入がない	102	27.9%	32.3%	34.1%	26.2%	25.5%	17.6%	0.0%	5.9%
経済的に自由でいられる	84	23.0%	21.3%	25.6%	26.2%	25.5%	17.6%	33.3%	5.9%
結婚資金が足りない	71	19.5%	29.9%	23.2%	8.2%	17.0%	0.0%	0.0%	0.0%
結婚するつもりはない	56	15.3%	6.3%	7.3%	24.6%	29.8%	35.3%	33.3%	17.6%
仕事(学業)に専念したい	39	10.7%	17.3%	9.8%	13.1%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
まだ若すぎる	37	10.1%	29.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
異性とうまくつきあえない	32	8.8%	15.0%	6.1%	8.2%	2.1%	5.9%	0.0%	5.9%
その他	59	16.2%	9.4%	17.1%	23.0%	12.8%	35.3%	8.3%	29.4%
無回答	22	6.0%	2.4%	2.4%	0.0%	8.5%	17.6%	41.7%	29.4%

「結婚したいと思える相手がない」が43.6%と最も高く、「精神的に自由でいられる」が28.2%で続いています。

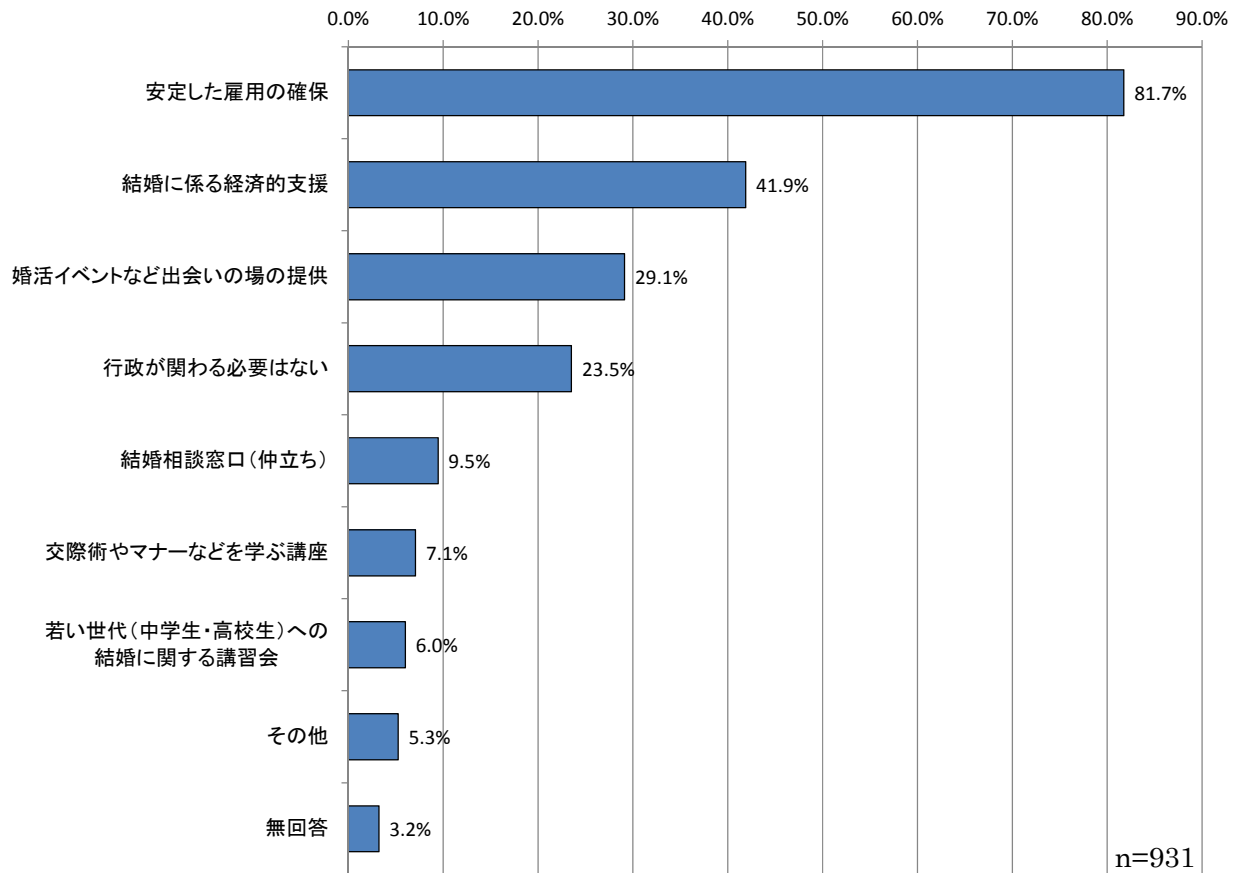
また、回答者の年代別では、40代以下で全体と同様、「結婚したいと思える相手がない」が最も高く、50～70代では「精神的に自由でいられる」の割合が高くなっています。

「その他」の意見としては「出会いがない(11件)」、「子どもを優先させたい(6件)」、「結婚に価値があると思わない(6件)」、「離婚(5件)」、「結婚する予定、意思がある(5件)」等が挙げられています。

(3) 行政が結婚を支援するために取り組むべきこと

問 12

行政が結婚を支援するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
安定した雇用の確保	761	81.7%	82.2%	73.4%	80.7%	88.1%	88.4%	88.0%	75.0%
結婚に係る経済的支援	390	41.9%	51.5%	46.3%	42.2%	31.8%	40.7%	38.7%	30.0%
婚活イベントなど出会いの場の提供	271	29.1%	27.2%	30.7%	27.3%	27.3%	27.9%	40.0%	27.5%
行政が関わる必要はない	219	23.5%	17.8%	26.6%	28.0%	28.4%	20.9%	12.0%	20.0%
結婚相談窓口(仲立ち)	88	9.5%	10.7%	8.3%	8.1%	4.0%	11.6%	17.3%	20.0%
交際術やマナーなどを学ぶ講座	66	7.1%	8.3%	1.4%	7.5%	8.5%	9.3%	13.3%	10.0%
若い世代(中学生・高校生)への結婚に関する講習会	56	6.0%	4.7%	5.0%	6.2%	5.1%	5.8%	13.3%	7.5%
その他	49	5.3%	1.2%	4.6%	6.8%	6.3%	9.3%	6.7%	5.0%
無回答	30	3.2%	1.2%	0.9%	1.2%	2.3%	7.0%	9.3%	17.5%

「安定した雇用の確保」が81.7%と最も高く、「結婚に係る経済的支援」が41.9%で続いています。「安定した雇用の確保」が「結婚に係る経済的支援」の約2倍と、「安定した雇用の確保」の取り組みを求める割合が高くなっています。

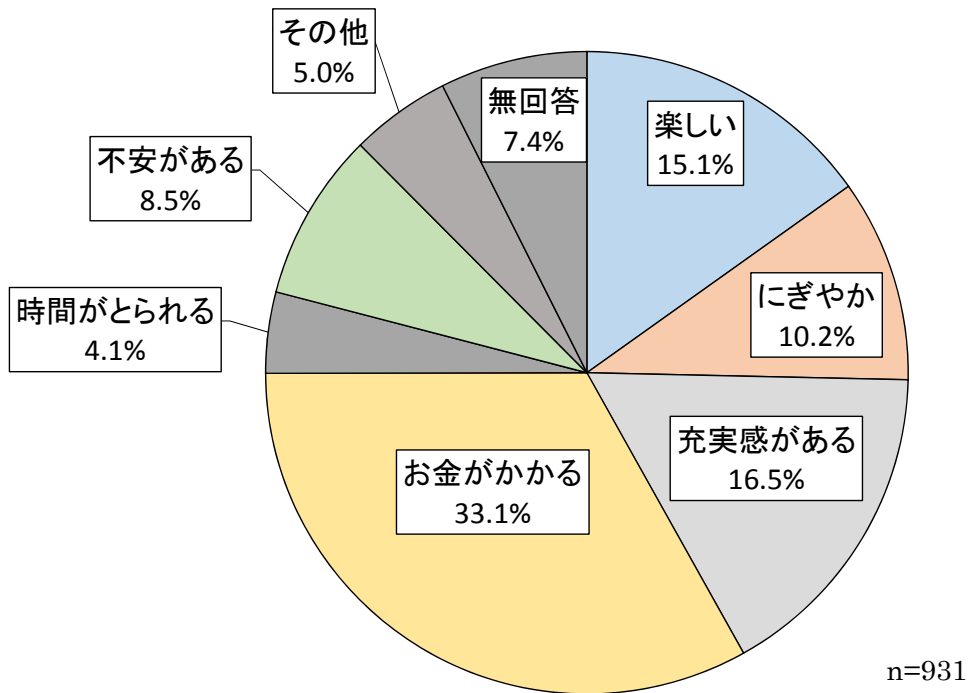
また、回答者の年代別では、全体と同様に「安定した雇用の確保」が最も高く、「結婚に係る経済的支援」も上位3項目に入っています。特に、40代以下では、「結婚に係る経済的支援」を求める割合が全体よりも高くなっています。

一方で、40～50代では、「行政が関わる必要はない」が3番目に高くなっています。

(4) 子育てに対するイメージ

問 13

子育てについてどのようなイメージを持っていますか？
 あてはまる番号を、1つ選んで○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
楽しい	141	15.1%	14.8%	16.1%	18.6%	10.8%	7.0%	24.0%	20.0%
にぎやか	95	10.2%	10.1%	13.3%	7.5%	9.7%	10.5%	10.7%	7.5%
充実感がある	154	16.5%	13.0%	9.2%	16.1%	21.6%	24.4%	17.3%	30.0%
お金がかかる	308	33.1%	34.3%	37.6%	37.9%	33.0%	27.9%	24.0%	12.5%
時間がとられる	38	4.1%	9.5%	5.0%	3.1%	1.7%	2.3%	1.3%	0.0%
不安がある	79	8.5%	13.0%	10.1%	6.8%	6.8%	8.1%	4.0%	2.5%
その他	47	5.0%	5.3%	3.2%	4.3%	7.4%	7.0%	2.7%	7.5%
無回答	69	7.4%	0.0%	5.5%	5.6%	9.1%	12.8%	16.0%	20.0%

「お金がかかる」が 33.1%と最も高く、「充実感がある」が 16.5%で続いています。「楽しい」15.1%、「にぎやか」10.2%を含めると、41.8%の人が肯定的なイメージを持ち、「不安がある」8.5%、「時間がとられる」4.1%を含めると、45.7%の人が否定的なイメージを持っています。

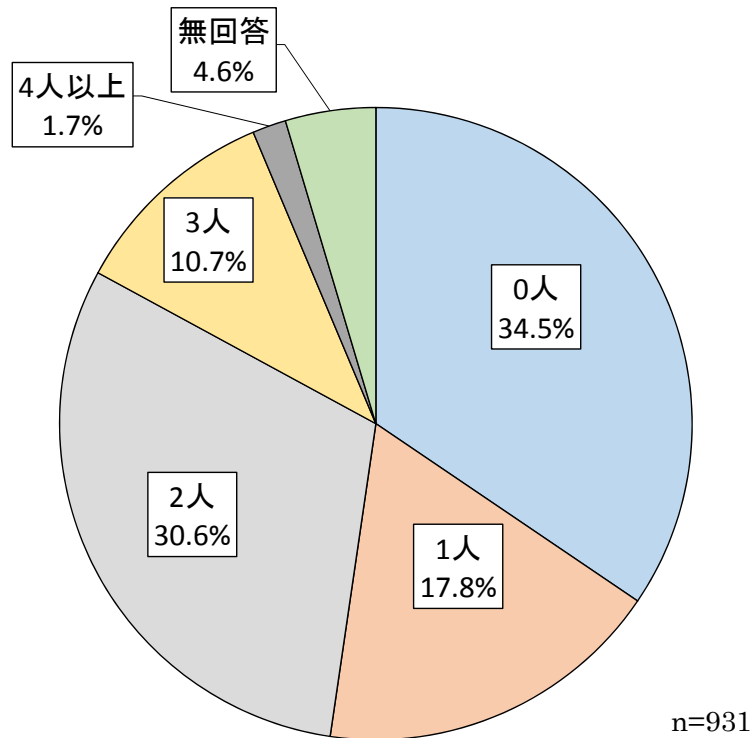
また、回答者の年代別では、全体と同様に、「お金がかかる」が高く、特に 20代から 40代で全体よりも高くなっている一方、50代以上では、「充実感がある」が全体よりも高くなっています。

(5) 現在の子ども数、理想的な子ども数

問 14

あなたにとって、現在の子ども数、理想的な子ども数は何人ですか？
 あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

①現在の子ども数

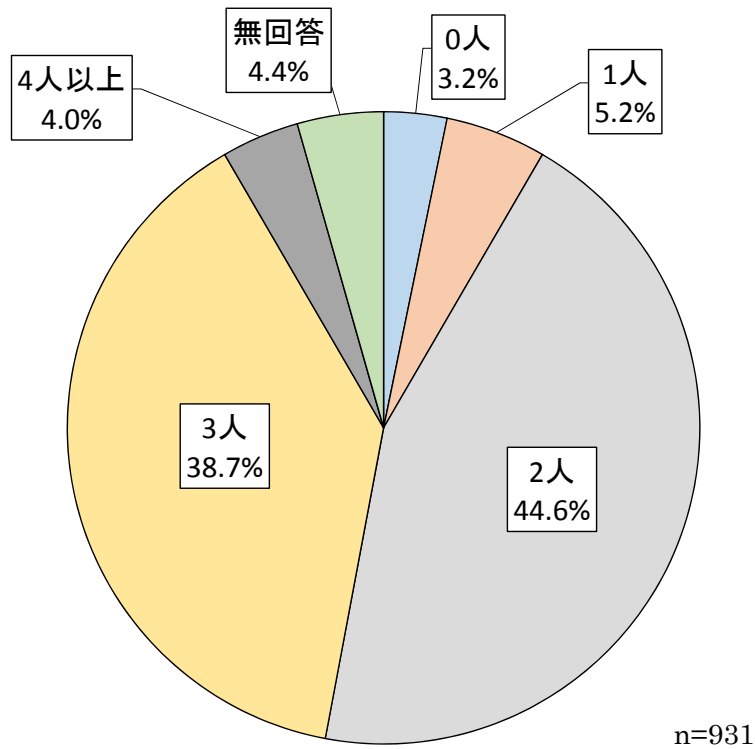


選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
0人	321	34.5%	73.4%	42.2%	32.9%	17.0%	8.1%	14.7%	5.0%
1人	166	17.8%	16.0%	22.9%	18.6%	15.9%	12.8%	13.3%	22.5%
2人	285	30.6%	4.1%	23.4%	36.0%	44.9%	48.8%	48.0%	25.0%
3人	100	10.7%	1.2%	8.7%	6.8%	17.0%	22.1%	13.3%	22.5%
4人以上	16	1.7%	0.0%	1.4%	1.9%	2.3%	4.7%	0.0%	5.0%
無回答	43	4.6%	5.3%	1.4%	3.7%	2.8%	3.5%	10.7%	20.0%

「0人」が34.5%と最も高く、「2人」が30.6%、「1人」が17.8%で続いています。

また、回答者の年代別では「0人」の割合が20代および30代で全体よりも高く、特に20代では73.4%となっています。40代以上では「2人」の割合が最も高く、50代以上では「3人」の割合が上位3項目に入っており、年代が上がるにつれ、子ども数が増加しています。

②理想的な子どもの数



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
0人	30	3.2%	4.7%	4.1%	3.7%	1.1%	3.5%	1.3%	0.0%
1人	48	5.2%	8.9%	4.1%	7.5%	1.7%	5.8%	5.3%	0.0%
2人	415	44.6%	57.4%	50.9%	48.4%	41.5%	26.7%	33.3%	15.0%
3人	360	38.7%	26.6%	37.2%	31.7%	44.9%	48.8%	49.3%	57.5%
4人以上	37	4.0%	1.2%	2.8%	4.3%	6.8%	8.1%	0.0%	7.5%
無回答	41	4.4%	1.2%	0.9%	4.3%	4.0%	7.0%	10.7%	20.0%

「2人」が44.6%と最も高く、「3人」が38.7%で続いており、「2人」及び「3人」で83.3%となっています。

また、回答者の年代別でも「2人」、「3人」の割合が高く、40代以下では「2人」が、50代以上では「3人」が最も多くなっています。40代以下では、「1人」が、50、60代では4人以上が上位3項目に入っており、年代が上がるにつれ、理想的な子どもの数が増加しています。

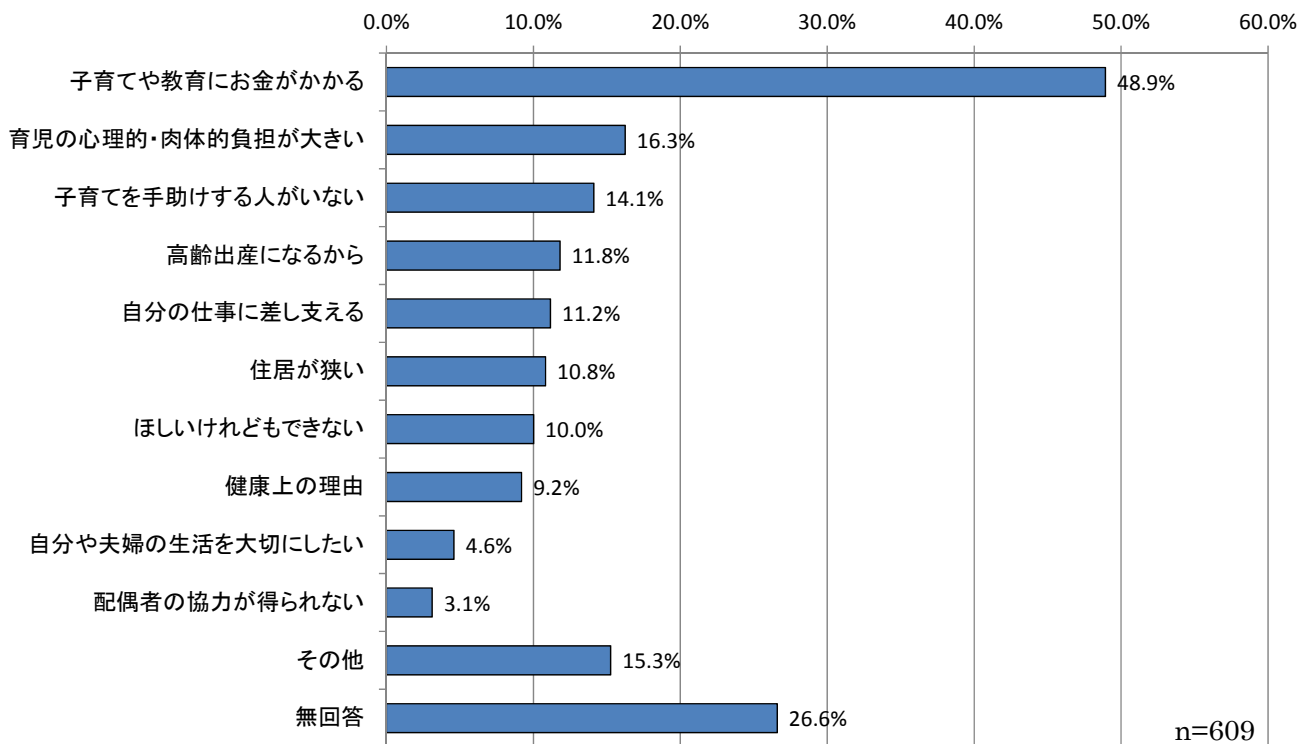
(6) 「理想的な子どもの数」が「現在の子どもの数」より多い理由、または「理想的な子どもの数」が0人である理由

問 15

「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い理由または「理想的な子どもの数」が0人である理由は何ですか？

あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

(回答対象者：問 14 で、「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い人または「理想的な子どもの数」が0人の人)



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
子育てや教育にお金がかかる	298	48.9%	37.8%	54.5%	53.3%	49.5%	65.8%	47.1%	35.3%
育児の心理的・肉体的負担が大きい	99	16.3%	9.5%	19.4%	17.1%	19.2%	15.8%	14.7%	29.4%
子育てを手助けする人がいない	86	14.1%	9.5%	17.0%	13.3%	13.1%	23.7%	17.6%	11.8%
高齢出産になるから	72	11.8%	0.7%	11.5%	32.4%	12.1%	10.5%	5.9%	0.0%
自分の仕事に差し支える	68	11.2%	6.8%	20.0%	7.6%	11.1%	10.5%	2.9%	5.9%
住居が狭い	66	10.8%	12.2%	9.7%	7.6%	11.1%	26.3%	5.9%	5.9%
ほしいけれどもできない	61	10.0%	4.1%	13.9%	12.4%	11.1%	7.9%	5.9%	17.6%
健康上の理由	56	9.2%	2.0%	7.9%	12.4%	9.1%	13.2%	23.5%	29.4%
自分や夫婦の生活を大切にしたい	28	4.6%	7.4%	3.6%	3.8%	4.0%	2.6%	5.9%	0.0%
配偶者の協力が得られない	19	3.1%	0.7%	3.0%	1.0%	3.0%	13.2%	8.8%	5.9%
その他	93	15.3%	19.6%	18.8%	11.4%	12.1%	7.9%	5.9%	11.8%
無回答	162	26.6%	41.2%	18.2%	21.0%	25.3%	21.1%	38.2%	11.8%

「子育てや教育にお金がかかる」が 48.9%と最も高く、「育児の心理的・肉体的負担が大きい」が 16.3%で続いており、子育てや教育への経済的な負担の大きさを理由にあげる割合が高くなっています。また、回答者の年代別でも「子育てや教育にお金がかかる」の割合が高くなっています。

「その他」の意見として「未婚のため (37件)」、「経済的な問題 (7件)」、「今後出産予定 (6件)」、「現状に満足しているから (2件)」等が挙げられています。

6 自由意見のまとめ

下表は、アンケート調査票の自由意見欄に記入された内容を、平成19年に策定した「新函館市総合計画」の施策体系別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、合計409人（回答者全体の43.9%）からご意見をいただきました。

なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

部	章	節	件数	割合		
心豊かな人と文化をはくぐむまち	創造性とふれあいをはくぐむ社会の形成	生涯学習の推進	3	0.7%		
		文化芸術の振興	32	7.8%		
		スポーツ・レクリエーションの振興	23	5.6%		
		青少年の健全育成	7	1.7%		
		男女共同参画の推進	5	1.2%		
		国際化の推進	5	1.2%		
		都市間交流の推進	2	0.5%		
	次代を担う人材の育成と知の集積	幼児教育の充実	6	1.5%		
		義務教育の充実	12	2.9%		
		高校教育の充実	7	1.7%		
		特別支援教育の充実	0	0.0%		
		高等教育の充実	21	5.1%		
		学術研究機能の充実	2	0.5%		
		共に支えあい健やかに暮らせるまち	地域福祉社会の形成	地域福祉の推進	13	3.2%
児童福祉の推進	60			14.7%		
高齢者福祉の推進	16			3.9%		
障がい者福祉の推進	4			1.0%		
低所得者援護対策の充実	8			2.0%		
健康づくりの推進	2			0.5%		
健康を守る社会の形成	医療環境の充実		32	7.8%		
	生活衛生対策の推進		1	0.2%		
快適で安らぎのある住み良いまち	快適な生活環境の整備	市街地の整備	12	2.9%		
		住環境の整備	56	13.7%		
		生活道路の整備	25	6.1%		
		公共交通の充実	30	7.3%		
		水道水の安定供給	1	0.2%		
		エネルギーの安定供給	2	0.5%		
		地域情報化の推進	25	6.1%		
	安全・安心な市民生活の確保	防災対策の充実	1	0.2%		
		消防・救急体制の充実	0	0.0%		
		交通安全対策の推進	6	1.5%		
		防犯対策の推進	1	0.2%		
		消費生活の向上	1	0.2%		
		環境と共生する美しいまち	地球にやさしいまちづくりの推進	環境保全対策の推進	2	0.5%
				廃棄物対策の推進	1	0.2%
汚水対策の充実	1			0.2%		
うるおいのある都市空間の形成	魅力ある景観の形成		19	4.6%		
	水と緑の空間整備		5	1.2%		
	地域を支える産業の振興		観光・コンベンションの振興	39	9.5%	
			農林業の振興	2	0.5%	
水産業の振興		4	1.0%			
工業の振興		0	0.0%			
商業の振興		72	17.6%			
新産業の創出と企業立地の促進		34	8.3%			
雇用環境の向上		175	42.8%			
総合交通体系の確立		鉄道輸送の充実	1	0.2%		
	幹線道路の整備	1	0.2%			
	港湾機能の充実	3	0.7%			
	空港機能の充実	4	1.0%			
その他	その他	その他	70	17.1%		
合計			854			

自由記述回答の主な内容は、次のとおりです。

① 創造性とふれあいをはぐくむ社会の形成

「子どもやお年寄りに対するケアを充実させてほしい」という意見が多く、その中で、「社会とのコミュニケーションを図ることができる場やイベントの開催」を望む声が多く挙がりました。また、函館アリーナに対する期待が高く、「多くのライブやイベントが今後増えていくことに期待している」といった声も多く挙がりました。

一方で、「高齢者に対するサービスは充実しているが、子どもに対するサービスは不十分である」との意見や、「若い人が遊べるような施設や場所が少なく、若い人が函館市以外の都市へ足を運ばなくてはならないために生活がしづらい」との意見も多く挙げられています。

② 次代を担う人材の育成と知の集積

「家庭の事情や経済的理由により、子どもを育てるために必要な教育費等の援助があれば助かる」といった意見が多く挙げられています。

また、「市内には専門学校や大学が少なく、専門的な分野の教育を受けることが困難であり、進学をあきらめたり、市外・道外へ離れていかなければ進学も就職もできないため、そのまま市外・道外にとどまり、函館市に戻ってくる人が減少している」との意見も多く挙げられています。

③ 地域福祉社会の形成

「子育て支援や障害者支援が充実するようなまちづくり、観光客ばかりではなく市民が生活していくために函館市民でよかったと思えるような生活を送れるようにしてほしい」といった意見が多く挙げられています。

また、「地域のコミュニケーションが少なくなってきたことから、子育てや高齢者介護によって抱える不安や相談といったことを話せる相手や協力を得ることが難しくなってきた」といった意見も多く挙げられています。

④ 健康を守る社会の形成

「子どもに対する医療費の補助や無料化を行ってほしい」との意見が多く挙げられています。

また、「利用しやすい病院や交通の便の良い所に病院がない」といった意見も挙げられています。

⑤ 快適な生活環境の整備

「交通インフラの整備や駅前の活気がない」といった意見が多く挙げられています。

また、「大型商業施設の建設を望む声や、函館市がどのようなことを行っているかといった情報の発信が少なく、何をしているのか分からない」といった意見も挙げられています。

⑥ 安全・安心な市民生活の確保

「車の運転マナーが悪い、歩道に車を止めているために道が塞がれている」といった理由で、市民のモラルがなく、安心して生活することができない」といった意見が多く挙げられています。

⑦ 地球にやさしいまちづくりの推進

「原子力発電に頼らない新たなエネルギー開発により、より良い生活を過ごしていきたい」と願う意見が挙げられています。

⑧ うるおいのある都市空間の形成

「函館市の誇れるまち並みを維持し、歴史的な建造物や夜景といった観光資源を魅力あるものとしてほしい」といった意見が多く挙げられています。

一方で、「素晴らしいまち並みに対する認識が乏しく、道路にはごみが散乱し、また緑化が乏しく、整備をもっと充実してほしい」といった意見も挙げられています。

⑨ 地域を支える産業の振興

「観光のまちとして、観光客を飽きさせない新たな取り組みや既存の観光資源のPRにもっと力を入れるべきである」との意見が挙げられています。

一方で、「生活している市民がよりよく生活できる環境を整えてほしい」といった意見も多く挙げられています。

⑩ 総合交通体系の確立

「空港の整備や空港からのアクセス等の利便性を向上してほしい」との意見が多く挙げられています。

また、「港湾関係の充実を図り、多くの人の雇用や利用ができるようになってほしい」という意見も挙げられています。

7 資料（調査票）



平成27年度 函館市 「地方創生に関するアンケート調査」のお願い

市民の皆様には、日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、現在、函館市の人口は269,628人（平成27年3月末日現在の住民基本台帳）で、昭和55年のピーク時の345,165人に比べ75,537人の減少となっており、このままでは消費や生産活動が縮小し、地域経済が低迷するほか、まちの活力の減退、住環境の悪化などまちづくりにも様々な影響をおよぼすことが懸念されます。

そのため、函館市は現在、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力のある地域社会の形成に向けて、函館市の2060年までの人口の将来展望を提示する「人口ビジョン」および今後5か年の対策を取りまとめた「総合戦略」の策定を進めております。

つきましては、市民の皆様のご意見を伺うためアンケート調査を実施いたしますので、ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は、市内にお住まいの20歳以上の方から、3,000人を無作為に抽出し実施するものです。

平成27年5月

函 館 市 企 画 部

記入上の注意

- 1 お送りした**あて名のご本人**がお答えください。氏名は記入しないでください。
- 2 ご回答いただいた内容は、個人が特定できないように、全て統計的に処理いたします。
- 3 何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 4 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、**平成27年6月12日(金)**までに郵便ポストに投函してください。**(切手は不要です。)**
- 5 記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 〒040-8666 函館市東雲町4番13号
函館市企画部計画推進室計画調整課（新計画策定担当）
TEL：0138-21-3821 FAX：0138-23-7604
E-mail：shinkeikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

<p>(9) あなたの家族構成は？ (番号1つに○)</p>	<p>1 単身 2 夫婦のみ 3 親子 4 三世代 5 その他 ()</p>
<p>(10) あなたには現在養育中の子どもがいますか？ (番号1つに○) また、「いる」場合には、何人いますか？合計人数及びその内訳を<u>数字で記入</u>してください。</p>	<p>1 いる 合計 _____人 小学生未満 _____人 小学生 _____人 中学生 _____人 高校生 _____人 大学生・短大生・専門学校生 _____人 その他 _____人</p> <p>2 いない</p>
<p>(11) あなたのお住まいの世帯年収はおおよそどれにあてはまりますか？(番号1つに○)</p>	<p>1 300万円未満 2 300万円以上～500万円未満 3 500万円以上～700万円未満 4 700万円以上～1,000万円未満 5 1,000万円以上</p>
<p>(12) 市政情報の入手方法としてよく活用するものはどれですか？ (該当する番号全てに○)</p>	<p>1 市政はこだて 2 市のホームページ 3 市の広報テレビ番組 4 市の広報ラジオ番組 5 新聞・ニュース番組 6 市発行のパンフレット等 7 自治会等の回覧板 8 市政情報は知らない 9 その他 ()</p>

◆「函館のまち」についてお聞きします。

問2 函館のまちに対し、あなたはどの程度満足していますか？

それぞれの項目ごとに、右のあてはまる番号から1つ選んで○をつけてください。

項 目	満足	まあ満足	もいえない	やや不満	不満
1 函館の住みやすさ	5	4	3	2	1
2 日常の買い物の便利さ	5	4	3	2	1
3 市内の移動（市電・バス）の便利さ	5	4	3	2	1
4 市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	5	4	3	2	1
5 歩行、自転車での道路の使いやすさ	5	4	3	2	1
6 自動車での道路の使いやすさ	5	4	3	2	1
7 医療や福祉の施設やサービス体制	5	4	3	2	1
8 子育て支援	5	4	3	2	1
9 子どもの教育環境	5	4	3	2	1
10 雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	5	4	3	2	1
11 近所づきあい	5	4	3	2	1
12 娯楽・レジャーの充実	5	4	3	2	1
13 歴史・文化資源の保存・活用	5	4	3	2	1

問3 函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。

（自由記述、問2の項目から選んでもかまいません。）

1 特に満足と思うこと ()

2 特に不満と思うこと ()

問6 まちの魅力を高めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？
主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成
- 2 観光客の受入体制の充実
- 3 航空路線網の充実や、高速自動車道、港湾施設などの整備促進
- 4 バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備
- 5 中心市街地の賑わいの創出
- 6 その他（)

問7 だれもが安心して住めるまちづくりを進めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 医療や保健、健康づくりの充実
- 2 地震、津波などからの防災対策の充実
- 3 公共施設の耐震化の推進
- 4 施設介護、居宅介護など介護支援策の充実
- 5 高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進
- 6 その他（)

問8 安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 結婚に対する支援策の充実
- 2 妊娠、出産に関する相談、情報提供など支援策の充実
- 3 乳幼児の保健指導や育児相談の充実
- 4 子どもが遊べる場所の整備、充実
- 5 保育所・幼稚園や放課後児童クラブ（学童保育所）の充実
- 6 教育環境や施設整備等の充実
- 7 子育てと仕事の両立しやすい環境の整備
- 8 子育て世帯への経済的支援
- 9 その他（)

問9 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 若い人や女性への就労支援
- 2 若い人が交流する場の提供
- 3 市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援
- 4 IJUターンの拡充
- 5 大学生や専門学校生などの地元就職の支援
- 6 地元の大学や専門学校などの魅力の向上
- 7 町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充
- 8 その他（)

問14 あなたにとって、現在の子どもの数、理想的な子どもの数は何人ですか？
あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

現在の子どもの数（1つ選んで○）

1 0人	2 1人	3 2人
4 3人	5 4人以上	

理想的な子どもの数（1つ選んで○）

1 0人	2 1人	3 2人
4 3人	5 4人以上	

《問14で、「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い方または「理想的な子どもの数」が0人の方にお伺いします。》

問15 「理想的な子どもの数」が、「現在の子どもの数」より多い理由または「理想的な子どもの数」が0人である理由は何ですか？

あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

1 子育てや教育にお金がかかる	2 住居が狭い
3 自分の仕事に差し支える	4 子育てを手助けする人がいない
5 自分や夫婦の生活を大切にしたい	6 高齢出産になるから
7 健康上の理由	8 育児の心理的・肉体的負担が大きい
9 ほしいけれどもできない	10 配偶者の協力が得られない
11 その他（	）

人口減少対策やまちづくりに関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。

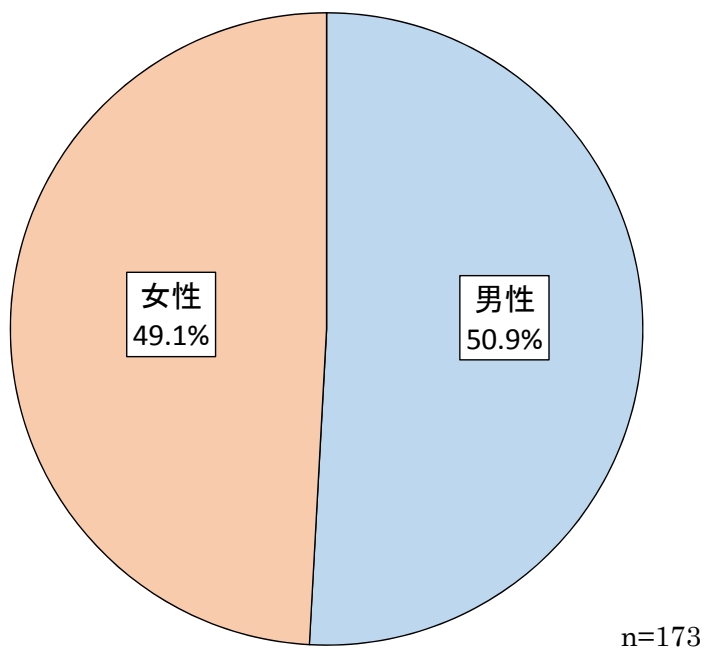
質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、6月12日（金）までに郵便ポストに投函してください。

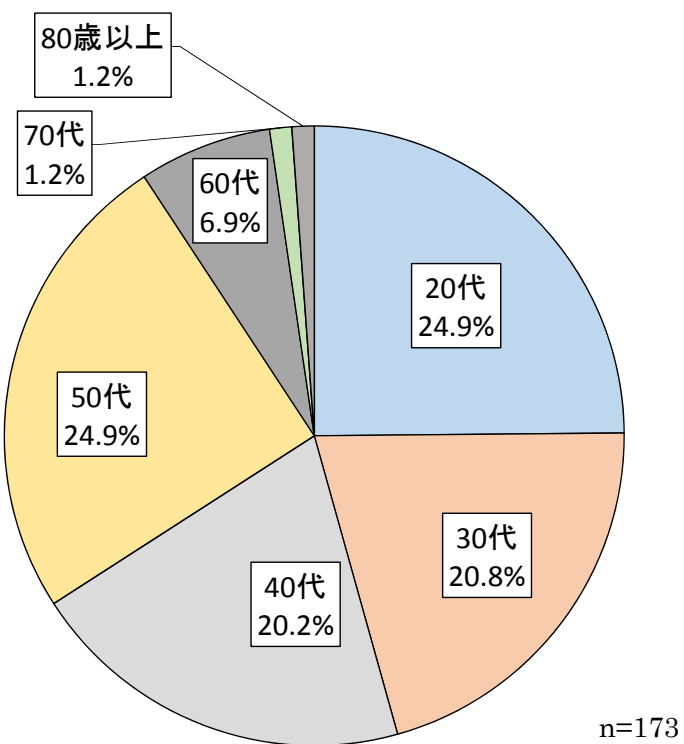
第3部 調査結果(転入者)

1 回答者の属性

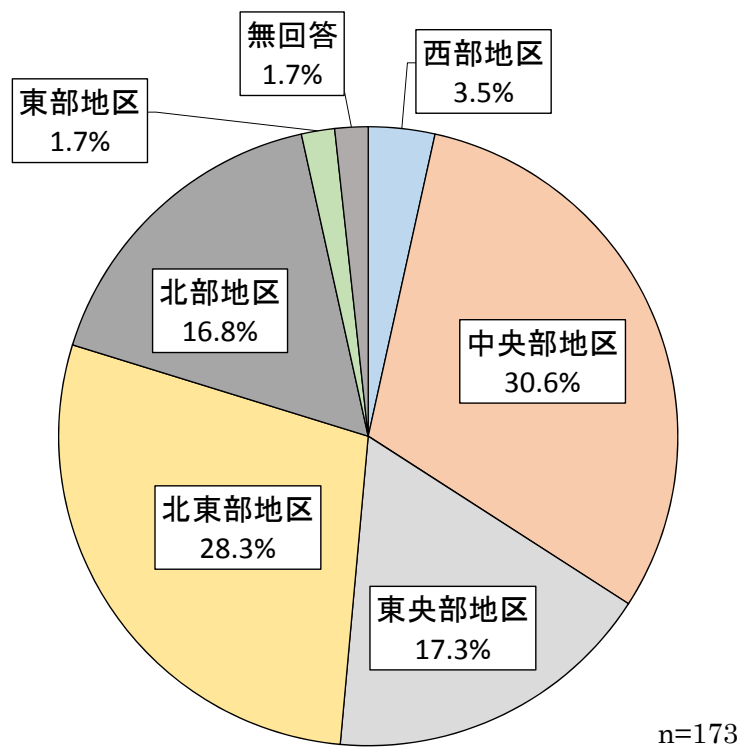
(1) 性別



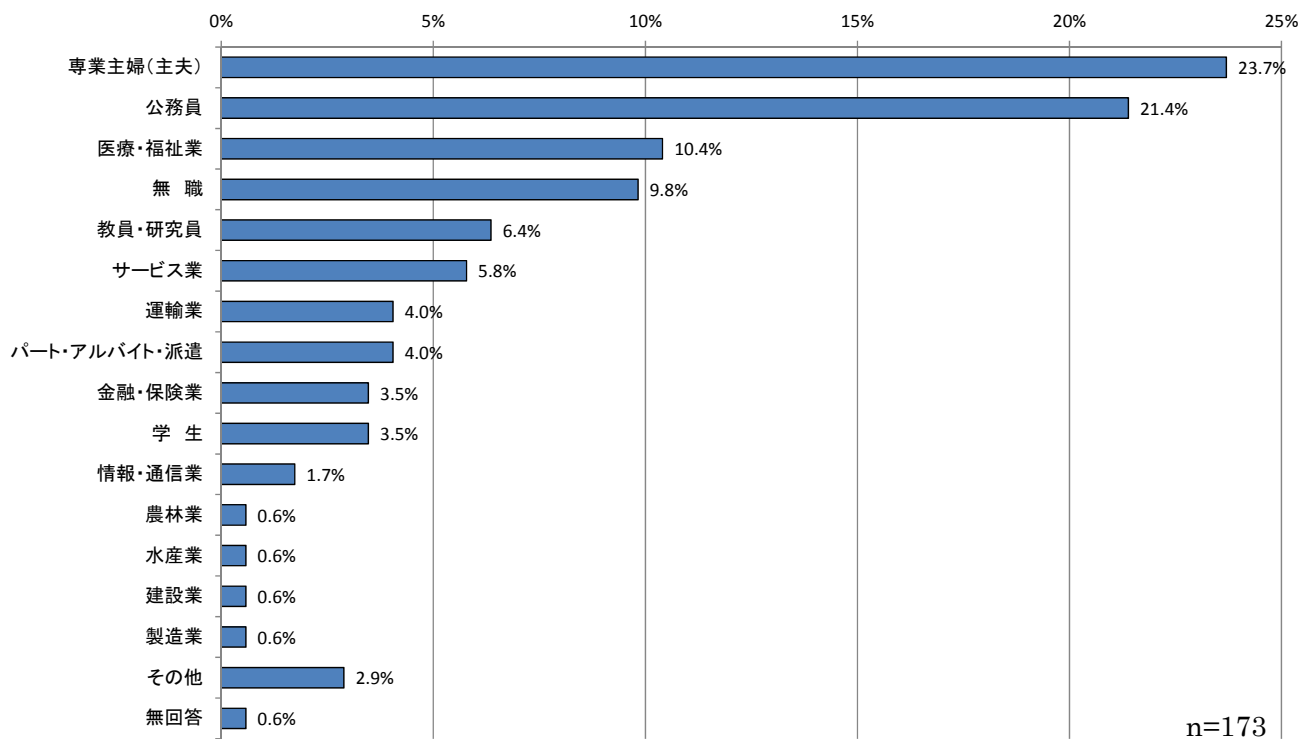
(2) 年代



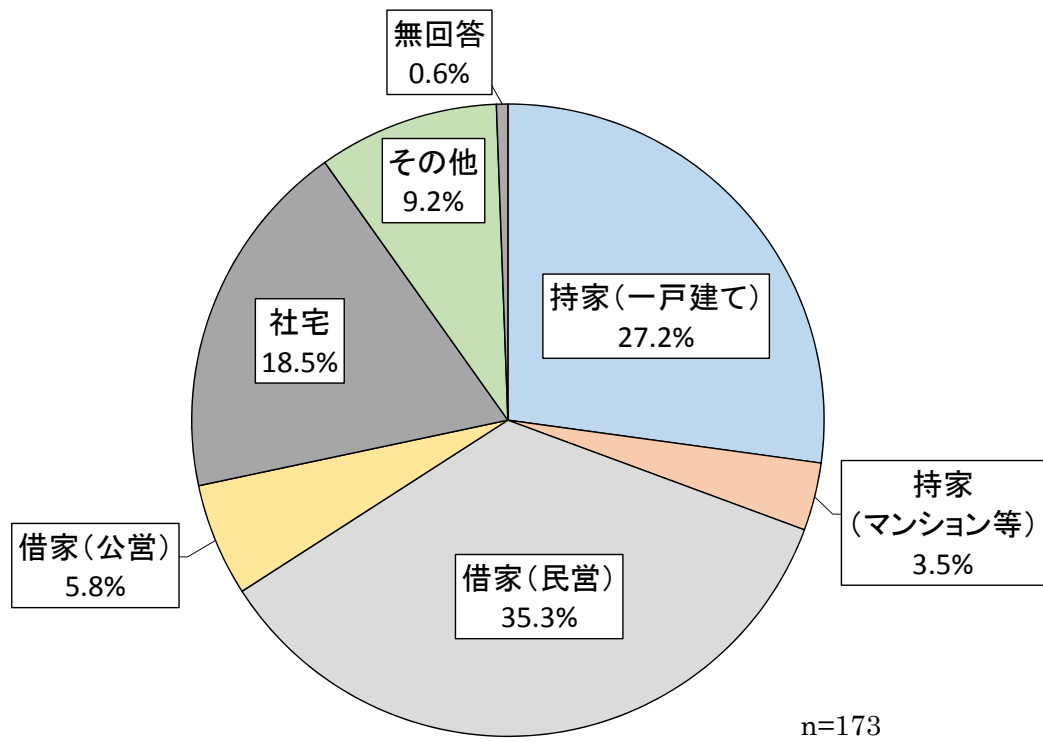
(3) 居住地



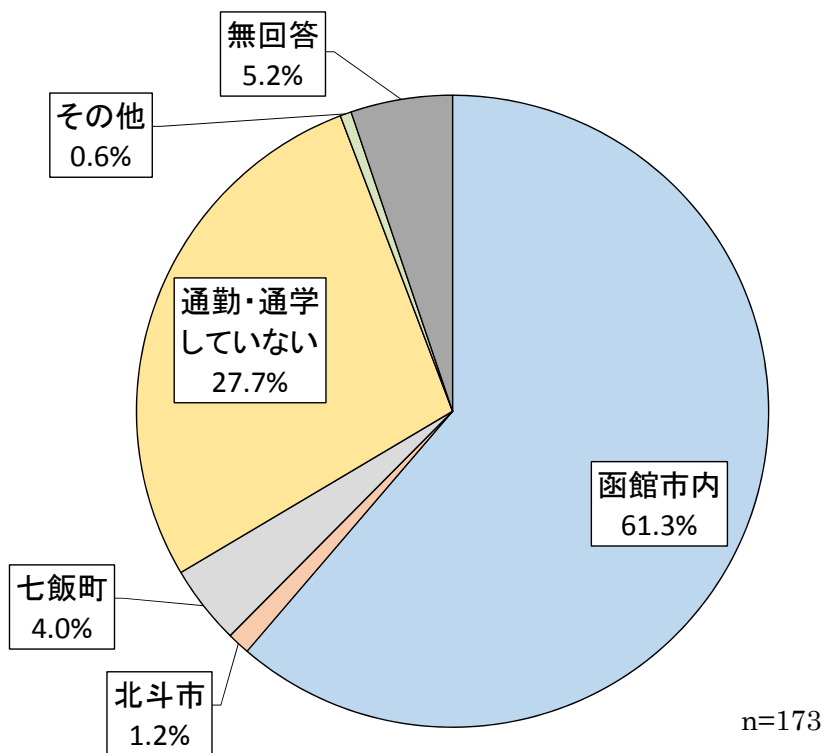
(4) 職業



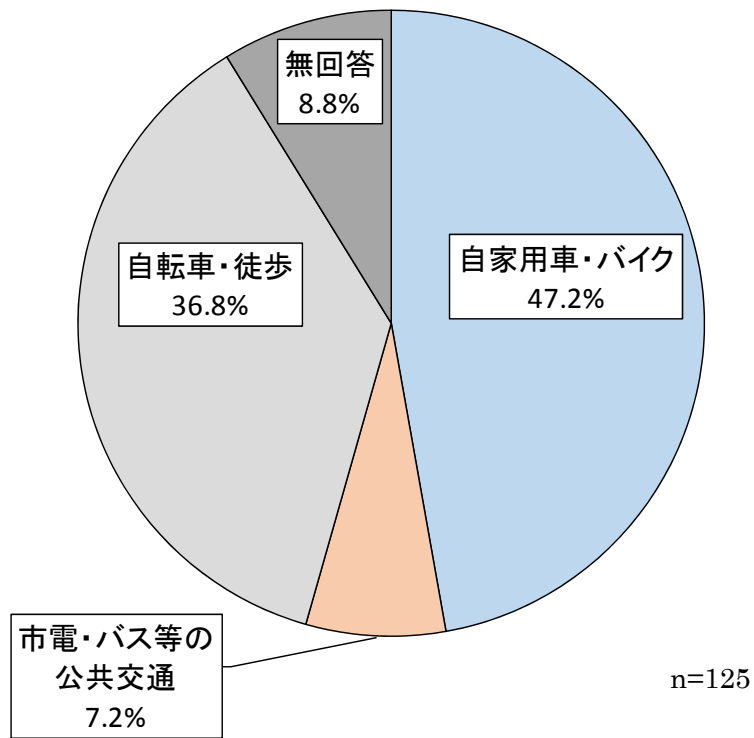
(5) 住宅形態



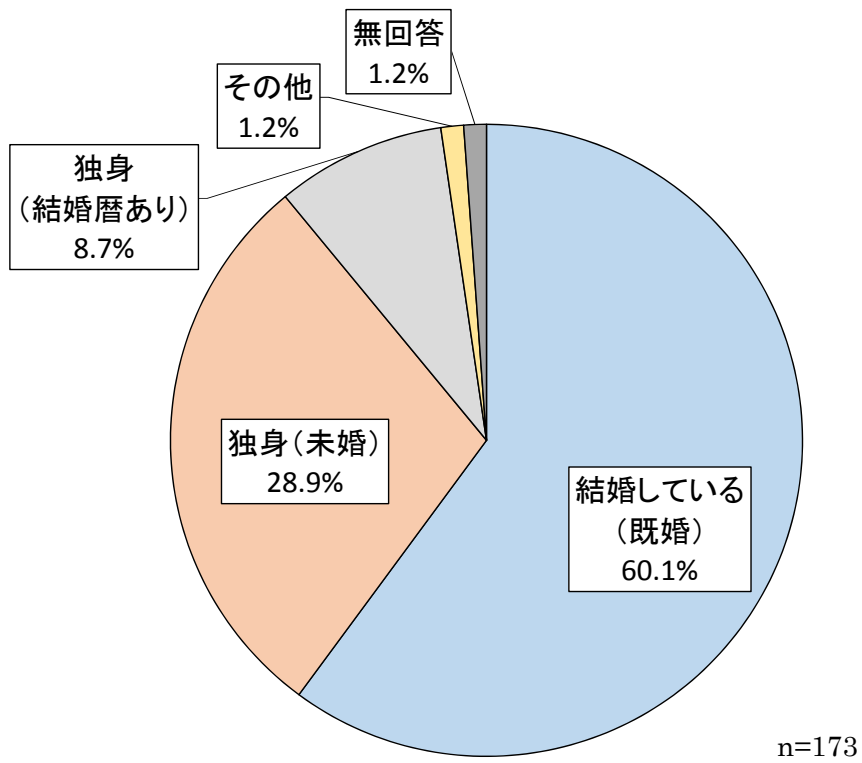
(6) 通勤・通学地



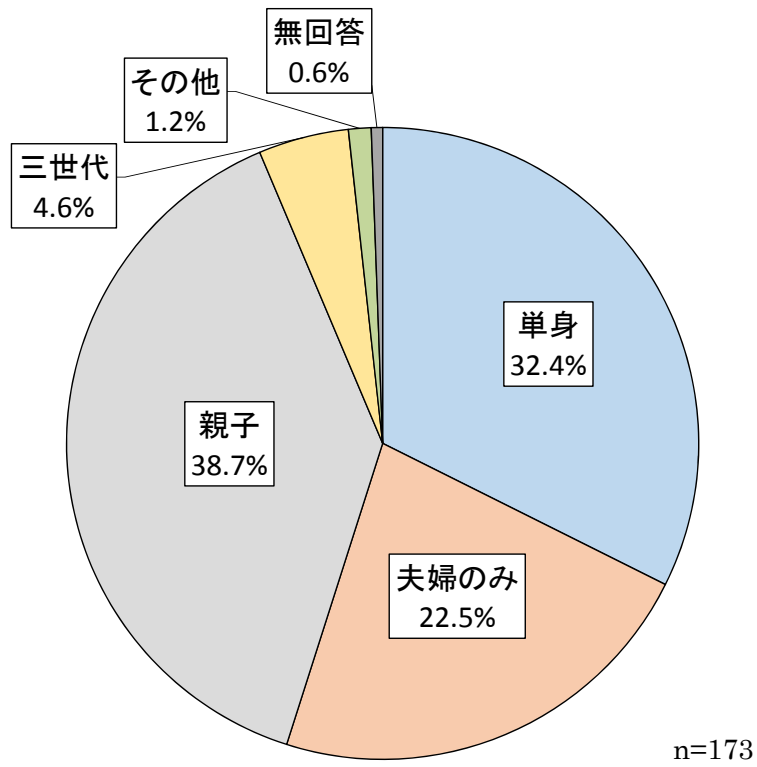
(7) 通勤・通学手段



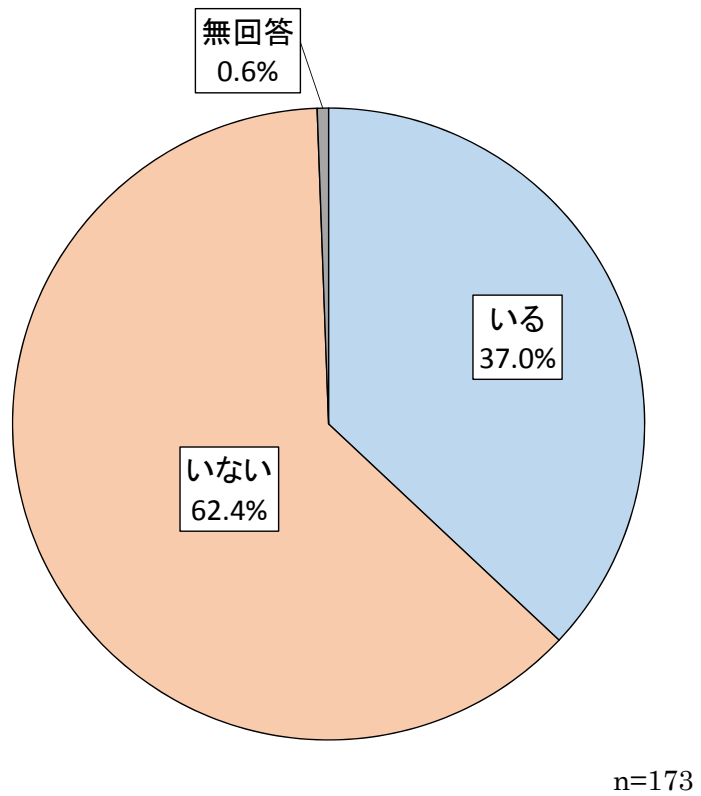
(8) 結婚



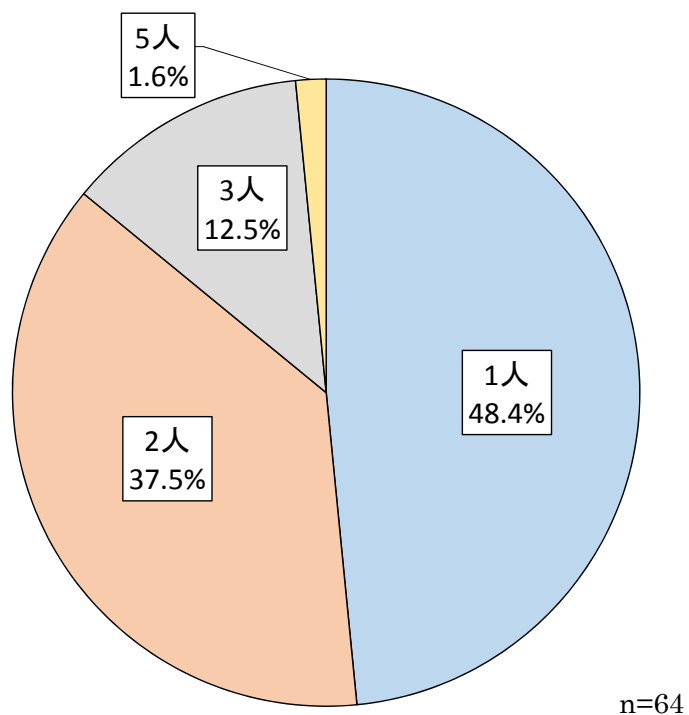
(9) 家族構成



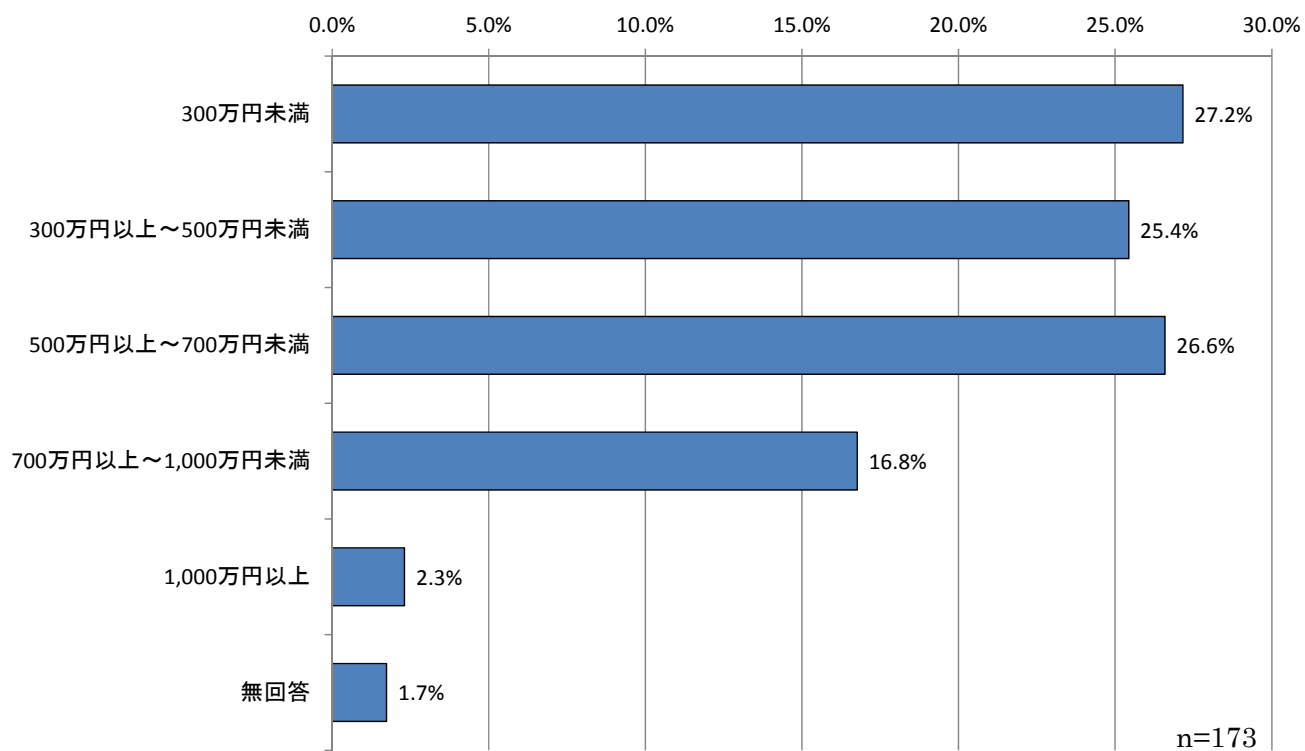
(10) 養育中の子どもの有無



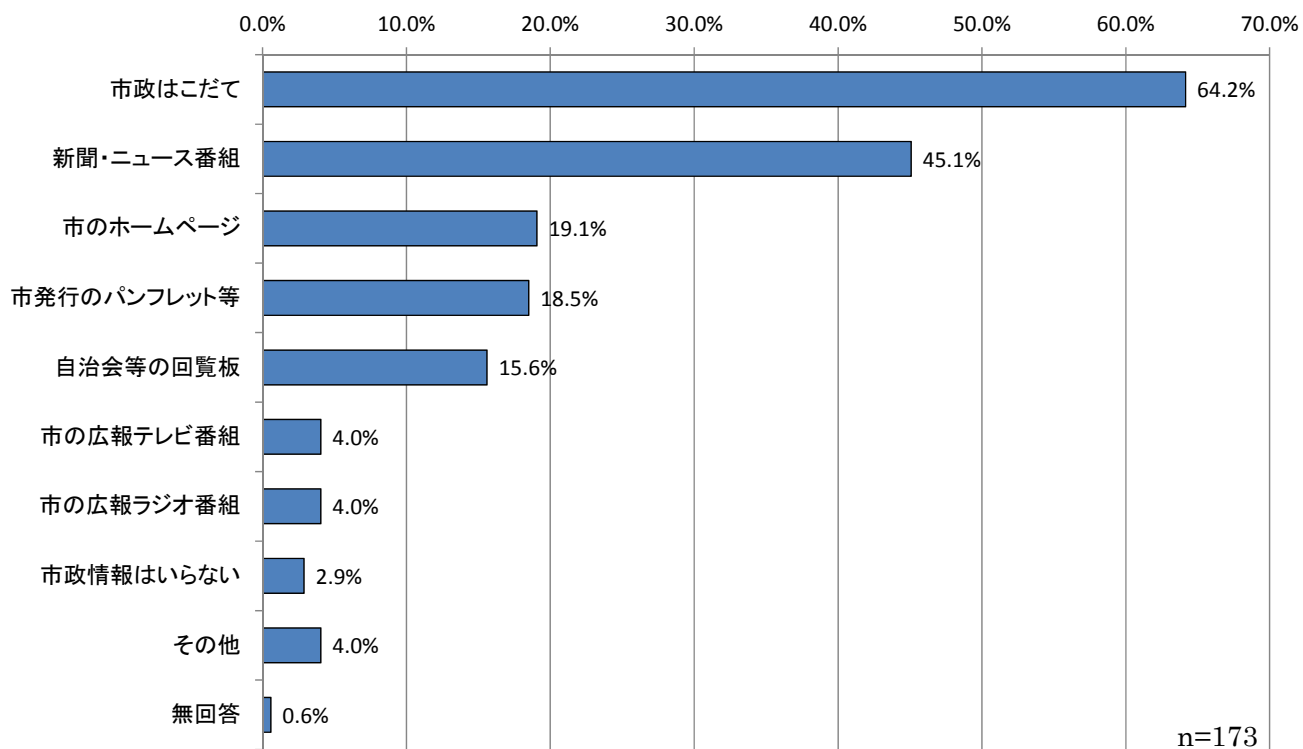
(11) 養育中の子どもの数



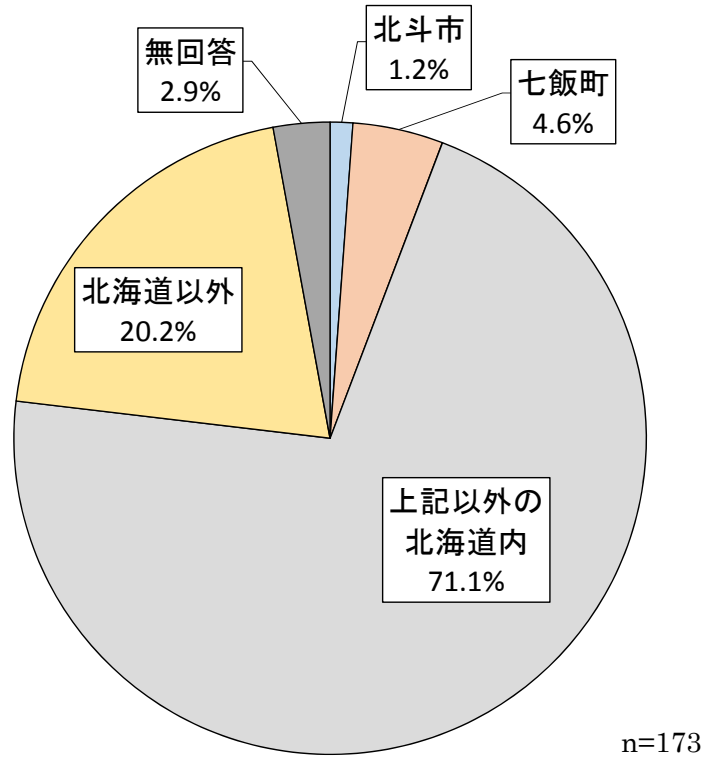
(12) 世帯年収



(13) 市政情報入手方法



(14) 転入前の住まいと内訳

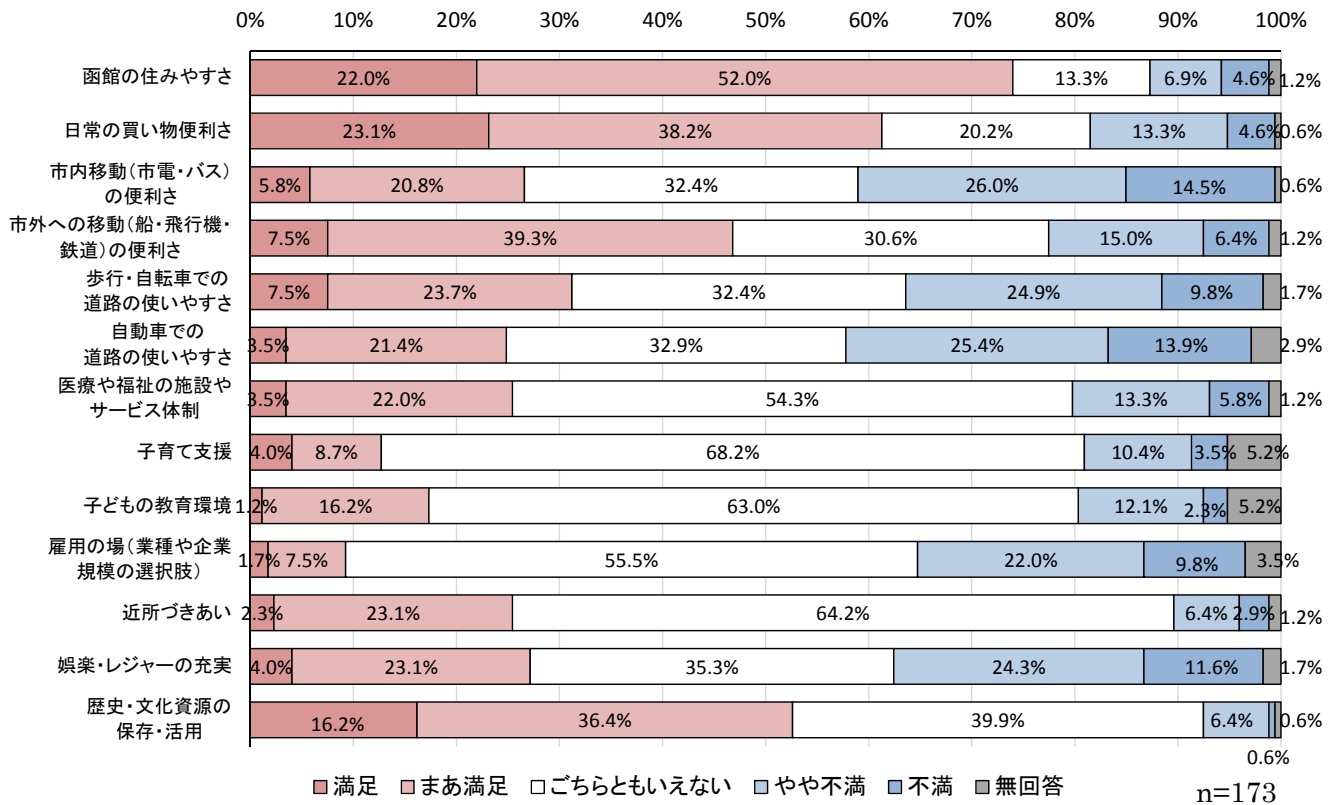


上記以外の北海道内 (n=123)			北海道以外 (n=35)		
行き先	回答数	割合	行き先	回答数	割合
札幌市	53	43.1%	青森県	6	17.1%
旭川市	7	5.7%	神奈川県	5	14.3%
八雲町	6	4.9%	宮城県	4	11.4%
江差町	5	4.1%	東京都	4	11.4%
北見市	4	3.3%	茨城県	3	8.6%
苫小牧市	3	2.4%	その他の府県	11	31.4%
釧路市	3	2.4%	無回答	2	5.7%
室蘭市	4	3.3%			
松前町	3	2.4%			
乙部町	2	1.6%			
江別市	2	1.6%			
滝川市	2	1.6%			
知内町	2	1.6%			
その他の市町	21	17.1%			
無回答	6	4.9%			

2 「函館のまち」に関する満足度調査結果

(1) 函館のまちに対する満足度

問2
 函館のまちに対し、あなたはどの程度満足していますか？
 それぞれの項目ごとに1つ選んでください。



「函館の住みやすさ」、「日常の買い物の便利さ」については、60%以上の人が満足している一方、「市内移動（市電・バス）の便利さ」、「自動車での道路の使いやすさ」は約40%の人が不満に感じています。

また、各項目の満足度スコア（「満足」と「やや満足」と回答した人の割合から、「不満」と「やや不満」と回答した人の割合を引いたもの）を算定し、分析を行いました。

この数値がプラスの場合は、「満足」「やや満足」と答えた人の数が、「不満」「やや不満」と回答した人の数を上回っていることを示しています。

分析の結果は次ページのとおりです。

①項目間の満足度スコアの状況

	全体	順位	20代	順位	30代	順位	40代	順位	50代	順位	60代	順位	70代	順位	80歳以上	順位
① 函館の住みやすさ	62.4%	1	74.4%	1	41.7%	2	57.1%	1	67.4%	1	75.0%	1	100.0%	1	50.0%	5
② 日常の買い物の便利さ	43.4%	3	46.5%	3	30.6%	3	28.6%	4	53.5%	2	66.7%	2	50.0%	3	100.0%	1
③ 市内の移動（市電・バス）の便利さ	-13.9%	11	-25.6%	13	-30.6%	13	0.0%	8	-2.3%	8	-16.7%	12	-50.0%	7	100.0%	1
④ 市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	25.4%	4	18.6%	6	11.1%	4	37.1%	3	34.9%	4	0.0%	6	100.0%	1	100.0%	1
⑤ 歩行、自転車での道路の使いやすさ	-3.5%	9	27.9%	4	-8.3%	10	0.0%	8	-32.6%	12	-8.3%	10	50.0%	3	-50.0%	10
⑥ 自動車での道路の使いやすさ	-14.5%	12	0.0%	9	-25.0%	12	-31.4%	13	-20.9%	10	16.7%	3	50.0%	3	50.0%	5
⑦ 医療や福祉の施設やサービス体制	6.4%	6	18.6%	6	8.3%	5	-8.6%	11	4.7%	6	0.0%	6	-50.0%	7	100.0%	1
⑧ 子育て支援	-1.2%	8	0.0%	9	2.8%	8	-2.9%	10	0.0%	7	0.0%	6	-100.0%	11	0.0%	7
⑨ 子どもの教育環境	2.9%	7	16.3%	8	5.6%	6	11.4%	6	-9.3%	9	-8.3%	10	-100.0%	11	-50.0%	10
⑩ 雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	-22.5%	13	-16.3%	12	-11.1%	11	-17.1%	12	-34.9%	13	-33.3%	13	-100.0%	11	-50.0%	10
⑪ 近所づきあい	16.2%	5	27.9%	4	5.6%	6	22.9%	5	11.6%	5	16.7%	3	-50.0%	7	0.0%	7
⑫ 娯楽・レジャーの充実	-8.7%	10	0.0%	9	-5.6%	9	2.9%	7	-27.9%	11	0.0%	6	-50.0%	7	-50.0%	10
⑬ 歴史・文化資源の保存・活用	45.7%	2	60.5%	2	47.2%	1	51.4%	2	37.2%	3	8.3%	5	50.0%	3	0.0%	7

項目間の満足度スコアの状況について、全体では「函館の住みやすさ」が62.4%と最も高く、「歴史・文化資源の保存・活用」が45.7%、「日常の買い物の便利さ」が43.4%で続いています。

一方、「雇用の場（業種や企業規模の選択肢）」が-22.5%と最も低く、「自動車での道路の使いやすさ」が-14.5%、「市内の移動（市電・バス）の便利さ」が-13.9%で続いています。

②年代別満足度スコアの順位

	全体	20代	順位	30代	順位	40代	順位	50代	順位	60代	順位	70代	順位	80歳以上	順位
① 函館の住みやすさ	62.4%	74.4%	3	41.7%	7	57.1%	5	67.4%	4	75.0%	2	100.0%	1	50.0%	6
② 日常の買い物の便利さ	43.4%	46.5%	5	30.6%	6	28.6%	7	53.5%	3	66.7%	2	50.0%	4	100.0%	1
③ 市内の移動（市電・バス）の便利さ	-13.9%	-25.6%	5	-30.6%	6	0.0%	2	-2.3%	3	-16.7%	4	-50.0%	7	100.0%	1
④ 市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	25.4%	18.6%	5	11.1%	6	37.1%	3	34.9%	4	0.0%	7	100.0%	1	100.0%	1
⑤ 歩行、自転車での道路の使いやすさ	-3.5%	27.9%	2	-8.3%	4	0.0%	3	-32.6%	6	-8.3%	4	50.0%	1	-50.0%	7
⑥ 自動車での道路の使いやすさ	-14.5%	0.0%	4	-25.0%	6	-31.4%	7	-20.9%	5	16.7%	3	50.0%	1	50.0%	1
⑦ 医療や福祉の施設やサービス体制	6.4%	18.6%	2	8.3%	3	-8.6%	6	4.7%	4	0.0%	5	-50.0%	7	100.0%	1
⑧ 子育て支援	-1.2%	0.0%	2	2.8%	1	-2.9%	6	0.0%	2	0.0%	2	-100.0%	7	0.0%	2
⑨ 子どもの教育環境	2.9%	16.3%	1	5.6%	3	11.4%	2	-9.3%	5	-8.3%	4	-100.0%	7	-50.0%	6
⑩ 雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	-22.5%	-16.3%	2	-11.1%	1	-17.1%	3	-34.9%	5	-33.3%	4	-100.0%	7	-50.0%	6
⑪ 近所づきあい	16.2%	27.9%	1	5.6%	5	22.9%	2	11.6%	4	16.7%	3	-50.0%	7	0.0%	6
⑫ 娯楽・レジャーの充実	-8.7%	0.0%	2	-5.6%	4	2.9%	1	-27.9%	5	0.0%	2	-50.0%	6	-50.0%	6
⑬ 歴史・文化資源の保存・活用	45.7%	60.5%	1	47.2%	4	51.4%	2	37.2%	5	8.3%	6	50.0%	3	0.0%	7

年代別満足度スコアの順位について、70代が最低スコアの数最も多くなっています。

また、20代では全体より満足度スコアが高い項目数が多くなっている一方、20、30、60、70代では「市内の移動（市電・バス）の便利さ」の満足度スコアが他の項目の満足度スコアと比較して低くなっています。

(2) 函館のまちに対し特に満足と思うこと、不満と思うこと

問3

函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。

下表は、問2の回答内容を問1の選択肢別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、特に満足と思うことについて合計128人（回答者全体の74.0%）、特に不満と思うことについて139人（回答者全体の80.3%）からご意見をいただきました。なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

① 特に満足と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	32	25.0%
日常の買い物の便利さ	18	14.1%
市内の移動(市電・バス)の便利さ	9	7.0%
市外への移動(船・飛行機・鉄道)の便利さ	5	3.9%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	2	1.6%
自動車での道路の使いやすさ	2	1.6%
医療や福祉の施設やサービス体制	6	4.7%
子育て支援	3	2.3%
子どもの教育環境	0	0.0%
雇用の場(業種や企業規模の選択肢)	0	0.0%
近所づきあい	7	5.5%
娯楽・レジャーの充実	5	3.9%
歴史・文化資源の保存・活用	15	11.7%
その他	50	39.1%
合計	154	

「その他」の意見としては「食べ物がおいしい（特に新鮮な海産物がある）（11件）」、「海や山があり自然に囲まれている（8件）」、「景観がきれい（特に西部地区）（7件）」、「観光資源が豊富（5件）」、「気候がよく大きな災害もなく過ごしやすい（1件）」等が挙げられています。

② 特に不満と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	7	5.0%
日常の買い物の便利さ	23	16.5%
市内の移動(市電・バス)の便利さ	31	22.3%
市外への移動(船・飛行機・鉄道)の便利さ	8	5.8%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	23	16.5%
自動車での道路の使いやすさ	45	32.4%
医療や福祉の施設やサービス体制	14	10.1%
子育て支援	3	2.2%
子どもの教育環境	2	1.4%
雇用の場(業種や企業規模の選択肢)	10	7.2%
近所づきあい	5	3.6%
娯楽・レジャーの充実	15	10.8%
歴史・文化資源の保存・活用	1	0.7%
その他	20	14.4%
合計	207	

「その他」の意見としては「道路整備が不十分（4件）」、「運転マナー等が悪い（3件）」等が挙げられています。

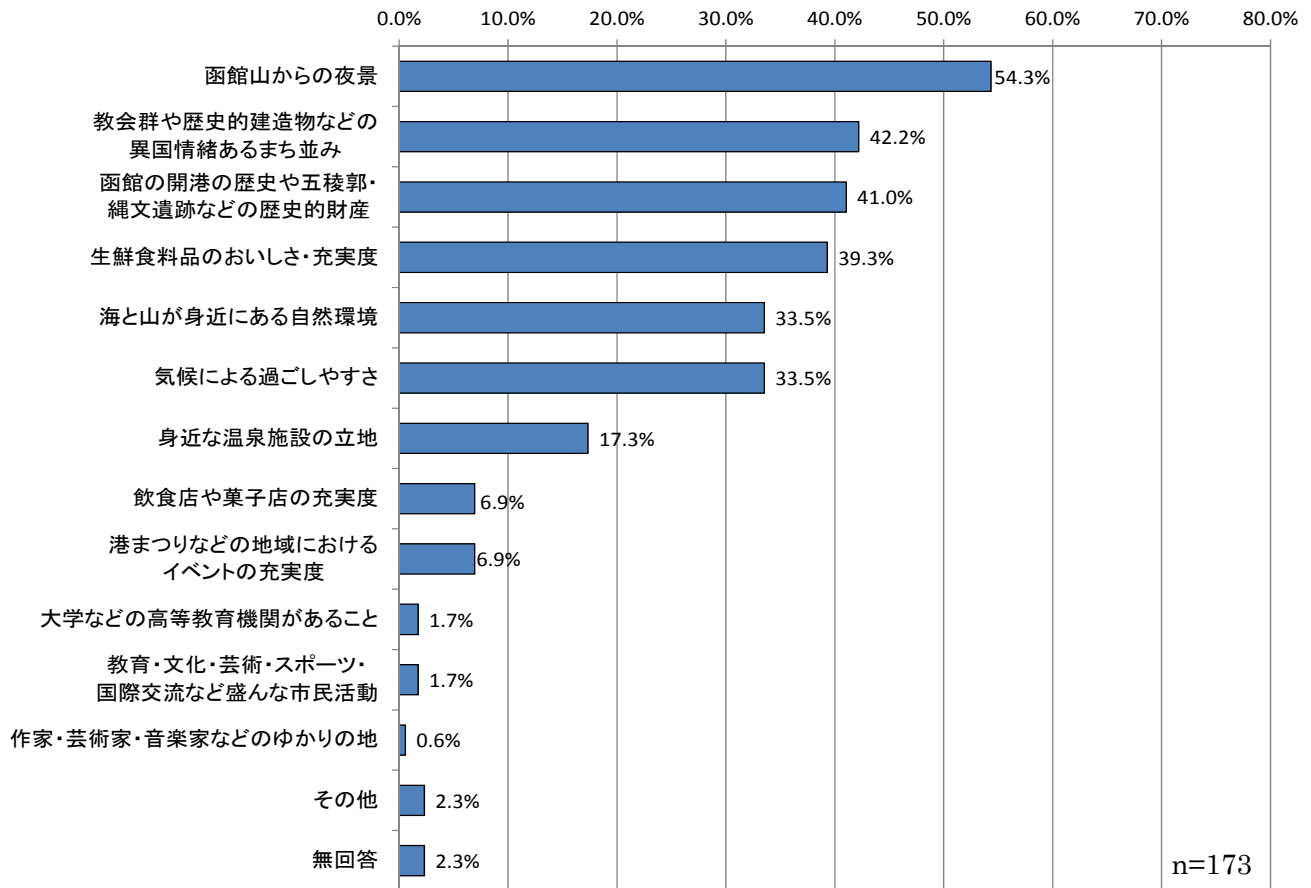
3 「函館市の魅力」に関する調査結果

(1) 函館市の魅力や誇れるもの

問 4

函館市の魅力や誇れるものは何だと思いますか？

主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
函館山からの夜景	94	54.3%	51.2%	55.6%	54.3%	58.1%	41.7%	100.0%	50.0%
教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み	73	42.2%	39.5%	61.1%	45.7%	32.6%	16.7%	50.0%	50.0%
函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産	71	41.0%	34.9%	36.1%	54.3%	46.5%	25.0%	0.0%	50.0%
生鮮食料品のおいしさ・充実度	68	39.3%	44.2%	30.6%	40.0%	39.5%	33.3%	50.0%	100.0%
海と山が身近にある自然環境	58	33.5%	27.9%	36.1%	37.1%	30.2%	50.0%	50.0%	0.0%
気候による過ごしやすさ	58	33.5%	30.2%	30.6%	25.7%	37.2%	66.7%	0.0%	50.0%
身近な温泉施設の立地	30	17.3%	16.3%	8.3%	25.7%	18.6%	25.0%	0.0%	0.0%
飲食店や菓子店の充実度	12	6.9%	18.6%	5.6%	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%
港まつりなどの地域におけるイベントの充実度	12	6.9%	2.3%	8.3%	5.7%	11.6%	8.3%	0.0%	0.0%
大学などの高等教育機関があること	3	1.7%	0.0%	2.8%	0.0%	2.3%	0.0%	50.0%	0.0%
教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動	3	1.7%	2.3%	0.0%	2.9%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地	1	0.6%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	4	2.3%	2.3%	2.8%	2.9%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	4	2.3%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%

「函館山からの夜景」が 54.3%と最も高く、「教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み」が 42.2%で続いています。

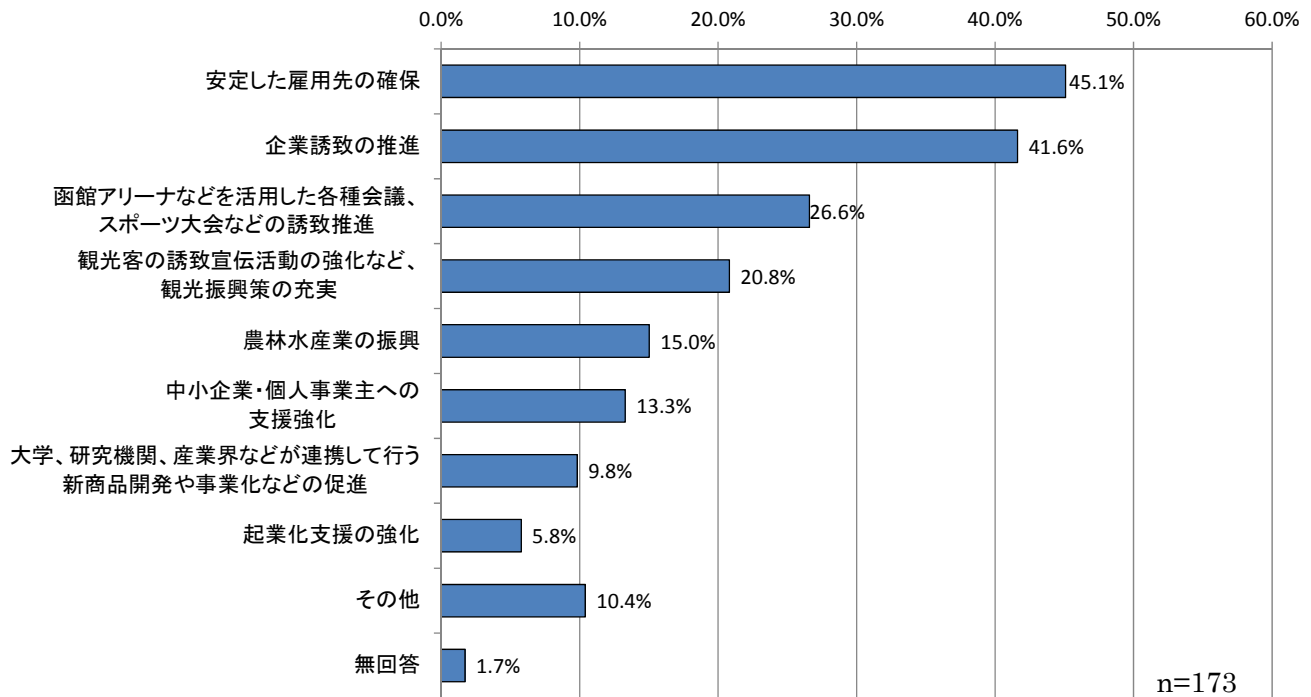
回答者の年代別では、20、40、50、70代で「函館山からの夜景」が最も高く、30代では「教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み」が最も高くなっています。

4 「函館市の今後のまちづくり」に関する調査結果

(1) 函館市の経済を活性化するための施策

問5

函館市の経済を活性化するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？
主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
安定した雇用先の確保	78	45.1%	37.2%	41.7%	51.4%	44.2%	66.7%	50.0%	50.0%
企業誘致の推進	72	41.6%	30.2%	41.7%	48.6%	39.5%	75.0%	50.0%	0.0%
函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進	46	26.6%	25.6%	38.9%	28.6%	16.3%	16.7%	50.0%	50.0%
観光客の誘致宣伝活動の強化など、観光振興策の充実	36	20.8%	23.3%	19.4%	22.9%	23.3%	8.3%	0.0%	0.0%
農林水産業の振興	26	15.0%	16.3%	13.9%	5.7%	20.9%	25.0%	0.0%	0.0%
中小企業・個人事業主への支援強化	23	13.3%	23.3%	11.1%	11.4%	9.3%	8.3%	0.0%	0.0%
大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進	17	9.8%	16.3%	2.8%	14.3%	7.0%	0.0%	50.0%	0.0%
起業支援の強化	10	5.8%	4.7%	2.8%	2.9%	14.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	18	10.4%	16.3%	11.1%	2.9%	14.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	3	1.7%	0.0%	2.8%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	50.0%

「安定した雇用先の確保」が45.1%と最も高く、「企業誘致の推進」が41.6%で続いており、就労に関する施策へのニーズが高くなっています。

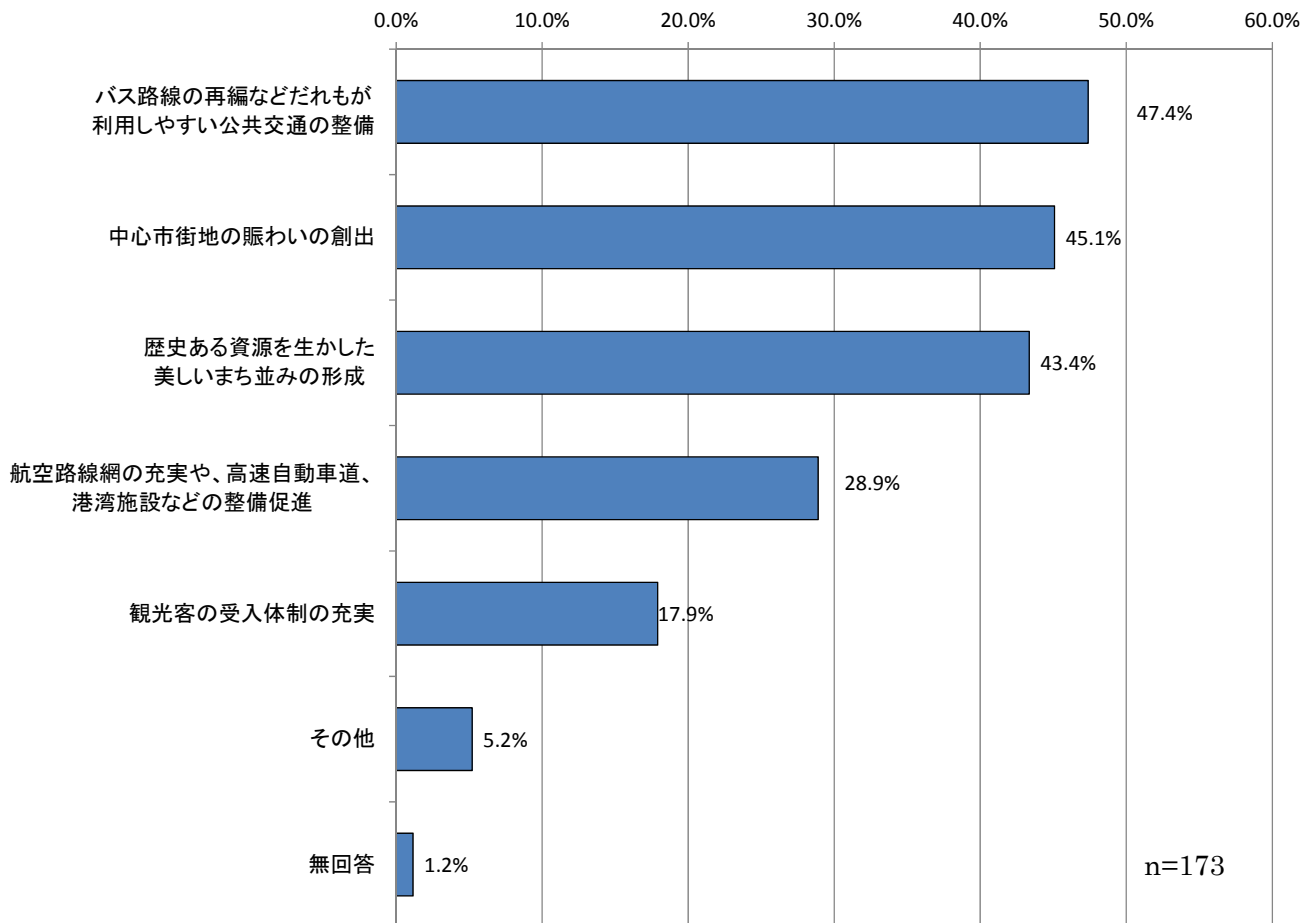
回答者の年代別では、60代を除き「安定した雇用先の確保」が最も高く、80歳以上を除き、「企業誘致の推進」が上位3項目に含まれており、全体と同様、就労に関する施策へのニーズが高くなっています。

「その他」の意見としては「大型商業施設の誘致（4件）」、「函館市のPR強化（対外・対内）（3件）」、「子育て支援（3件）」等が挙げられています。

(2) まちの魅力を高めるための取り組み

問 6

まちの魅力を高めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？
主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備	82	47.4%	60.5%	36.1%	40.0%	44.2%	58.3%	100.0%	50.0%
中心市街地の賑わいの創出	78	45.1%	39.5%	50.0%	48.6%	46.5%	33.3%	0.0%	100.0%
歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成	75	43.4%	27.9%	33.3%	42.9%	55.8%	75.0%	100.0%	50.0%
航空路線網の充実や、高速自動車道、港湾施設などの整備促進	50	28.9%	39.5%	30.6%	28.6%	23.3%	16.7%	0.0%	0.0%
観光客の受入体制の充実	31	17.9%	25.6%	19.4%	17.1%	14.0%	8.3%	0.0%	0.0%
その他	9	5.2%	4.7%	8.3%	5.7%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	1.2%	0.0%	2.8%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

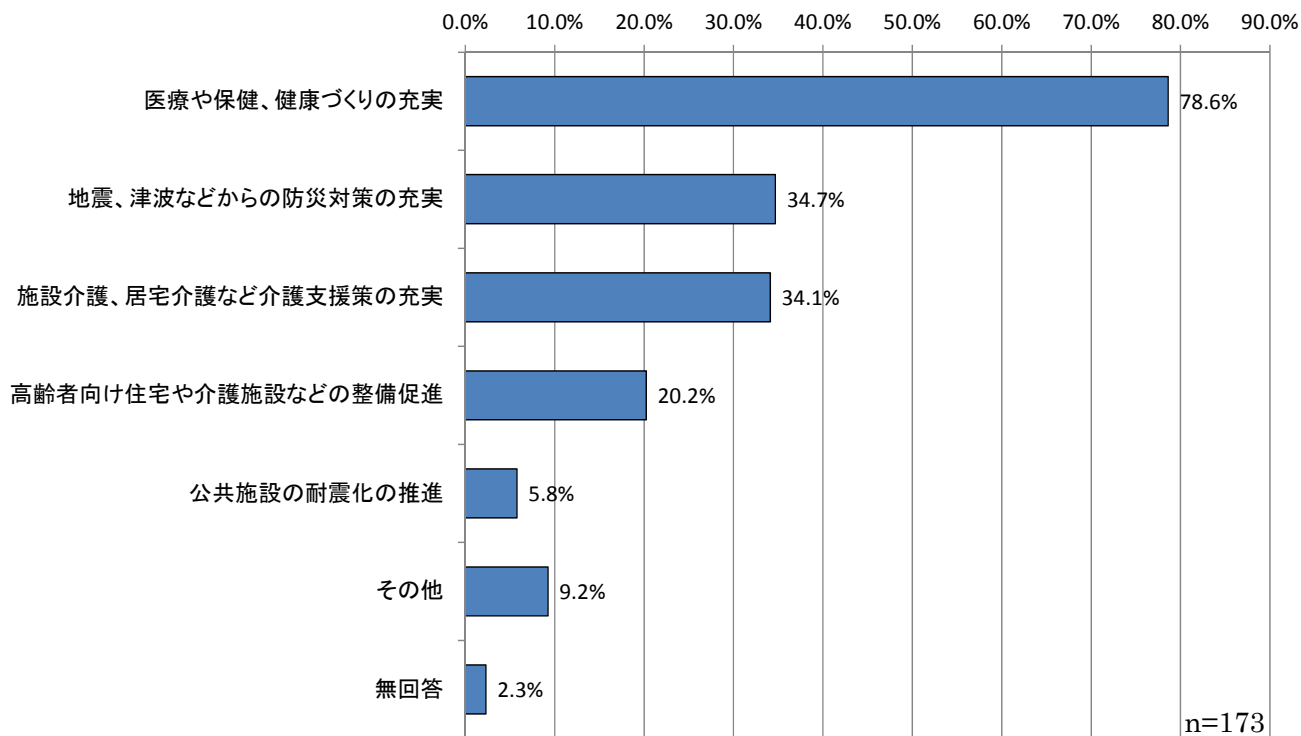
「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」が47.4%と最も高く、「中心市街地の賑わいの創出」が45.1%で続いています。

回答者の年代別では、20、70代では全体と同様に「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」が最も高くなっていますが、30、40代および80歳以上では「中心市街地の賑わいの創出」が最も高くなっています。

(3) 安心して住めるまちづくりを進めるために取り組むべきこと

問 7

だれもが安心して住めるまちづくりを進めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
医療や保健、健康づくりの充実	136	78.6%	83.7%	80.6%	77.1%	69.8%	83.3%	100.0%	100.0%
地震、津波などからの防災対策の充実	60	34.7%	44.2%	41.7%	40.0%	23.3%	16.7%	0.0%	0.0%
施設介護、居宅介護など介護支援策の充実	59	34.1%	37.2%	13.9%	22.9%	48.8%	50.0%	100.0%	50.0%
高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進	35	20.2%	7.0%	8.3%	28.6%	30.2%	41.7%	0.0%	50.0%
公共施設の耐震化の推進	10	5.8%	9.3%	5.6%	5.7%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	16	9.2%	7.0%	11.1%	11.4%	9.3%	8.3%	0.0%	0.0%
無回答	4	2.3%	0.0%	8.3%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%

「医療や保健、健康づくりの充実」が78.6%と最も高く、「地震、津波などからの防災対策の充実」が34.7%、「施設介護、居宅介護など介護支援策の充実」が34.1%で続いています。

回答者の年代別では、各年代とも全体と同様に「医療や保健、健康づくりの充実」が最も高くなっています。

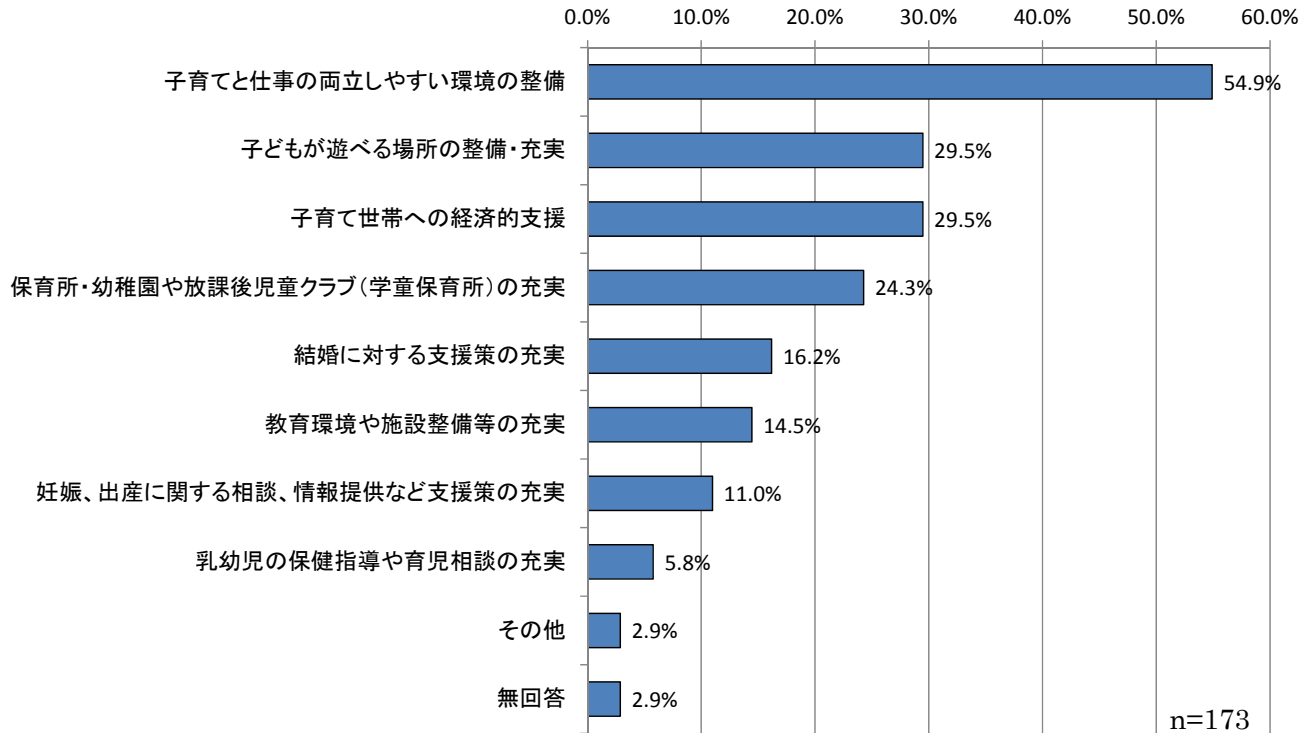
また、40代を除き、「施設介護、居宅介護など介護支援策の充実」が上位3項目に入っている一方で、40、50、60代および80歳以上では「高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進」が上位3項目に入っています。

「その他」の意見としては「若い世代の転入促進（2件）」等が挙げられています。

(4) 安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、取り組むべきこと

問 8

安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
子育てと仕事の両立しやすい環境の整備	95	54.9%	58.1%	47.2%	48.6%	53.5%	83.3%	50.0%	100.0%
子どもが遊べる場所の整備・充実	51	29.5%	20.9%	38.9%	31.4%	34.9%	16.7%	0.0%	0.0%
子育て世帯への経済的支援	51	29.5%	30.2%	19.4%	45.7%	27.9%	25.0%	0.0%	0.0%
保育所・幼稚園や放課後児童クラブ(学童保育所)の充実	42	24.3%	32.6%	19.4%	17.1%	25.6%	25.0%	0.0%	50.0%
結婚に対する支援策の充実	28	16.2%	25.6%	13.9%	17.1%	7.0%	8.3%	100.0%	0.0%
教育環境や施設整備等の充実	25	14.5%	4.7%	13.9%	11.4%	30.2%	0.0%	50.0%	0.0%
妊娠、出産に関する相談、情報提供など支援策の充実	19	11.0%	7.0%	16.7%	11.4%	4.7%	25.0%	0.0%	50.0%
乳幼児の保健指導や育児相談の充実	10	5.8%	11.6%	0.0%	5.7%	4.7%	8.3%	0.0%	0.0%
その他	5	2.9%	2.3%	2.8%	5.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	5	2.9%	2.3%	8.3%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%

「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」が 54.9%と最も高く、「子どもが遊べる場所の整備・充実」、「子育て世帯への経済的支援」が 29.5%で続いています。

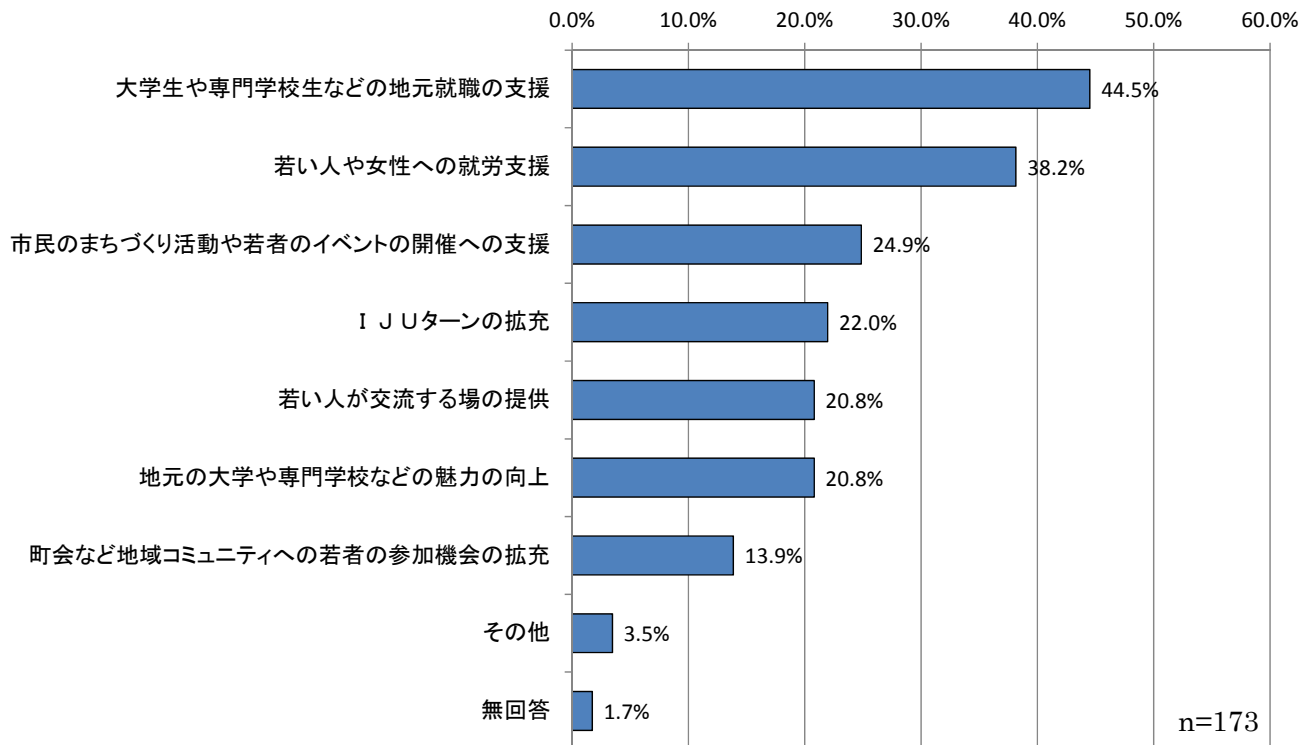
回答者の年代別では、70代を除き各年代とも全体と同様に「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」が最も高くなっています。

また、40代以下および60代では「子育て世帯への経済的支援」が上位3項目に入っている一方で、50代および70代では「教育環境や施設整備等の充実」が上位3項目に入っています。

(5) 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために取り組むべきこと

問9

若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
大学生や専門学校生などの地元就職の支援	77	44.5%	39.5%	36.1%	37.1%	62.8%	41.7%	50.0%	50.0%
若い人や女性への就労支援	66	38.2%	41.9%	25.0%	34.3%	48.8%	41.7%	50.0%	0.0%
市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援	43	24.9%	27.9%	30.6%	22.9%	20.9%	25.0%	0.0%	0.0%
IJUターンの拡充	38	22.0%	11.6%	27.8%	22.9%	20.9%	41.7%	50.0%	0.0%
若い人が交流する場の提供	36	20.8%	32.6%	22.2%	25.7%	4.7%	25.0%	0.0%	0.0%
地元の大学や専門学校などの魅力の向上	36	20.8%	25.6%	22.2%	25.7%	14.0%	0.0%	50.0%	50.0%
町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充	24	13.9%	4.7%	13.9%	14.3%	20.9%	25.0%	0.0%	0.0%
その他	6	3.5%	4.7%	5.6%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	3	1.7%	2.3%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」が44.5%と最も高く、「若い人や女性への就労支援」が38.2%で続いています。

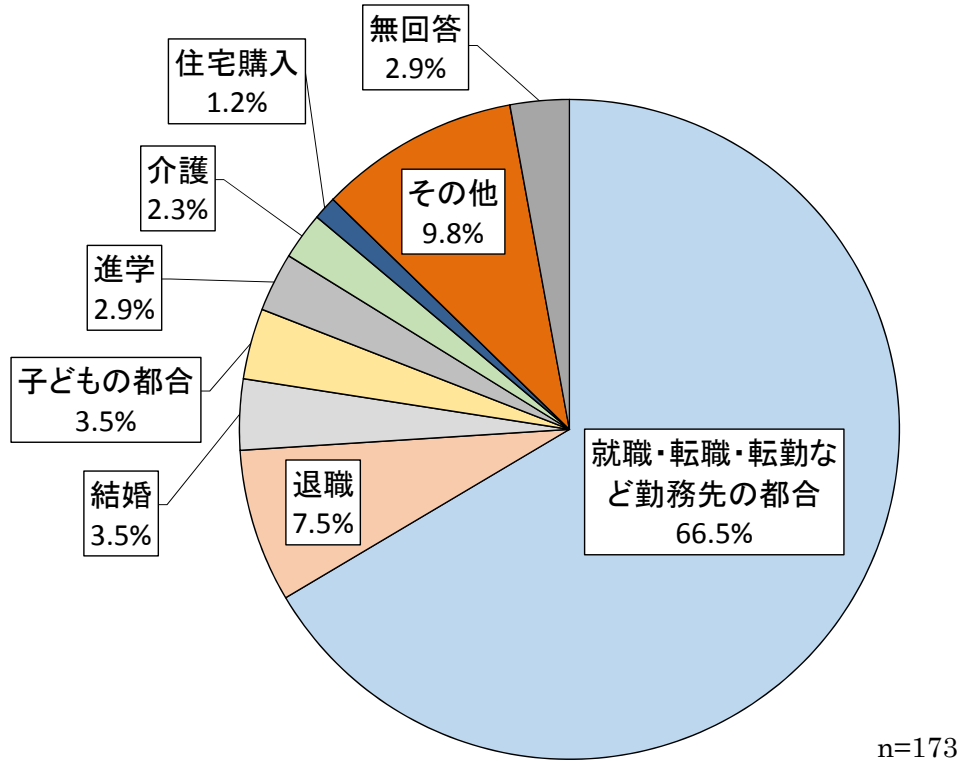
また、回答者の年代別では20代を除き、各年代とも全体と同様に「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」が1位または2位と高くなっています。60、70代では、IJUターンの拡充を求める割合が高くなっています。

5 「転入」に関する調査結果

(1) 転入のきっかけ

問 10

転入のきっかけについて、主な理由として、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
就職・転職・転勤など勤務先の都合	115	66.5%	65.1%	80.6%	68.6%	72.1%	16.7%	50.0%	0.0%
退職	13	7.5%	7.0%	8.3%	2.9%	2.3%	41.7%	0.0%	0.0%
結婚	6	3.5%	4.7%	0.0%	8.6%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
子どもの都合	6	3.5%	0.0%	2.8%	5.7%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%
進学	5	2.9%	7.0%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
介護	4	2.3%	0.0%	0.0%	2.9%	4.7%	8.3%	0.0%	0.0%
住宅購入	2	1.2%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
災害	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	17	9.8%	14.0%	5.6%	0.0%	18.6%	8.3%	0.0%	0.0%
無回答	5	2.9%	2.3%	2.8%	2.9%	2.3%	8.3%	0.0%	0.0%

「就職・転職・転勤など勤務先の都合」が66.5%と最も高く、「退職」が7.5%で続いています。

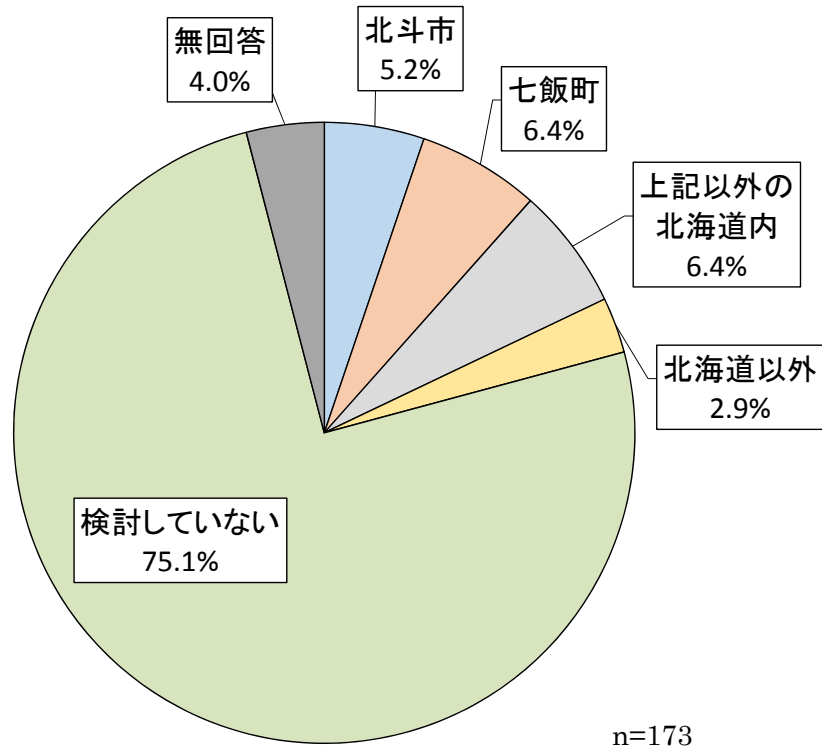
また、回答者の年代別では、60代および80歳以上を除き、各年代とも全体と同様に「就職・転職・転勤など勤務先の都合」が最も高くなっています。20代では「進学」、40代では「結婚」、「子どもの都合」、50代では「介護」、60代では「退職」の割合が高く、各年代の生活における転換点での転入が多くなっています。

「その他」の意見としては「実家があるから（3件）」、「離婚（3件）」等が挙げられています。

(2) 実際の転入先以外にも検討したところ

問 11

転入するにあたり実際の転入先以外にも検討したところがありますか？主なものを1つ選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
北斗市	9	5.2%	7.0%	5.6%	11.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
七飯町	11	6.4%	4.7%	11.1%	5.7%	4.7%	8.3%	0.0%	0.0%
上記以外の北海道内	11	6.4%	7.0%	5.6%	2.9%	7.0%	8.3%	50.0%	0.0%
北海道以外	5	2.9%	2.3%	2.8%	0.0%	2.3%	16.7%	0.0%	0.0%
検討していない	130	75.1%	76.7%	72.2%	80.0%	81.4%	50.0%	50.0%	50.0%
無回答	7	4.0%	2.3%	2.8%	0.0%	4.7%	16.7%	0.0%	50.0%

「検討していない」が75.1%と最も高く、「七飯町」、「上記以外の北海道内」が6.4%で続いています。

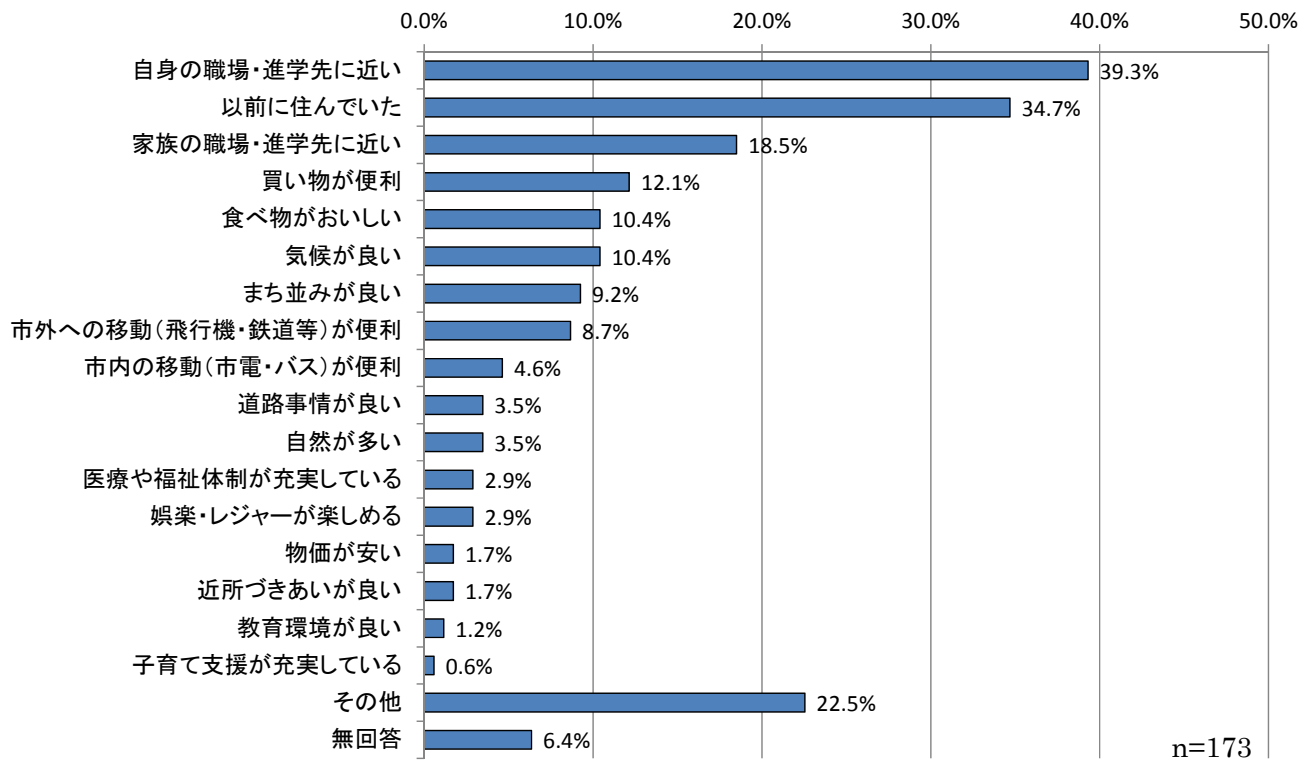
また、回答者の年代別では、各年代とも全体と同様に「検討していない」が最も高く、北海道内で比較検討を行っている割合が高くなっています。20代および40代では「北斗市」を、30代、50代および60代では「七飯町」を比較検討している割合が高くなっています。

一方、60代では「北海道以外」の割合が高くなっています。

(3) 転入先を選択した理由

問 12

函館市を転入先として選択した理由について、次の中から、3つまで選んで番号に○をつけてください。



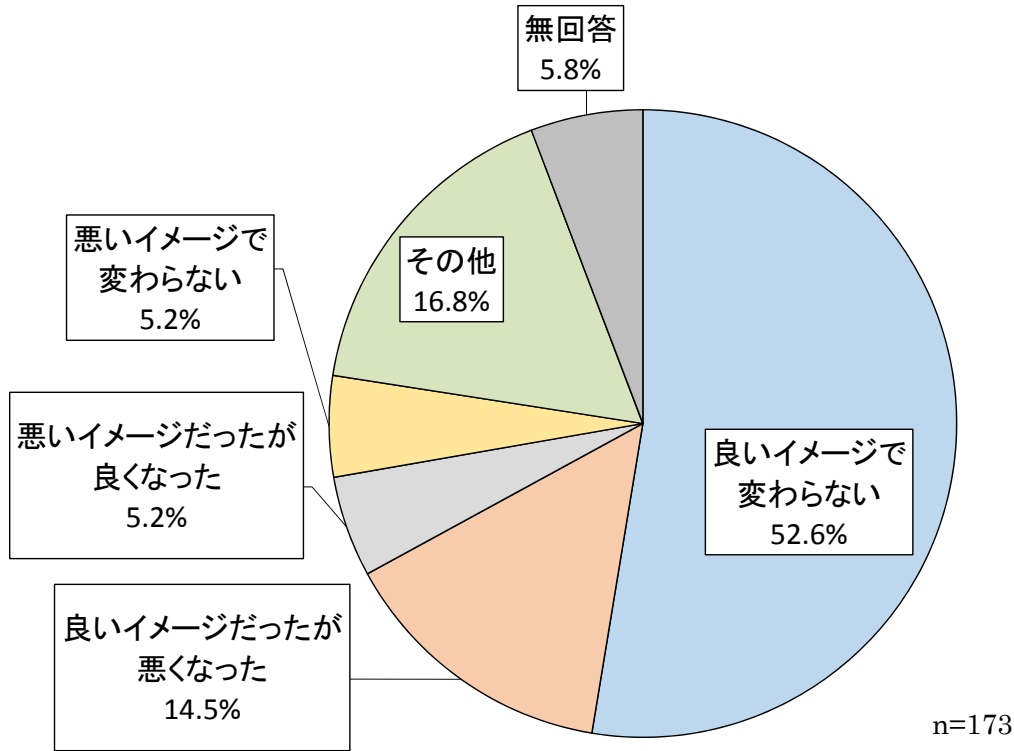
選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
自身の職場・進学先に近い	68	39.3%	65.1%	30.6%	34.3%	37.2%	8.3%	0.0%	0.0%
以前に住んでいた	60	34.7%	25.6%	38.9%	40.0%	32.6%	41.7%	50.0%	50.0%
家族の職場・進学先に近い	32	18.5%	11.6%	33.3%	25.7%	14.0%	0.0%	0.0%	0.0%
買い物が便利	21	12.1%	14.0%	13.9%	17.1%	7.0%	8.3%	0.0%	0.0%
食べ物がおいしい	18	10.4%	11.6%	11.1%	14.3%	7.0%	0.0%	50.0%	0.0%
気候が良い	18	10.4%	9.3%	0.0%	2.9%	14.0%	41.7%	100.0%	0.0%
まち並みが良い	16	9.2%	11.6%	5.6%	5.7%	11.6%	16.7%	0.0%	0.0%
市外への移動(飛行機・鉄道等)が便利	15	8.7%	14.0%	5.6%	11.4%	2.3%	8.3%	50.0%	0.0%
市内の移動(市電・バス)が便利	8	4.6%	7.0%	5.6%	2.9%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%
道路事情が良い	6	3.5%	4.7%	0.0%	8.6%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
自然が多い	6	3.5%	0.0%	2.8%	5.7%	2.3%	8.3%	50.0%	0.0%
医療や福祉体制が充実している	5	2.9%	2.3%	2.8%	2.9%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
娯楽・レジャーが楽しめる	5	2.9%	4.7%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
物価が安い	3	1.7%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
近所づきあいが良い	3	1.7%	2.3%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育環境が良い	2	1.2%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
子育て支援が充実している	1	0.6%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	39	22.5%	11.6%	16.7%	20.0%	39.5%	25.0%	0.0%	50.0%
無回答	11	6.4%	4.7%	8.3%	0.0%	7.0%	25.0%	0.0%	0.0%

「自身の職場・進学先に近い」が39.3%と最も高く、「以前に住んでいた」が34.7%で続いています。また、回答者の年代別では、20代・50代では「自身の職場・進学先に近い」が最も高くなっている一方、30代・40代・60代以上では「以前に住んでいた」の割合が全体よりも高くなっています。

(4) 転入する前と後での函館市のイメージ

問 13

転入する前と後で、函館市のイメージが変わりましたか？あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
良いイメージで変わらない	91	52.6%	55.8%	50.0%	42.9%	62.8%	41.7%	50.0%	50.0%
良いイメージだったが悪くなった	25	14.5%	11.6%	19.4%	14.3%	11.6%	16.7%	50.0%	0.0%
悪いイメージだったが良くなった	9	5.2%	9.3%	2.8%	5.7%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%
悪いイメージで変わらない	9	5.2%	2.3%	8.3%	8.6%	2.3%	8.3%	0.0%	0.0%
その他	29	16.8%	18.6%	11.1%	22.9%	14.0%	16.7%	0.0%	50.0%
無回答	10	5.8%	2.3%	8.3%	5.7%	4.7%	16.7%	0.0%	0.0%

「良いイメージで変わらない」が52.6%と最も高く、「良いイメージだったが悪くなった」が14.5%で続いています。「良いイメージで変わらない」、「悪いイメージだったが良くなった」を合わせると約60%の人が転入後、函館市に対して良いイメージを持っています。

また、回答者の年代別では、各年代とも全体と同様に「良いイメージで変わらない」が最も高く、「良いイメージだったが悪くなった」も80歳以上を除き、上位に入っています。特に、30、60、70代では「良いイメージだったが悪くなった」の割合が全体よりも高くなっています。

「その他」の意見としては「どちらでもない(7件)」、「特に変わらない(5件)」、「もっと栄えていると思っていたが、意外と田舎な感じがした(2件)」等が挙げられています。

6 自由意見のまとめ

下表は、アンケート調査票の自由意見欄に記入された内容を、平成19年に策定した「新函館市総合計画」の施策の体系別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、合計87人（回答者全体の50.3%）からご意見をいただきました。

なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

部	章	節	件数	割合
心豊かな人と文化をはぐむまち	創造性とふれあいをはぐむ社会の形成	生涯学習の推進	0	0.0%
		文化芸術の振興	3	3.4%
		スポーツ・レクリエーションの振興	1	1.1%
		青少年の健全育成	0	0.0%
		男女共同参画の推進	2	2.3%
		国際化の推進	1	1.1%
		都市間交流の推進	1	1.1%
	次代を担う人材の育成と知の集積	幼児教育の充実	1	1.1%
		義務教育の充実	2	2.3%
		高校教育の充実	0	0.0%
		特別支援教育の充実	0	0.0%
		高等教育の充実	3	3.4%
		学術研究機能の充実	0	0.0%
		共に支えあい健やかに暮らせるまち	地域福祉社会の形成	地域福祉の推進
児童福祉の推進	15			17.2%
高齢者福祉の推進	3			3.4%
障がい者福祉の推進	0			0.0%
健康を守る社会の形成	低所得者援護対策の充実		1	1.1%
	健康づくりの推進		0	0.0%
	医療環境の充実		6	6.9%
	生活衛生対策の推進		0	0.0%
快適で安らぎのある住み良いまち	快適な生活環境の整備	市街地の整備	10	11.5%
		住環境の整備	15	17.2%
		生活道路の整備	7	8.0%
		公共交通の充実	11	12.6%
		水道水の安定供給	0	0.0%
		エネルギーの安定供給	0	0.0%
		地域情報化の推進	1	1.1%
	安全・安心な市民生活の確保	防災対策の充実	1	1.1%
		消防・救急体制の充実	0	0.0%
		交通安全対策の推進	4	4.6%
		防犯対策の推進	0	0.0%
環境と共生する美しいまち	地球にやさしいまちづくりの推進	消費生活の向上	4	4.6%
		環境保全対策の推進	1	1.1%
		廃棄物対策の推進	2	2.3%
	うるおいのある都市空間の形成	汚水対策の充実	0	0.0%
		魅力ある景観の形成	6	6.9%
		水と緑の空間整備	0	0.0%
活力にあふれたにぎわいのあるまち	地域を支える産業の振興	観光・コンベンションの振興	20	23.0%
		農林業の振興	1	1.1%
		水産業の振興	0	0.0%
		工業の振興	0	0.0%
		商業の振興	10	11.5%
		新産業の創出と企業立地の促進	11	12.6%
		雇用環境の向上	26	29.9%
		総合交通体系の確立	鉄道輸送の充実	4
	幹線道路の整備		2	2.3%
	港湾機能の充実		0	0.0%
	空港機能の充実	2	2.3%	
その他	その他	その他	6	6.9%
合計			190	

自由記述回答の主な内容は、次のとおりです。

① 創造性とふれあいをはぐくむ社会の形成

「共働き世帯が多いことから、そのような世帯に対して理解し、住みやすいまちになるようにしてほしい」という意見が挙げられています。

また、「観光地として情緒あるまち並みや自然を活かしたイベントを行うなどで多くの人が参加できるイベントがあれば良い」という意見も挙げられています。

② 時代を担う人材の育成と知の集積

「子どもがのびのびと生活できるような環境を整えてほしい」という意見が挙げられています。

また、「高齢者への支援は十分になされているが子どもに対する支援が少ない」といった意見も挙げられています。

③ 地域福祉社会の形成

「近隣自治体と比較した場合に、子育て支援の充実や補助・助成が十分ではない」といった意見が多く挙げられています。

また、「子どもや高齢者、障がい者にとって安心して暮らせるようなまちであってほしい」という意見も挙げられています。

④ 健康を守る社会の形成

「病院の整備や医療体制が充実するようにしてほしい」という意見が挙げられています。

⑤ 快適な生活環境の整備

「道路整備や公共交通機関の利用のしづらさ」について意見が多く挙がりました。「バスは路線が多くても、実際に利用する際にどの路線に乗っていいのかわからない、また本数が少ない」といった意見も多く挙げられています。

⑥ 安全・安心な市民生活の確保

「運転マナーが悪く、生活に支障をきたしている」といった意見が挙げられています。

⑦ 地球にやさしいまちづくりの推進

「観光のまちとして、まちの中にごみが多く残念である」といった意見が挙げられています。

⑧ うるおいのある都市空間の形成

「観光客も同様であるが、函館市に住んでいる住民にも魅力ある施設やレジャーのあるまちにほしい」といった意見が挙げられています。

⑨ 地域を支える産業の振興

「住民としては、大型商業施設やレジャー施設が充実していない」といった意見が多く挙げられています。

また、「雇用の場が少ないことから、若い人が函館から外へ出て行ってしまふことを危惧する」といった意見も多く挙げられています。

⑩ 総合交通体系の確立

「公共交通機関の利便性を向上してほしい」といった意見が挙げられています。



平成27年度 函館市 「地方創生に関するアンケート調査」のお願い

市民の皆様には、日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、現在、函館市の人口は269,628人（平成27年3月末日現在の住民基本台帳）で、昭和55年のピーク時の345,165人に比べ75,537人の減少となっており、このままでは消費や生産活動が縮小し、地域経済が低迷するほか、まちの活力の減退、住環境の悪化などまちづくりにも様々な影響をおよぼすことが懸念されます。

そのため、函館市は現在、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力のある地域社会の形成に向けて、函館市の2060年までの人口の将来展望を提示する「人口ビジョン」および今後5か年の対策を取りまとめた「総合戦略」の策定を進めております。

つきましては、市民の皆様のご意見を伺うためアンケート調査を実施いたしますので、ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は、平成27年3月～4月の間に本市に転入された20歳以上の方から、500人を無作為に抽出させていただき実施するものです。

平成27年5月

函 館 市 企 画 部

記入上の注意

- 1 お送りした**あて名のご本人**がお答えください。氏名は記入しないでください。
- 2 ご回答いただいた内容は、個人が特定できないように、全て統計的に処理いたします。
- 3 何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 4 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、**平成27年6月12日(金)**までに郵便ポストに投函してください。**(切手は不要です。)**
- 5 記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 〒040-8666 函館市東雲町4番13号
函館市企画部計画推進室計画調整課（新計画策定担当）
TEL：0138-21-3821 FAX：0138-23-7604
E-mail：shinkeikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

◆「あなた自身のこと」についてお聞きします。

問1 それぞれの内容についてお答えください。

(1) あなたの性別は？ (番号1つに○)	1 男性 2 女性
(2) あなたの年齢は？ (年齢を記入)	満_____歳
(3) あなたの居住地は？ (町名を記入)	函館市_____町_____丁目
(4) あなたの職業は？ (番号1つに○)	1 農林業 2 水産業 3 建設業 4 サービス業 5 公務員 6 教員・研究員 7 製造業 8 情報・通信業 9 運輸業 10 金融・保険業 11 医療・福祉業 12 専業主婦(主夫) 13 パート・アルバイト・派遣 14 学 生 15 無 職 16 その他()
(5) 住宅の形態は？ (番号1つに○)	1 持家(一戸建て) 2 持家(マンション等) 3 借家(民営) 4 借家(公営) 5 社宅 6 その他()
(6) あなたの通勤・通学地は？ (番号1つに○)	1 函館市内 2 北斗市 3 七飯町 4 通勤・通学していない → (9)へ 5 その他()
(7) 通勤・通学手段は何ですか？ (番号1つに○)	1 自家用車・バイク 2 市電・バス等の公共交通 3 自転車・徒歩 4 その他()
(8) あなたは、現在、結婚していますか？(番号1つに○)	1 結婚している(既婚) 2 独身(未婚) 3 独身(結婚歴あり) 4 その他()

◆「函館のまち」についてお聞きします。

問2 函館のまちに対し、あなたはどの程度満足していますか？
それぞれの項目ごとに、右のあてはまる番号から1つ選んで○をつけてください。

項 目	満足	まあ満足	いえない どころかも	やや不満	不満
1 函館の住みやすさ	5	4	3	2	1
2 日常の買い物の便利さ	5	4	3	2	1
3 市内の移動（市電・バス）の便利さ	5	4	3	2	1
4 市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	5	4	3	2	1
5 歩行、自転車での道路の使いやすさ	5	4	3	2	1
6 自動車での道路の使いやすさ	5	4	3	2	1
7 医療や福祉の施設やサービス体制	5	4	3	2	1
8 子育て支援	5	4	3	2	1
9 子どもの教育環境	5	4	3	2	1
10 雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	5	4	3	2	1
11 近所づきあい	5	4	3	2	1
12 娯楽・レジャーの充実	5	4	3	2	1
13 歴史・文化資源の保存・活用	5	4	3	2	1

問3 函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。
（自由記述、問2の項目から選んでもかまいません。）

1 特に満足と思うこと	（	）
2 特に不満と思うこと	（	）

◆「函館市の魅力」についてお聞きします。

問4 函館市の魅力や誇れるものは何だと思いますか？
主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産
- 2 函館山からの夜景
- 3 教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み
- 4 生鮮食料品のおいしさ・充実度
- 5 飲食店や菓子店の充実度
- 6 身近な温泉施設の立地
- 7 港まつりなどの地域におけるイベントの充実度
- 8 大学などの高等教育機関があること
- 9 作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地
- 10 教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動
- 11 海と山が身近にある自然環境
- 12 気候による過ごしやすさ
- 13 その他（)

◆「函館市の今後のまちづくり」についてお聞きします。

問5 函館市の経済を活性化するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 農林水産業の振興
- 2 企業誘致の推進
- 3 起業化支援の強化
- 4 安定した雇用先の確保
- 5 中小企業・個人事業主への支援強化
- 6 大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進
- 7 観光客の誘致宣伝活動の強化など、観光振興策の充実
- 8 函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進
- 9 その他（)

問6 まちの魅力を高めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？
主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成
- 2 観光客の受入体制の充実
- 3 航空路線網の充実や、高速自動車道、港湾施設などの整備促進
- 4 バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備
- 5 中心市街地の賑わいの創出
- 6 その他（)

問7 だれもが安心して住めるまちづくりを進めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 医療や保健、健康づくりの充実
- 2 地震、津波などからの防災対策の充実
- 3 公共施設の耐震化の推進
- 4 施設介護、居宅介護など介護支援策の充実
- 5 高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進
- 6 その他（)

問8 安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 結婚に対する支援策の充実
- 2 妊娠、出産に関する相談、情報提供など支援策の充実
- 3 乳幼児の保健指導や育児相談の充実
- 4 子どもが遊べる場所の整備・充実
- 5 保育所・幼稚園や放課後児童クラブ（学童保育所）の充実
- 6 教育環境や施設整備等の充実
- 7 子育てと仕事の両立しやすい環境の整備
- 8 子育て世帯への経済的支援
- 9 その他（)

問9 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 若い人や女性への就労支援
- 2 若い人が交流する場の提供
- 3 市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援
- 4 IJUターンの拡充
- 5 大学生や専門学校生などの地元就職の支援
- 6 地元の大学や専門学校などの魅力の向上
- 7 町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充
- 8 その他（)

◆「転入」についてお聞きします。

問10 転入のきっかけについて、主な理由として、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 就職・転職・転勤など勤務先の都合 | 2 進学 |
| 3 退職 | 4 結婚 |
| 5 介護 | 6 子どもの都合 |
| 7 住宅購入 | 8 災害 |
| 9 その他 () | |

問11 転入するにあたり実際の転入先以外にも検討したところがありますか？

主なものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------|
| 1 北斗市 | 2 七飯町 |
| 3 上記以外の北海道内（市町村名：) | |
| 4 北海道以外（都府県・市町村名：) | |
| 5 検討していない | |

問12 函館市を転入先として選択した理由について、次の中から、3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 自身の職場・進学先に近い | 2 家族の職場・進学先に近い |
| 3 市内の移動（市電・バス）が便利 | 4 市外への移動（飛行機・鉄道等）が便利 |
| 5 道路事情が良い | 6 医療や福祉体制が充実している |
| 7 子育て支援が充実している | 8 教育環境が良い |
| 9 物価が安い | 10 まち並みが良い |
| 11 自然が多い | 12 買い物が便利 |
| 13 近所づきあいが良い | 14 娯楽・レジャーが楽しめる |
| 15 食べ物がおいしい | 16 気候が良い |
| 17 以前に住んでいた | 18 その他 () |

問13 転入する前と後で、函館市のイメージが変わりましたか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 良いイメージで変わらない | 2 良いイメージだったが悪くなった |
| 3 悪いイメージだったが良くなった | 4 悪いイメージで変わらない |
| 5 その他 () | |

人口減少対策やまちづくりに関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。

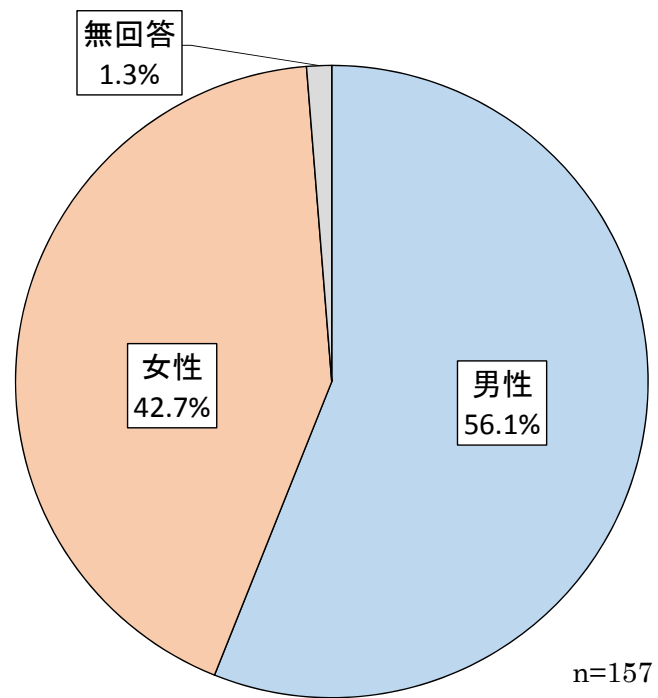
質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、6月12日（金）までに郵便ポストに投函してください。

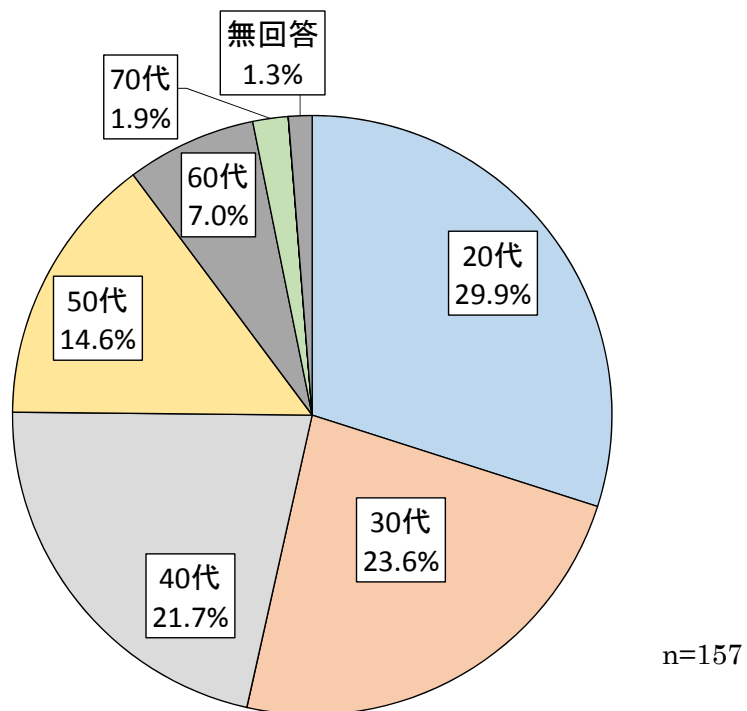
第4部 調査結果(転出者)

1 回答者の属性

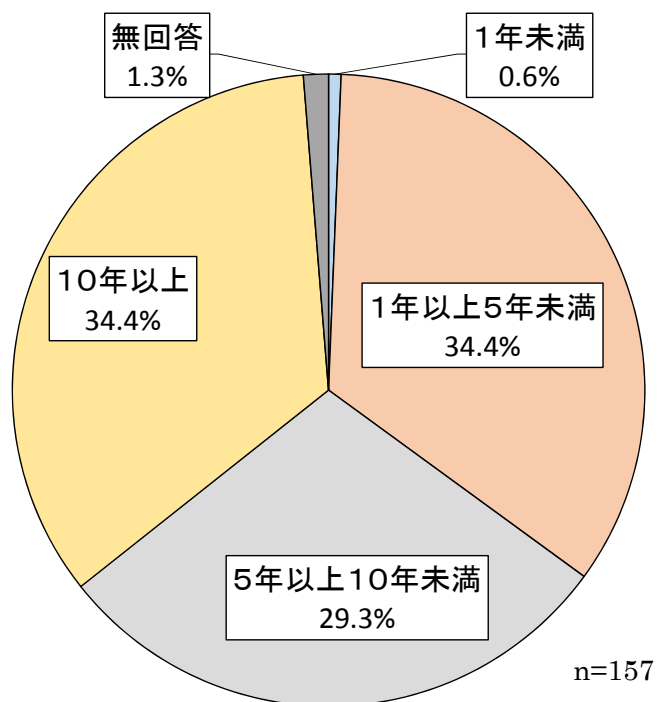
(1) 性別



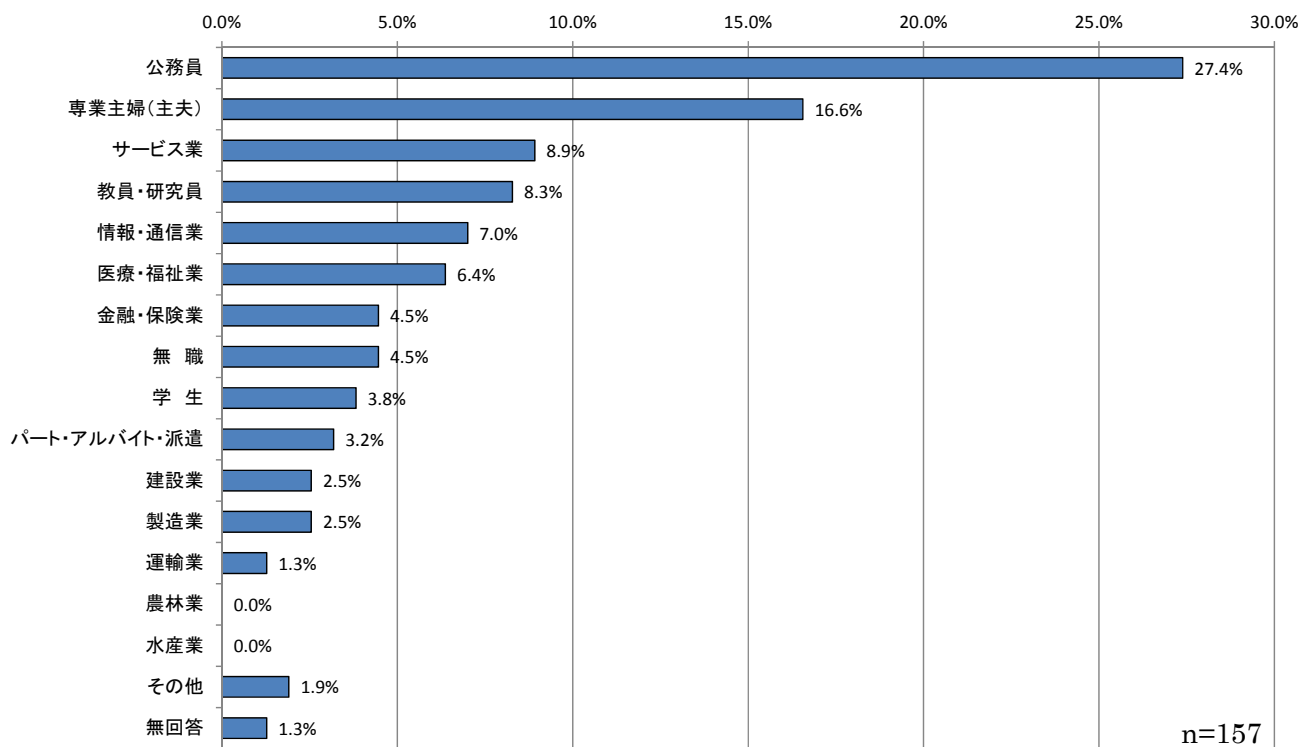
(2) 年代



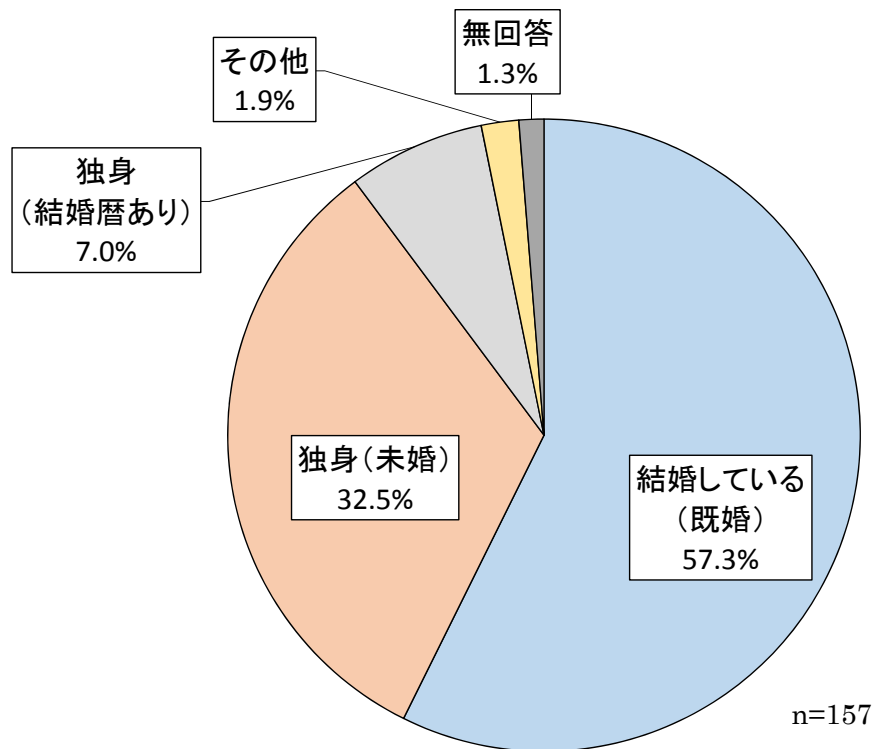
(3) 居住年数



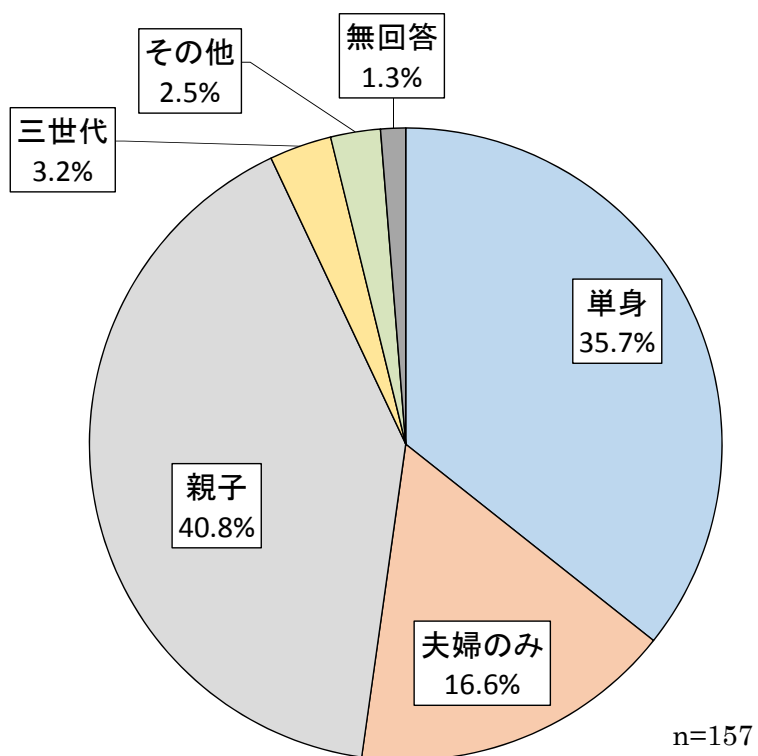
(4) 職業



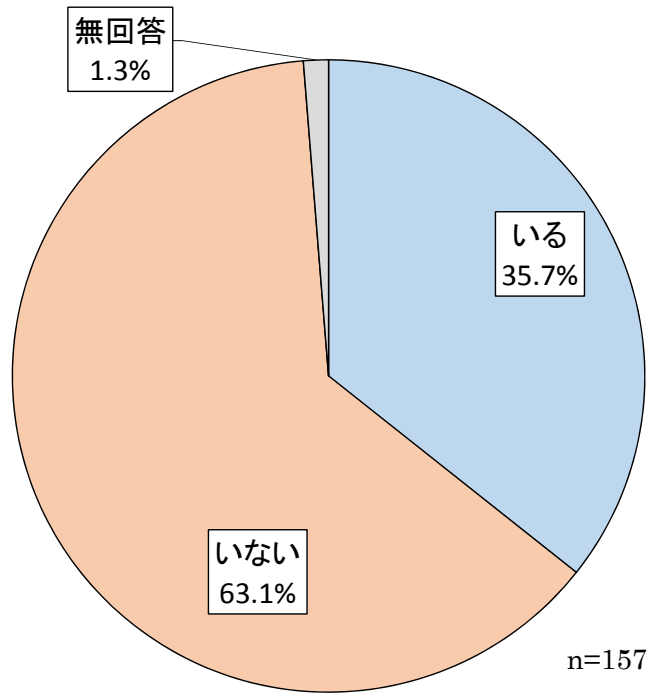
(5) 結婚



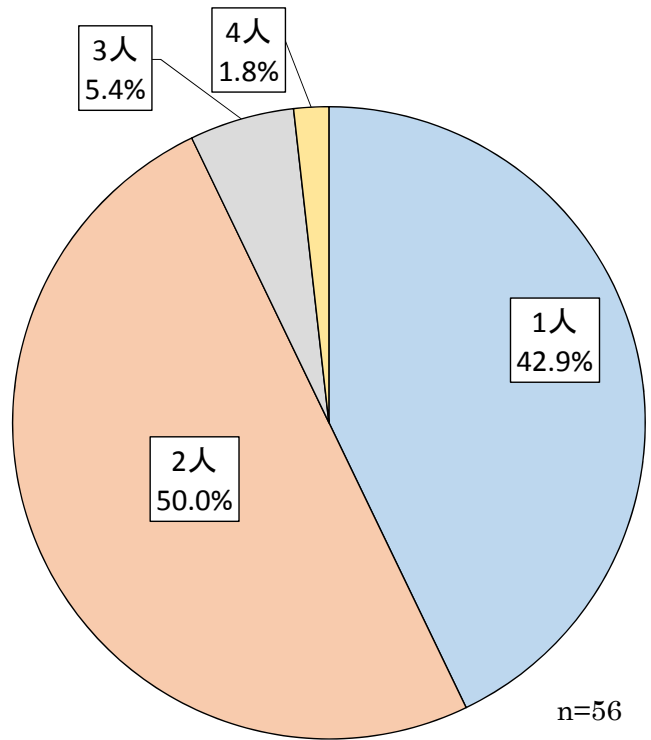
(6) 家族構成



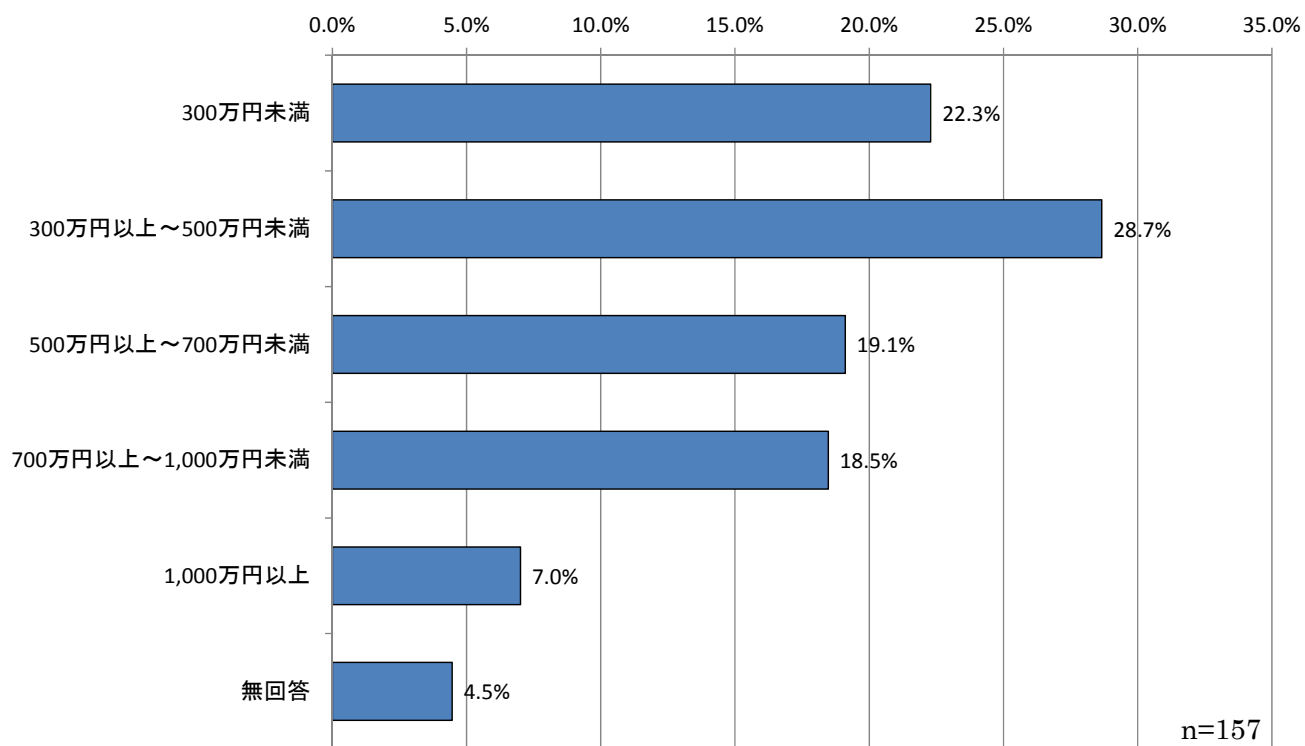
(7) 養育中の子どもの有無



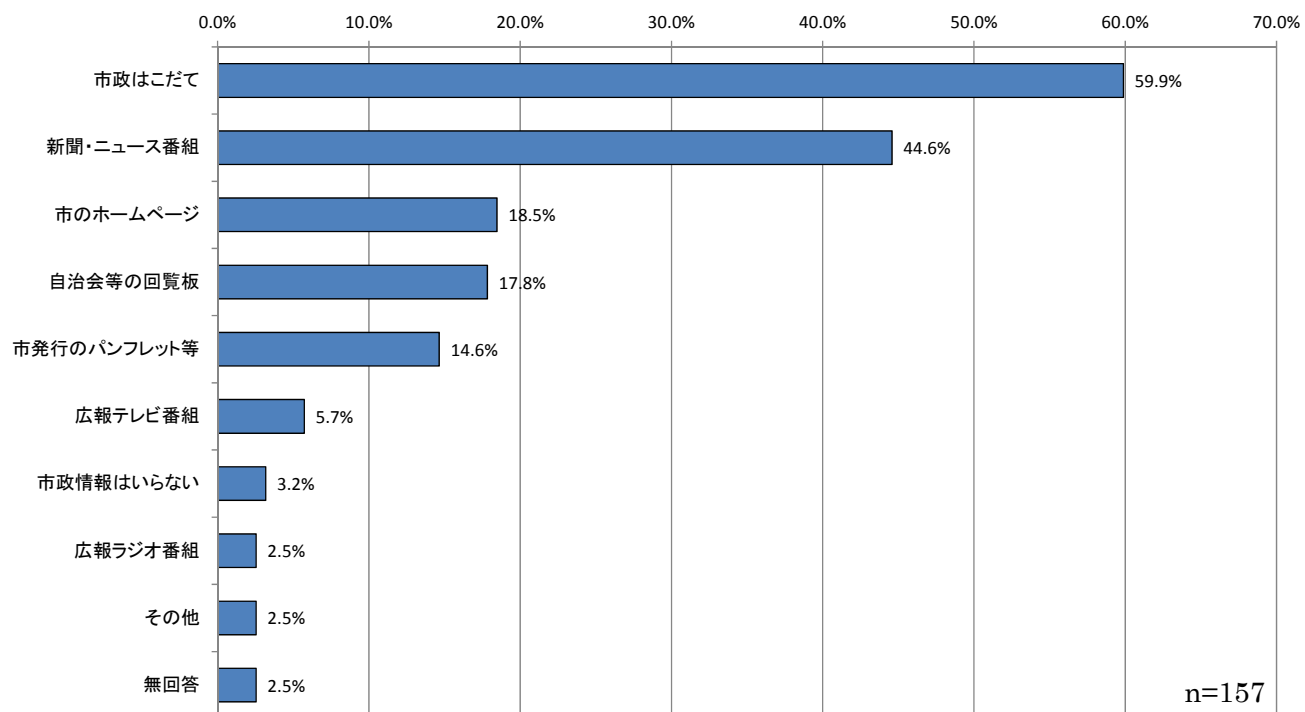
(8) 養育中の子どもの数



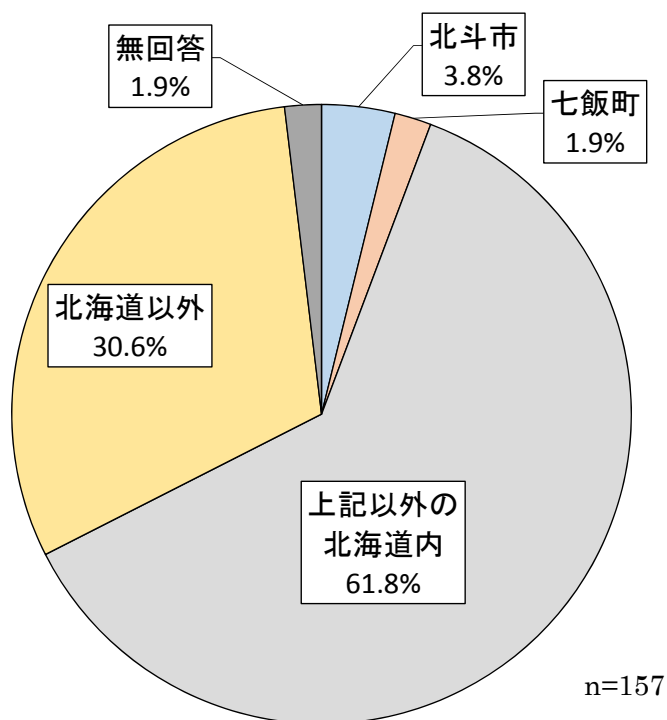
(9) 世帯年収



(10) 市政情報の入手方法



(11) 転出後の住まいと内訳



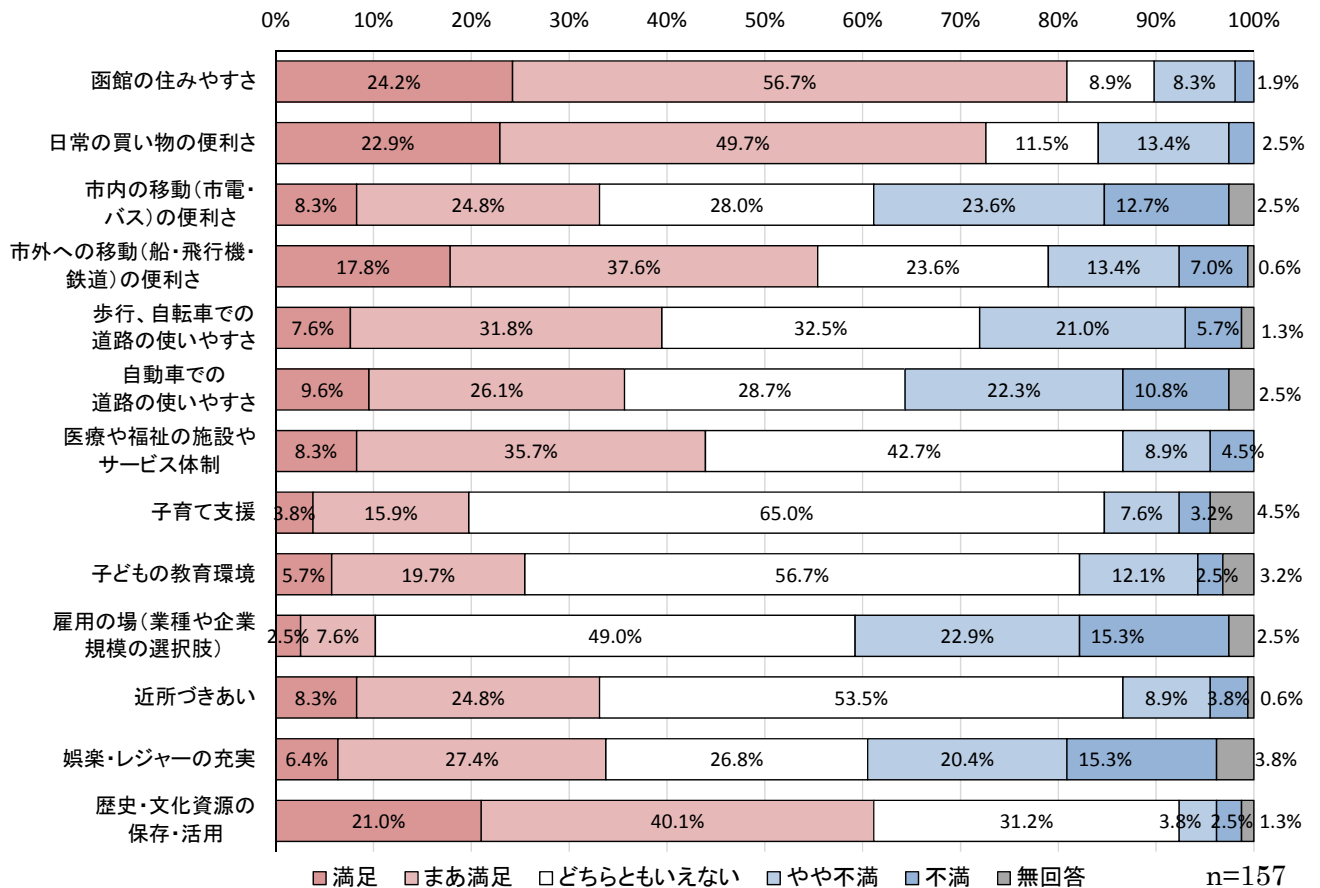
上記以外の北海道内 (n=97)			北海道以外 (n=48)		
行き先	回答数	割合	行き先	回答数	割合
札幌市	47	48.5%	東京都	9	18.8%
釧路市	6	6.2%	青森県	7	14.6%
旭川市	3	3.1%	埼玉県	5	10.4%
江別市	3	3.1%	神奈川県	4	8.3%
小樽市	2	2.1%	大阪府	4	8.3%
稚内市	2	2.1%	愛知県	2	4.2%
恵庭市	2	2.1%	兵庫県	2	4.2%
浦河町	2	2.1%	千葉県	2	4.2%
乙部町	2	2.1%	茨城県	2	4.2%
美唄市	2	2.1%	その他の県	10	20.8%
その他の市町	20	20.6%	無回答	1	2.1%
無回答	6	6.2%			

2 「函館のまち」に関する満足度調査結果

(1) 函館のまちに対する満足度

問2

函館のまちに対し、あなたはどの程度満足していましたか？
それぞれの項目ごとに1つ選んでください。



「函館の住みやすさ」、「日常の買い物の便利さ」については、70%以上の方が満足している一方、「市内の移動(市電・バス)の便利さ」、「雇用の場(業種や企業規模の選択肢)」、「娯楽・レジャーの充実」については、35%以上の方が不満と感じています。

また、各項目の満足度スコア(「満足」と「やや満足」と回答した人の割合から、「不満」と「やや不満」と回答した人の割合を引いたもの)を算定し、分析を行いました。

この数値がプラスの場合は「満足」、「やや満足」と答えた人の数が「不満」、「やや不満」と回答した人の数を上回っていることを示しています。

分析の結果は、次ページのとおりです。

①項目間の満足度スコアの状況

	全体	順位	20代	順位	30代	順位	40代	順位	50代	順位	60代	順位	70代	順位	80歳以上	順位
①函館の住みやすさ	70.7%	1	80.9%	1	56.8%	1	61.8%	1	69.6%	1	90.9%	1	100.0%	1	-	-
②日常の買い物の便利さ	56.7%	2	55.3%	3	45.9%	3	58.8%	2	65.2%	2	54.5%	3	100.0%	1	-	-
③市内の移動（市電・バス）の便利さ	-3.2%	12	-23.4%	12	-8.1%	11	0.0%	10	13.0%	7	45.5%	4	0.0%	9	-	-
④市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	35.0%	4	42.6%	5	21.6%	6	32.4%	4	52.2%	3	36.4%	5	66.7%	4	-	-
⑤歩行、自転車での道路の使いやすさ	12.7%	7	29.8%	6	13.5%	9	0.0%	10	0.0%	9	0.0%	12	0.0%	9	-	-
⑥自動車での道路の使いやすさ	2.5%	10	46.8%	4	-32.4%	13	-14.7%	12	-17.4%	12	18.2%	7	0.0%	9	-	-
⑦医療や福祉の施設やサービス体制	30.6%	5	29.8%	6	32.4%	4	26.5%	5	26.1%	5	27.3%	6	100.0%	1	-	-
⑧子育て支援	8.9%	9	-4.3%	10	18.9%	7	26.5%	5	4.3%	8	9.1%	10	0.0%	9	-	-
⑨子どもの教育環境	10.8%	8	8.5%	9	24.3%	5	5.9%	9	-8.7%	10	18.2%	7	66.7%	4	-	-
⑩雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	-28.0%	13	-40.4%	13	-5.4%	10	-23.5%	13	-39.1%	13	-27.3%	13	-33.3%	13	-	-
⑪近所づきあい	20.4%	6	19.1%	8	18.9%	7	20.6%	7	26.1%	5	9.1%	10	33.3%	7	-	-
⑫娯楽・レジャーの充実	-1.9%	11	-4.3%	10	-13.5%	12	11.8%	8	-13.0%	11	18.2%	7	33.3%	7	-	-
⑬歴史・文化資源の保存・活用	54.8%	3	63.8%	2	48.6%	2	50.0%	3	47.8%	4	72.7%	2	66.7%	4	-	-

項目間の満足度スコアの状況について、全体では「函館の住みやすさ」が70.7%と最も高く、「日常の買い物の便利さ」が56.7%、「歴史・文化資源の保存・活用」が54.8%で続いています。一方、「雇用の場（業種や企業規模の選択肢）」が-28.0%と最も低く、「市内の移動（市電・バス）の便利さ」が-3.2%、「娯楽・レジャーの充実」が-1.9%で続いています。

年代別では、概ね全体の状況と同じ傾向にありますが「自動車での道路の使いやすさ」について、30、40、50代の満足度スコアが全体に比べ低くなっています。

②年代別満足度スコアの順位

	全体	20代	順位	30代	順位	40代	順位	50代	順位	60代	順位	70代	順位	80歳以上	順位
①函館の住みやすさ	70.7%	80.9%	3	56.8%	6	61.8%	5	69.6%	4	90.9%	2	100.0%	1	-	-
②日常の買い物の便利さ	56.7%	55.3%	4	45.9%	6	58.8%	3	65.2%	2	54.5%	5	100.0%	1	-	-
③市内の移動（市電・バス）の便利さ	-3.2%	-23.4%	6	-8.1%	5	0.0%	3	13.0%	2	45.5%	1	0.0%	3	-	-
④市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	35.0%	42.6%	3	21.6%	6	32.4%	5	52.2%	2	36.4%	4	66.7%	1	-	-
⑤歩行、自転車での道路の使いやすさ	12.7%	29.8%	1	13.5%	2	0.0%	3	0.0%	3	0.0%	3	0.0%	3	-	-
⑥自動車での道路の使いやすさ	2.5%	46.8%	1	-32.4%	6	-14.7%	4	-17.4%	5	18.2%	2	0.0%	3	-	-
⑦医療や福祉の施設やサービス体制	30.6%	29.8%	3	32.4%	2	26.5%	5	26.1%	6	27.3%	4	100.0%	1	-	-
⑧子育て支援	8.9%	-4.3%	6	18.9%	2	26.5%	1	4.3%	4	9.1%	3	0.0%	5	-	-
⑨子どもの教育環境	10.8%	8.5%	4	24.3%	2	5.9%	5	-8.7%	6	18.2%	3	66.7%	1	-	-
⑩雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	-28.0%	-40.4%	6	-5.4%	1	-23.5%	2	-39.1%	5	-27.3%	3	-33.3%	4	-	-
⑪近所づきあい	20.4%	19.1%	4	18.9%	5	20.6%	3	26.1%	2	9.1%	6	33.3%	1	-	-
⑫娯楽・レジャーの充実	-1.9%	-4.3%	4	-13.5%	6	11.8%	3	-13.0%	5	18.2%	2	33.3%	1	-	-
⑬歴史・文化資源の保存・活用	54.8%	63.8%	3	48.6%	5	50.0%	4	47.8%	6	72.7%	1	66.7%	2	-	-

年代別満足度スコアの順位については、30代の満足度スコアが最も低い項目の数が最も多く、年代が上がるにつれ、満足度スコアも高くなる傾向が見られます。

また、20、30代では「歩行、自転車での道路の使いやすさ」の満足度スコアが、他の項目の満足度スコアと比較して高くなっています。

(2) 函館のまちに対し特に満足と思うこと、不満と思うこと

問3

函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。

下表は、問3の回答内容を問2の選択肢別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、特に満足と思うことについて合計125人（回答者全体の79.6%）、特に不満と思うことについて137人（回答者全体の87.3%）からご意見をいただきました。なお、複数の分野にわたる意見については、重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

① 特に満足と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	26	20.8%
日常の買い物の便利さ	15	12.0%
市内の移動（市電・バス）の便利さ	7	5.6%
市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	7	5.6%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	0	0.0%
自動車での道路の使いやすさ	3	2.4%
医療や福祉の施設やサービス体制	4	3.2%
子育て支援	5	4.0%
子どもの教育環境	1	0.8%
雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	0	0.0%
近所づきあい	8	6.4%
娯楽・レジャーの充実	11	8.8%
歴史・文化資源の保存・活用	14	11.2%
その他	61	48.8%
合計	162	

「その他」の意見としては「食べ物がおいしい（特に新鮮な海産物がある）（18件）」、「観光資源が豊富（13件）」、「景観がきれい（特に西部地区）（8件）」、「気候がよく大きな災害もなく過ごしやすい（8件）」、「海や山があり自然に囲まれている（3件）」等が挙げられています。

② 特に不満と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	8	5.8%
日常の買い物の便利さ	0	0.0%
市内の移動（市電・バス）の便利さ	26	19.0%
市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	17	12.4%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	7	5.1%
自動車での道路の使いやすさ	24	17.5%
医療や福祉の施設やサービス体制	2	1.5%
子育て支援	3	2.2%
子どもの教育環境	2	1.5%
雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	13	9.5%
近所づきあい	2	1.5%
娯楽・レジャーの充実	16	11.7%
歴史・文化資源の保存・活用	1	0.7%
その他	44	32.1%
合計	165	

「その他」の主な内容は、「まちづくり（都市開発、観光地の活用、公園の整備等）が不十分（8件）」、「冬季の除雪が不十分（7件）」、「大型商業施設がないこと（5件）」等が挙げられています。

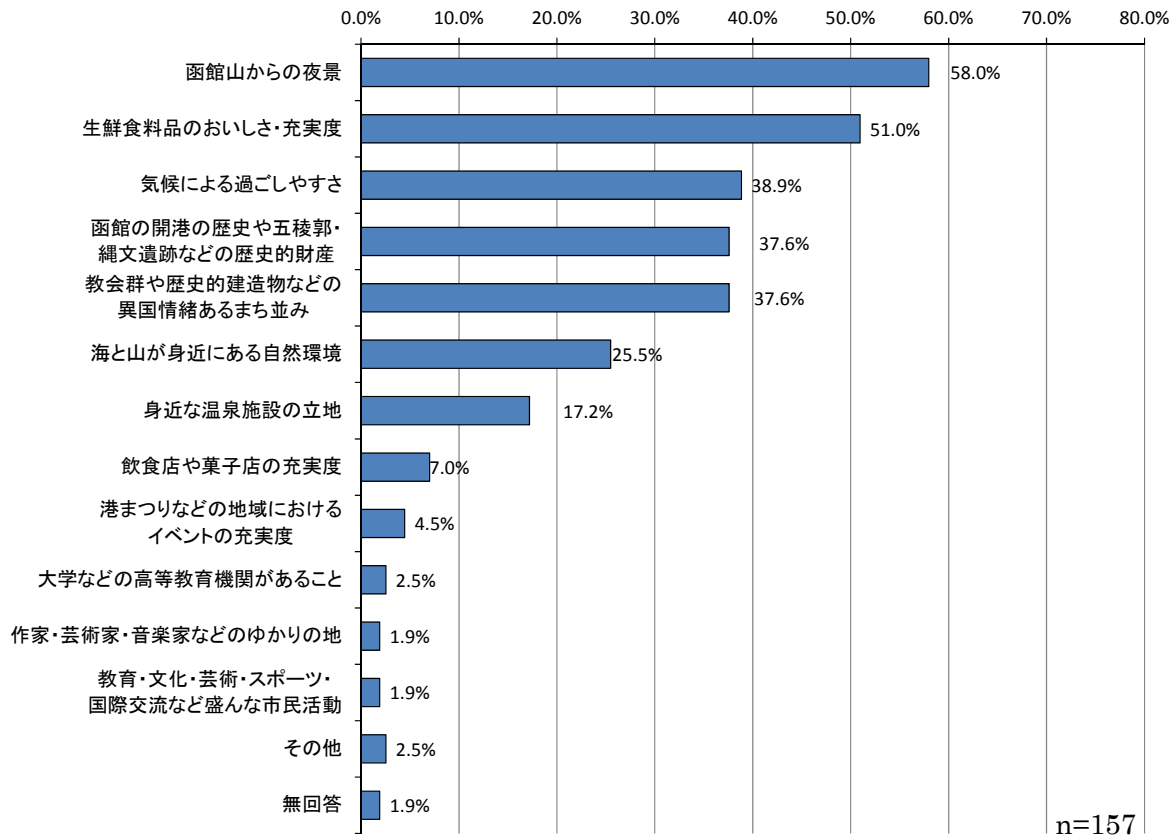
3 「函館市の魅力」に関する調査結果

(1) 函館市の魅力や誇れるもの

問4

函館市の魅力や誇れるものは何だと思いますか？

主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
函館山からの夜景	91	58.0%	66.0%	54.1%	58.8%	60.9%	36.4%	33.3%	0.0%
生鮮食料品のおいしさ・充実度	80	51.0%	57.4%	54.1%	38.2%	43.5%	54.5%	100.0%	0.0%
気候による過ごしやすさ	61	38.9%	44.7%	35.1%	35.3%	39.1%	45.5%	33.3%	0.0%
函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産	59	37.6%	36.2%	18.9%	47.1%	39.1%	63.6%	33.3%	0.0%
教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み	59	37.6%	21.3%	37.8%	52.9%	47.8%	36.4%	33.3%	0.0%
海と山が身近にある自然環境	40	25.5%	23.4%	32.4%	26.5%	8.7%	36.4%	33.3%	0.0%
身近な温泉施設の立地	27	17.2%	19.1%	18.9%	14.7%	17.4%	18.2%	0.0%	0.0%
飲食店や菓子店の充実度	11	7.0%	6.4%	10.8%	5.9%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%
港まつりなどの地域におけるイベントの充実度	7	4.5%	8.5%	2.7%	2.9%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
大学などの高等教育機関があること	4	2.5%	2.1%	0.0%	5.9%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地	3	1.9%	2.1%	2.7%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動	3	1.9%	2.1%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	33.3%	0.0%
その他	4	2.5%	2.1%	2.7%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	3	1.9%	0.0%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「函館山からの夜景」が58.0%と最も高く、「生鮮食料品のおいしさ・充実度」が51.0%で続いています。

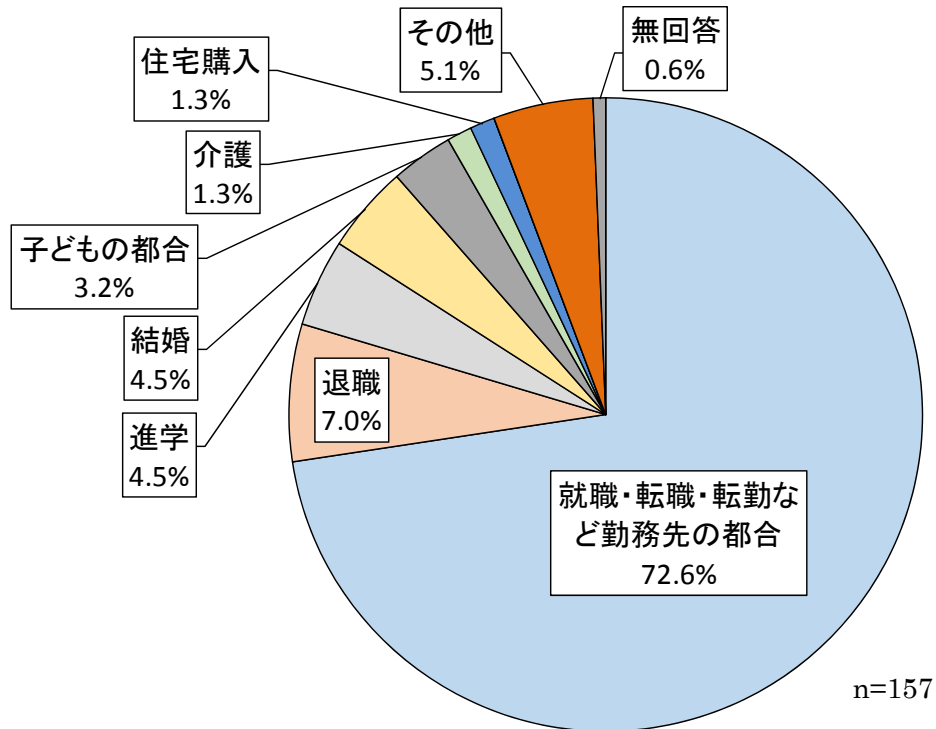
回答者の年代別では、50代以下では全体と同様「函館山からの夜景」が最も高く、60代では「函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産」が最も高くなっています。

4 「転出」に関する調査結果

(1) 転出のきっかけ

問5

転出のきっかけについて、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
就職・転職・転勤など勤務先の都合	114	72.6%	76.6%	81.1%	85.3%	78.3%	9.1%	0.0%	0.0%
退職	11	7.0%	2.1%	2.7%	2.9%	4.3%	63.6%	0.0%	0.0%
進学	7	4.5%	10.6%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
結婚	7	4.5%	10.6%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子どもの都合	5	3.2%	0.0%	2.7%	2.9%	4.3%	9.1%	33.3%	0.0%
介護	2	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	9.1%	0.0%	0.0%
住宅購入	2	1.3%	0.0%	2.7%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
災害	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	8	5.1%	0.0%	5.4%	5.9%	0.0%	9.1%	66.7%	0.0%
無回答	1	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%

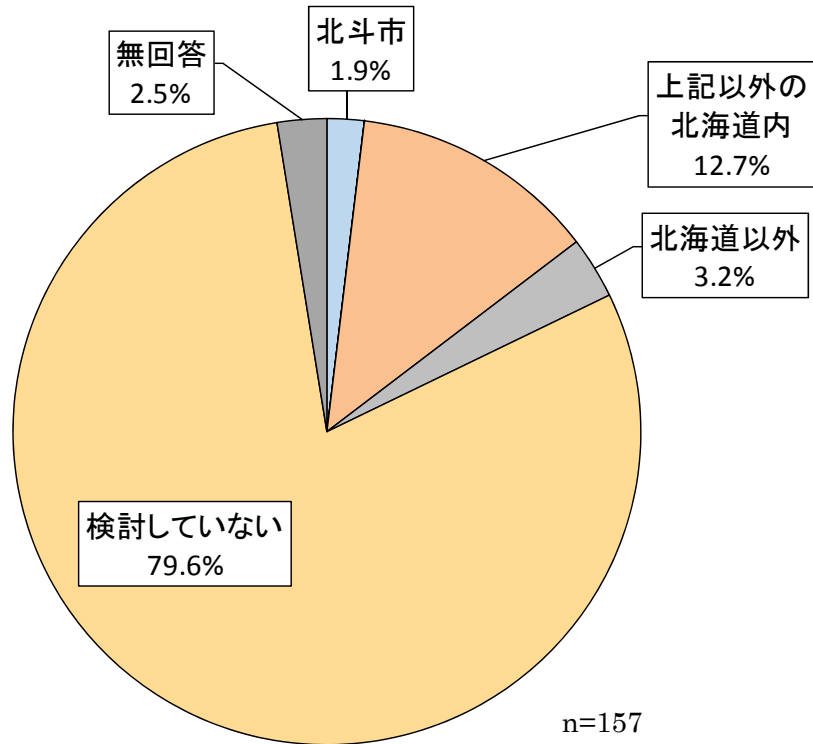
「就職・転職・転勤など勤務先の都合」が72.6%と最も高く、「退職」が7.0%で続いています。

回答者の年代別では、50代以下では全体と同様、「就職・転職・転勤など勤務先の都合」が最も高く、60代では「退職」が最も高くなっています。

(2) 実際の転居先以外にも検討したところ

問6

転出するにあたり実際の転居先以外にも検討したところがありますか？
 あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



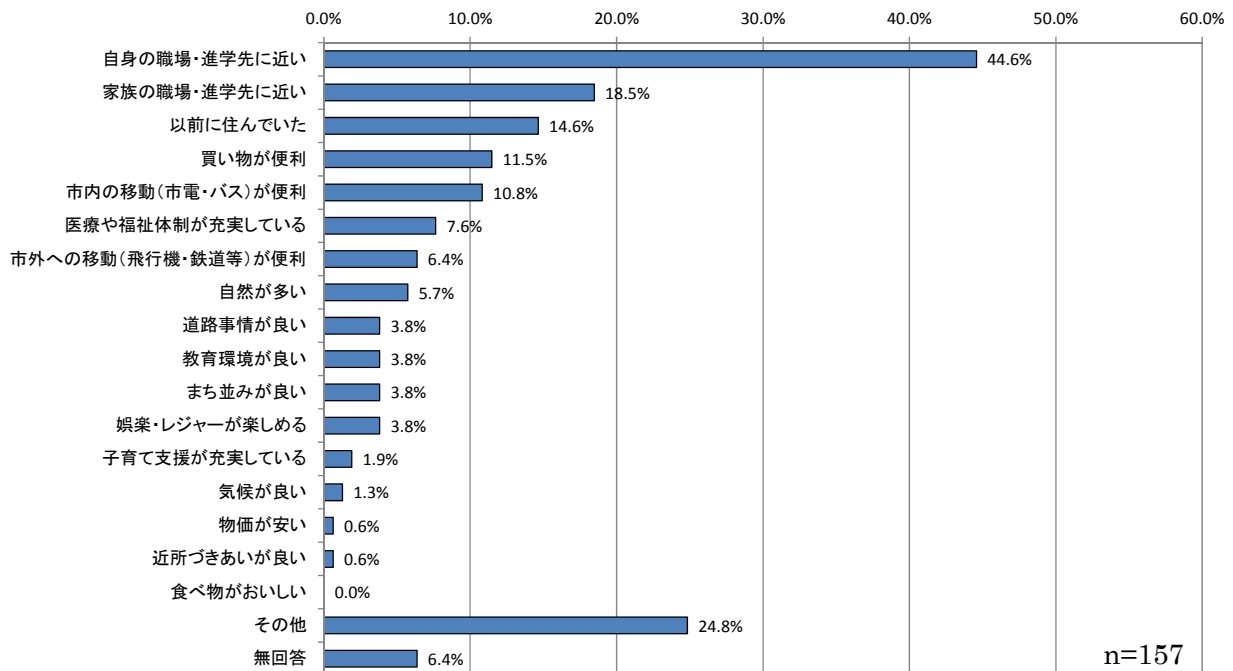
選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
北斗市	3	1.9%	4.3%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
七飯町	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上記以外の北海道内	20	12.7%	6.4%	8.1%	23.5%	21.7%	0.0%	0.0%	0.0%
北海道以外	5	3.2%	8.5%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
検討していない	125	79.6%	80.9%	91.9%	73.5%	60.9%	90.9%	100.0%	0.0%
無回答	4	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	9.1%	0.0%	0.0%

「検討していない」が79.6%と最も高く、「上記以外の北海道内」が12.7%が続いています。回答者の年代別では、各年代とも全体と同様、「検討していない」最も高くなっています。

(3) 転出先を選択した理由

問 7

転出先を選択した理由について、次の中から、3つまで選んで番号に○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
自身の職場・進学先に近い	70	44.6%	63.8%	37.8%	41.2%	30.4%	36.4%	0.0%	0.0%
家族の職場・進学先に近い	29	18.5%	6.4%	32.4%	14.7%	26.1%	18.2%	33.3%	0.0%
以前に住んでいた	23	14.6%	8.5%	18.9%	20.6%	4.3%	36.4%	0.0%	0.0%
買い物が便利	18	11.5%	17.0%	8.1%	2.9%	0.0%	27.3%	66.7%	0.0%
市内の移動(市電・バス)が便利	17	10.8%	19.1%	8.1%	2.9%	4.3%	27.3%	0.0%	0.0%
医療や福祉体制が充実している	12	7.6%	0.0%	2.7%	11.8%	8.7%	27.3%	66.7%	0.0%
市外への移動(飛行機・鉄道等)が便利	10	6.4%	10.6%	2.7%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然が多い	9	5.7%	4.3%	5.4%	5.9%	4.3%	9.1%	0.0%	0.0%
道路事情が良い	6	3.8%	2.1%	0.0%	5.9%	4.3%	18.2%	0.0%	0.0%
教育環境が良い	6	3.8%	2.1%	5.4%	5.9%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
まち並みが良い	6	3.8%	2.1%	5.4%	5.9%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
娯楽・レジャーが楽しめる	6	3.8%	4.3%	2.7%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子育て支援が充実している	3	1.9%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
気候が良い	2	1.3%	0.0%	0.0%	2.9%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
物価が安い	1	0.6%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
近所づきあいが良い	1	0.6%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食べ物がおいしい	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	39	24.8%	23.4%	24.3%	20.6%	30.4%	27.3%	66.7%	0.0%
無回答	10	6.4%	2.1%	5.4%	11.8%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「自身の職場・進学先に近い」が44.6%と最も高く、「家族の職場・進学先に近い」が18.5%で続いています。回答者の年代別では、60代以下では「自身の職場・進学先に近い」が最も高くなっており、また、40代および60代では「以前に住んでいた」の割合が高くなっています。

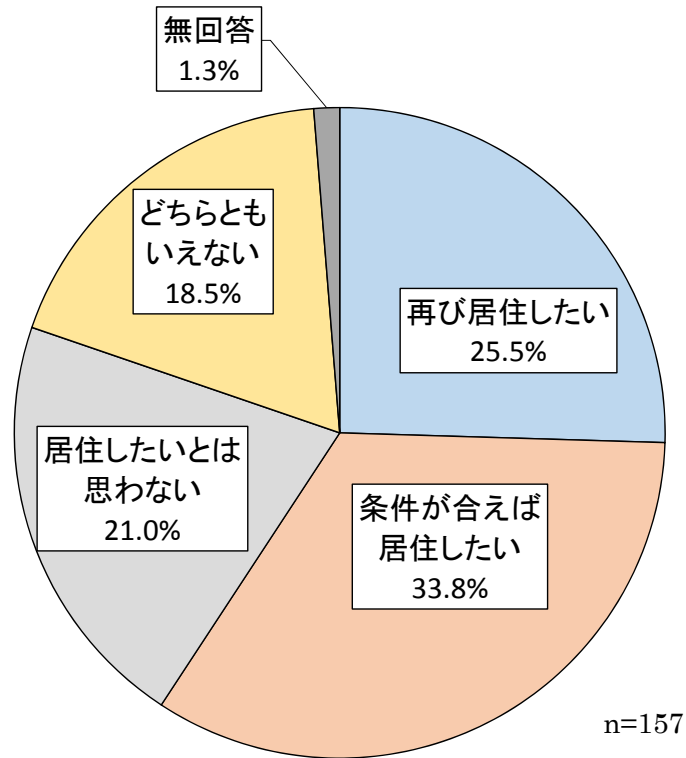
「その他」の意見としては「転勤・人事異動」(18件)等が挙げられています。

(4) 将来的に函館市に再び居住したいと思うか

問8

将来的に函館市に再び居住したいと思いますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
再び居住したい	40	25.5%	31.9%	21.6%	20.6%	21.7%	27.3%	66.7%	0.0%
条件が合えば居住したい	53	33.8%	46.8%	29.7%	35.3%	17.4%	36.4%	0.0%	0.0%
居住したいとは思わない	33	21.0%	4.3%	27.0%	26.5%	26.1%	27.3%	33.3%	0.0%
どちらともいえない	29	18.5%	17.0%	21.6%	17.6%	26.1%	9.1%	0.0%	0.0%
無回答	2	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%

「条件が合えば居住したい」が33.8%と最も高く、「再び居住したい」が25.5%で続いています。

回答者の年代別では、20、30、40、60代では「条件が合えば居住したい」が最も高く、50代では「居住したいとは思わない」と「どちらともいえない」が同率で最も高く、70代では「再び居住したい」が最も高くなっています。

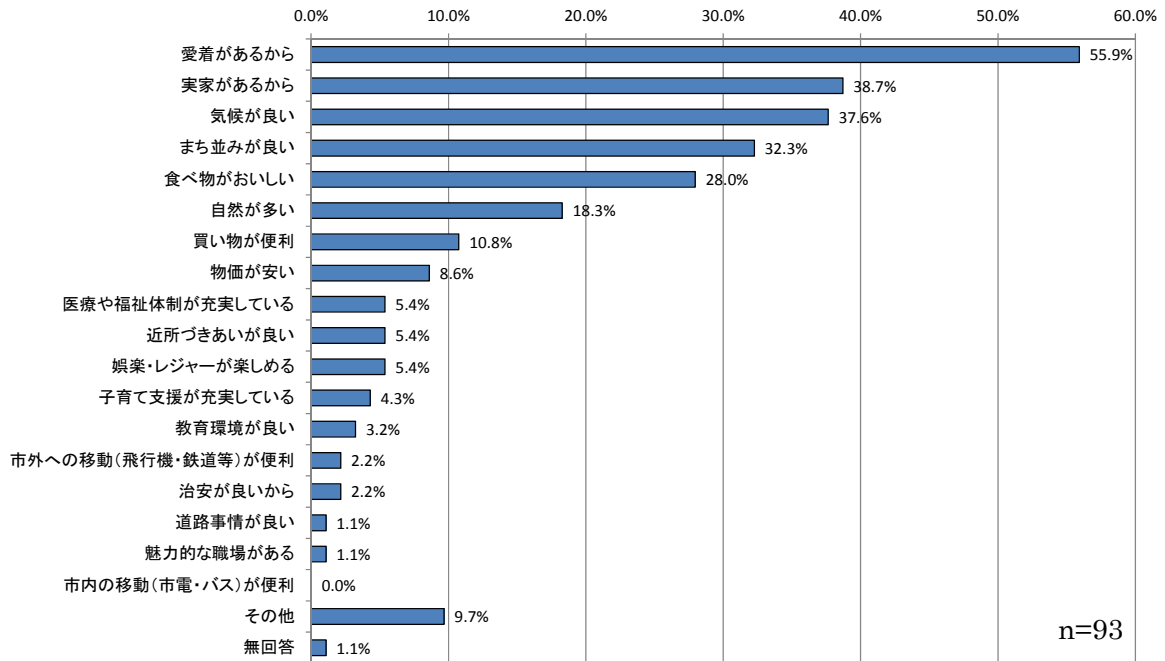
(5) ①「再び居住したい」と思う理由

問 9-1

「再び居住したい」と思う理由は何ですか？

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

(回答対象者：問8で「再び居住したい」または「条件が合えば居住したい」を選択した人)



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
愛着があるから	52	55.9%	70.3%	36.8%	63.2%	33.3%	28.6%	100.0%	0.0%
実家があるから	36	38.7%	54.1%	31.6%	36.8%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%
気候が良い	35	37.6%	29.7%	31.6%	42.1%	33.3%	85.7%	50.0%	0.0%
まち並みが良い	30	32.3%	35.1%	26.3%	42.1%	22.2%	28.6%	0.0%	0.0%
食べ物がおいしい	26	28.0%	18.9%	36.8%	26.3%	33.3%	57.1%	0.0%	0.0%
自然が多い	17	18.3%	21.6%	21.1%	5.3%	11.1%	28.6%	50.0%	0.0%
買い物が便利	10	10.8%	16.2%	10.5%	5.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
物価が安い	8	8.6%	16.2%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療や福祉体制が充実している	5	5.4%	0.0%	0.0%	10.5%	11.1%	0.0%	100.0%	0.0%
近所づきあいが良い	5	5.4%	0.0%	0.0%	21.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
娯楽・レジャーが楽しめる	5	5.4%	5.4%	0.0%	10.5%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
子育て支援が充実している	4	4.3%	0.0%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育環境が良い	3	3.2%	2.7%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
市外への移動(飛行機・鉄道等)が便利	2	2.2%	2.7%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
治安が良いから	2	2.2%	2.7%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
道路事情が良い	1	1.1%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
魅力的な職場がある	1	1.1%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
市内の移動(市電・バス)が便利	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	9	9.7%	8.1%	10.5%	5.3%	22.2%	14.3%	0.0%	0.0%
無回答	1	1.1%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「愛着があるから」が55.9%と最も高く、「実家があるから」が38.7%、「気候が良い」が37.6%で続いています。

また、70代では、「医療や福祉体制が充実している」の割合が高くなっています。

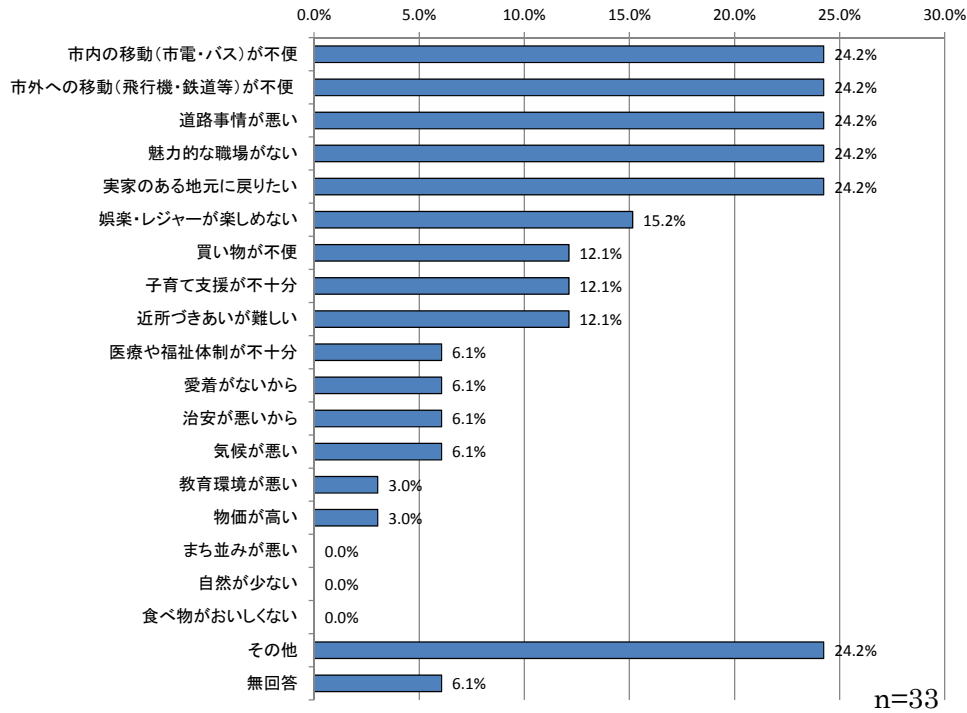
②「再び居住したい」と思わない理由

問9-2

「再び居住したい」と思わない理由は何ですか？

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

(回答対象者：問8で「居住したいとは思わない」を選択した人)



選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
市内の移動(市電・バス)が不便	8	24.2%	50.0%	40.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
市外への移動(飛行機・鉄道等)が不便	8	24.2%	50.0%	30.0%	11.1%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
道路事情が悪い	8	24.2%	0.0%	30.0%	11.1%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
魅力的な職場がない	8	24.2%	0.0%	30.0%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
実家のある地元に戻りたい	8	24.2%	50.0%	20.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
娯楽・レジャーが楽しめない	5	15.2%	50.0%	30.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
買い物が不便	4	12.1%	50.0%	20.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子育て支援が不十分	4	12.1%	0.0%	10.0%	22.2%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
近所づきあいが難しい	4	12.1%	0.0%	10.0%	11.1%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
医療や福祉体制が不十分	2	6.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
愛着がないから	2	6.1%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
治安が悪いから	2	6.1%	0.0%	10.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
气候が悪い	2	6.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育環境が悪い	1	3.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物価が高い	1	3.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
まち並みが悪い	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然が少ない	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食べ物がおいしくない	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	8	24.2%	0.0%	10.0%	11.1%	33.3%	66.7%	100.0%	0.0%
無回答	2	6.1%	0.0%	10.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

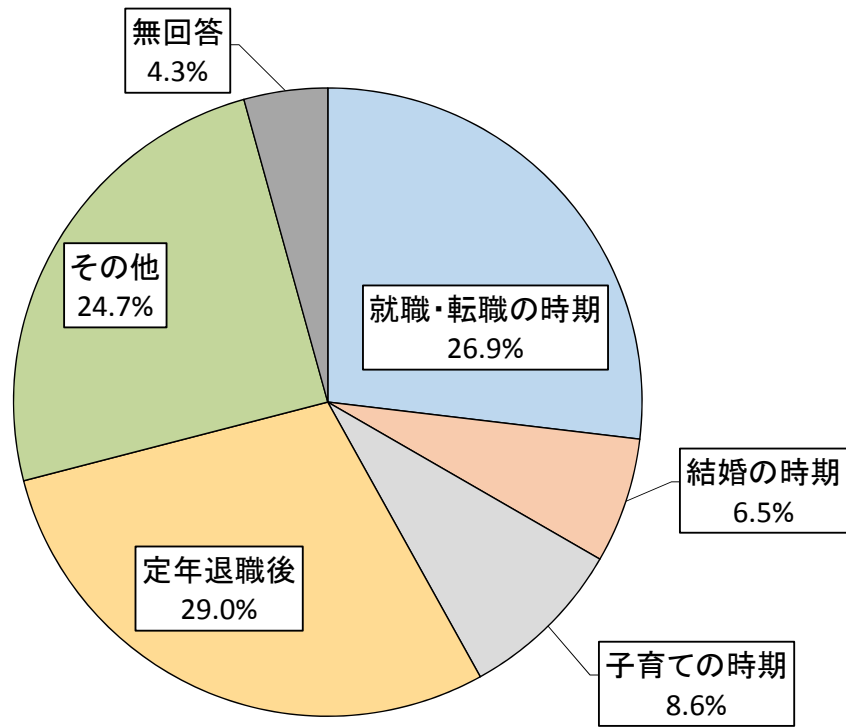
「市内の移動(市電・バス)が不便」、「市外への移動(飛行機・鉄道等)が不便」、「道路事情が悪い」、「魅力的な職場がない」、「実家のある地元に戻りたい」が24.2%で最も高くなっています。また、各年代とも、交通事情および雇用に対する不満の割合が高くなっています。

「その他」の意見としては「市民が閉鎖的(2件)」等が挙げられています。

(6) 再び居住したいと考えている時期

問 10

再び居住したいと考えている時期について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。
 (回答対象者：問8で「再び居住したい」または「条件が合えば居住したい」を選択した人)



n=93

選択肢	全体		年代別						
	回答数	回答率	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
就職・転職の時期	25	26.9%	35.1%	26.3%	31.6%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
結婚の時期	6	6.5%	10.8%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子育ての時期	8	8.6%	10.8%	15.8%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
定年退職後	27	29.0%	21.6%	36.8%	26.3%	66.7%	14.3%	0.0%	0.0%
その他	23	24.7%	18.9%	15.8%	26.3%	11.1%	85.7%	50.0%	0.0%
無回答	4	4.3%	2.7%	0.0%	5.3%	11.1%	0.0%	50.0%	0.0%

「定年退職後」が29.0%と最も高く、「就職・転職の時期」が26.9%と続いています。
 回答者の年代別では、20、40代では「就職・転職の時期」が最も高く、30、50代では、「定年退職後」が最も高くなっています。

「その他」の意見としては「転勤があれば(5件)」、「介護が終わったら(2件)」等が挙げられています。

5 自由意見のまとめ

下表は、アンケート調査票の自由意見欄に記入された内容を、平成19年に策定した「新函館市総合計画」の施策の体系別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、合計80人（回答者全体の51.0%）からご意見をいただきました。

なお、複数の分野にわたる意見については、重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

部	章	節	件数	割合
心豊かな人と文化を はくぐむまち	創造性とふれあいをはくぐむ社会の形成	生涯学習の推進	1	1.3%
		文化芸術の振興	4	5.0%
		スポーツ・レクリエーションの振興	5	6.3%
		青少年の健全育成	0	0.0%
		男女共同参画の推進	1	1.3%
		国際化の推進	1	1.3%
		都市間交流の推進	1	1.3%
	次代を担う人材の育成と知の集積	幼児教育の充実	0	0.0%
		義務教育の充実	0	0.0%
		高校教育の充実	0	0.0%
		特別支援教育の充実	0	0.0%
		高等教育の充実	5	6.3%
		学術研究機能の充実	1	1.3%
		共に支えあい健やかに暮らせるまち	地域福祉社会の形成	地域福祉の推進
児童福祉の推進	12			15.0%
高齢者福祉の推進	5			6.3%
障がい者福祉の推進	2			2.5%
低所得者援護対策の充実	0			0.0%
健康を守る社会の形成	健康づくりの推進		0	0.0%
	医療環境の充実		2	2.5%
	生活衛生対策の推進		1	1.3%
快適で安らぎのある 住み良いまち	快適な生活環境の整備	市街地の整備	16	20.0%
		住環境の整備	9	11.3%
		生活道路の整備	6	7.5%
		公共交通の充実	8	10.0%
		水道水の安定供給	0	0.0%
		エネルギーの安定供給	0	0.0%
		地域情報化の推進	1	1.3%
	安全・安心な市民生活の確保	防災対策の充実	0	0.0%
		消防・救急体制の充実	0	0.0%
		交通安全対策の推進	6	7.5%
		防犯対策の推進	1	1.3%
		消費生活の向上	3	3.8%
		環境保全対策の推進	0	0.0%
環境と共生する 美しいまち	地球にやさしいまちづくりの推進	廃棄物対策の推進	0	0.0%
		汚水対策の充実	0	0.0%
		魅力ある景観の形成	4	5.0%
	うるおいのある都市空間の形成	水と緑の空間整備	3	3.8%
		地域を支える産業の振興	観光・コンベンションの振興	24
農林業の振興	0		0.0%	
水産業の振興	3		3.8%	
工業の振興	0		0.0%	
商業の振興	21		26.3%	
新産業の創出と企業立地の促進	7		8.8%	
雇用環境の向上	24		30.0%	
総合交通体系の確立	鉄道輸送の充実		3	3.8%
	幹線道路の整備		3	3.8%
	港湾機能の充実		0	0.0%
	空港機能の充実	1	1.3%	
	その他	その他	3	3.8%
合計			191	

自由記述回答の主な内容は、次のとおりです。

① 創造性とふれあいをはぐくむ社会の形成

「子どもが少ない印象があるが、そのためには若い人たちが住みやすく、生活をしていける環境を作っていくことで、人口の増加にもつながるのではないか」という意見や、「函館アリーナや北海道新幹線といった新たなものができ上がってきているので、それらを利用することでまちが活性化していくのではないか」といった声も挙げられています。

② 次代を担う人材の育成と知の集積

「魅力ある大学や専門学校が少ないため、函館から出ていってしまう若い人が多い」という意見が挙げられています。

③ 地域福祉社会の形成

「子どもや高齢者、障がい者が住みよいまちになること」を望んでいる意見が多く挙げられています。

また、「近隣自治体のような子育て支援があれば良い」との声が挙げられています。

④ 健康を守る社会の形成

「病院や観光客の集まるような施設の設備がもっと充実してほしい」との意見が挙げられています。

⑤ 快適な生活環境の整備

「公共交通機関の発展やまちの空ビル・空テナントの放置など、生活に密着した部分での改善」を要望する意見が多く挙げられています。

⑥ 安全・安心な市民生活の確保

「運転マナーが悪く、生活の安全が脅かされている」といった意見が多く挙げられています。

また、「治安が悪く、安心して暮らすことができない」といった声も挙げられています。

⑦ 地球にやさしいまちづくりの推進

なし。

⑧ うるおいのある都市空間の形成

「自然には恵まれているが、生活していく面では不便さを感じている」といった意見が挙げられています。

⑨ 地域を支える産業の振興

観光面では、「歴史的建造物やおいしい食材が多くあるのだから、もっと函館をPRした方が良い」といった意見や、生活面では、「大型商業施設やレジャー施設をもっと増やしてほしい」といった意見が多く挙げられています。

また、「若い人たちが来るような教育施設や雇用の場をもっと増やさないと活気あるまちはつくっていけないのではないか」といった意見が挙げられています。

⑩ 総合交通体系の確立

「公共交通機関の活用をもっと充実してほしい」といった意見が挙げられています。



平成27年度 函館市 「地方創生に関するアンケート調査」のお願い

日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、現在、函館市の人口は269,628人（平成27年3月末日現在の住民基本台帳）で、昭和55年のピーク時の345,165人に比べ75,537人の減少となっており、このままでは消費や生産活動が縮小し、地域経済が低迷するほか、まちの活力の減退、住環境の悪化などまちづくりにも様々な影響をおよぼすことが懸念されます。

そのため、函館市は現在、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力のある地域社会の形成に向けて、函館市の2060年までの人口の将来展望を提示する「人口ビジョン」および今後5か年の対策を取りまとめた「総合戦略」の策定を進めております。

つきましては、本市より転出された皆様のご意見を伺うためアンケート調査を実施いたしますので、ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は、平成27年3月～4月までの間に本市より転出された20歳以上の方から、500人を無作為に抽出させていただき実施するものです。

平成27年5月

函 館 市 企 画 部

記入上の注意

- 1 お送りした**あて名のご本人**がお答えください。氏名は記入しないでください。
- 2 ご回答いただいた内容は、個人が特定できないように、全て統計的に処理いたします。
- 3 何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 4 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、**平成27年6月12日(金)**までに郵便ポストに投函してください。**(切手は不要です。)**
- 5 記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 〒040-8666 函館市東雲町4番13号
函館市企画部計画推進室計画調整課（新計画策定担当）
TEL：0138-21-3821 FAX：0138-23-7604
E-mail：shinkeikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

◆「あなた自身のこと」についてお聞きします。

問1 それぞれの内容についてお答えください。

<p>(1) あなたの性別は？ (番号1つに○)</p>	<p>1 男性 2 女性</p>
<p>(2) あなたの年齢は？ (年齢を記入)</p>	<p>満_____歳</p>
<p>(3) あなたの函館市の居住年数は？(番号1つに○)</p>	<p>1 1年未満 2 1年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上</p>
<p>(4) あなたの職業は？ (番号1つに○)</p>	<p>1 農林業 2 水産業 3 建設業 4 サービス業 5 公務員 6 教員・研究員 7 製造業 8 情報・通信業 9 運輸業 10 金融・保険業 11 医療・福祉業 12 専業主婦(主夫) 13 パート・アルバイト・派遣 14 学 生 15 無 職 16 その他 ()</p>
<p>(5) あなたは、現在、結婚していますか？(番号1つに○)</p>	<p>1 結婚している(既婚) 2 独身(未婚) 3 独身(結婚歴あり) 4 その他 ()</p>
<p>(6) あなたの家族構成は？ (番号1つに○)</p>	<p>1 単身 2 夫婦のみ 3 親子 4 三世代 5 その他 ()</p>

◆「函館のまち」についてお聞きします。

問2 函館のまちに対し、あなたはどの程度満足していましたか？

それぞれの項目ごとに、右のあてはまる番号から1つ選んで○をつけてください。

項 目	満足	まあ満足	どちらでもない	やや不満	不満
1 函館の住みやすさ	5	4	3	2	1
2 日常の買い物の便利さ	5	4	3	2	1
3 市内の移動（市電・バス）の便利さ	5	4	3	2	1
4 市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	5	4	3	2	1
5 歩行、自転車での道路の使いやすさ	5	4	3	2	1
6 自動車での道路の使いやすさ	5	4	3	2	1
7 医療や福祉の施設やサービス体制	5	4	3	2	1
8 子育て支援	5	4	3	2	1
9 子どもの教育環境	5	4	3	2	1
10 雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	5	4	3	2	1
11 近所づきあい	5	4	3	2	1
12 娯楽・レジャーの充実	5	4	3	2	1
13 歴史・文化資源の保存・活用	5	4	3	2	1

問3 函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。

（自由記述、問2の項目から選んでもかまいません。）

- | | | | | |
|---|-----------|---|--|---|
| 1 | 特に満足と思うこと | （ | | ） |
| 2 | 特に不満と思うこと | （ | | ） |

◆「函館市の魅力」についてお聞きします。

問4 函館市の魅力や誇れるものは何だと思いますか？
主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産
- 2 函館山からの夜景
- 3 教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み
- 4 生鮮食料品のおいしさ・充実度
- 5 飲食店や菓子店の充実度
- 6 身近な温泉施設の立地
- 7 港まつりなどの地域におけるイベントの充実度
- 8 大学などの高等教育機関があること
- 9 作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地
- 10 教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動
- 11 海と山が身近にある自然環境
- 12 気候による過ごしやすさ
- 13 その他 ()

◆「転出」についてお聞きします。

問5 転出のきっかけについて、あてはまる番号を1つを選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 就職・転職・転勤など勤務先の都合 | 2 進学 |
| 3 退職 | 4 結婚 |
| 5 介護 | 6 子どもの都合 |
| 7 住宅購入 | 8 災害 |
| 9 その他（ | ） |

問6 転出するにあたり実際の転居先以外にも検討したところがありますか？あてはまる番号を1つを選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---|
| 1 北斗市 | |
| 2 七飯町 | |
| 3 上記以外の北海道内（市町村名： | ） |
| 4 北海道以外（都府県・市町村名： | ） |
| 5 検討していない | |

問7 転出先を選択した理由について、次の中から、3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|----------------------|---|
| 1 自身の職場・進学先に近い | 2 家族の職場・進学先に近い | |
| 3 市内の移動（市電・バス）が便利 | 4 市外への移動（飛行機・鉄道等）が便利 | |
| 5 道路事情が良い | 6 医療や福祉体制が充実している | |
| 7 子育て支援が充実している | 8 教育環境が良い | |
| 9 物価が安い | 10 まち並みが良い | |
| 11 自然が多い | 12 買い物が便利 | |
| 13 近所づきあいが良い | 14 娯楽・レジャーが楽しめる | |
| 15 食べ物がおいしい | 16 気候が良い | |
| 17 以前に住んでいた | 18 その他（ | ） |

人口減少対策やまちづくりに関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

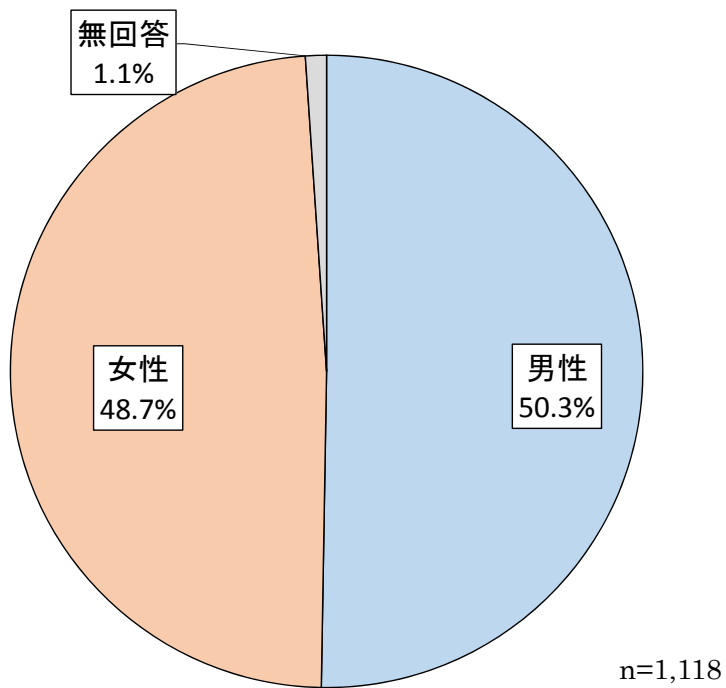
同封の返信用封筒に入れて、6月12日（金）までに郵便ポストに投函してください。

第5部 調査結果(高校生・大学生)

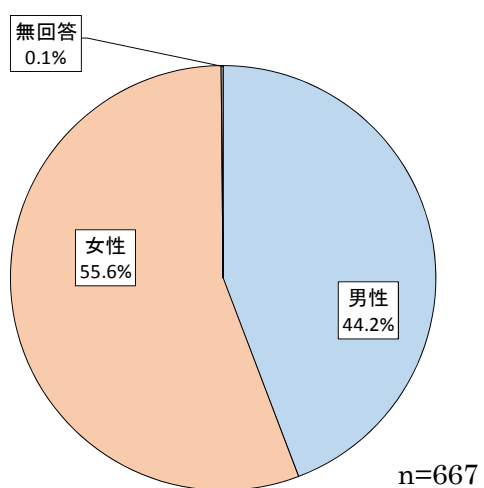
1 回答者の属性

(1) 性別

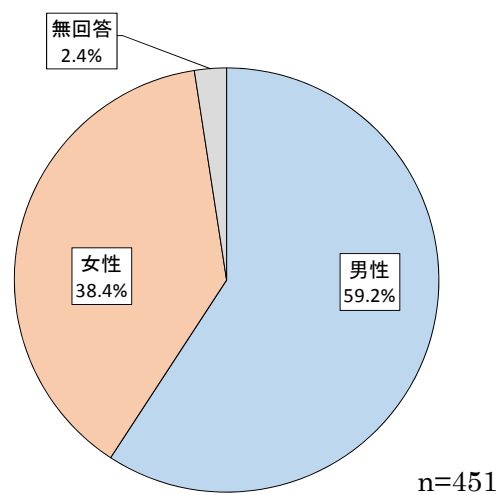
①全体



②高校生

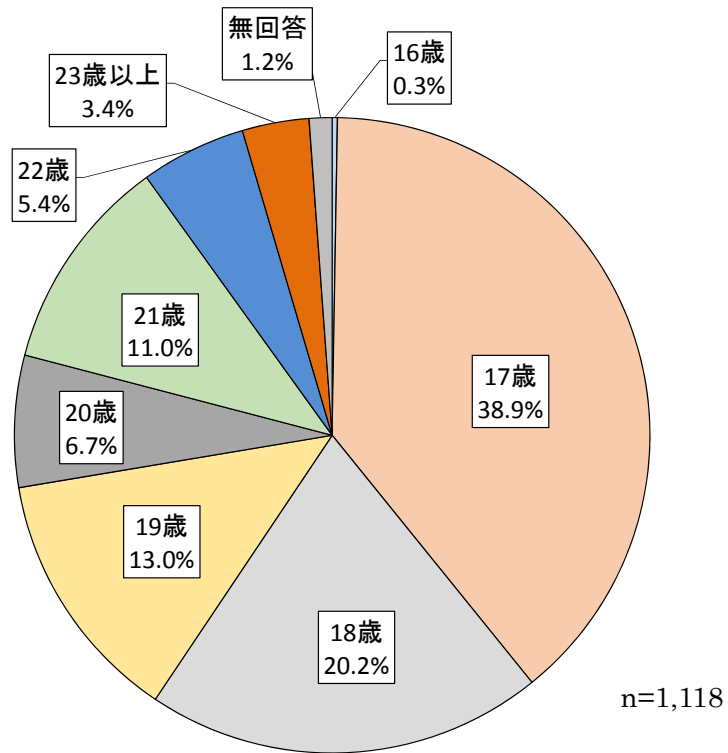


③大学生

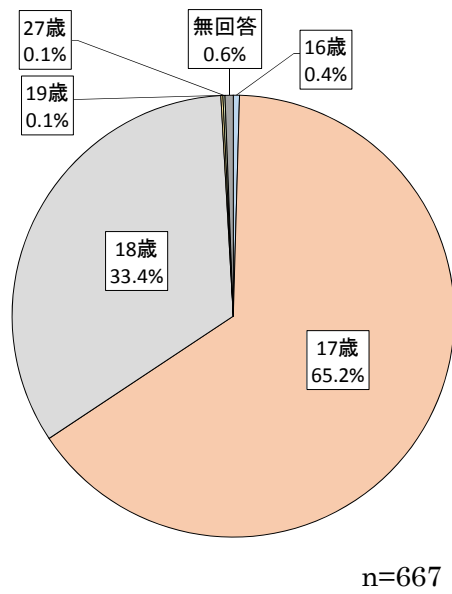


(2) 年齢

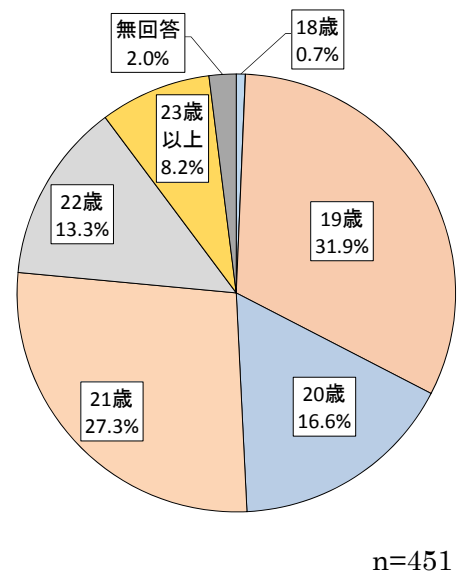
①全体



②高校生

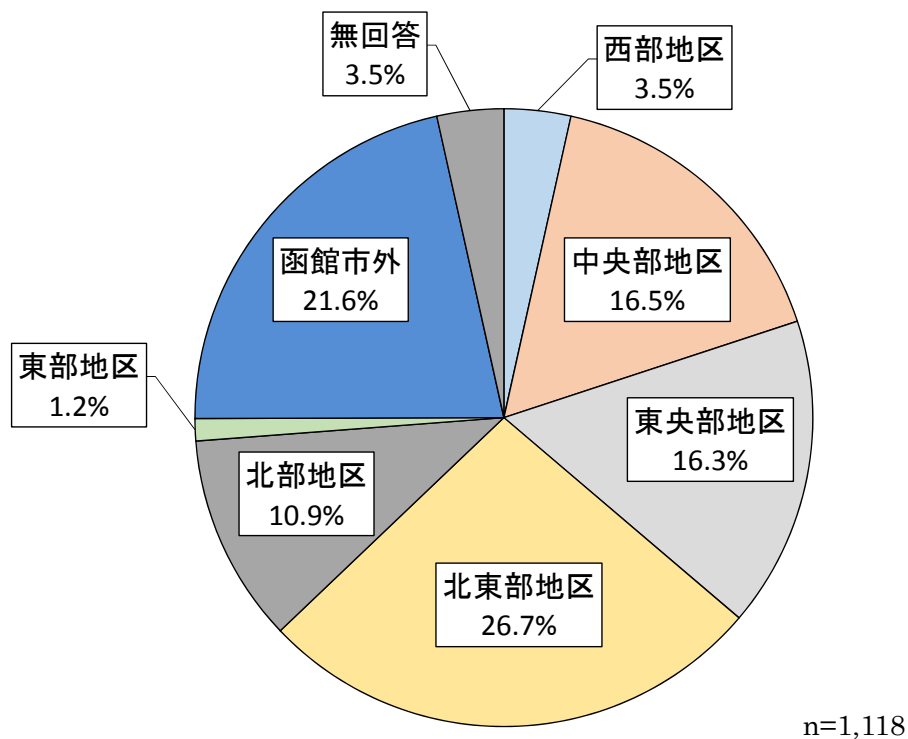


③大学生



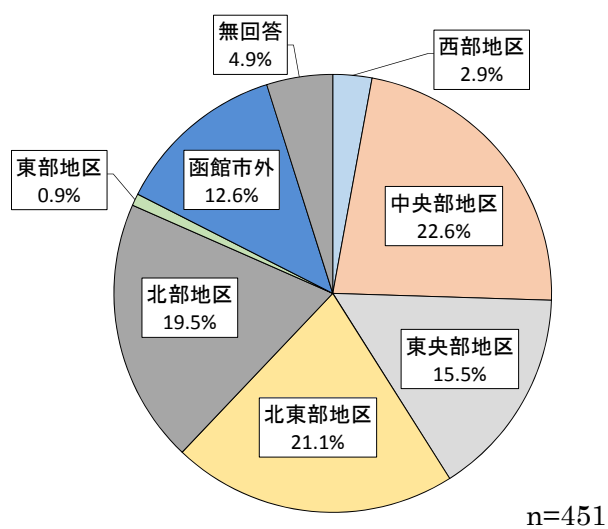
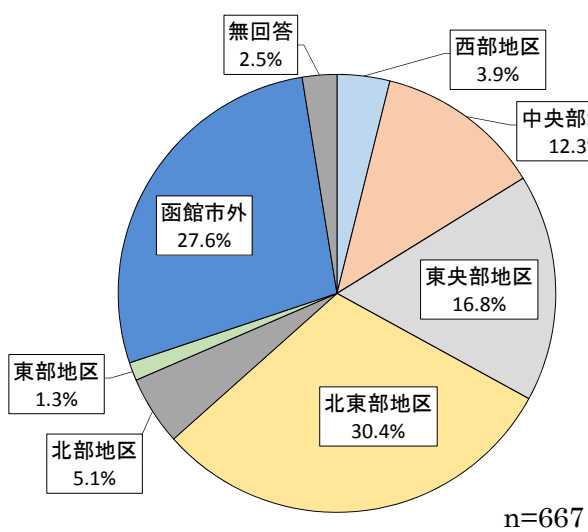
(3) 居住地

①全体



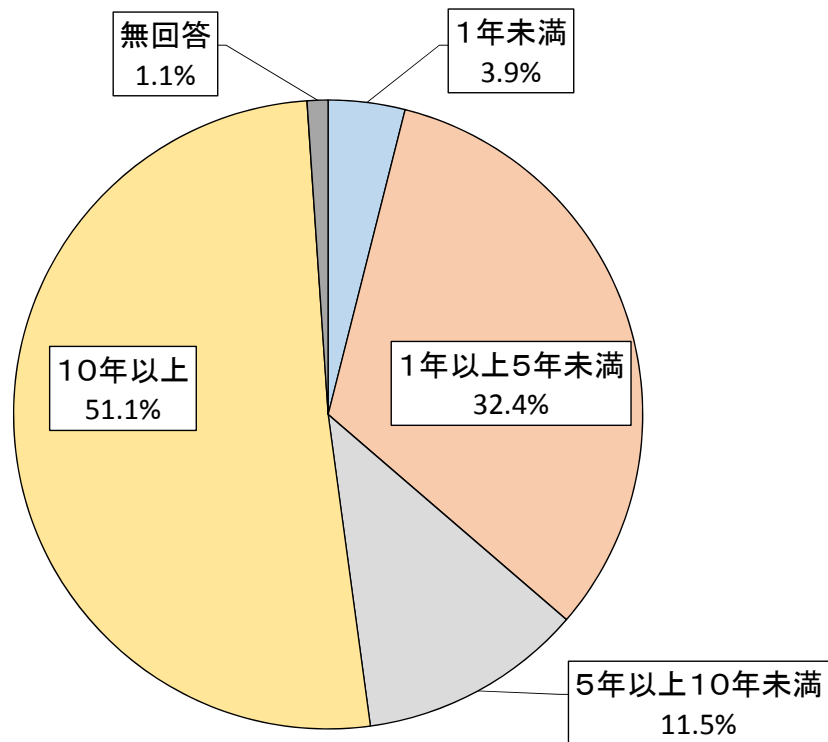
②高校生

③大学生



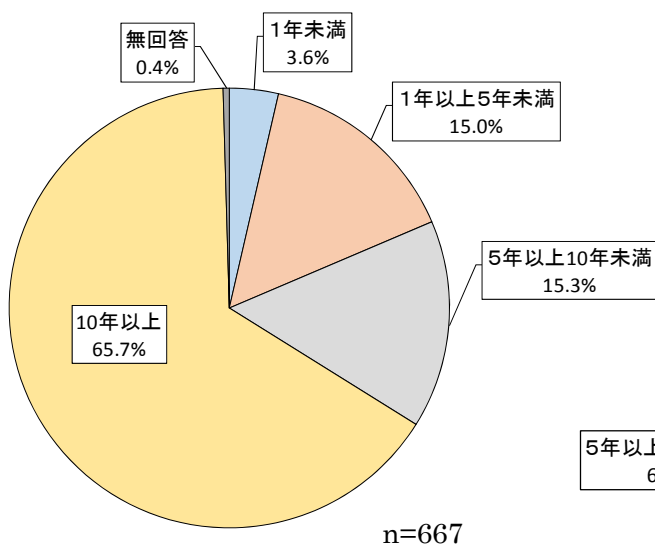
(4) 居住年数

①全体



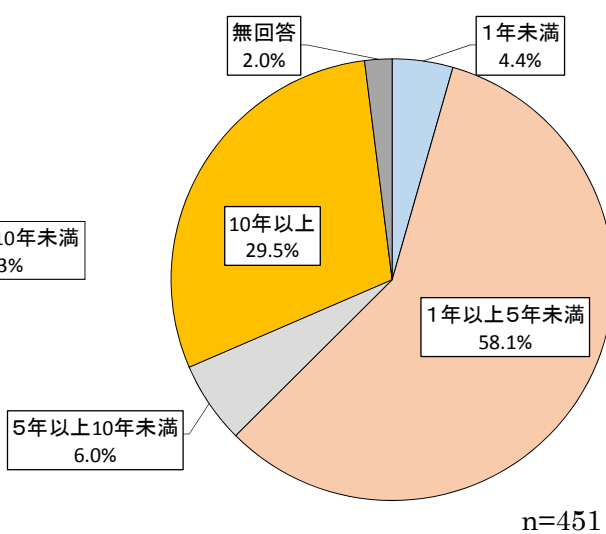
n=1,118

②高校生



n=667

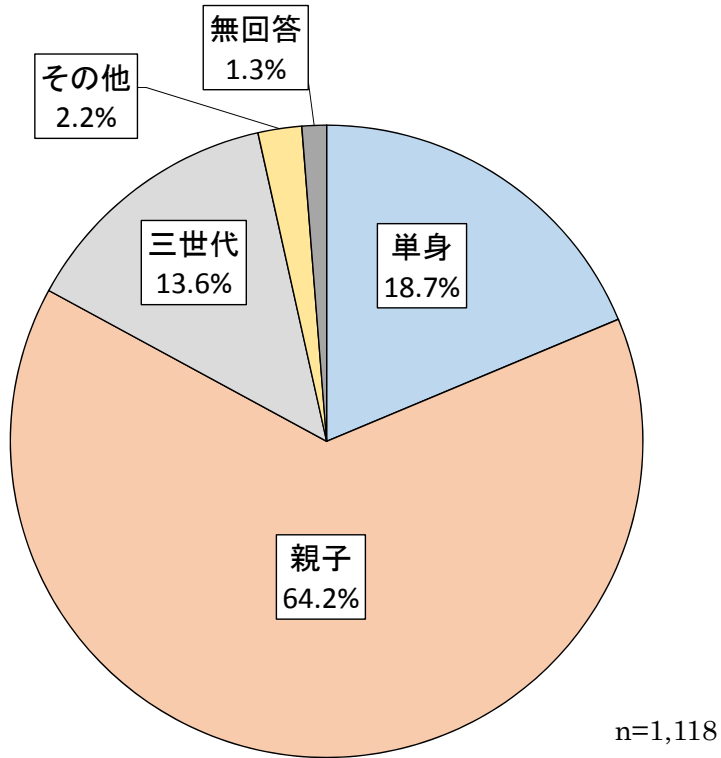
③大学生



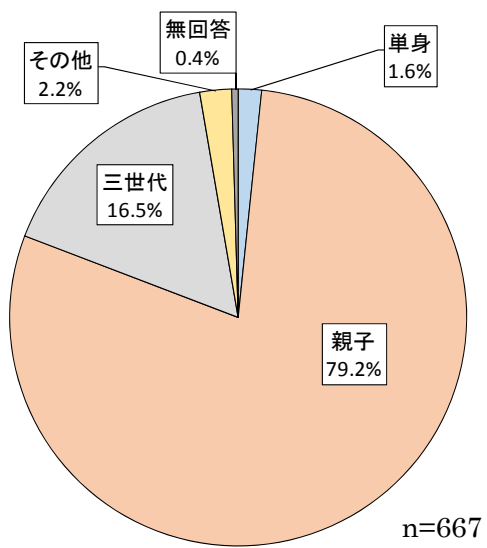
n=451

(5) 家族構成

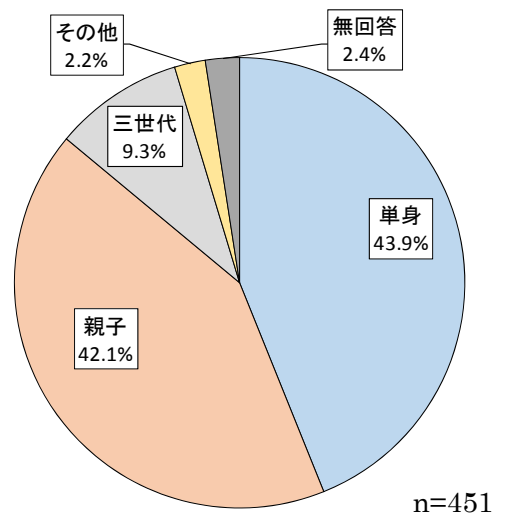
①全体



②高校生

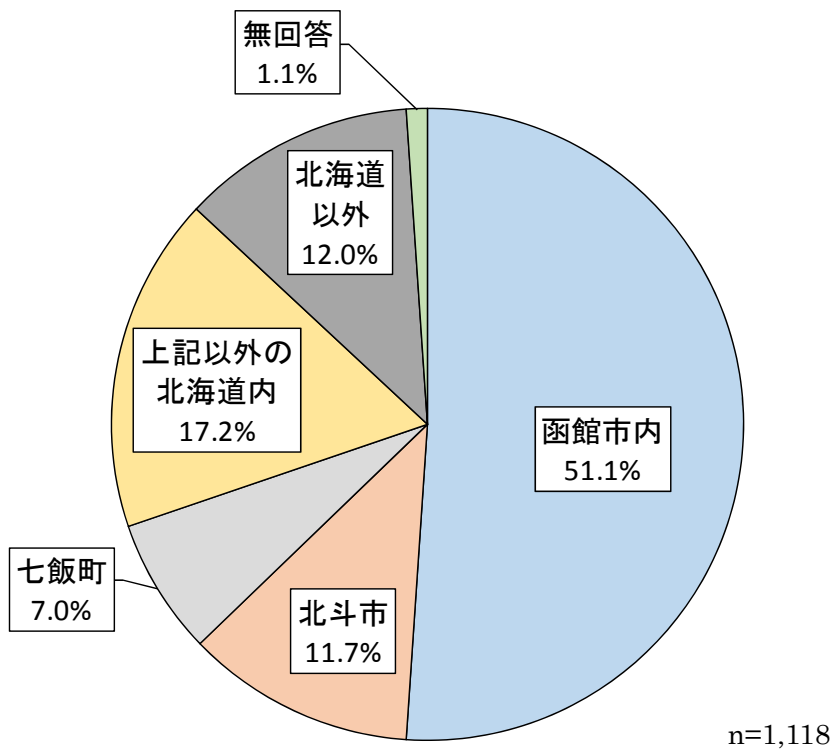


③大学生

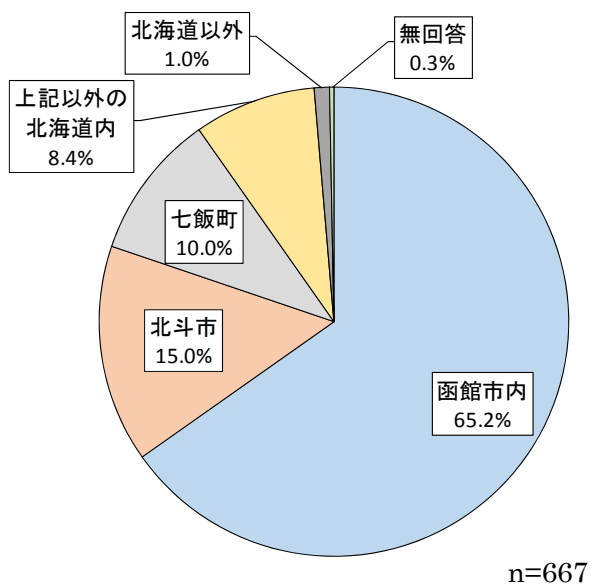


(6) 入学前の住まい

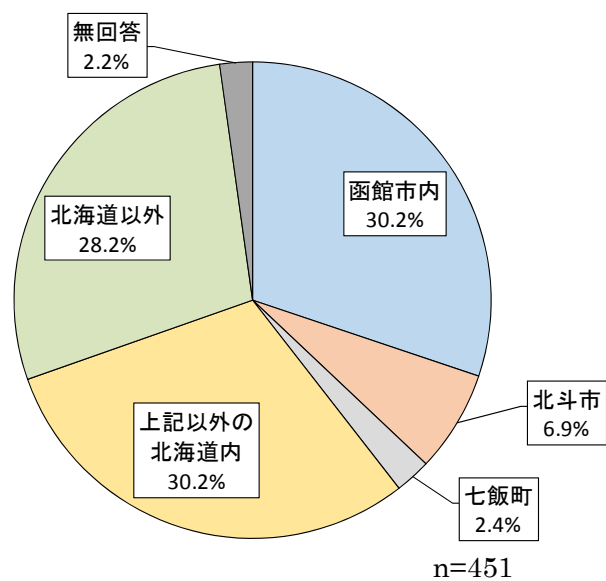
①全体



②高校生



③大学生



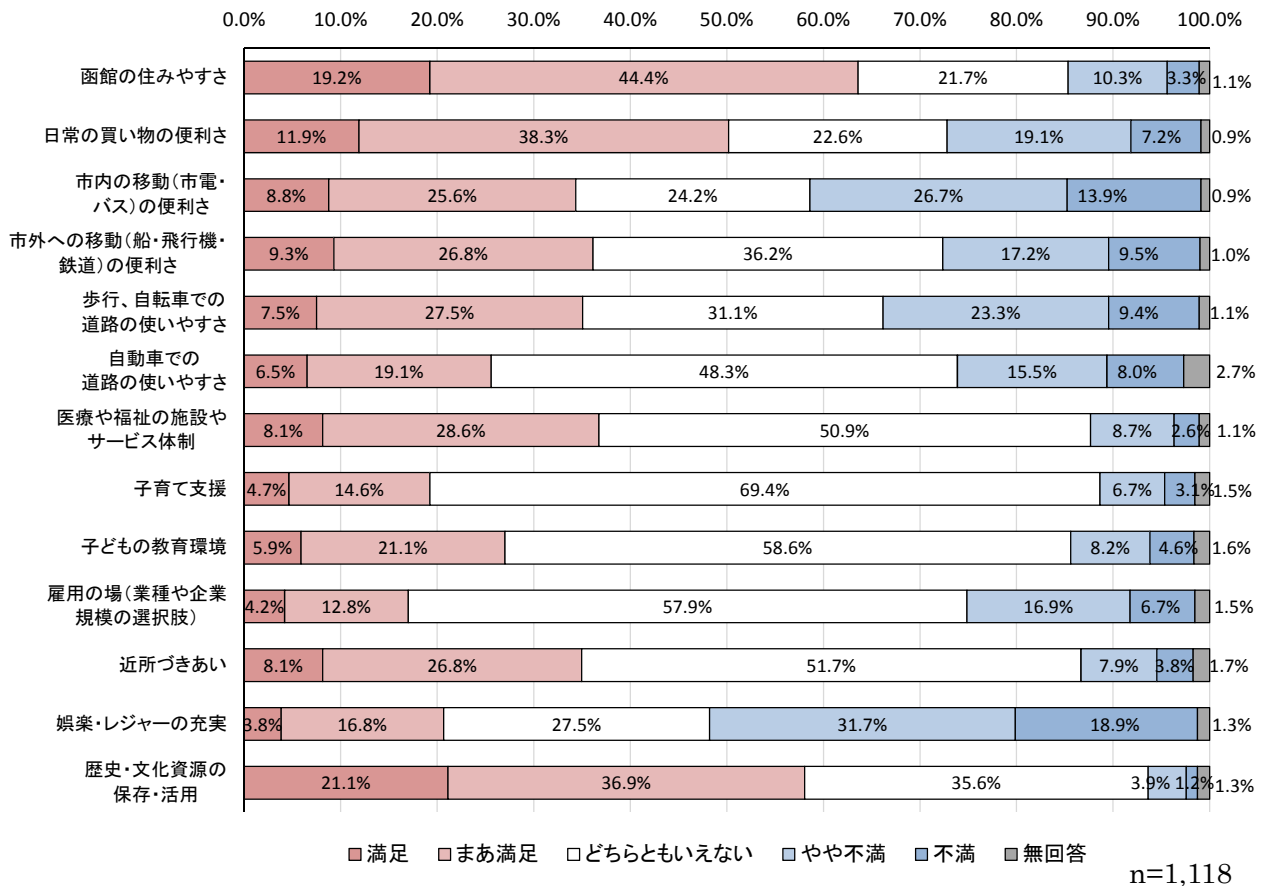
2 「函館のまち」に関する満足度調査結果

(1) 函館のまちに対する満足度

問2

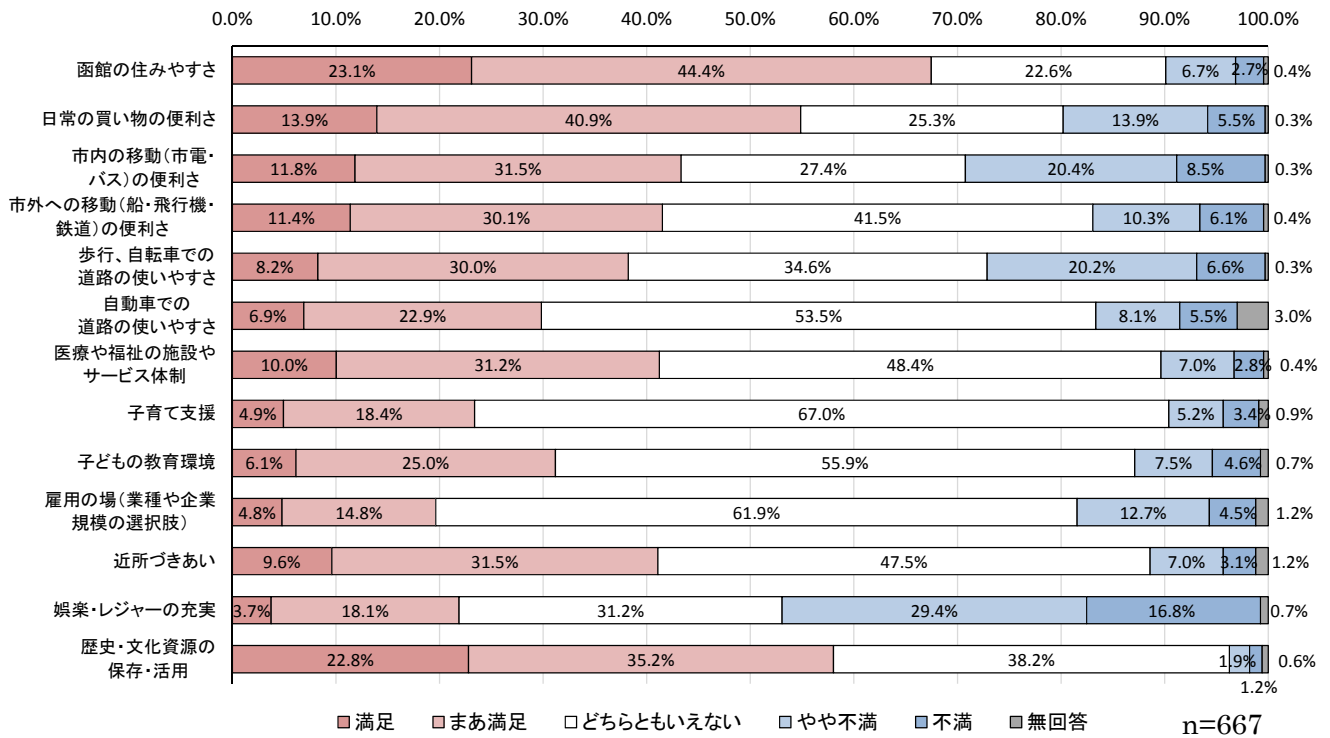
函館のまちに対し、あなたはどの程度満足していますか？
それぞれの項目ごとに1つ選んでください。

①全体の結果

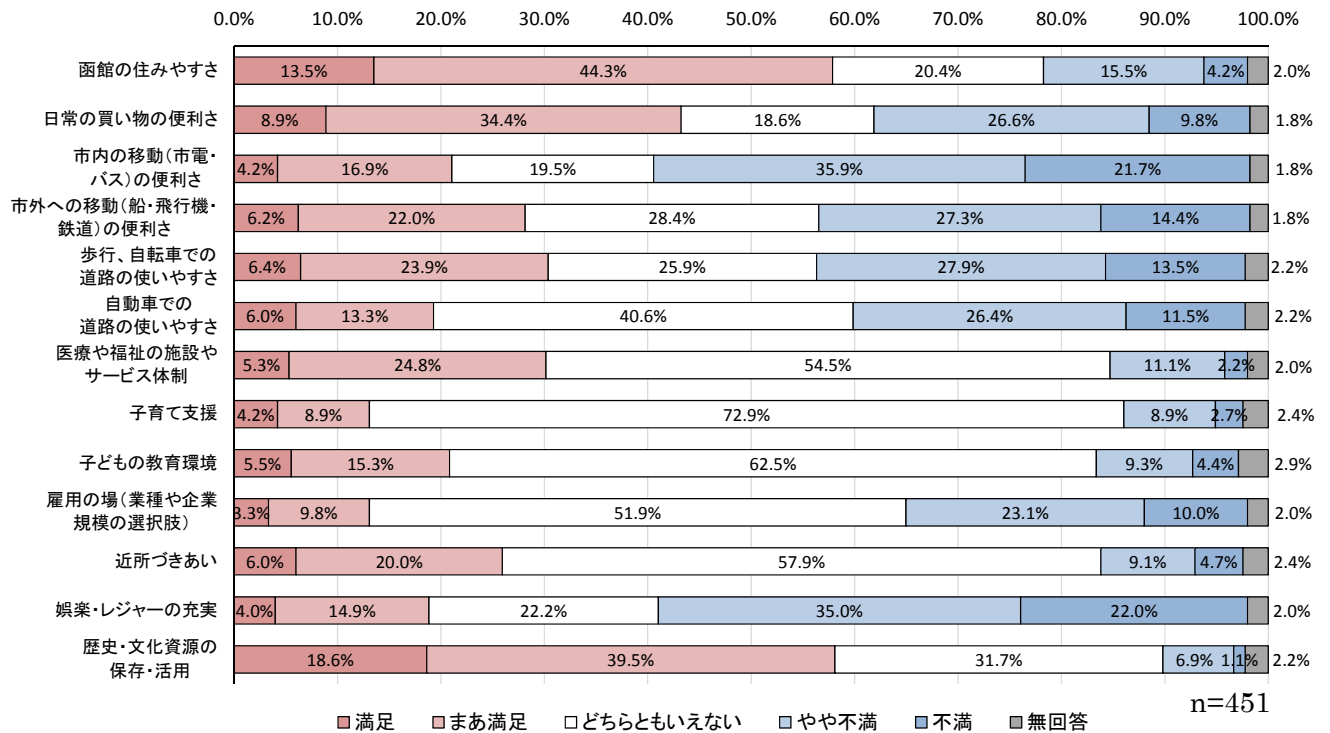


「函館の住みやすさ」、「歴史・文化資源の保存・活用」および「日常の買い物の便利さ」については、50%以上の方が満足と感じている一方、「娯楽・レジャーの充実」については、50%以上の方が不満と感じています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



高校生、大学生別では、全体と同様に「函館の住みやすさ」、「歴史・文化資源の保存・活用」および、「日常の買い物の便利さ」が満足の上位3項目となっています。また、「娯楽・レジャーの充実」については、高校生、大学生ともに不満と感じている割合が高くなっていますが、大学生の不満が57.0%であるのに対し、高校生は46.2%と大学生の不満が高校生よりも高くなっています。

(2) 函館のまちに対し特に満足と思うこと、不満と思うこと

問3

函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。

①全体の結果

下表は、問3の回答内容を問2の選択肢別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、特に満足と思うことについて合計771人（回答者全体の69.0%）、特に不満と思うことについて881人（回答者全体の78.8%）からご意見をいただきました。

なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

ア 特に満足と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	129	16.7%
日常の買い物の便利さ	63	8.2%
市内の移動（市電・バス）の便利さ	49	6.4%
市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	25	3.2%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	19	2.5%
自動車での道路の使いやすさ	11	1.4%
医療や福祉の施設やサービス体制	4	0.5%
子育て支援	0	0.0%
子どもの教育環境	5	0.6%
雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	0	0.0%
近所づきあい	19	2.5%
娯楽・レジャーの充実	14	1.8%
歴史・文化資源の保存・活用	86	11.2%
その他	394	51.1%
合計	818	

「その他」の意見としては「海や山があり自然に囲まれている（62件）」、「景観がきれい（特に西部地区）（54件）」、「食べ物がおいしい（特に新鮮な海産物がある）（45件）」、「観光資源が豊富（42件）」、「まちが静かでのどかなところが良い（25件）」、「気候がよく大きな災害もなく過ごしやすい（21件）」等が挙げられています。

イ 特に不満と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	8	0.9%
日常の買い物の便利さ	134	15.2%
市内の移動（市電・バス）の便利さ	224	25.4%
市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	24	2.7%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	130	14.8%
自動車での道路の使いやすさ	64	7.3%
医療や福祉の施設やサービス体制	13	1.5%
子育て支援	5	0.6%
子どもの教育環境	27	3.1%
雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	16	1.8%
近所づきあい	4	0.5%
娯楽・レジャーの充実	227	25.8%
歴史・文化資源の保存・活用	2	0.2%
その他	107	12.1%
合計	985	

「その他」の意見としては「町に何もなくさびしい（10件）」、「マナー・治安が悪い（8件）」、「風の強い日が多い・雪が降る（5件）」等が挙げられています。

②高校生の結果

下表は、問3の回答内容を問2の選択肢別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、特に満足と思うことについて合計 432 人（回答者全体の 64.8%）、特に不満と思うことについて 505 人（回答者全体の 75.7%）からご意見をいただきました。

なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

ア 特に満足と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	88	20.4%
日常の買い物の便利さ	35	8.1%
市内の移動（市電・バス）の便利さ	32	7.4%
市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	12	2.8%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	10	2.3%
自動車での道路の使いやすさ	6	1.4%
医療や福祉の施設やサービス体制	3	0.7%
子育て支援	0	0.0%
子どもの教育環境	4	0.9%
雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	0	0.0%
近所づきあい	5	1.2%
娯楽・レジャーの充実	8	1.9%
歴史・文化資源の保存・活用	54	12.5%
その他	192	44.4%
合計	449	

イ 特に不満と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	4	0.8%
日常の買い物の便利さ	71	14.1%
市内の移動（市電・バス）の便利さ	104	20.6%
市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	6	1.2%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	72	14.3%
自動車での道路の使いやすさ	16	3.2%
医療や福祉の施設やサービス体制	8	1.6%
子育て支援	3	0.6%
子どもの教育環境	23	4.6%
雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	6	1.2%
近所づきあい	2	0.4%
娯楽・レジャーの充実	159	31.5%
歴史・文化資源の保存・活用	0	0.0%
その他	72	14.3%
合計	546	

③大学生の結果

下表は、問3の回答内容を問2の選択肢別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、特に満足と思うことについて合計 339 人（回答者全体の 75.2%）、特に不満と思うことについて 376 人（回答者全体の 83.4%）からご意見をいただきました。

なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

ア 特に満足と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	41	12.1%
日常の買い物の便利さ	28	8.3%
市内の移動（市電・バス）の便利さ	17	5.0%
市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	13	3.8%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	9	2.7%
自動車での道路の使いやすさ	5	1.5%
医療や福祉の施設やサービス体制	1	0.3%
子育て支援	0	0.0%
子どもの教育環境	1	0.3%
雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	0	0.0%
近所づきあい	14	4.1%
娯楽・レジャーの充実	6	1.8%
歴史・文化資源の保存・活用	32	9.4%
その他	202	59.6%
合計	369	

イ 特に不満と思うこと

項目	件数	割合
函館の住みやすさ	4	1.1%
日常の買い物の便利さ	63	16.8%
市内の移動（市電・バス）の便利さ	120	31.9%
市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	18	4.8%
歩行、自転車での道路の使いやすさ	58	15.4%
自動車での道路の使いやすさ	48	12.8%
医療や福祉の施設やサービス体制	5	1.3%
子育て支援	2	0.5%
子どもの教育環境	4	1.1%
雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	10	2.7%
近所づきあい	2	0.5%
娯楽・レジャーの充実	68	18.1%
歴史・文化資源の保存・活用	2	0.5%
その他	35	9.3%
合計	439	

3 「函館市の魅力」に関する調査結果

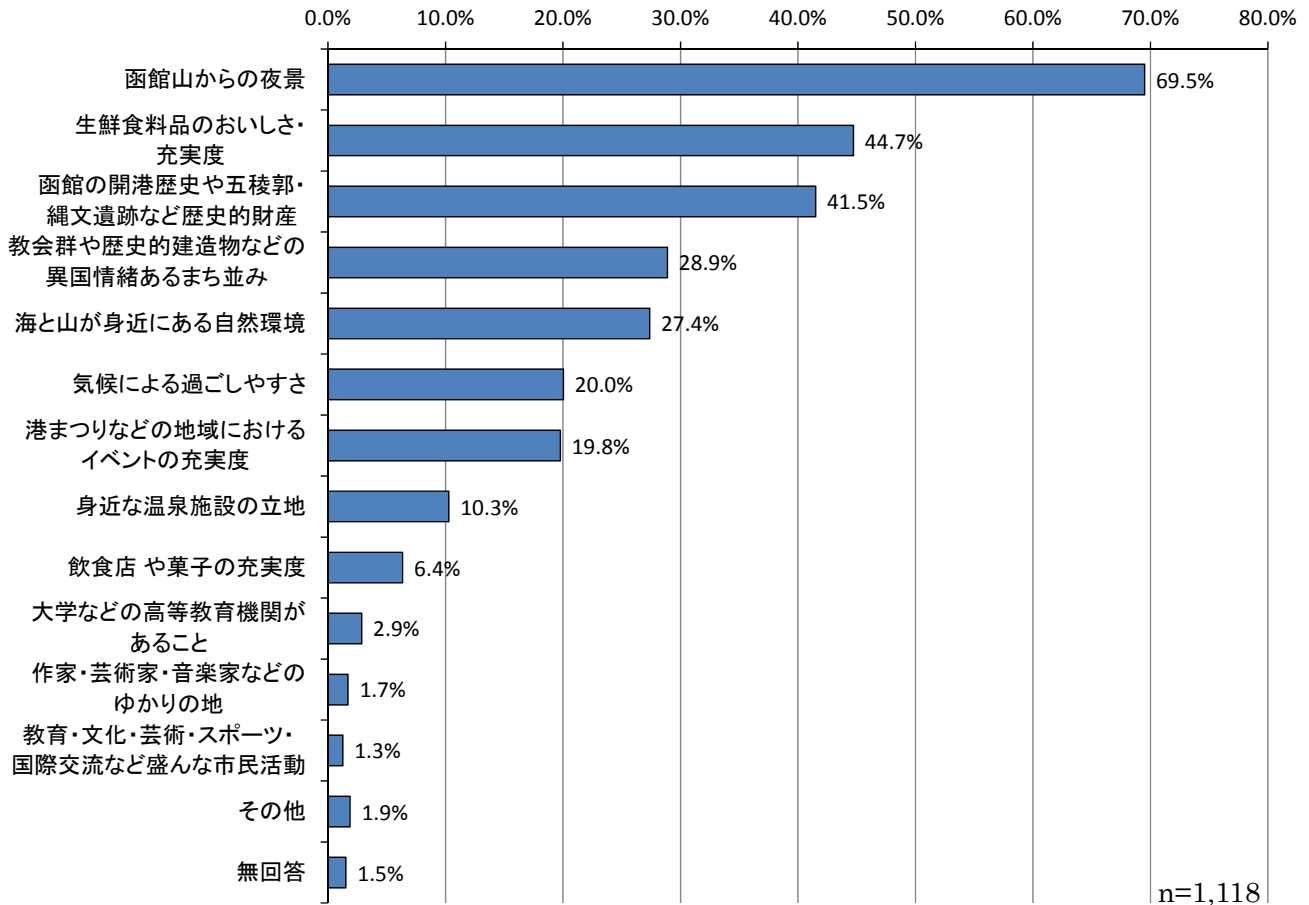
(1) 函館市の魅力や誇れるもの

問4

函館市の魅力や誇れるものは何だと思えますか？

主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

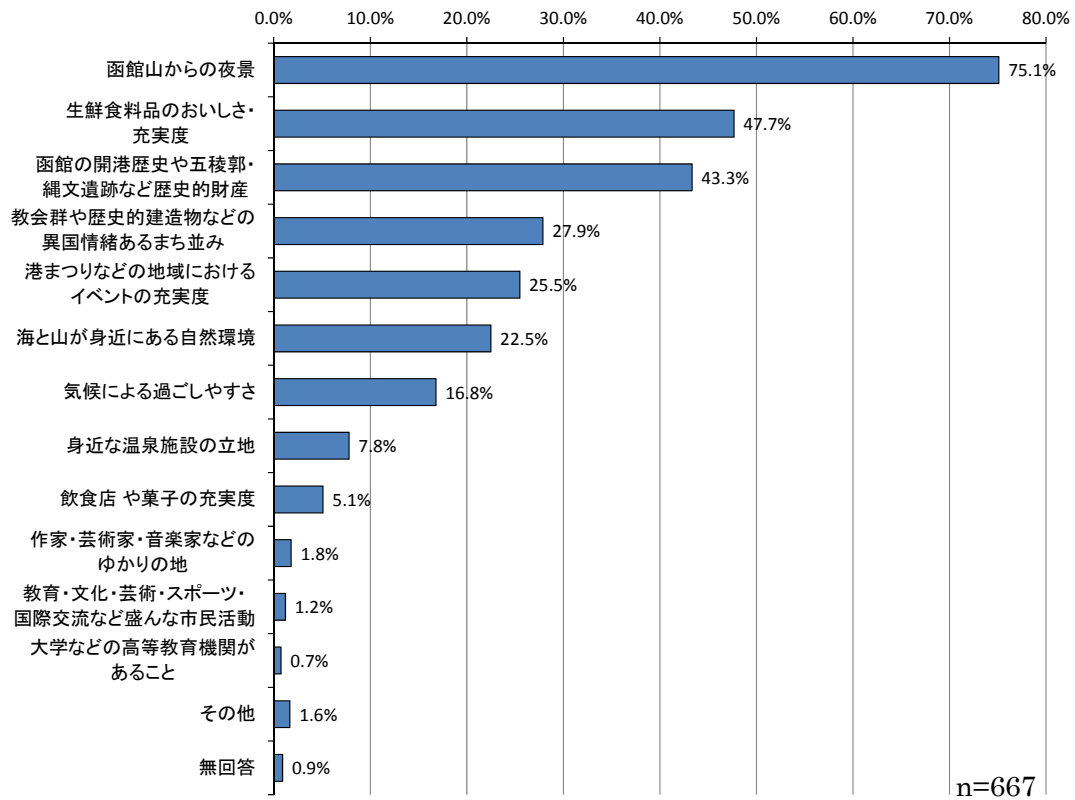
①全体の結果



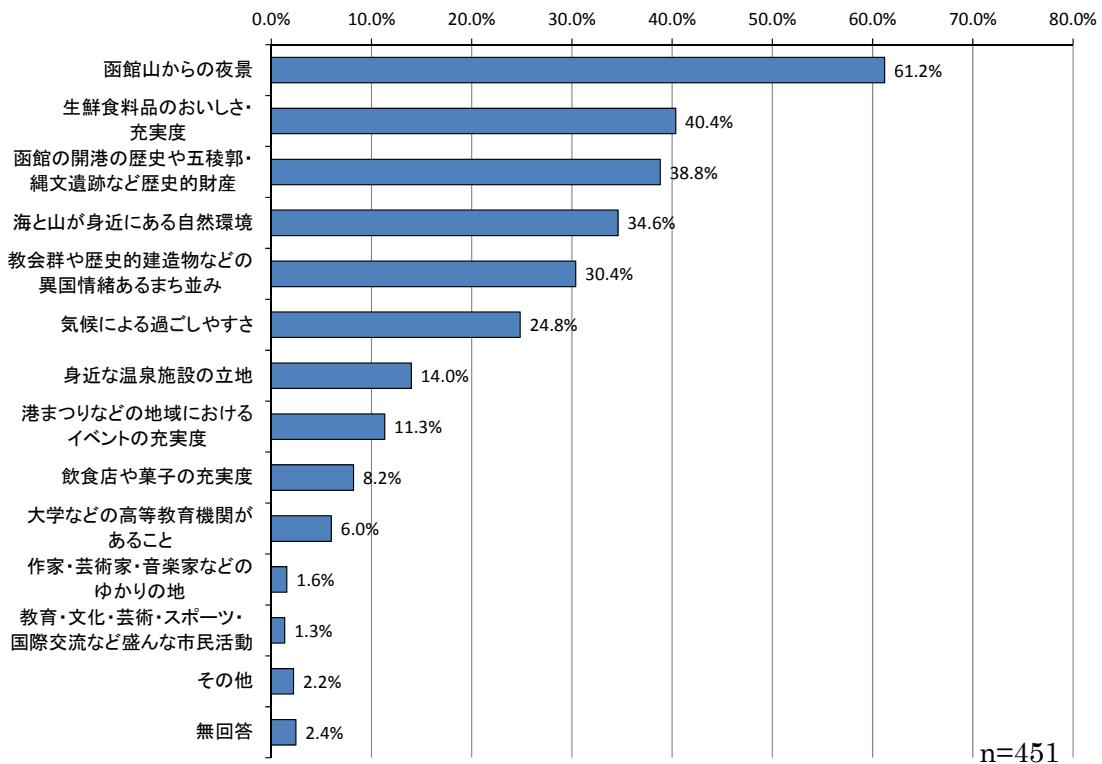
選択肢	回答数	回答率
函館山からの夜景	777	69.5%
生鮮食料品のおいしさ・充実度	500	44.7%
函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産	464	41.5%
教会群や歴史的建造物などの異国情緒あるまち並み	323	28.9%
海と山が身近にある自然環境	306	27.4%
気候による過ごしやすさ	224	20.0%
港まつりなどの地域におけるイベントの充実度	221	19.8%
身近な温泉施設の立地	115	10.3%
飲食店や菓子店の充実度	71	6.4%
大学などの高等教育機関があること	32	2.9%
作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地	19	1.7%
教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動	14	1.3%
その他	21	1.9%
無回答	17	1.5%

「函館山からの夜景」が69.5%と最も高く、「生鮮食料品のおいしさ・充実度」が44.7%で続いています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



高校生、大学生別でも、全体と同様に「函館山からの夜景」、「生鮮食料品のおいしさ・充実度」および「函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡など歴史的財産」と続いています。

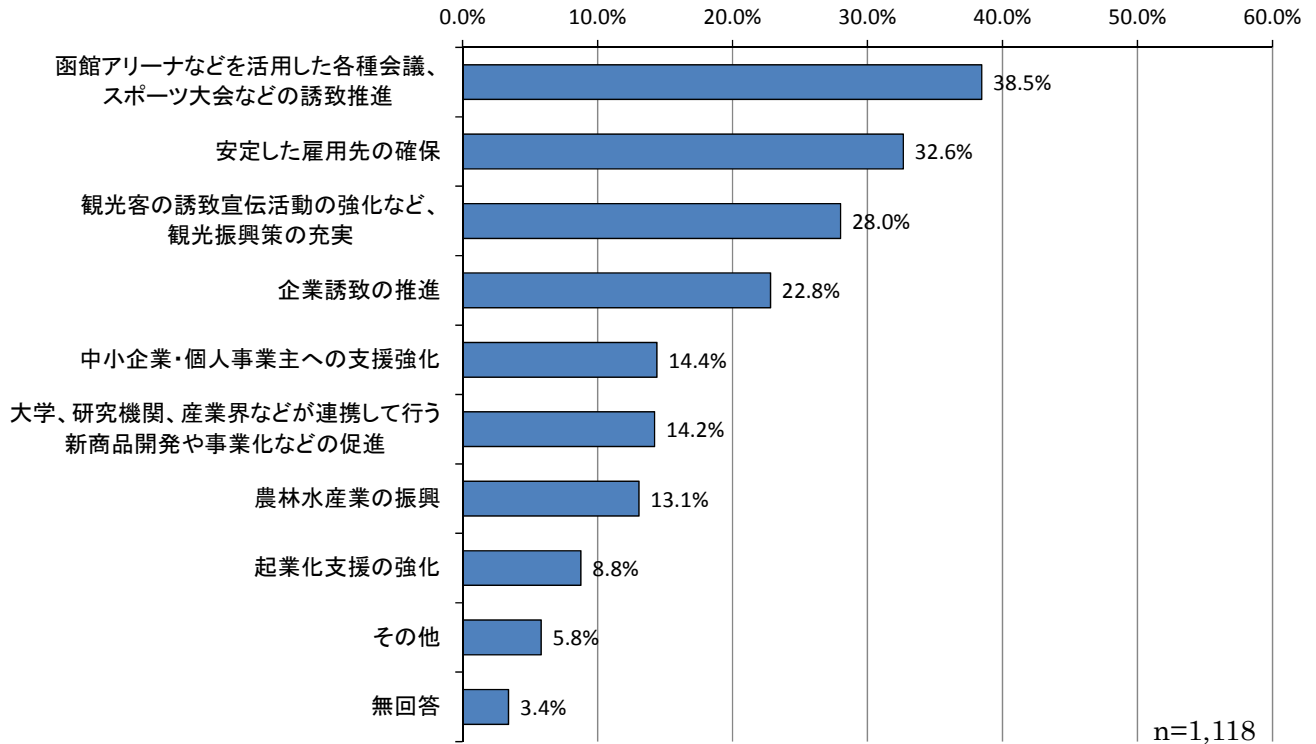
4 「函館市の今後のまちづくり」に関する調査結果

(1) 函館市の経済を活性化するための施策

問5

函館市の経済を活性化するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？
主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

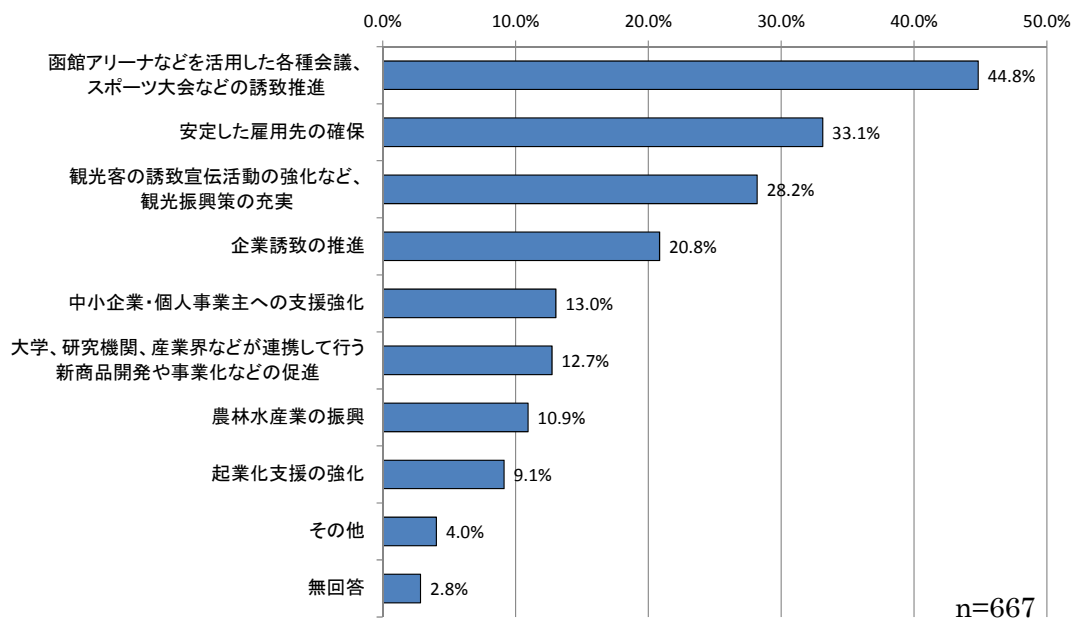
①全体の結果



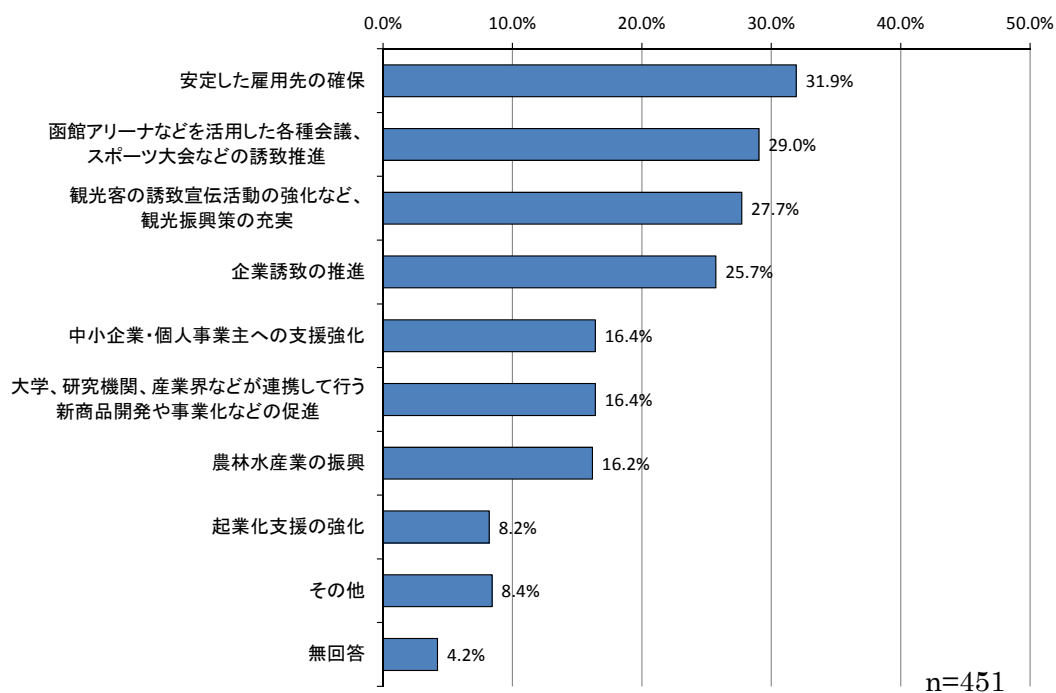
選択肢	回答数	回答率
函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進	430	38.5%
安定した雇用先の確保	365	32.6%
観光客の誘致宣伝活動の強化など、観光振興策の充実	313	28.0%
企業誘致の推進	255	22.8%
中小企業・個人事業主への支援強化	161	14.4%
大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進	159	14.2%
農林水産業の振興	146	13.1%
起業化支援の強化	98	8.8%
その他	65	5.8%
無回答	38	3.4%

「函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進」が38.5%と最も高く、「安定した雇用先の確保」が32.6%で続いています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



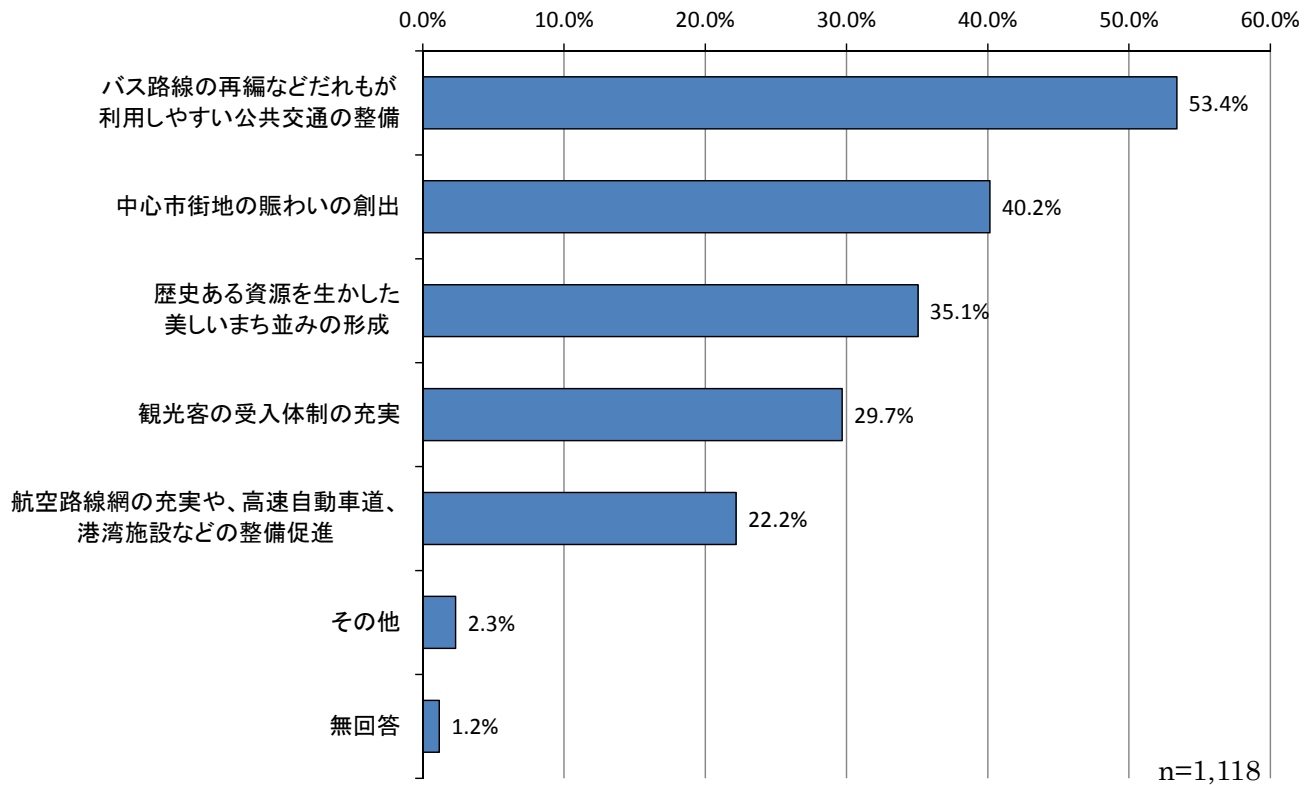
高校生、大学生別では、高校生では「函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進」の割合が44.8%と最も高い一方、大学生では「安定した雇用先の確保」が31.9%で最も高くなっています。

(2) まちの魅力を高めるための取り組み

問6

まちの魅力を高めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？
 主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

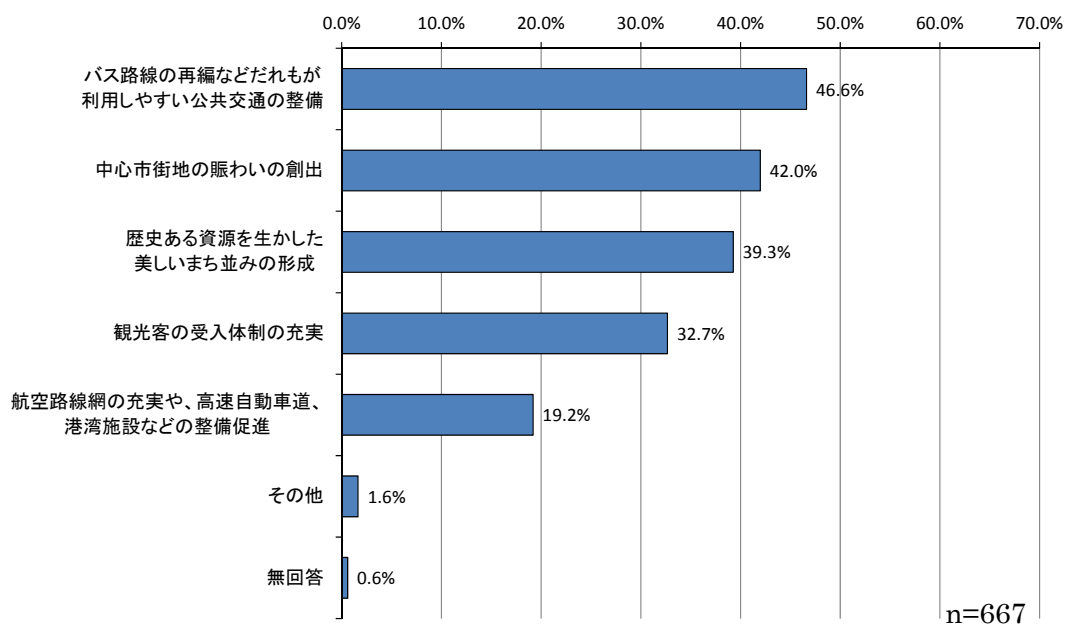
①全体の結果



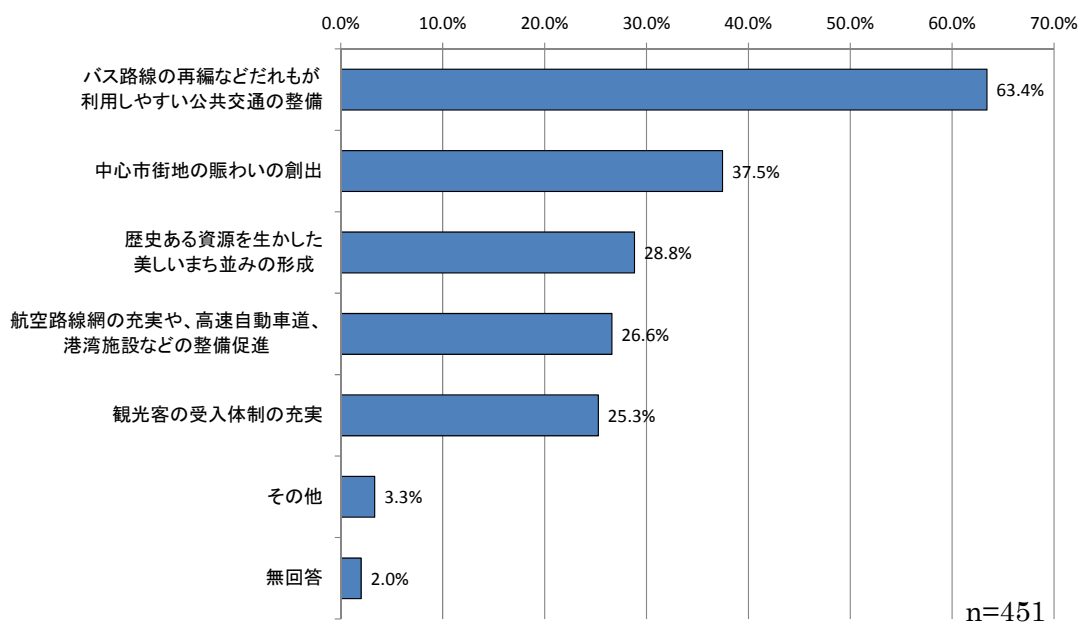
選択肢	回答数	回答率
バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備	597	53.4%
中心市街地の賑わいの創出	449	40.2%
歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成	392	35.1%
観光客の受入体制の充実	332	29.7%
航空路線網の充実や、高速自動車道、港湾施設などの整備促進	248	22.2%
その他	26	2.3%
無回答	13	1.2%

「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」が 53.4%と最も高く、「中心市街地の賑わいの創出」が 40.2%で続いています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



高校生、大学生別でも、全体と同様に「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」が最も高く、「中心市街地の賑わいの創出」が続いています。高校生では、「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」と「中心市街地の賑わいの創出」との差は4.6ポイントであるのに対し、大学生では25.9ポイントとなっています。大学生が高校生より「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」を望んでいる傾向にあります。

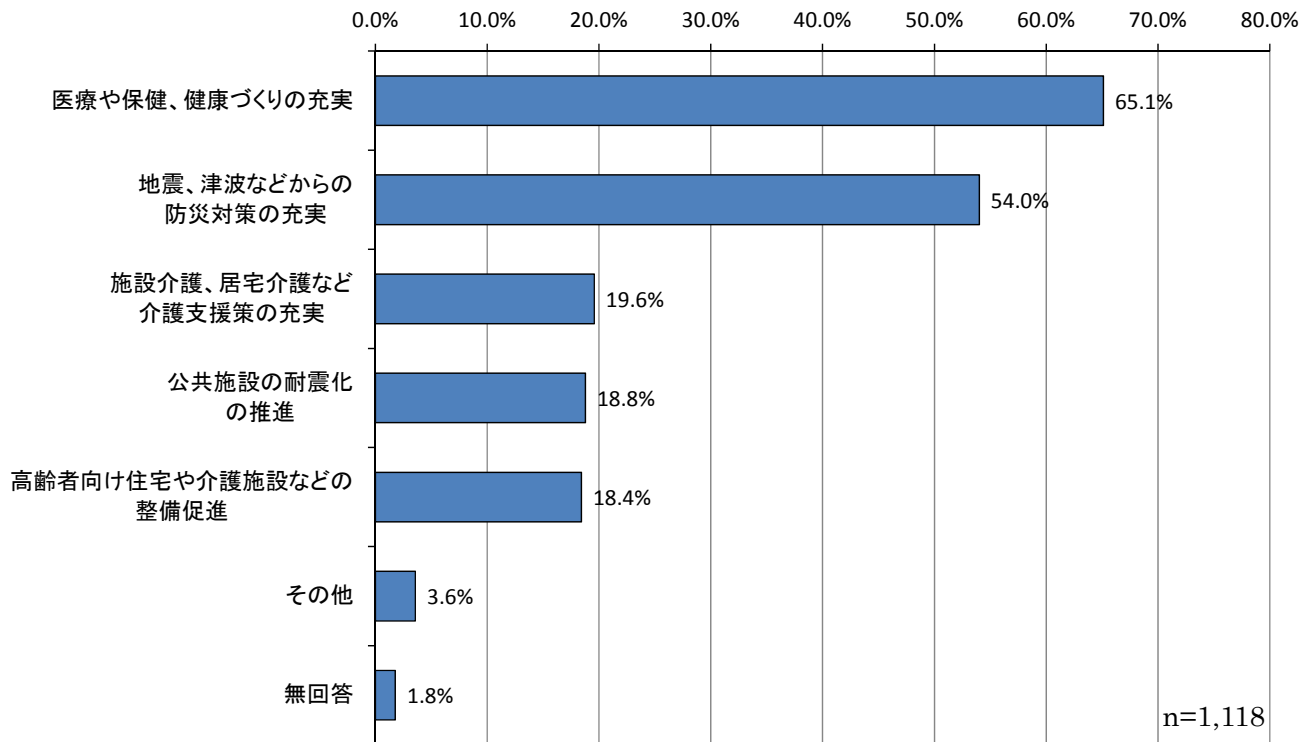
(3) 安心して住めるまちづくりを進めるために取り組むべきこと

問7

だれもが安心して住めるまちづくりを進めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？

主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

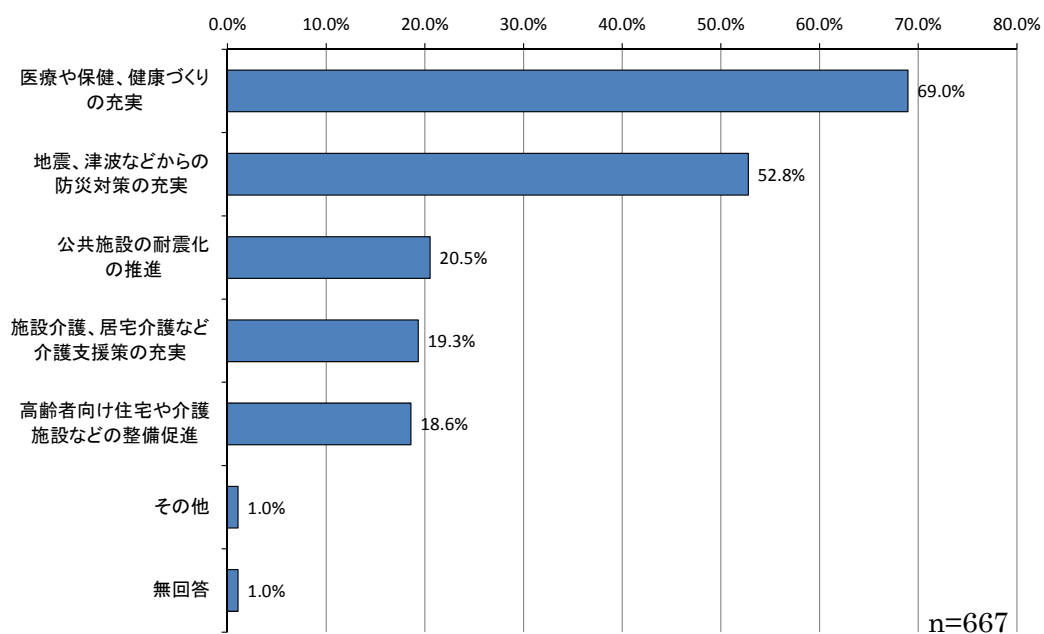
①全体の結果



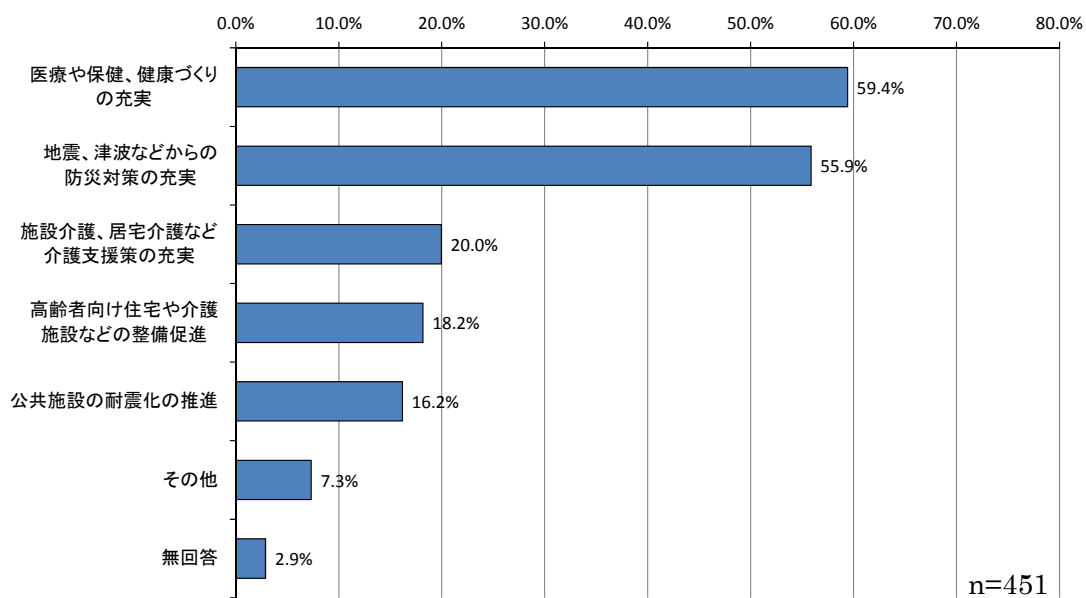
選択肢	回答数	回答率
医療や保健、健康づくりの充実	728	65.1%
地震、津波などからの防災対策の充実	604	54.0%
施設介護、居宅介護など介護支援策の充実	219	19.6%
公共施設の耐震化の推進	210	18.8%
高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進	206	18.4%
その他	40	3.6%
無回答	20	1.8%

「医療や保健、健康づくりの充実」が65.1%と最も高く、「地震、津波などからの防災対策の充実」が54.0%で続いています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



高校生、大学生別でも、全体と同様に「医療や保健、健康づくりの充実」が最も高く、「地震、津波などからの防災対策の充実」が続いています。

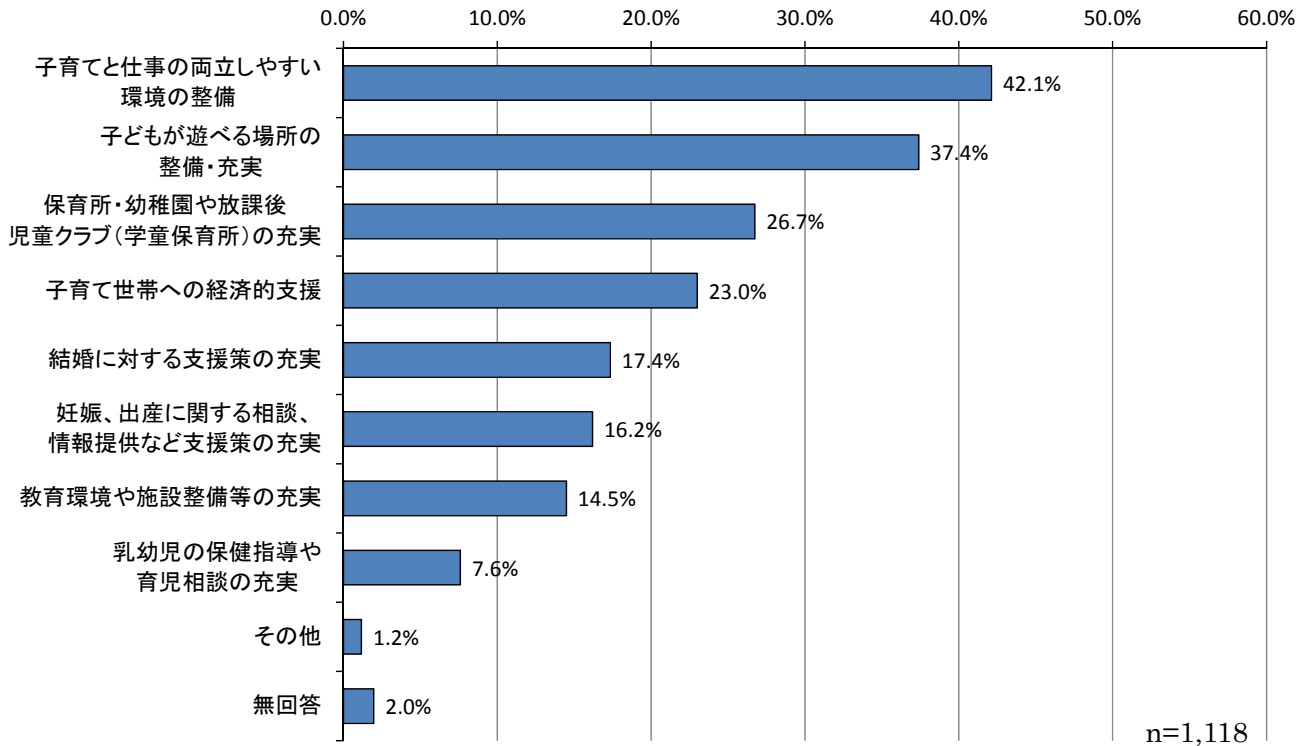
(4) 安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために取り組むべきこと

問8

安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？

主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

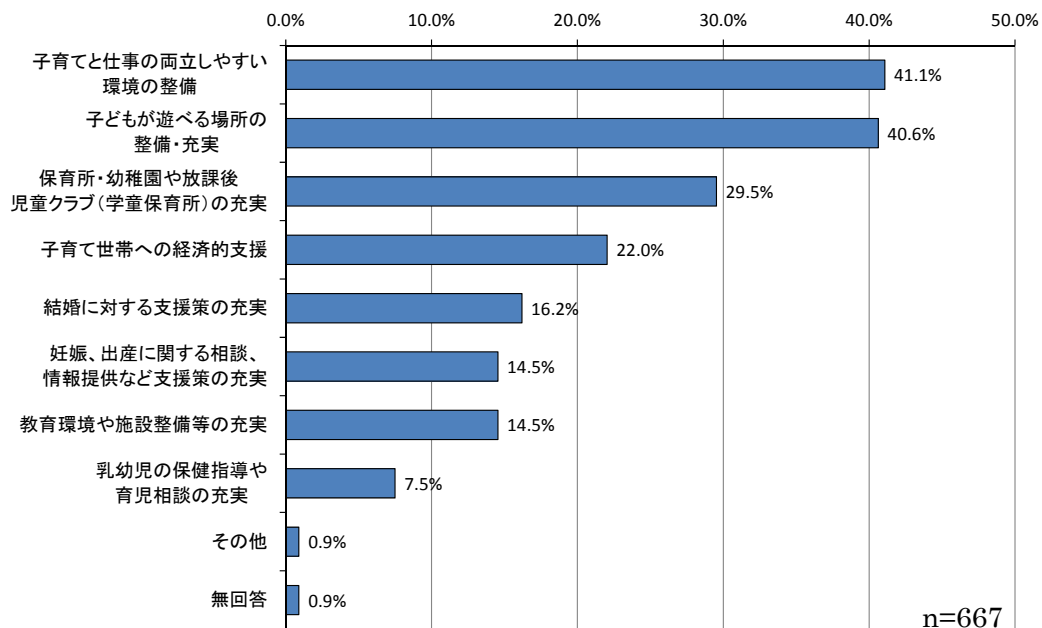
①全体の結果



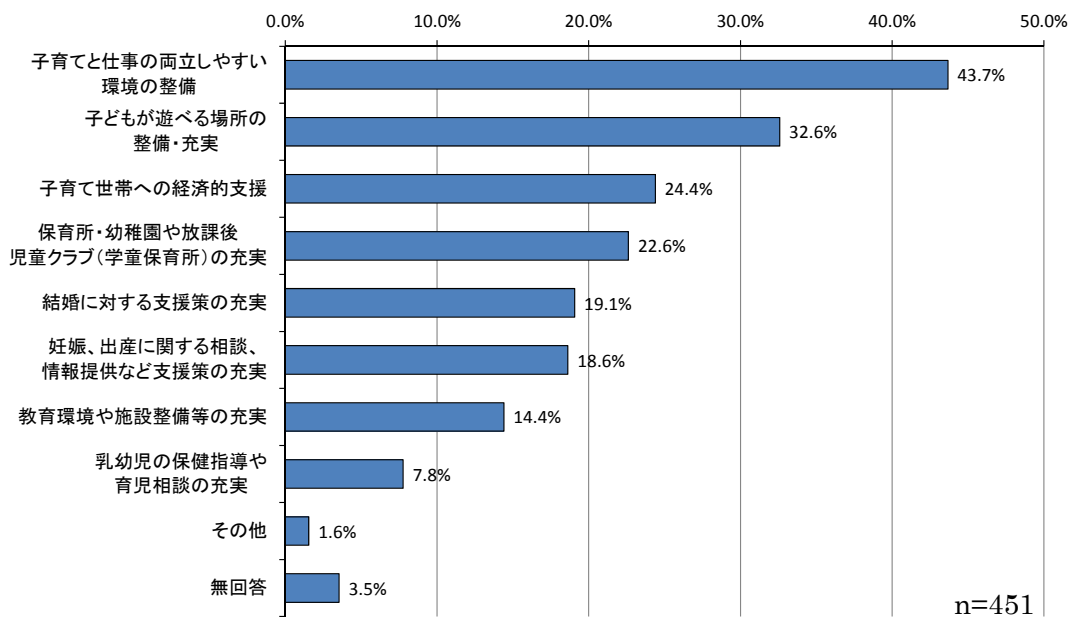
選択肢	回答数	回答率
子育てと仕事の両立しやすい環境の整備	471	42.1%
子どもが遊べる場所の整備・充実	418	37.4%
保育所・幼稚園や放課後児童クラブ(学童保育所)の充実	299	26.7%
子育て世帯への経済的支援	257	23.0%
結婚に対する支援策の充実	194	17.4%
妊娠、出産に関する相談、情報提供など支援策の充実	181	16.2%
教育環境や施設整備等の充実	162	14.5%
乳幼児の保健指導や育児相談の充実	85	7.6%
その他	13	1.2%
無回答	22	2.0%

「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」が42.1%と最も高く、「子どもが遊べる場所の整備・充実」が37.4%で続いています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



高校生、大学生別でも、全体と同様に「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」が最も高く、「子どもが遊べる場所の整備・充実」が続いています。

高校生では、「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」と「子どもが遊べる場所の整備・充実」との差は0.5ポイントである一方、大学生では11.1ポイントであり、高校生より「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」を望んでいる傾向にあります。

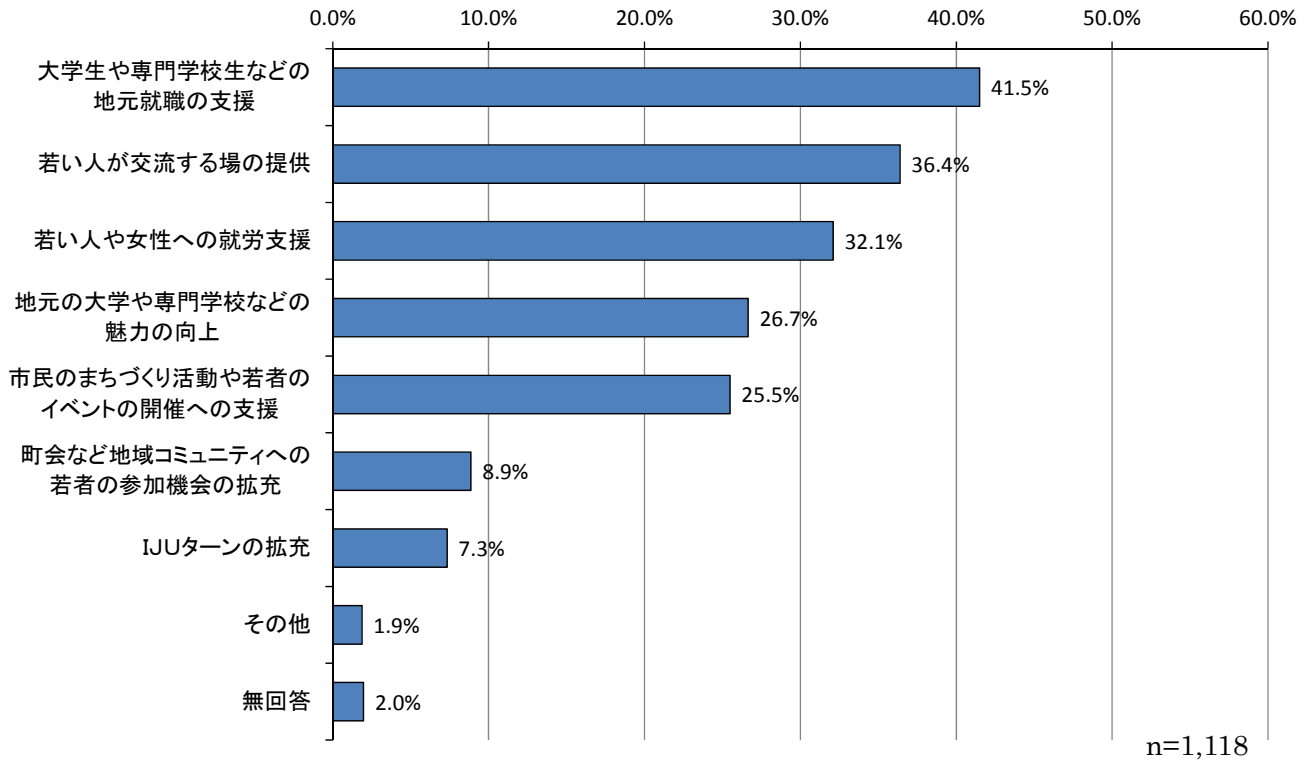
(5) 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために取り組むべきこと

問9

若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？

主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

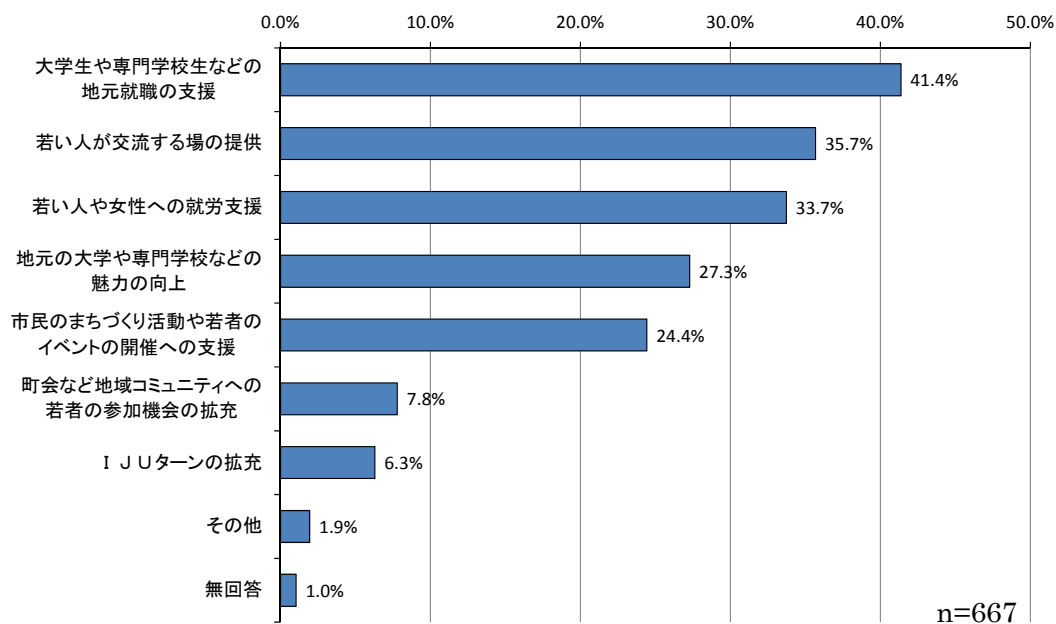
①全体の結果



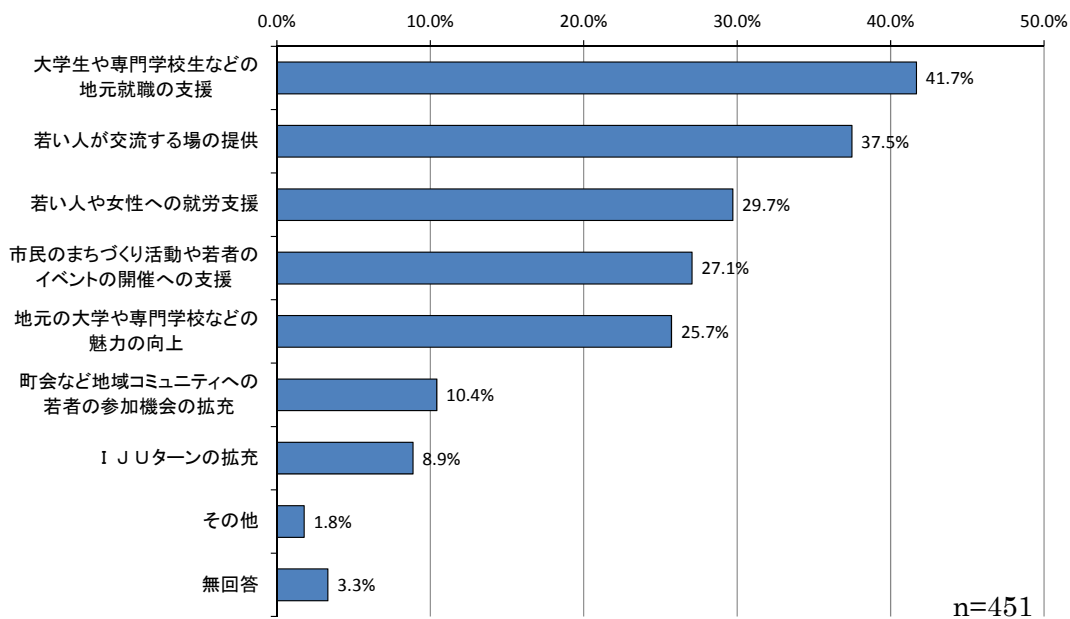
選択肢	回答数	回答率
大学生や専門学校生などの地元就職の支援	464	41.5%
若い人が交流する場の提供	407	36.4%
若い人や女性への就労支援	359	32.1%
地元の大学や専門学校などの魅力の向上	298	26.7%
市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援	285	25.5%
町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充	99	8.9%
IJUターンの拡充	82	7.3%
その他	21	1.9%
無回答	22	2.0%

「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」が41.5%と最も高く、「若い人が交流する場の提供」が36.4%、「若い人や女性への就労支援」が32.1%で続いています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



高校生、大学生別でも、全体と同様に「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」が最も高く、「若い人が交流する場の提供」、「若い人や女性への就労支援」と続いています。

5 「結婚・出産・子育て」に対する考え方

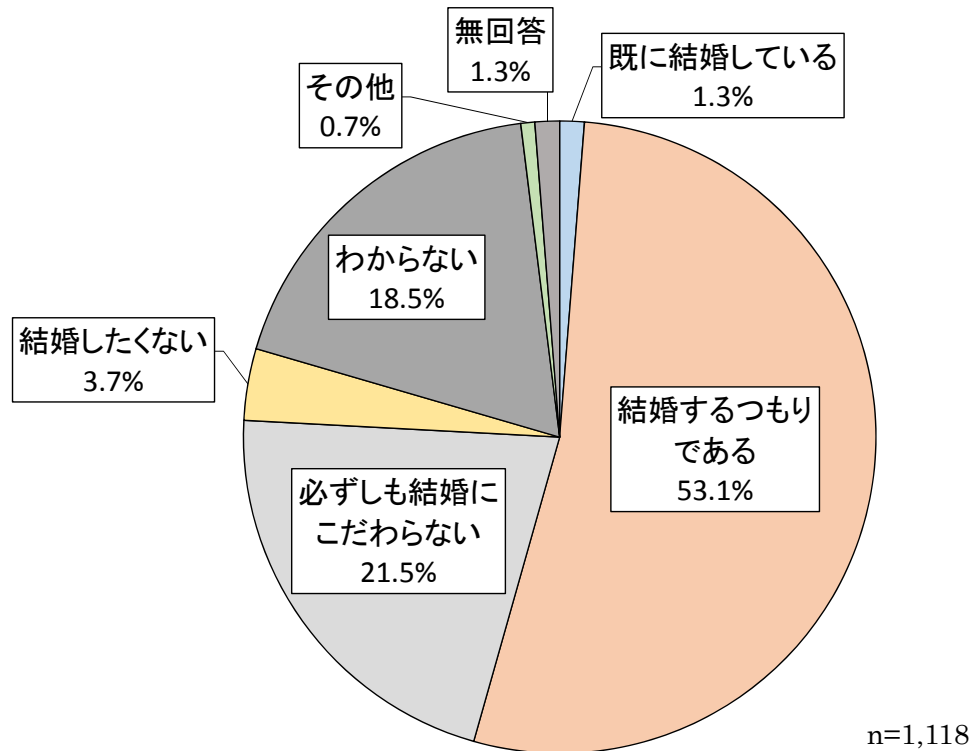
(1) 将来の結婚について

問 10

将来の結婚について、どのようにお考えですか？

あなたの考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

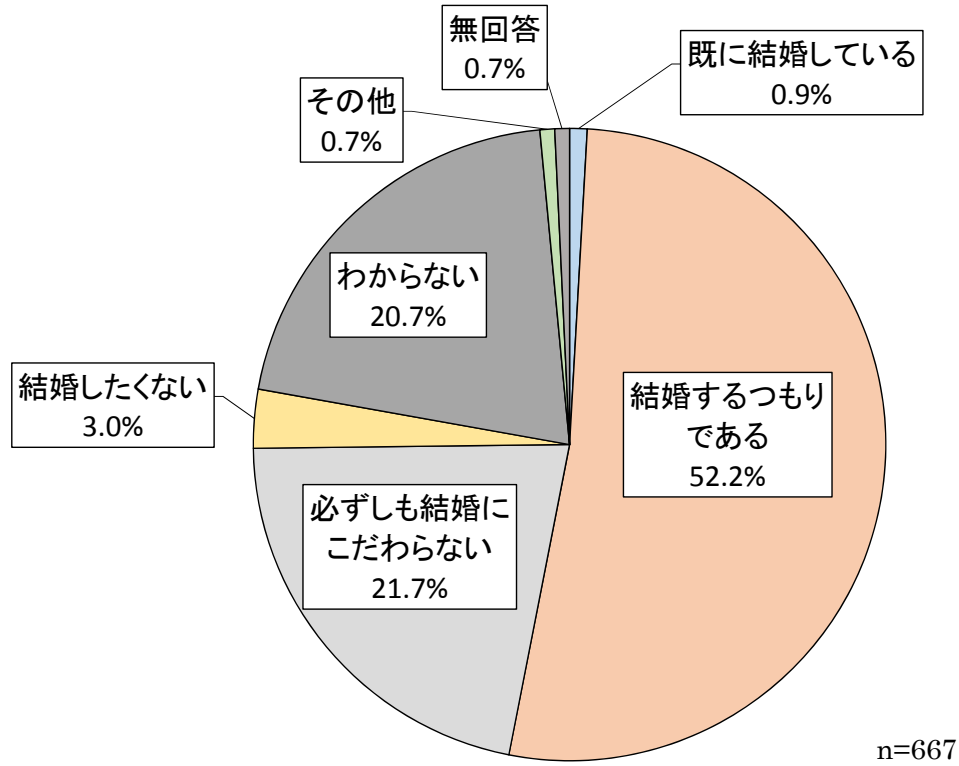
①全体の結果



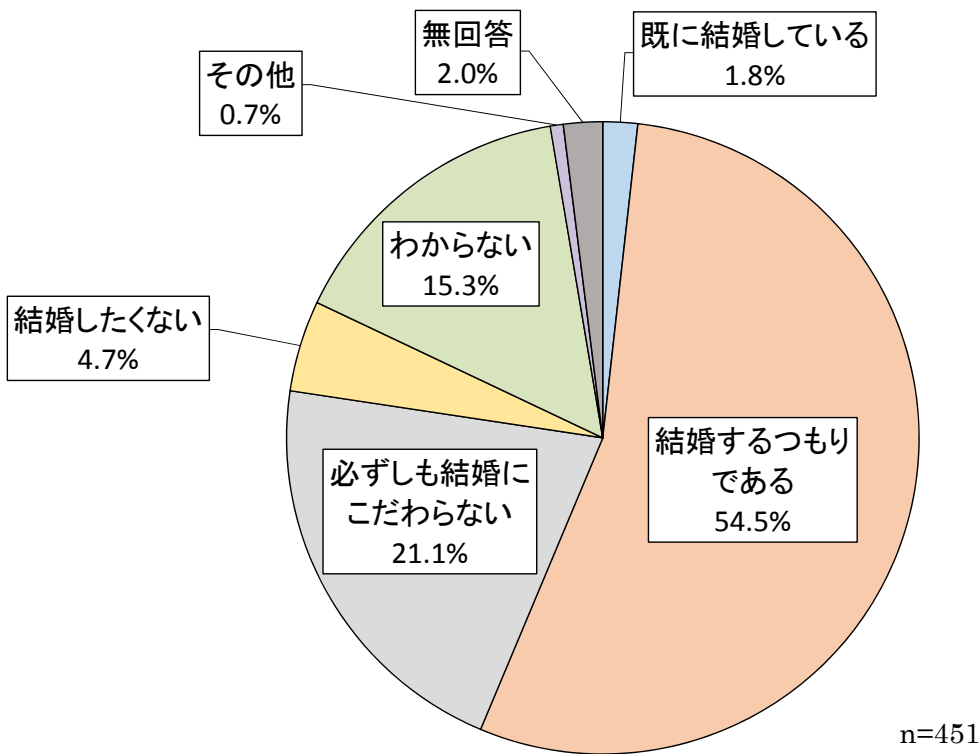
選択肢	回答数	回答率
既に結婚している	14	1.3%
結婚するつもりである	594	53.1%
必ずしも結婚にこだわらない	240	21.5%
結婚したくない	41	3.7%
わからない	207	18.5%
その他	8	0.7%
無回答	14	1.3%

「結婚するつもりである」が 53.1%と最も高く、「必ずしも結婚にこだわらない」が 21.5%で続いています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



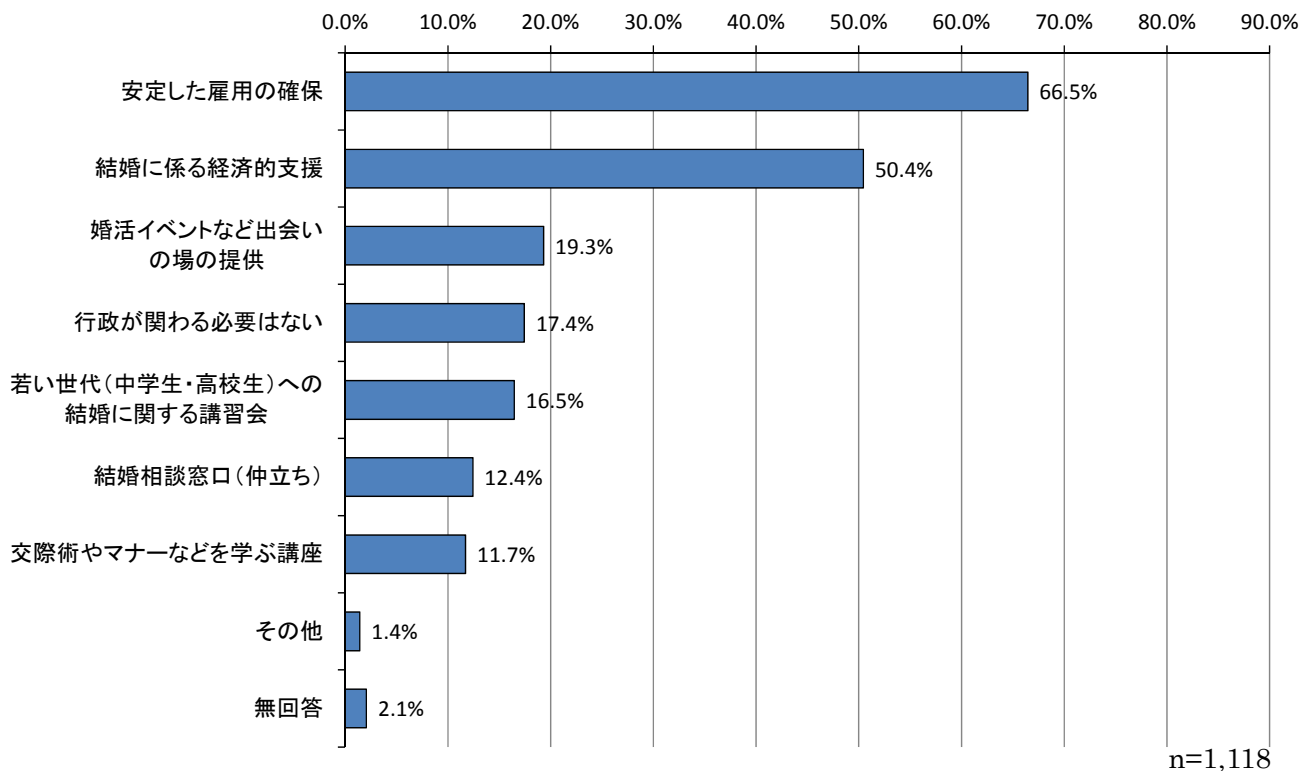
高校生、大学生別でも、全体と同様に「結婚するつもりである」が最も高く、「必ずしも結婚にこだわらない」が続いています。

(2) 行政が結婚を支援するために取り組むべきこと

問 11

行政が結婚を支援するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

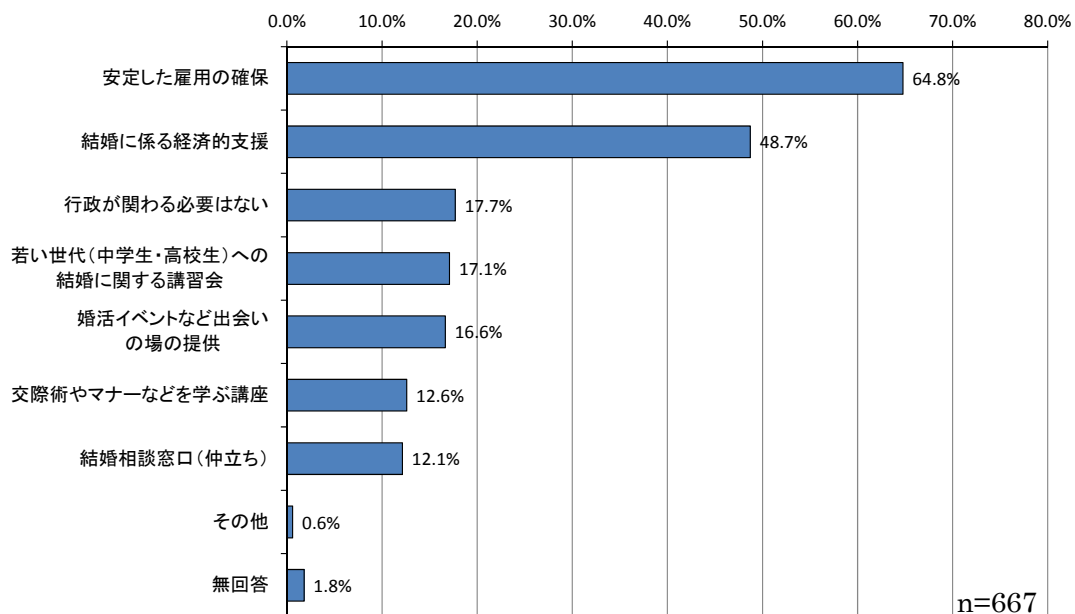
①全体の結果



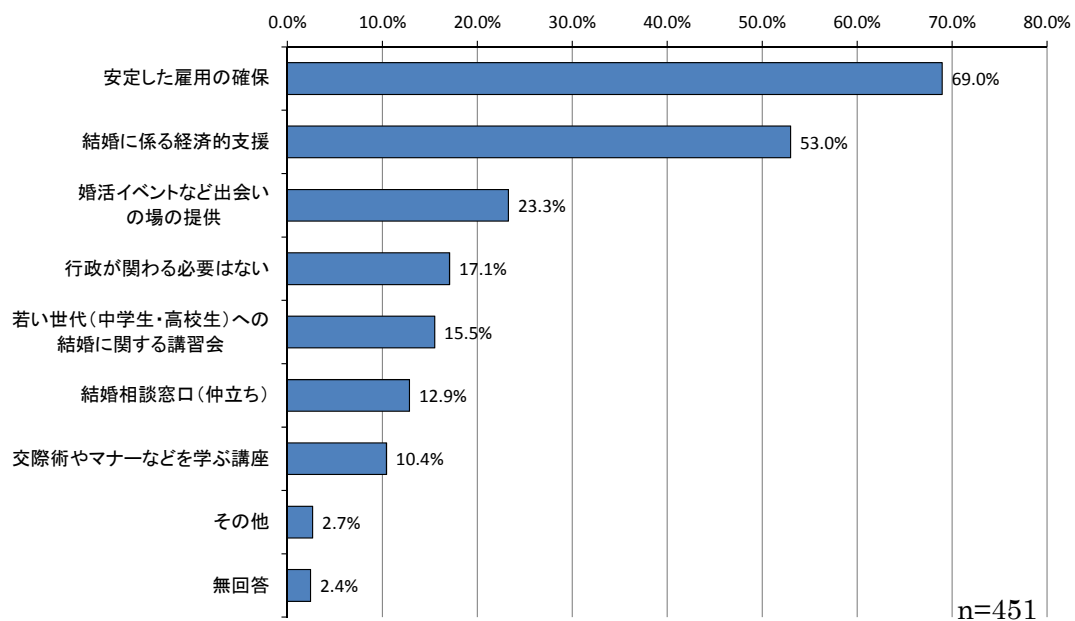
選択肢	回答数	回答率
安定した雇用の確保	743	66.5%
結婚に係る経済的支援	564	50.4%
婚活イベントなど出会いの場の提供	216	19.3%
行政に関わる必要はない	195	17.4%
若い世代(中学生・高校生)への結婚に関する講習会	184	16.5%
結婚相談窓口(仲立ち)	139	12.4%
交際術やマナーなどを学ぶ講座	131	11.7%
その他	16	1.4%
無回答	23	2.1%

「安定した雇用の確保」が66.5%と最も高く、「結婚に係る経済的支援」が50.4%で続いています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



高校生、大学生別でも、全体と同様に「安定した雇用の確保」が最も高く、「結婚に係る経済的支援」が続いています。

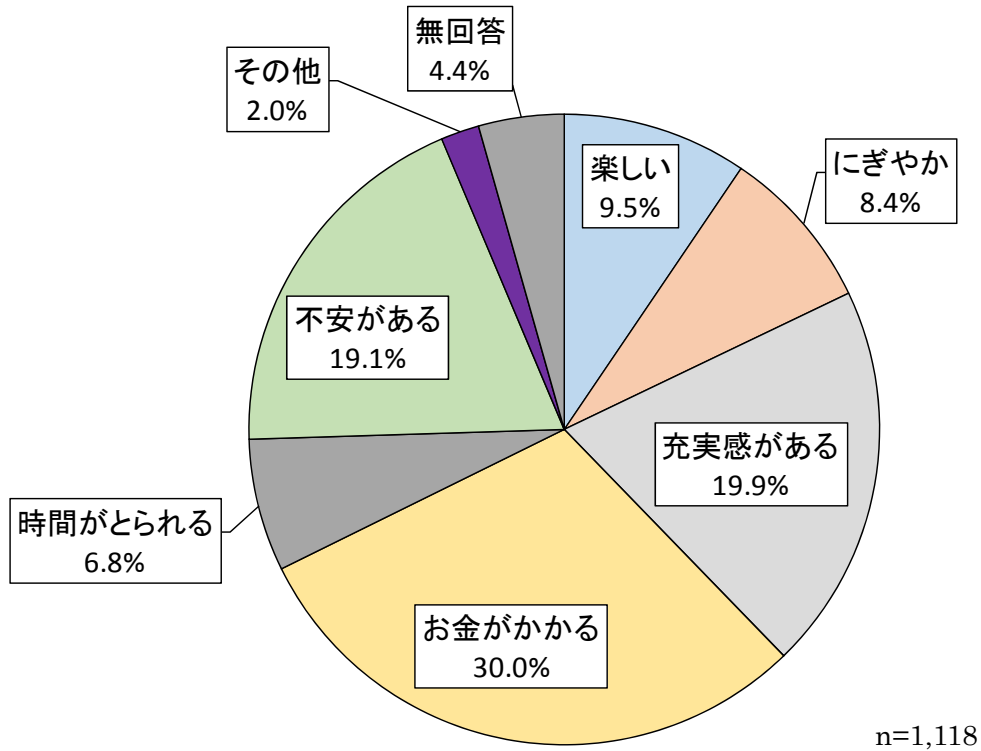
また、「行政が関わる必要がない」が高校生では17.7%で3番目、大学生では17.1%で4番目に高くなっています。

(3) 子育てに対するイメージ

問 12

子育てについてどのようなイメージを持っていますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

①全体の結果

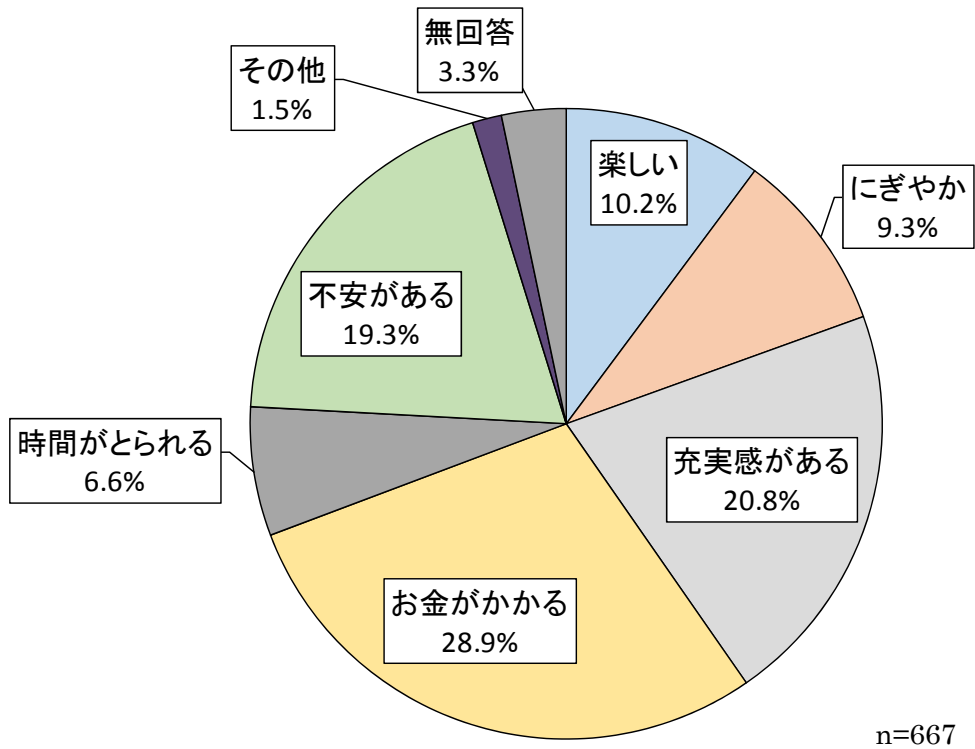


選択肢	回答数	回答率
楽しい	106	9.5%
にぎやか	94	8.4%
充実感がある	222	19.9%
お金がかかる	335	30.0%
時間がとられる	76	6.8%
不安がある	214	19.1%
その他	22	2.0%
無回答	49	4.4%

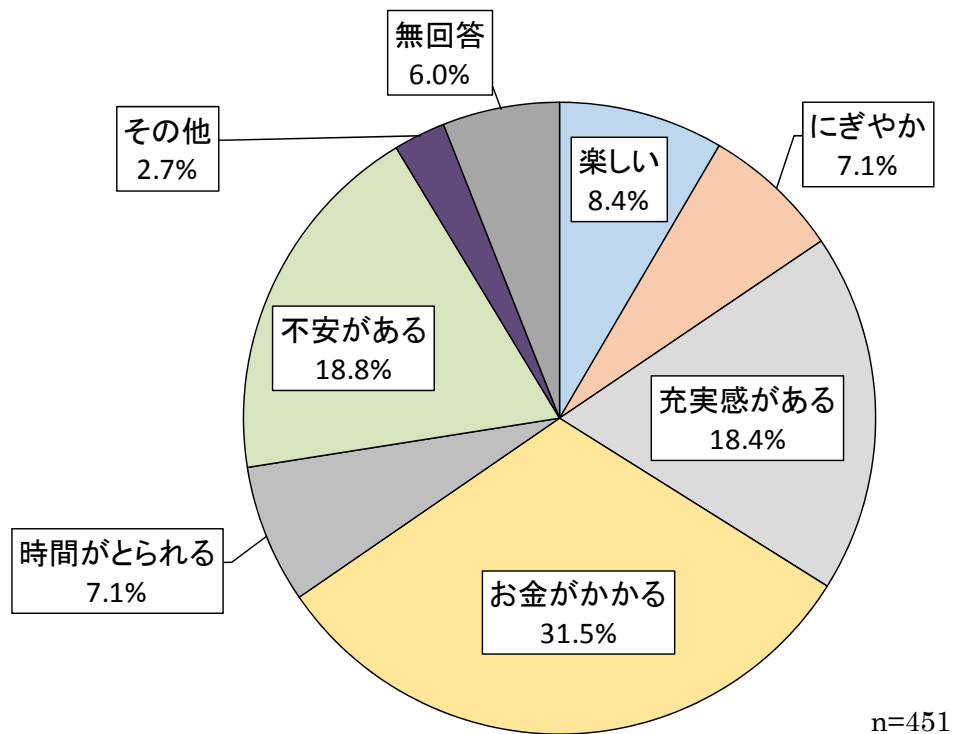
「お金がかかる」が30.0%と最も高く、「充実感がある」が19.9%、「不安がある」が19.1%で続いています。

また、「楽しい」9.5%、「にぎやか」8.4%を含めると、37.8%の人が肯定的なイメージを持ち、「時間がとられる」6.8%を含めると、55.9%が否定的なイメージを持っています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



高校生、大学生別でも、全体と同様に「お金がかかる」が最も高く、「充実感がある」、「不安がある」が続いています。

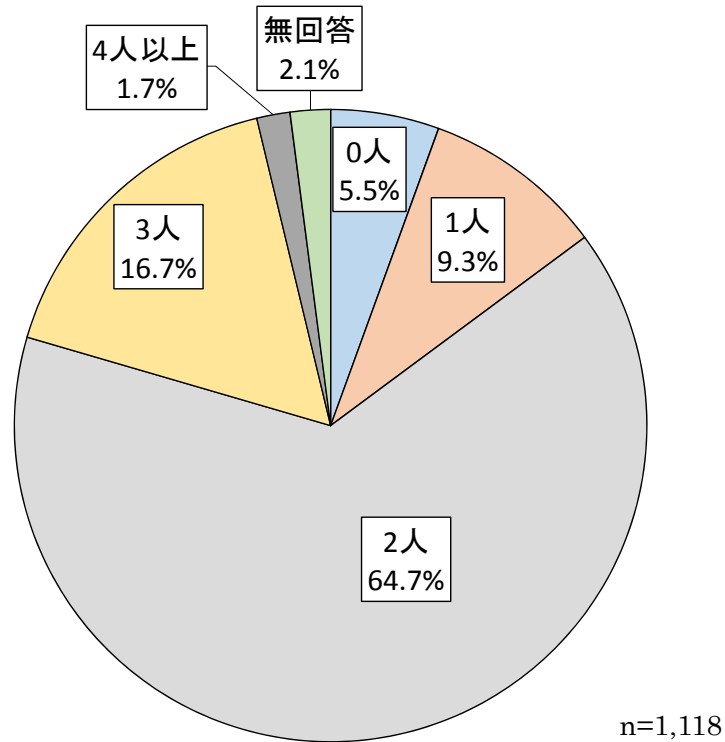
また、「楽しい」、「にぎやか」、「充実感がある」を合わせた肯定的なイメージは、大学生（33.9%）よりも高校生（40.3%）の方が持っています。

(4) 理想的な子どもの数

問 13

あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか？
あてはまる番号を1つまで選んで○をつけてください。

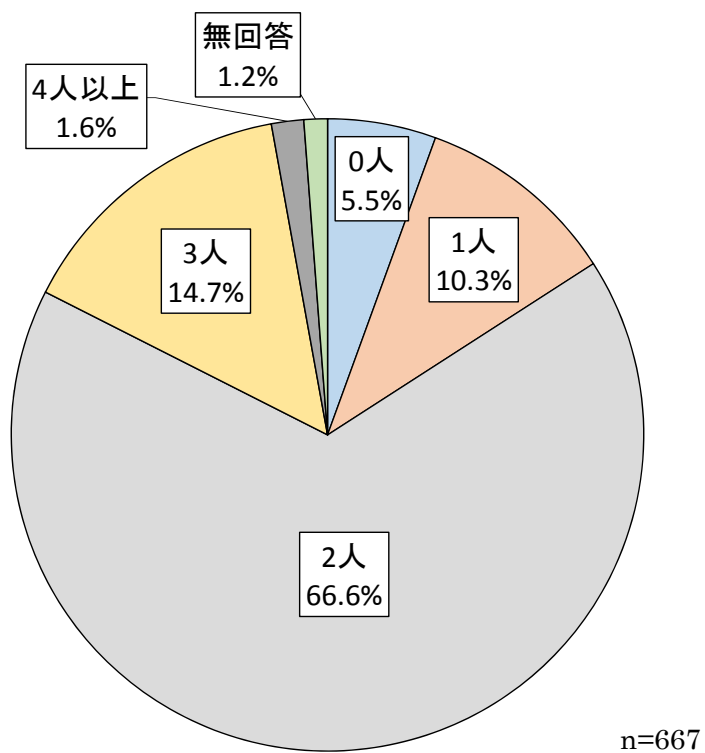
①全体の結果



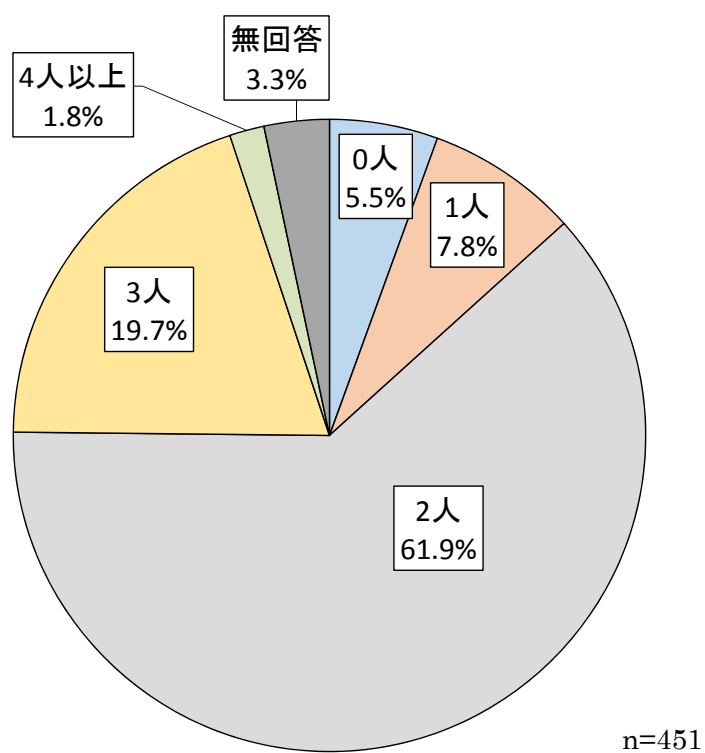
選択肢	回答数	回答率
0人	62	5.5%
1人	104	9.3%
2人	723	64.7%
3人	187	16.7%
4人以上	19	1.7%
無回答	23	2.1%

「2人」が64.7%と最も高く、「3人」が16.7%で続いており、「2人」または「3人」で80%以上となっています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



高校生、大学生別でも、全体と同様に「2人」、「3人」の割合が高く、ともに、合計で80%を超えています。

また、高校生、大学生ともに、子どもを持たないことを理想とするのは5.5%となっています。

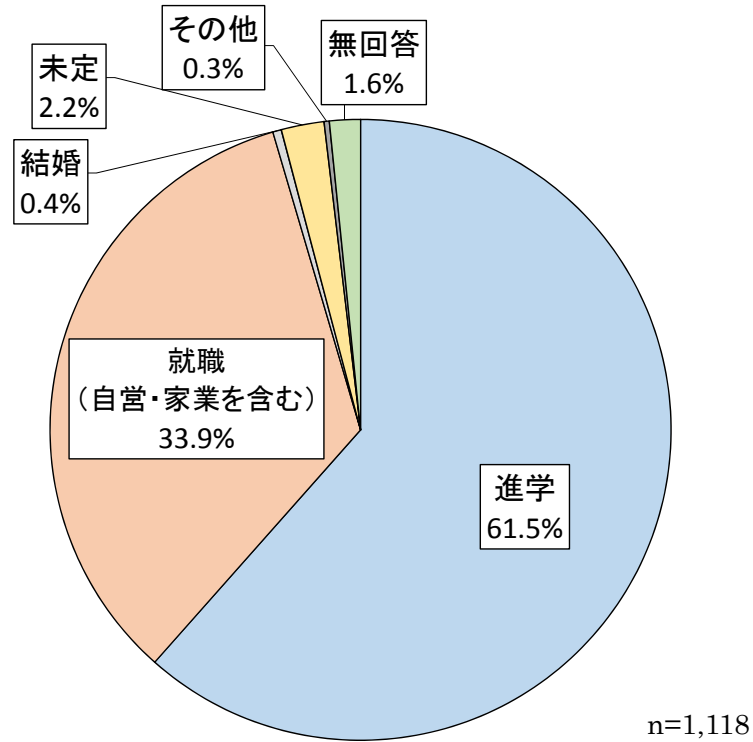
6 「卒業後の進路」について

(1) 卒業後の進路

問 14

卒業後の進路について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

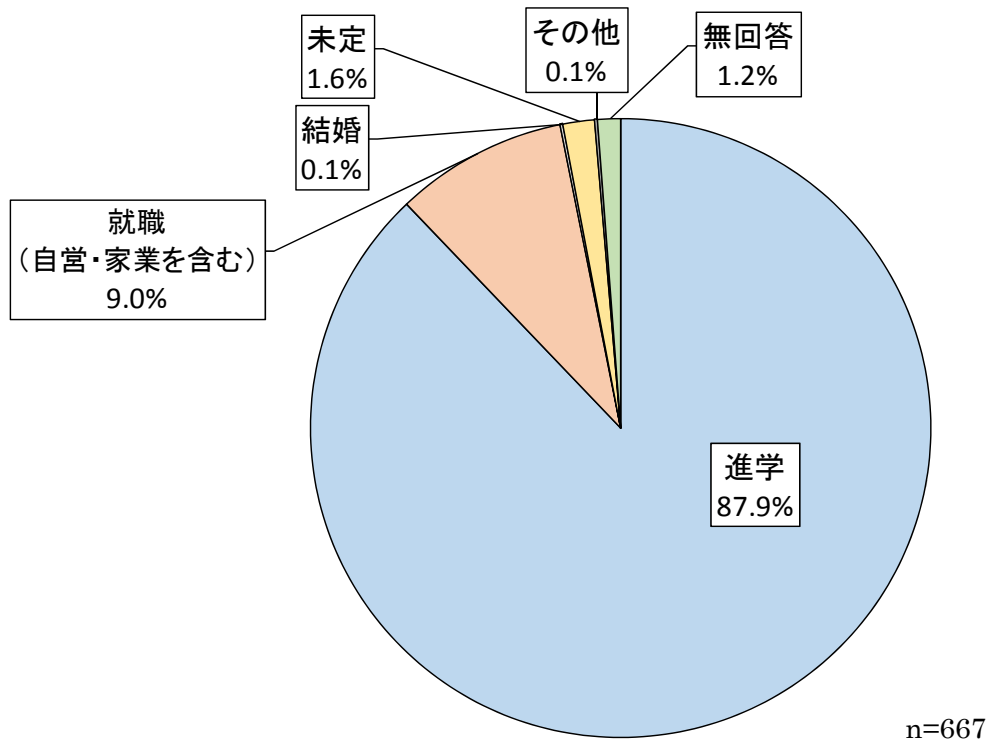
①全体の結果



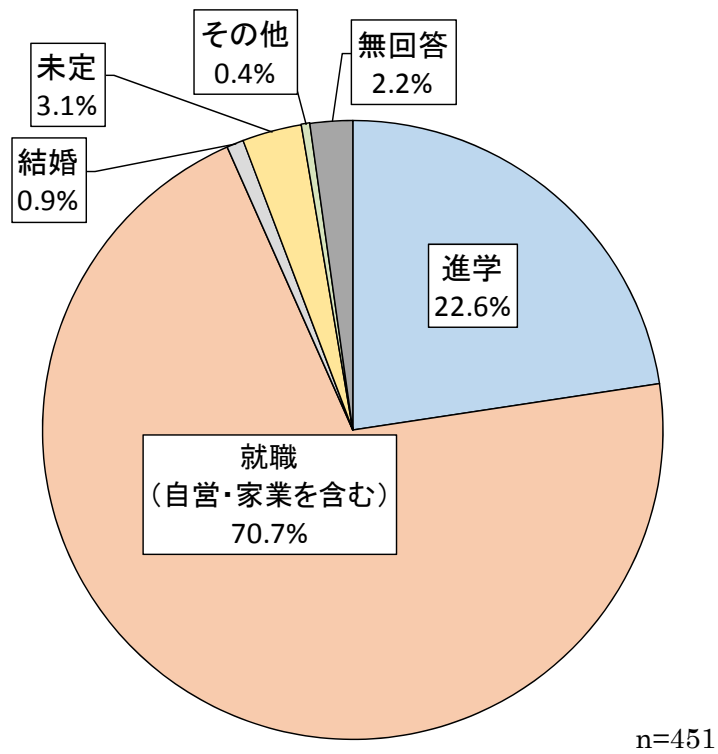
選択肢	回答数	回答率
進学	688	61.5%
就職(自営・家業を含む)	379	33.9%
結婚	5	0.4%
未定	25	2.2%
その他	3	0.3%
無回答	18	1.6%

「進学」が61.5%と最も高く、「就職(自営・家業を含む)」が33.9%で続いております。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



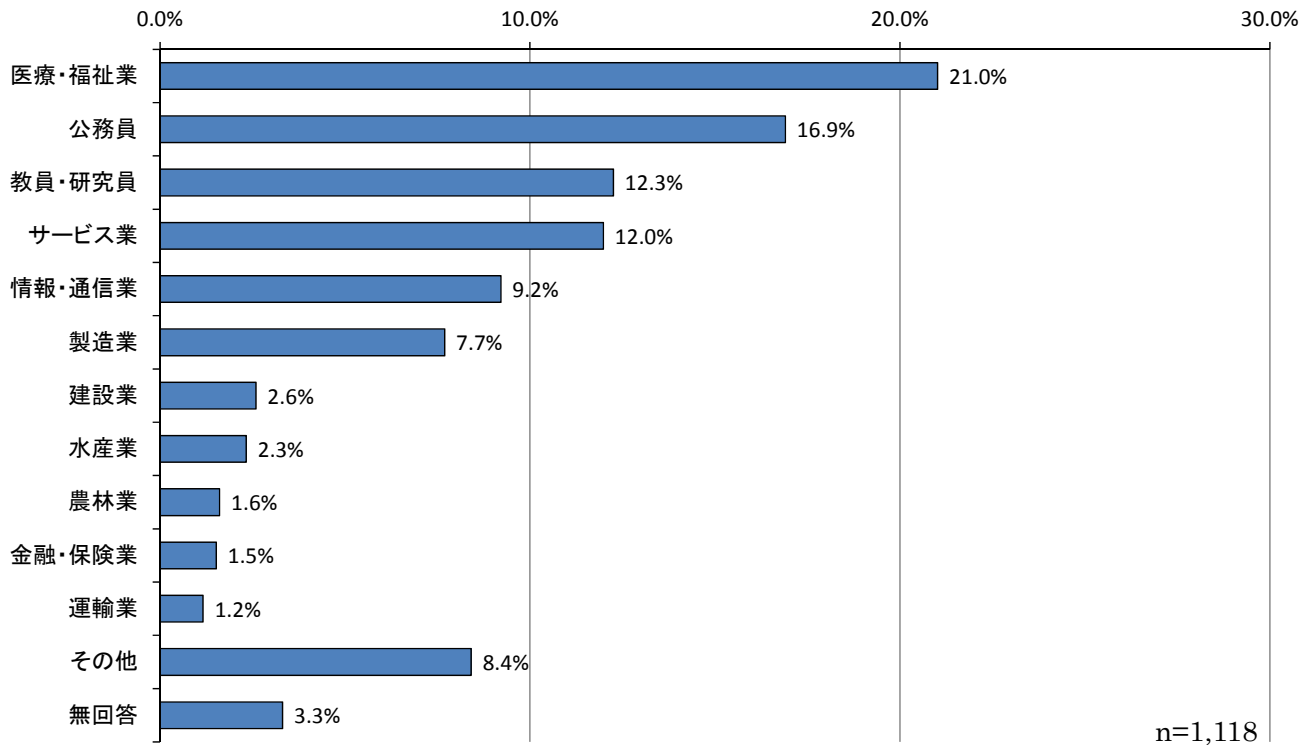
高校生、大学生別では、高校生では「進学」が 87.9%と最も高く、大学生では「就職(自営・家業を含む)」が 70.7%と最も高くなっています。

(2) 将来の就職希望業種

問 15

将来の就職希望業種について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

①全体の結果

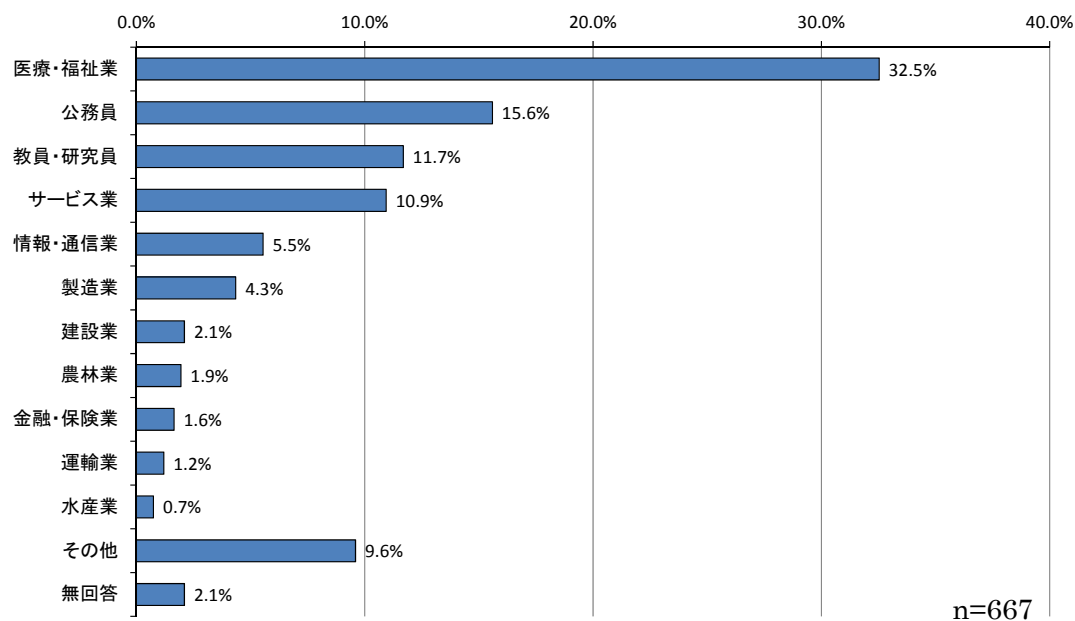


選択肢	回答数	回答率
医療・福祉業	235	21.0%
公務員	189	16.9%
教員・研究員	137	12.3%
サービス業	134	12.0%
情報・通信業	103	9.2%
製造業	86	7.7%
建設業	29	2.6%
水産業	26	2.3%
農林業	18	1.6%
金融・保険業	17	1.5%
運輸業	13	1.2%
その他	94	8.4%
無回答	37	3.3%

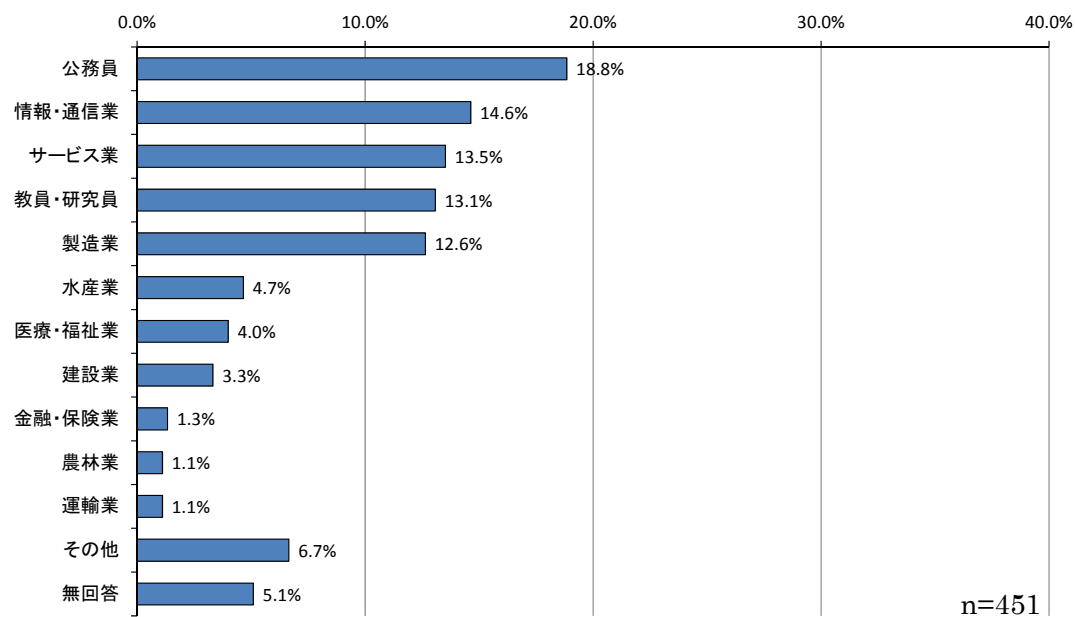
「医療・福祉業」が21.0%と最も高く、「公務員」が16.9%、「教員・研究員」が12.3%で続いています。

「その他」の意見としては「未定・決まっていない」(18件)、「スポーツ関係」(5件)等が挙げられています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



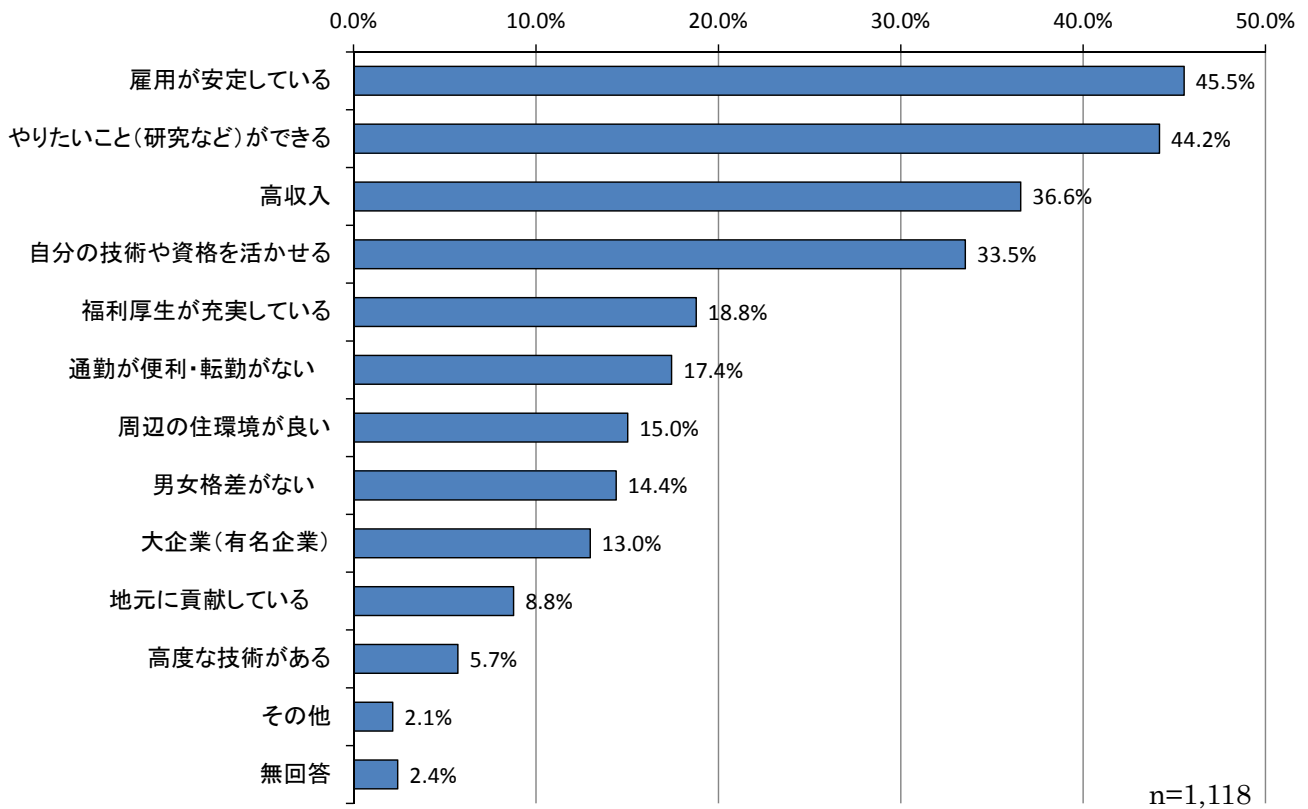
高校生、大学生別では、高校生では「医療・福祉業」が 32.5%と最も高く、「公務員」、「教員・研究員」が続いています。大学生では「公務員」が 18.8%と最も高く、「情報・通信業」、「サービス業」が続いています。

(3) 就職希望企業を選択する際の条件

問 16

就職希望企業を選択する際の条件について、主なものを3つまで選んで○をつけてください。

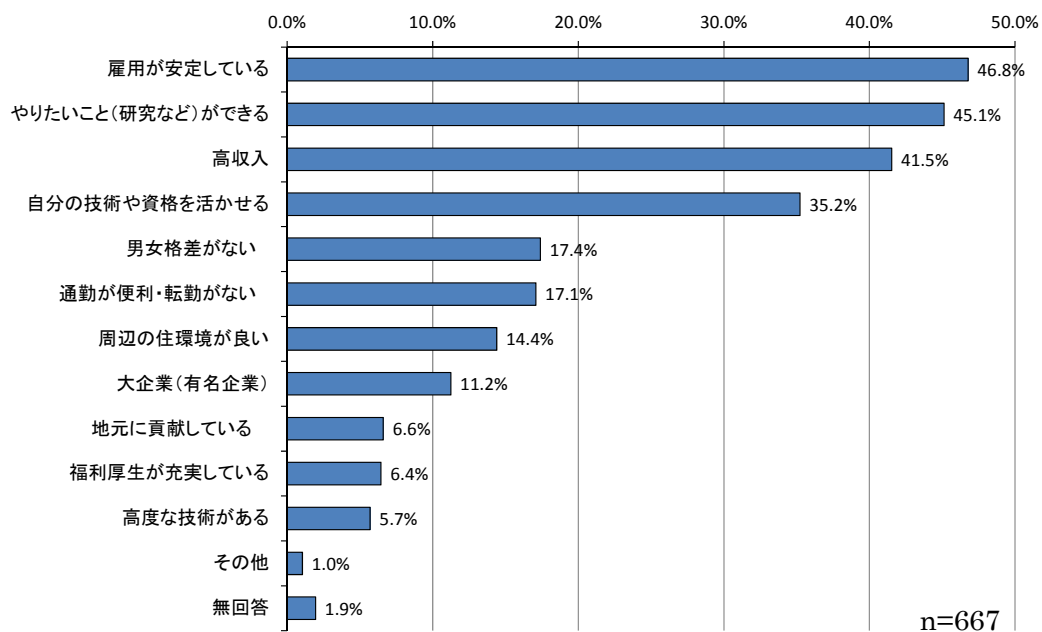
①全体の結果



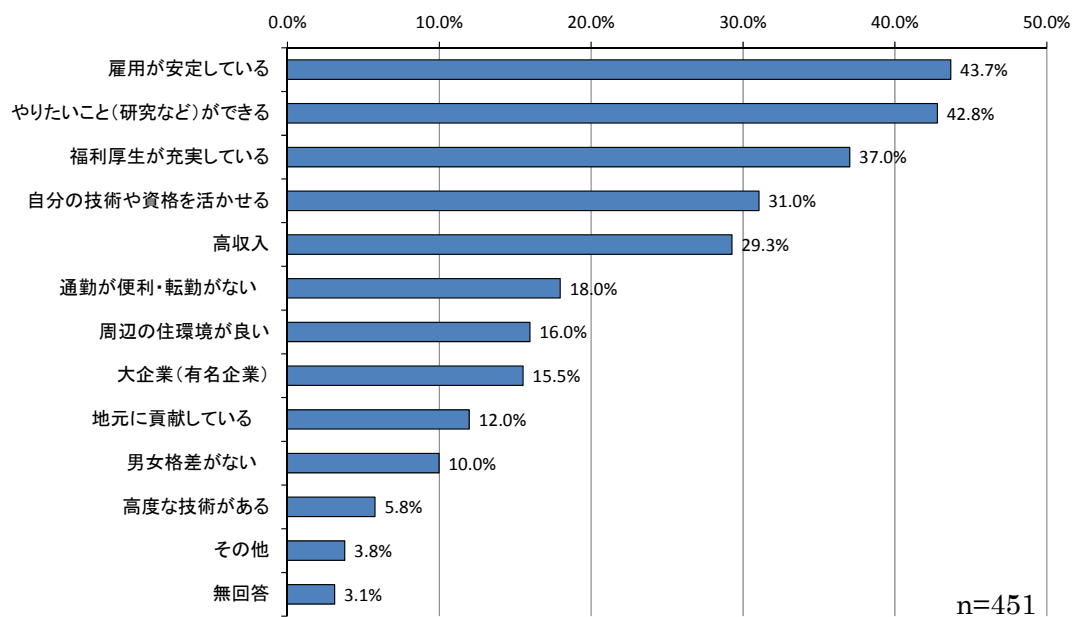
選択肢	回答数	回答率
雇用が安定している	509	45.5%
やりたいこと(研究など)ができる	494	44.2%
高収入	409	36.6%
自分の技術や資格を活かせる	375	33.5%
福利厚生が充実している	210	18.8%
通勤が便利・転勤がない	195	17.4%
周辺の住環境が良い	168	15.0%
男女格差がない	161	14.4%
大企業(有名企業)	145	13.0%
地元貢献している	98	8.8%
高度な技術がある	64	5.7%
その他	24	2.1%
無回答	27	2.4%

「雇用が安定している」が45.5%と最も高く、「やりたいこと(研究など)ができる」が44.2%、「高収入」が36.6%で続いています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



高校生、大学生別でも、全体と同様に「雇用が安定している」が最も高く、「やりたいこと(研究など)ができる」が続いています。

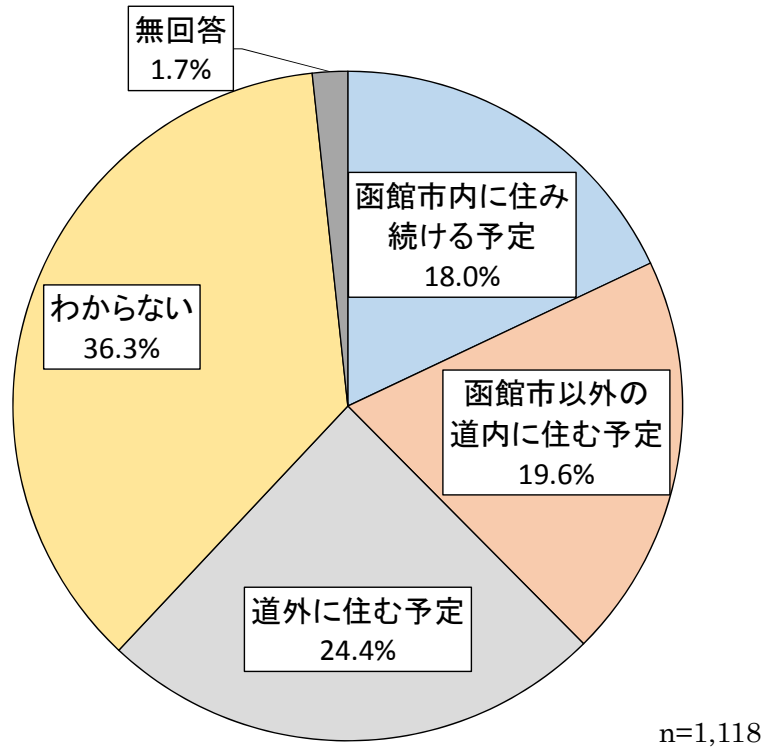
また、高校生では、「高収入」が41.5%で、大学生では「福利厚生が充実している」が37.0%で3番目に高くなっています。

(4) 卒業後の実際の居住予定地

問 17

卒業後の実際の居住予定地について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

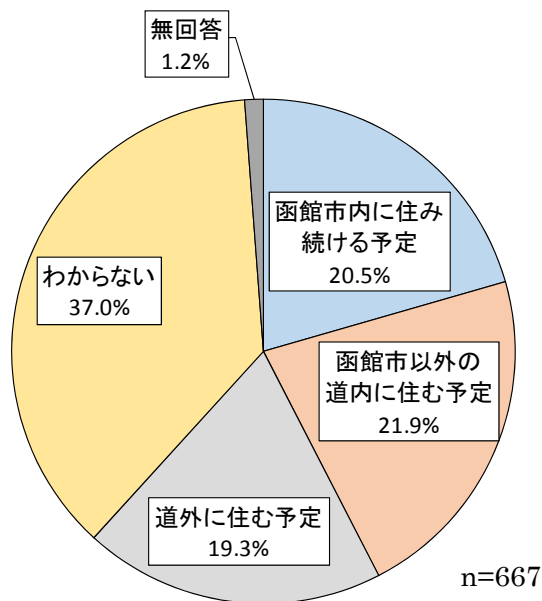
①全体の結果



選択肢	回答数	回答率
函館市内に住み続ける予定	201	18.0%
函館市以外の道内に住む予定	219	19.6%
道外に住む予定	273	24.4%
わからない	406	36.3%
無回答	19	1.7%

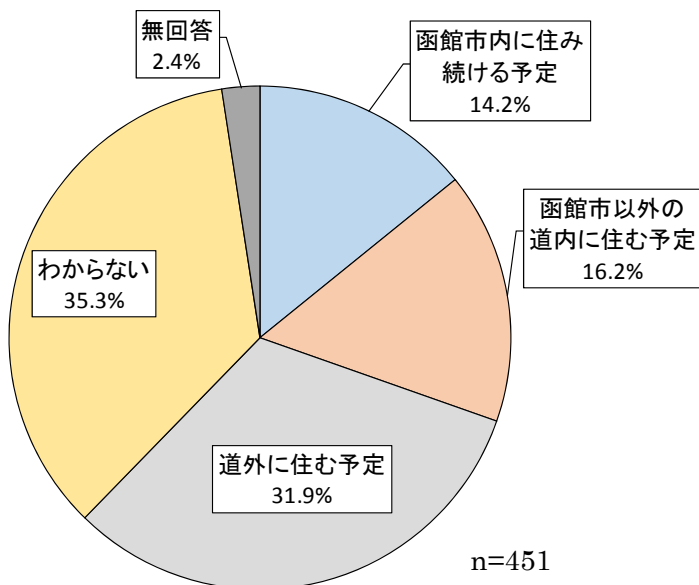
「わからない」を除くと、「道外に住む予定」が24.4%と最も高く、「函館市以外の道内に住む予定」が19.6%、「函館市内に住み続ける予定」が18.0%が続いています。

② 高校生の結果



函館市以外の道内 (n=146)			道外に住む予定 (n=129)		
居住予定地	回答数	割合	居住予定地	回答数	割合
札幌市	73	50.0%	東京都	20	15.5%
七飯町	8	5.5%	青森県	11	8.5%
その他、無回答	65	44.5%	その他、無回答	98	76.0%

③ 大学生の結果



函館市以外の道内 (n=73)			道外に住む予定 (n=144)		
居住予定地	回答数	割合	居住予定地	回答数	割合
札幌市	41	56.2%	東京都	42	29.2%
北斗市	2	2.7%	青森県	13	9.0%
その他、無回答	30	41.1%	その他、無回答	89	61.8%

「わからない」を除くと、高校生では、「函館市以外の道内に住む予定」が 21.9% で最も高く、「函館市内に住み続ける予定」が 20.5% で続いています。

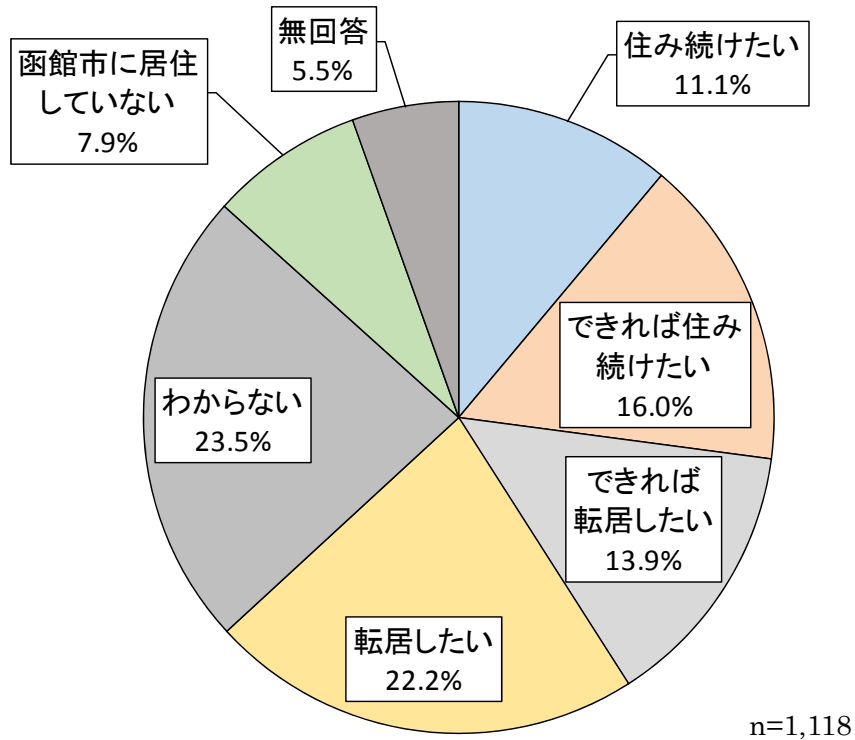
また、大学生では、「道外に住む予定」が 31.9% で最も高く、「函館市以外の道内に住む予定」が 16.2%、「函館市内に住み続ける予定」が 14.2% で続いています。

(5) 卒業後の函館市への居住意向

問 18

卒業後も函館市に住み続けたいと思いますか？あてはまる番号を1つ選んで番号に○をつけてください。

①全体の結果

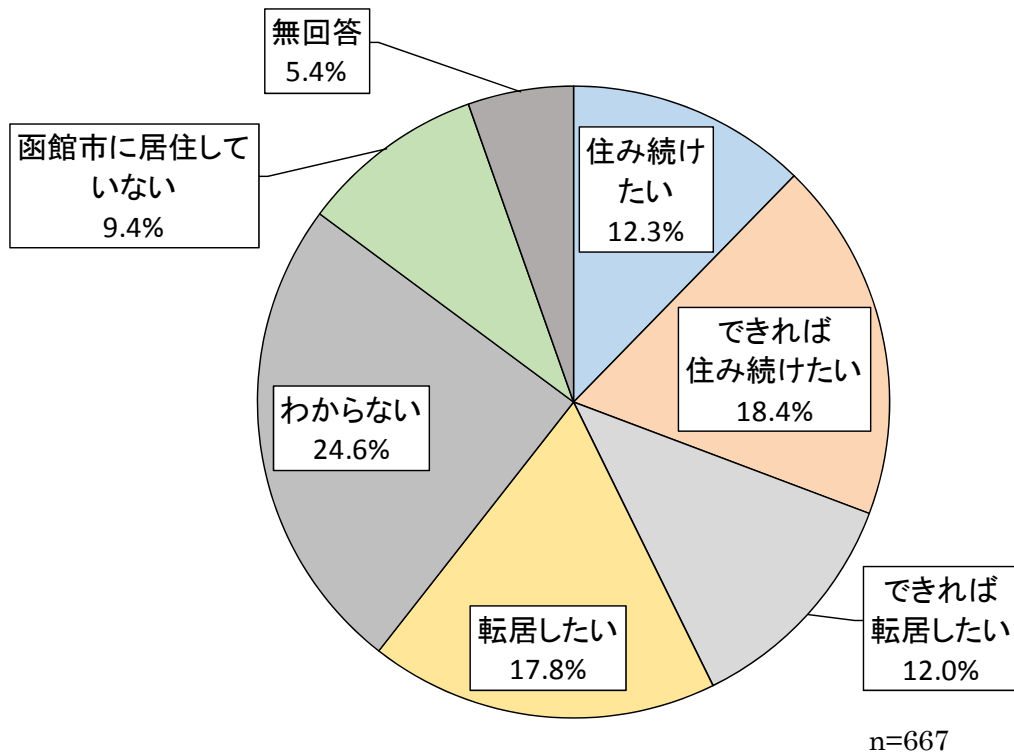


選択肢	回答数	回答率
住み続けたい	124	11.1%
できれば住み続けたい	179	16.0%
できれば転居したい	155	13.9%
転居したい	248	22.2%
わからない	263	23.5%
函館市に居住していない	88	7.9%
無回答	61	5.5%

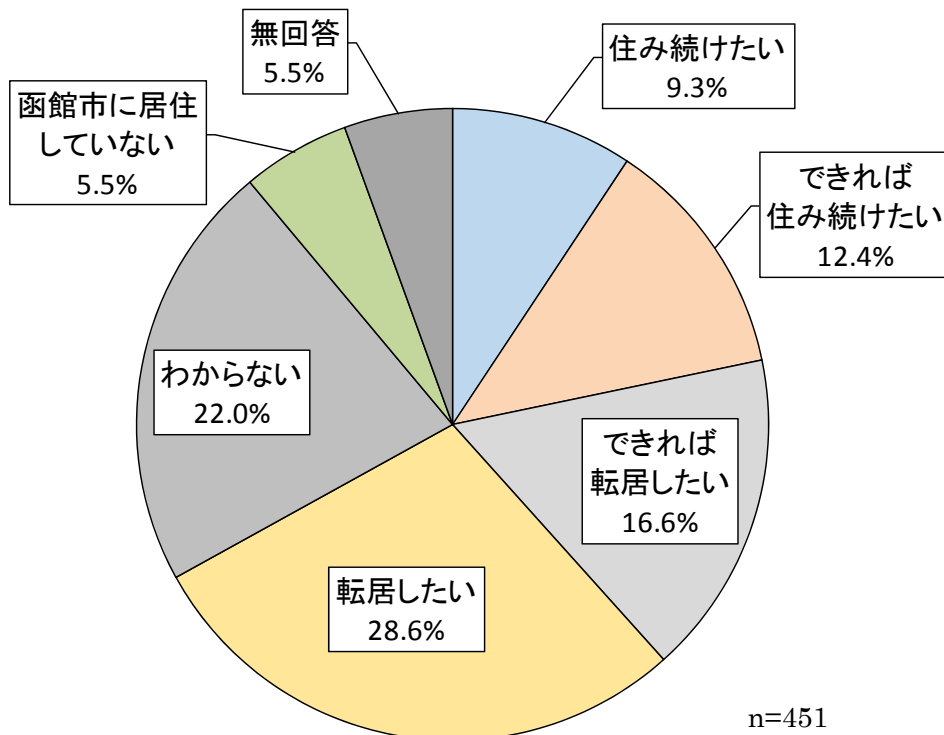
「わからない」を除くと、「転居したい」が22.2%と最も高く、「できれば住み続けたい」が16.0%で続いています。

また、「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計は27.1%で、「転居したい」、「できれば転居したい」の合計は36.1%となっており、転居意向が9ポイント上回っています。

② 高校生の結果



③ 大学生の結果



「わからない」を除くと、高校生では「できれば住み続けたい」が 18.4%と最も高く、「転居したい」が 17.8%で続いています。大学生では、「転居したい」が 28.6%と最も高く、「できれば転居したい」が 16.6%で続いています。

また、居住意向と転居意向との差は高校生では居住意向が 0.9 ポイント、大学生では転居意向が 23.5 ポイント上回っています。

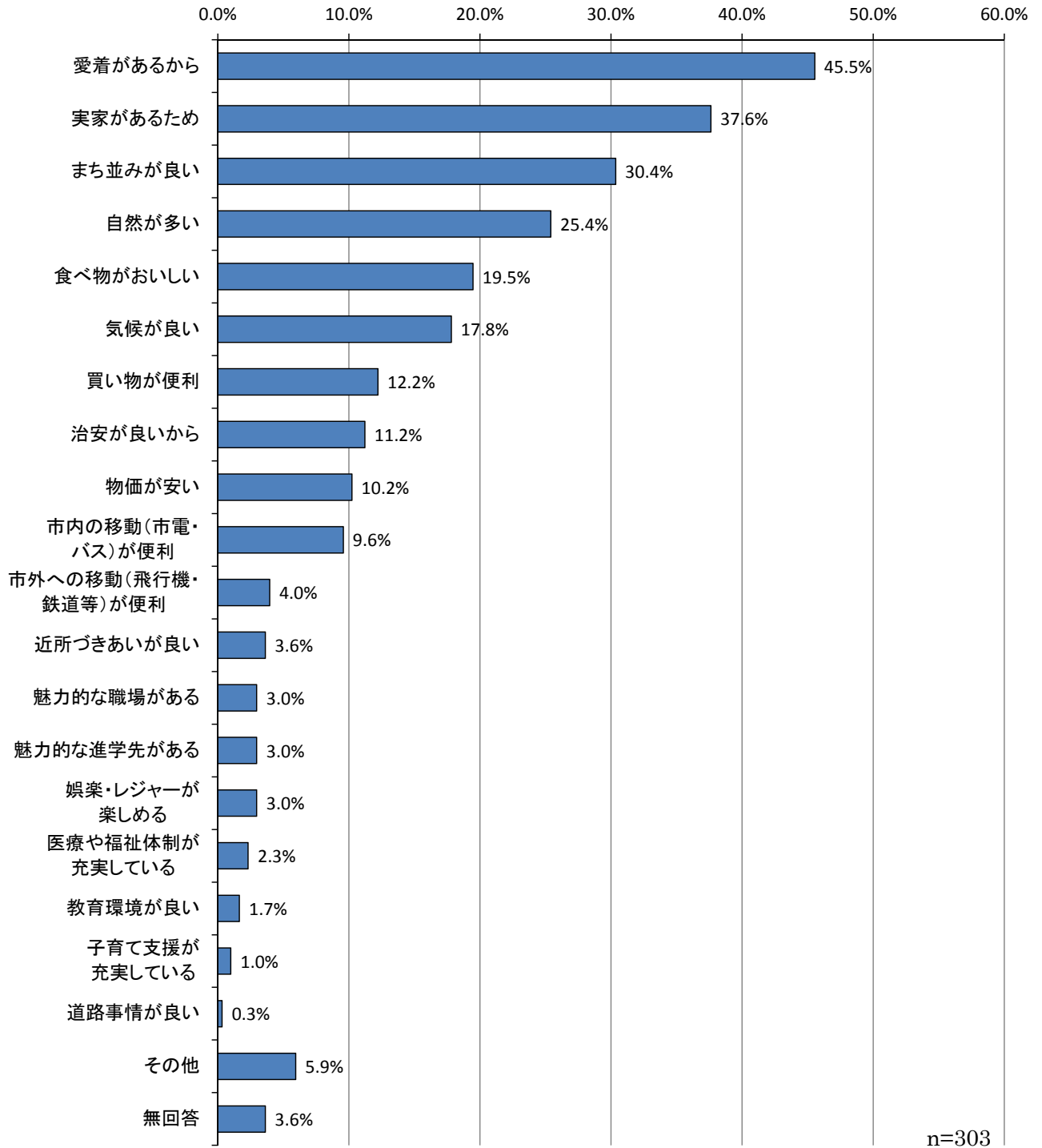
(6) 「卒業後も住み続けたい」と思う理由

問 19-1

「卒業後も住み続けたい」と思う理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

(回答対象者：問 18 で「住み続けたい」または「できれば住み続けたい」を選んだ人)

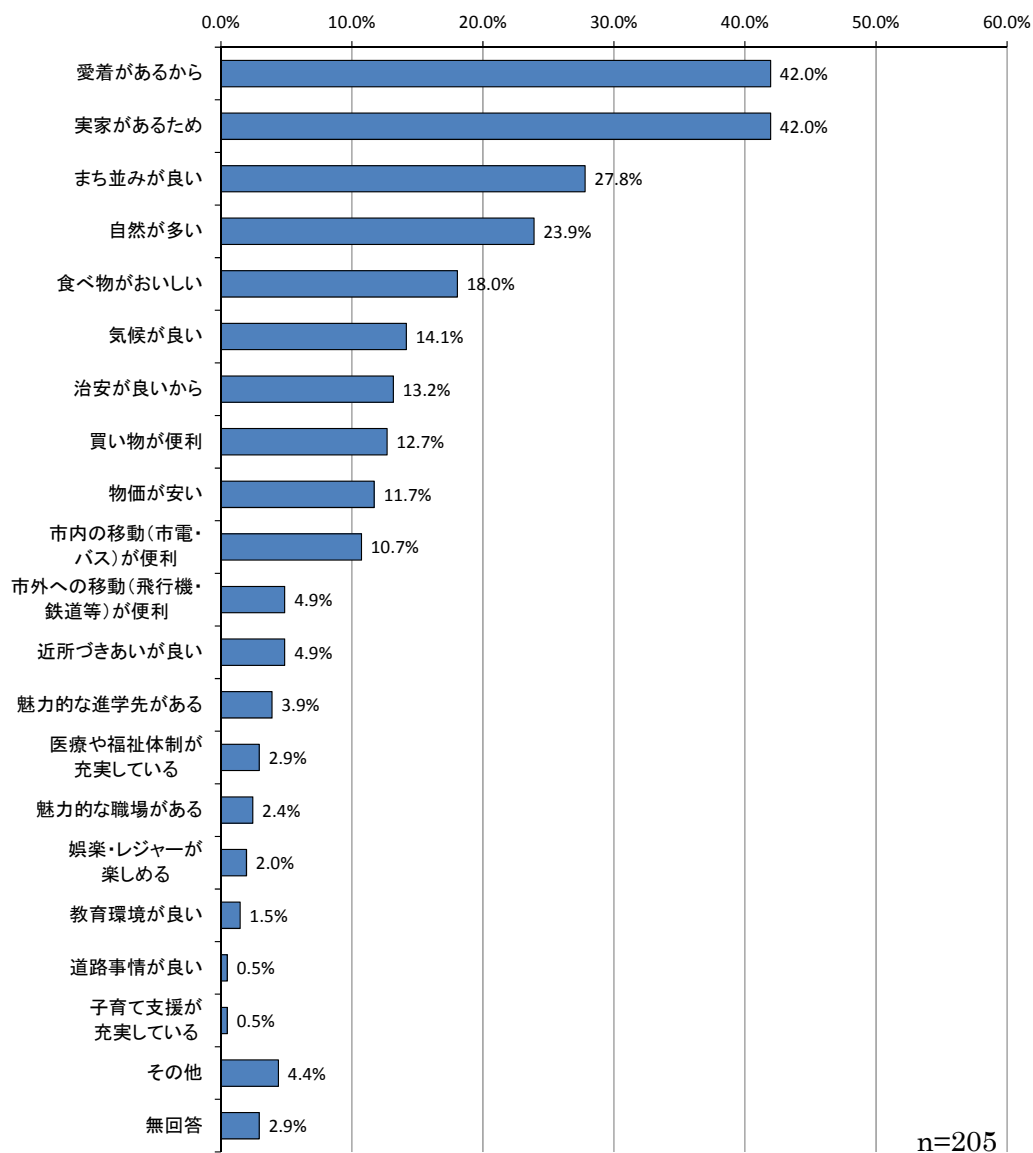
①全体の結果



選択肢	回答数	回答率
愛着があるから	138	45.5%
実家があるため	114	37.6%
まち並みが良い	92	30.4%
自然が多い	77	25.4%
食べ物がおいしい	59	19.5%
気候が良い	54	17.8%
買い物が便利	37	12.2%
治安が良いから	34	11.2%
物価が安い	31	10.2%
市内の移動（市電・バス）が便利	29	9.6%
市外への移動（飛行機・鉄道等）が便利	12	4.0%
近所づきあいが良い	11	3.6%
魅力的な職場がある	9	3.0%
魅力的な進学先がある	9	3.0%
娯楽・レジャーが楽しめる	9	3.0%
医療や福祉体制が充実している	7	2.3%
教育環境が良い	5	1.7%
子育て支援が充実している	3	1.0%
道路事情が良い	1	0.3%
その他	18	5.9%
無回答	11	3.6%

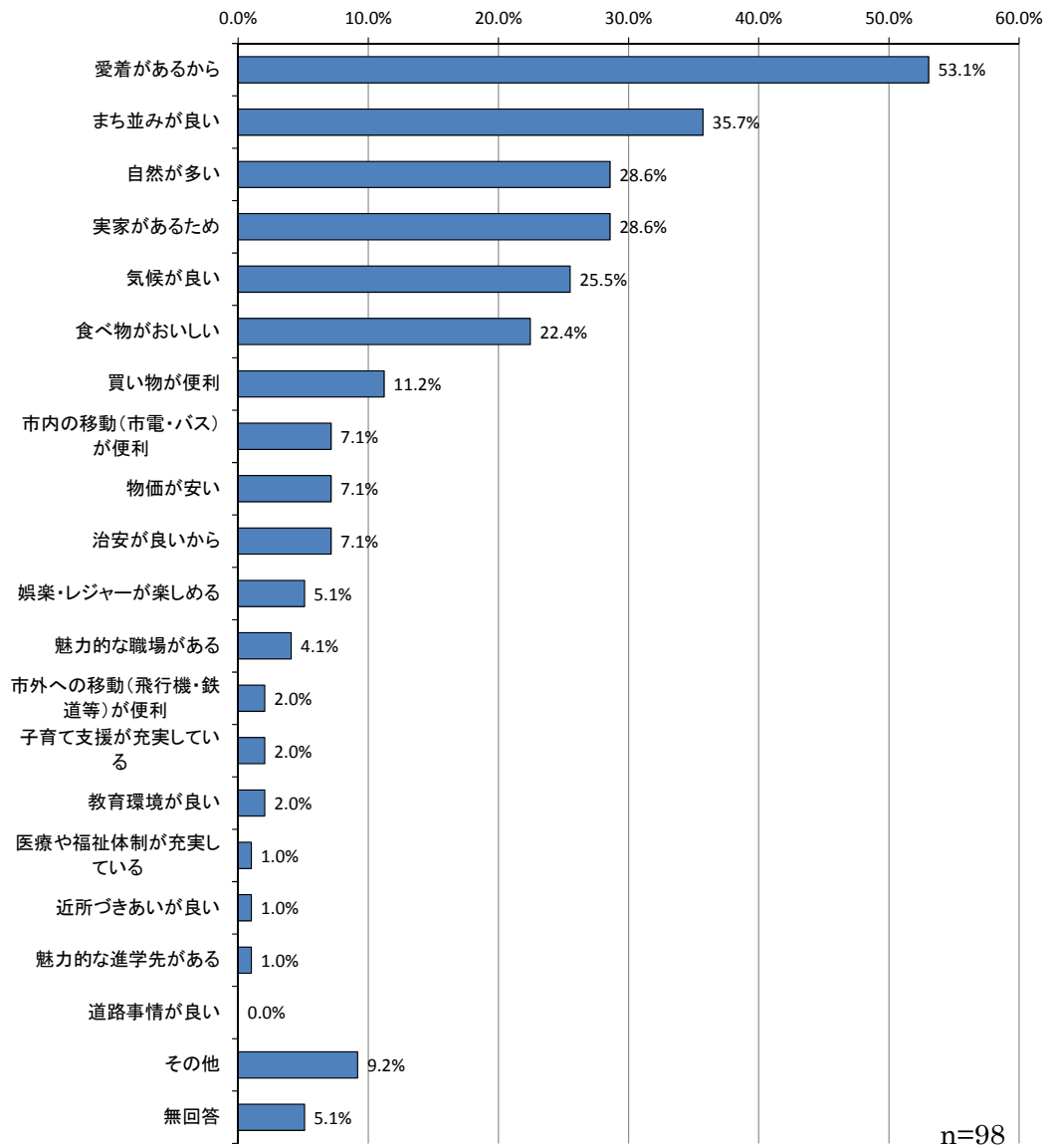
「愛着がある」が 45.5%と最も高く、「実家があるため」が 37.6%、「まち並みが良い」が 30.4%で続いています。

② 高校生の結果



高校生では、「愛着がある」、「実家があるため」が42.0%と最も高く、「まち並みが良い」が27.8%で続いています。

③大学生の結果



大学生では、全体と同様、「愛着がある」が53.1%と最も高くなっています。「まち並みが良い」が35.7%、「自然が多い」、「実家がある」が28.6%で続いています。

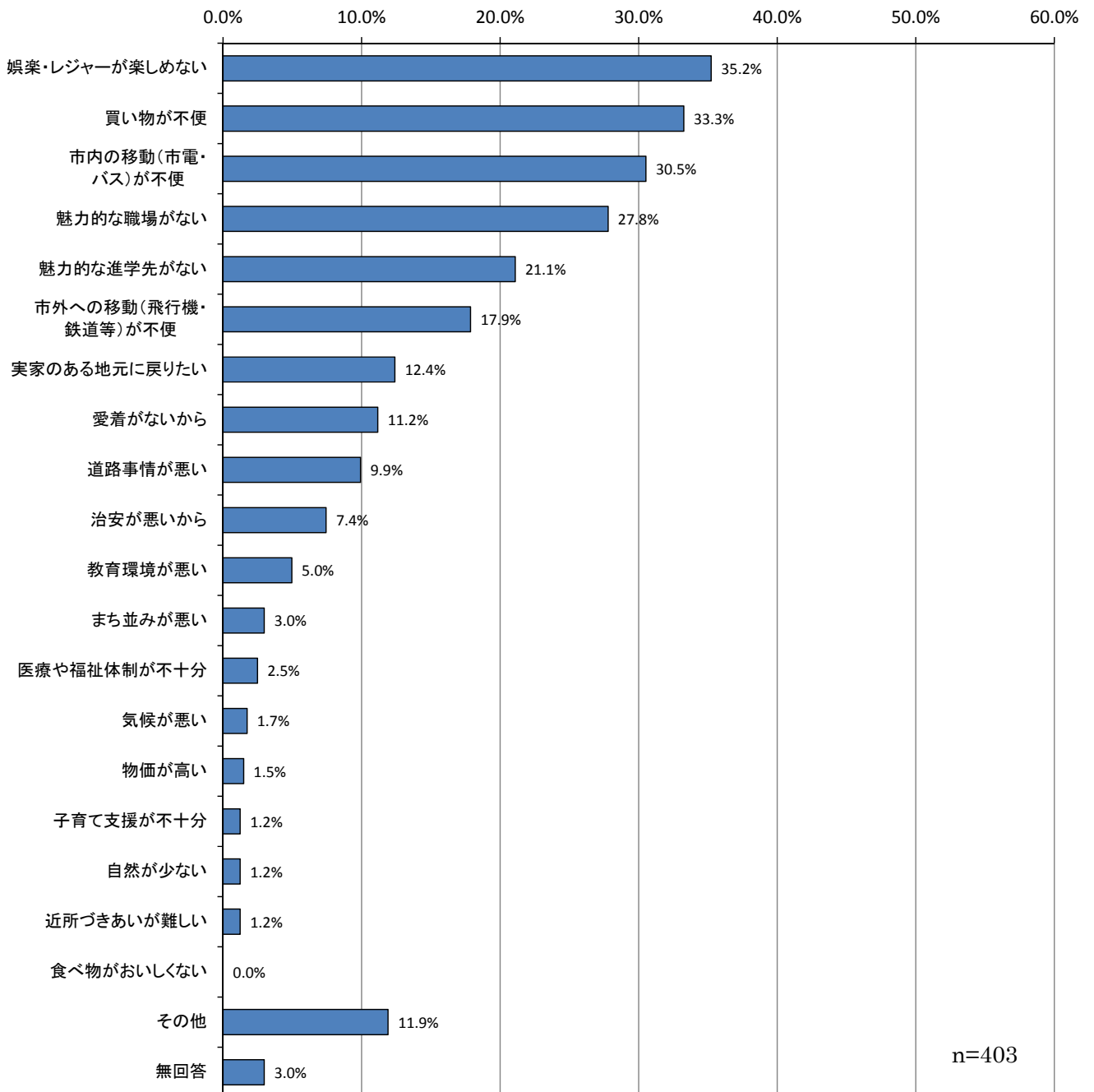
(7) 「卒業後も住み続けたい」と思わない理由

問 19-2

「卒業後も住み続けたい」と思わない理由は何ですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

(回答対象者：問 18 で「できれば転居したい」または「転居したい」を選んだ人)

①全体の結果

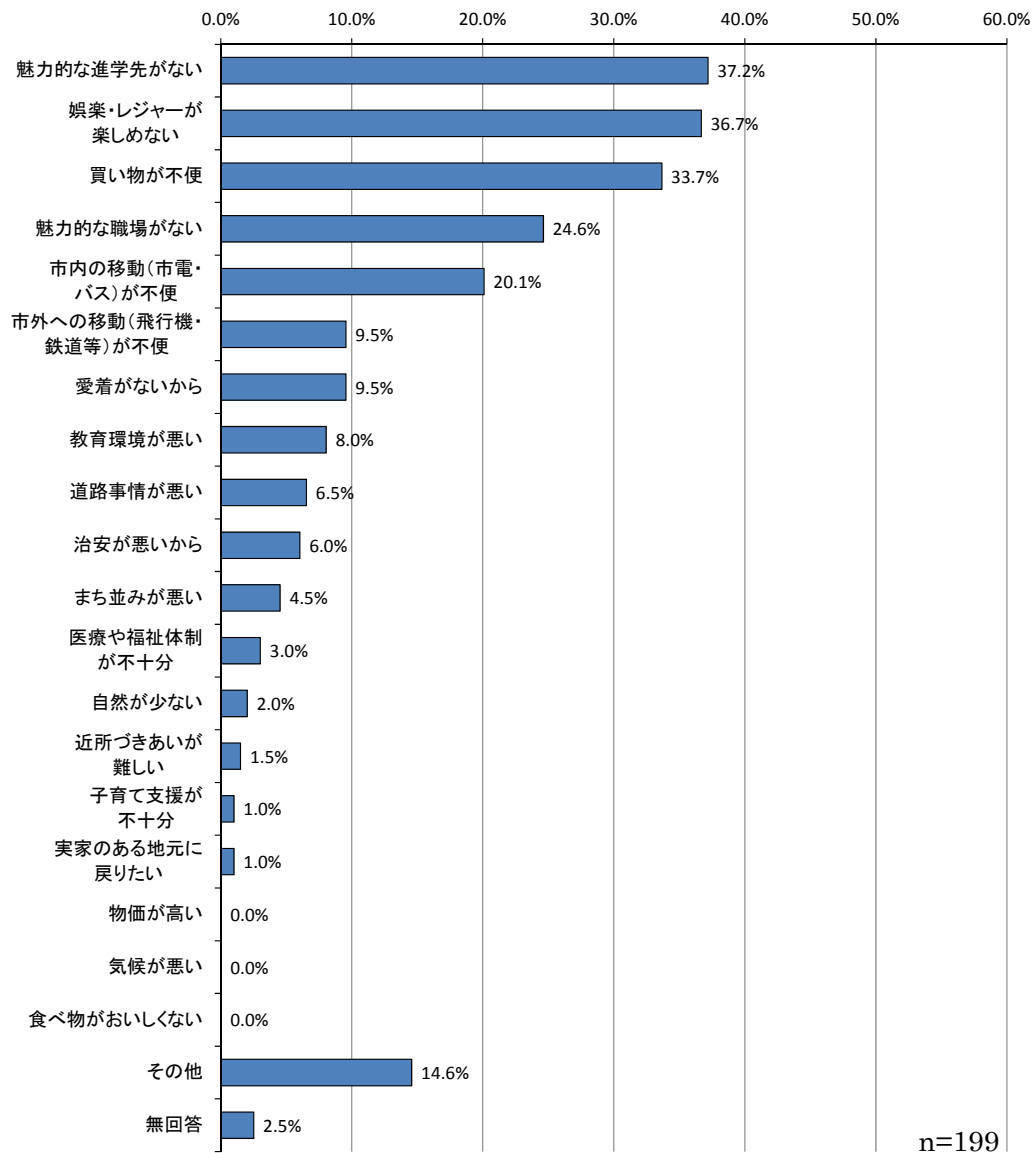


選択肢	回答数	回答率
娯楽・レジャーが楽しめない	142	35.2%
買い物が不便	134	33.3%
市内の移動（市電・バス）が不便	123	30.5%
魅力的な職場がない	112	27.8%
魅力的な進学先がない	85	21.1%
市外への移動（飛行機・鉄道等）が不便	72	17.9%
実家のある地元に戻りたい	50	12.4%
愛着がないから	45	11.2%
道路事情が悪い	40	9.9%
治安が悪いから	30	7.4%
教育環境が悪い	20	5.0%
まち並みが悪い	12	3.0%
医療や福祉体制が不十分	10	2.5%
気候が悪い	7	1.7%
物価が高い	6	1.5%
子育て支援が不十分	5	1.2%
自然が少ない	5	1.2%
近所づきあいが難しい	5	1.2%
食べ物がおいしくない	0	0.0%
その他	48	11.9%
無回答	12	3.0%

「娯楽・レジャーが楽しめない」が35.2%と最も高く、「買い物が不便」が33.3%、「市内の移動（市電・バス）が不便」が30.5%で続いています。

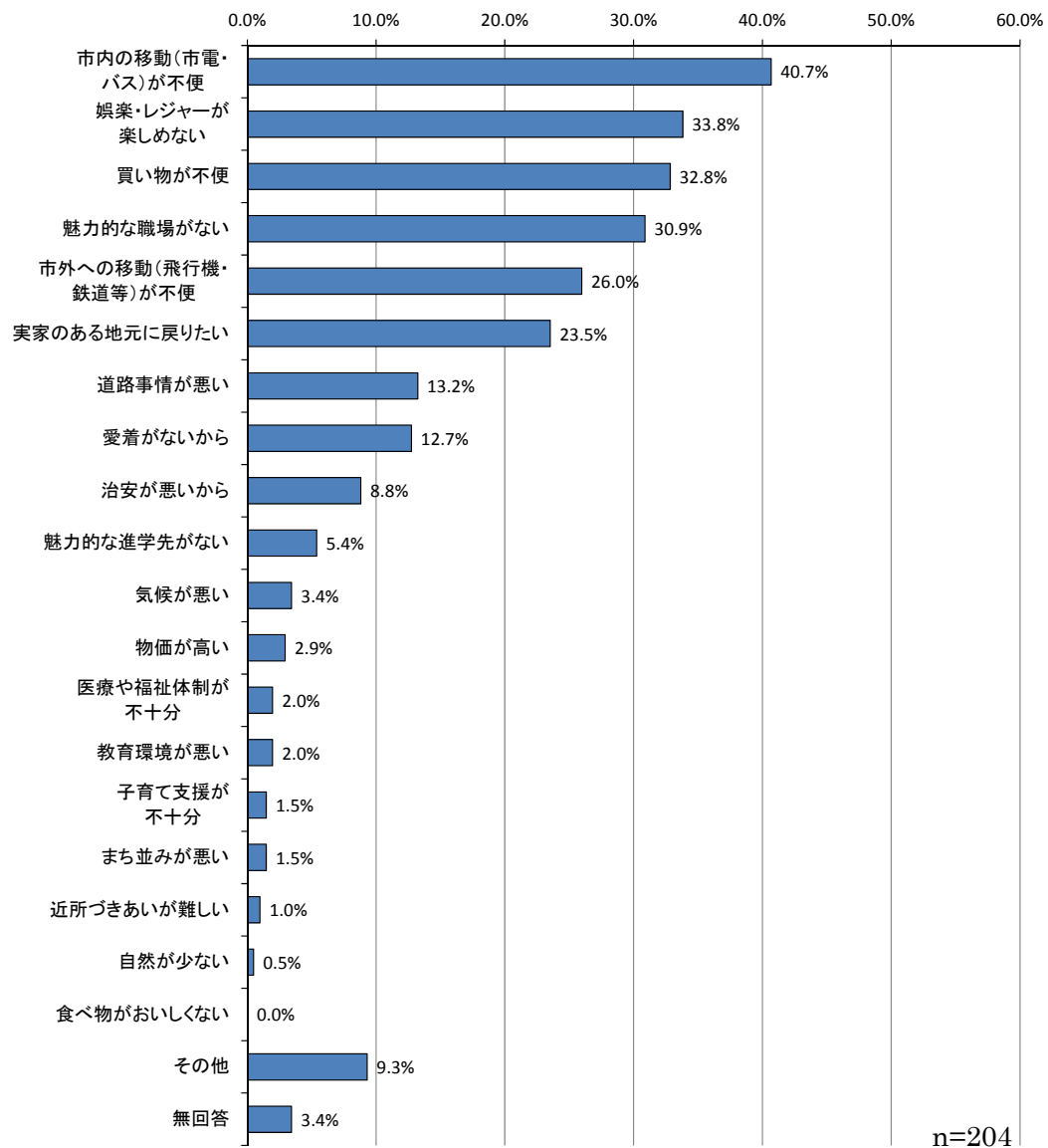
「その他」の主な内容としては、「大学進学のため」（10件）等が挙げられています。

② 高校生の結果



高校生では「魅力的な進学先がない」が37.2%と最も高く、「娯楽・レジャーが楽しめない」が36.7%、「買い物が不便」が33.7%で続いています。

③大学生の結果



大学生では「市内の移動（市電・バス）が不便」が 40.7%と最も高く、「娯楽・レジャーが楽しめない」が 33.8%、「買い物が不便」が 32.8%で続いています。

7 自由意見のまとめ

下表は、アンケート調査票の自由意見欄に記入された内容を、平成19年に策定した「新函館市総合計画」の施策の体系別にまとめたものです。

今回のアンケート調査では、合計181人（回答者全体の16.2%）からご意見をいただきました。

なお、複数の分野にわたる意見については重複カウントしているため、意見総数と回答者数は一致しません。

部	章	節	件数	割合		
心豊かな人と文化をはくぐむまち	創造性とふれあいをはくぐむ社会の形成	生涯学習の推進	1	0.6%		
		文化芸術の振興	9	5.0%		
		スポーツ・レクリエーションの振興	19	10.5%		
		青少年の健全育成	9	5.0%		
		男女共同参画の推進	3	1.7%		
		国際化の推進	1	0.6%		
		都市間交流の推進	0	0.0%		
	次代を担う人材の育成と知の集積	幼児教育の充実	2	1.1%		
		義務教育の充実	2	1.1%		
		高校教育の充実	2	1.1%		
		特別支援教育の充実	1	0.6%		
		高等教育の充実	9	5.0%		
		学術研究機能の充実	3	1.7%		
		共に支えあい健やかに暮らせるまち	地域福祉社会の形成	地域福祉の推進	6	3.3%
児童福祉の推進	9			5.0%		
高齢者福祉の推進	4			2.2%		
障がい者福祉の推進	2			1.1%		
低所得者援護対策の充実	2			1.1%		
健康づくりの推進	0			0.0%		
健康を守る社会の形成	医療環境の充実		5	2.8%		
	生活衛生対策の推進		1	0.6%		
	快適で安らぎのある住み良いまち		快適な生活環境の整備	市街地の整備	24	13.3%
				住環境の整備	32	17.7%
生活道路の整備		12		6.6%		
公共交通の充実		22		12.2%		
水道水の安定供給		0		0.0%		
エネルギーの安定供給		0		0.0%		
地域情報化の推進		5		2.8%		
安全・安心な市民生活の確保	防災対策の充実	0	0.0%			
	消防・救急体制の充実	1	0.6%			
	交通安全対策の推進	3	1.7%			
	防犯対策の推進	3	1.7%			
	消費生活の向上	3	1.7%			
環境と共生する美しいまち	地球にやさしいまちづくりの推進	環境保全対策の推進	0	0.0%		
		廃棄物対策の推進	1	0.6%		
		汚水対策の充実	0	0.0%		
	うるおいのある都市空間の形成	魅力ある景観の形成	4	2.2%		
		水と緑の空間整備	1	0.6%		
活力にあふれたにぎわいのあるまち	地域を支える産業の振興	観光・コンベンションの振興	35	19.3%		
		農林業の振興	0	0.0%		
		水産業の振興	1	0.6%		
		工業の振興	0	0.0%		
		商業の振興	56	30.9%		
		新産業の創出と企業立地の促進	11	6.1%		
		雇用環境の向上	21	11.6%		
	総合交通体系の確立	鉄道輸送の充実	2	1.1%		
		幹線道路の整備	2	1.1%		
		港湾機能の充実	0	0.0%		
		空港機能の充実	2	1.1%		
その他	その他	その他	20	11.0%		
合計			351			

自由記述回答の主な内容は、次のとおりです。

① 創造性とふれあいをはぐくむ社会の形成

「若い人が集まるような施設やイベントをもっと増やしてほしい」という意見が挙げられています。また、「函館が観光のまちであるのはわかるが、生活している住民にもっと目を向けてほしい」という意見も挙げられています。

② 次代を担う人材の育成と知の集積

「進学したいと思う大学や専門学校が少なく、また雇用の場が少ないことから、若い人が函館市から離れてしまっている」という意見が挙げられています。

また、「研究機関と提携して、水族館のような研究とレジャーを兼ね備えられるような施設を建設することで、子どもの教育にもなる」との意見も挙げられています。

③ 地域福祉社会の形成

「高齢者向けのサービスは充実しているが、若い世代に対する支援が少ないため、結婚や出産をしようと思う人が経済的な理由や子育て支援が充実していない等により、進んでいないのではないか」という意見が多く挙げられています。

④ 健康を守る社会の形成

「子どもの医療費の補助を充実してほしい」といった経済的負担に関する意見が多く挙げられています。

⑤ 快適な生活環境の整備

「函館は魅力的なまちではあるが、生活している特に若い世代にとって楽しめる場所が少なく、また車がないと何もできないといった不便さ」についての意見が多く挙がっています。

また、「観光のまちということで、観光客に対しては良い印象を与えているが、住んでいる者にとっては住みづらく不便なまちである」という意見も挙がっています。

⑥ 安全・安心な市民生活の確保

「運転マナーが悪く、日常生活に不安がある」との意見が多く挙げられています。

また、「治安が悪く、子どもたちの安全を危惧する」との意見も挙げられています。

⑦ 地球にやさしいまちづくりの推進

「観光のまちとしては、外観をきれいにする意識が乏しく、まち中にごみがあふれている」との意見が挙げられています。

⑧ うるおいのある都市空間の形成

「空き地や空き家が多く、観光のまちとしてみずぼらしく見えてしまい、新たに函館市に移住したいと思う人が増えないのではないか」という意見が挙げられています。

また、「もっとまちの美化を積極的に推進していくべきである」という意見も挙がっています。

⑨ 地域を支える産業の振興

「駅前の活気がなく、観光地として観光客が過ごせる場所も限られ、また、住民にとっても生活の充実が望めない」という意見が挙げられています。

また、「観光地として既に知名度はあるが、もっと充実したPRを行っていかねばいけないのではないか」という意見も挙げられています。

⑩ 総合交通体系の確立

「公共交通機関の充実・整備を望む」という意見が挙げられています。

8 資料（調査票）



平成27年度 函館市 「地方創生に関するアンケート調査」のお願い

日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、現在、函館市の人口は269,628人（平成27年3月末日現在の住民基本台帳）で、昭和55年のピーク時の345,165人に比べ75,537人の減少となっており、このままでは消費や生産活動が縮小し、地域経済が低迷するほか、まちの活力の減退、住環境の悪化などまちづくりにも様々な影響をおよぼすことが懸念されます。

そのため、函館市では現在、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力のある地域社会の形成に向けて、函館市の2060年までの人口の将来展望を提示する「人口ビジョン」および今後5か年の対策を取りまとめた「総合戦略」の策定を進めております。

つきましては、学生の皆様のご意見を伺うためアンケート調査を実施いたしますので、ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、今回の調査は、高校生および高等教育機関の学生1,000人を対象に実施させていただくものです。

平成27年5月

函 館 市 企 画 部

記入上の注意

- 1 お送りした**あて名のご本人**がお答えください。氏名は記入しないでください。
- 2 ご回答いただいた内容は、個人が特定できないように、全て統計的に処理いたします。
- 3 何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 4 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、**平成27年6月12日(金)**までに郵便ポストに投函してください。**(切手は不要です。)**
- 5 記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 〒040-8666 函館市東雲町4番13号
函館市企画部計画推進室計画調整課（新計画策定担当）
TEL：0138-21-3821 FAX：0138-23-7604
E-mail：shinkeikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

◆「あなた自身のこと」についてお聞きします。

問1 それぞれの内容についてお答えください。

<p>(1) あなたの性別は？ (番号1つに○)</p>	<p>1 男性 2 女性</p>
<p>(2) あなたの年齢は？ (年齢を記入)</p>	<p>満_____歳</p>
<p>(3) あなたの居住地は？ (番号1つに○) また、函館市内に居住の場合 は町名を記入してください。</p>	<p>1 函館市内 函館市_____町_____丁目 2 函館市外(市町村名：_____)</p>
<p>(4) 現在の居住地での居住年数は？(番号1つに○)</p>	<p>1 1年未満 2 1年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上</p>
<p>(5) あなたの家族構成は？ (番号1つに○)</p>	<p>1 単身 2 親子 3 三世代 4 その他(_____)</p>
<p>(6) 入学前のお住まいは？ (番号1つに○)</p>	<p>1 函館市内 2 北斗市 3 七飯町 4 上記以外の北海道内(市町村名：_____) 5 北海道以外(都府県名：_____)</p>

◆「函館のまち」についてお聞きします。

問2 函館のまちに対し、あなたはどの程度満足していますか？
それぞれの項目ごとに、右のあてはまる番号から1つ選んで○をつけてください。

項 目	満足	まあ満足	いえない どころでもない	やや不満	不満
1 函館の住みやすさ	5	4	3	2	1
2 日常の買い物の便利さ	5	4	3	2	1
3 市内の移動（市電・バス）の便利さ	5	4	3	2	1
4 市外への移動（船・飛行機・鉄道）の便利さ	5	4	3	2	1
5 歩行、自転車での道路の使いやすさ	5	4	3	2	1
6 自動車での道路の使いやすさ	5	4	3	2	1
7 医療や福祉の施設やサービス体制	5	4	3	2	1
8 子育て支援	5	4	3	2	1
9 子どもの教育環境	5	4	3	2	1
10 雇用の場（業種や企業規模の選択肢）	5	4	3	2	1
11 近所づきあい	5	4	3	2	1
12 娯楽・レジャーの充実	5	4	3	2	1
13 歴史・文化資源の保存・活用	5	4	3	2	1

問3 函館のまちに対し、特に満足と思うこと、不満と思うことをそれぞれ教えてください。
（自由記述、問2の項目から選んでもかまいません。）

1	特に満足と思うこと	（		）
2	特に不満と思うこと	（		）

問6 まちの魅力を高めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？
主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成
- 2 観光客の受入体制の充実
- 3 航空路線網の充実や、高速自動車道、港湾施設などの整備促進
- 4 バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備
- 5 中心市街地の賑わいの創出
- 6 その他（)

問7 だれもが安心して住めるまちづくりを進めるために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 医療や保健、健康づくりの充実
- 2 地震、津波などからの防災対策の充実
- 3 公共施設の耐震化の推進
- 4 施設介護、居宅介護など介護支援策の充実
- 5 高齢者向け住宅や介護施設などの整備促進
- 6 その他（)

問8 安心して子どもを産み、子育てできる環境を整備するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 結婚に対する支援策の充実
- 2 妊娠、出産に関する相談、情報提供など支援策の充実
- 3 乳幼児の保健指導や育児相談の充実
- 4 子どもが遊べる場所の整備・充実
- 5 保育所・幼稚園や放課後児童クラブ（学童保育所）の充実
- 6 教育環境や施設整備等の充実
- 7 子育てと仕事の両立しやすい環境の整備
- 8 子育て世帯への経済的支援
- 9 その他（)

問9 若い人たちがいきいきと活動できる環境を実現するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？主なものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 若い人や女性への就労支援
- 2 若い人が交流する場の提供
- 3 市民のまちづくり活動や若者のイベントの開催への支援
- 4 IJUターンの拡充
- 5 大学生や専門学校生などの地元就職の支援
- 6 地元の大学や専門学校などの魅力の向上
- 7 町会など地域コミュニティへの若者の参加機会の拡充
- 8 その他（)

◆「結婚・出産・子育て」に対する考え方についてお聞きします。

問 10 将来の結婚について、どのようにお考えですか？

あなたの考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 既に結婚している | 2 結婚するつもりである |
| 3 必ずしも結婚にこだわらない | 4 結婚したくない |
| 5 わからない | 6 その他 () |

問 11 行政が結婚を支援するために、どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか？あなたの考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1 安定した雇用の確保 | 2 結婚に係る経済的支援 |
| 3 婚活イベントなど出会いの場の提供 | 4 交際術やマナーなどを学ぶ講座 |
| 5 結婚相談窓口（仲立ち） | |
| 6 若い世代（中学生・高校生）への結婚に関する講習会 | |
| 7 行政が関わる必要はない | |
| 8 その他 () | |

問12 子育てについてどのようなイメージを持っていますか？

あてはまる番号を1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1 楽しい | 2 にぎやか | 3 充実感がある |
| 4 お金がかかる | 5 時間がとられる | 6 不安がある |
| 7 その他 () | | |

問 13 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

理想的な子どもの数（1つ選んで○）

- | | | |
|------|--------|------|
| 1 0人 | 2 1人 | 3 2人 |
| 4 3人 | 5 4人以上 | |

◆「卒業後の進路」についてお聞きします。

問14 卒業後の進路について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------|----------------|
| 1 進学 | 2 就職（自営・家業を含む） |
| 3 結婚 | 4 未定 |
| 5 その他（ | ） |

問15 将来の就職希望業種について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 農林業 | 2 水産業 |
| 3 建設業 | 4 サービス業 |
| 5 公務員 | 6 教員・研究員 |
| 7 製造業 | 8 情報・通信業 |
| 9 運輸業 | 10 金融・保険業 |
| 11 医療・福祉業 | 12 その他（ |
| | ） |

問16 就職希望企業を選択する際の条件について、主なものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 大企業（有名企業） | 2 自分の技術や資格を活かせる |
| 3 やりたいこと（研究など）ができる | 4 高度な技術がある |
| 5 雇用が安定している | 6 高収入 |
| 7 男女格差がない | 8 福利厚生が充実している |
| 9 通勤が便利・転勤がない | 10 周辺の住環境が良い |
| 11 地元貢献している | 12 その他（ |
| | ） |

問17 卒業後の実際の居住予定地について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---|
| 1 函館市内に住み続ける予定 | |
| 2 函館市以外の道内に住む予定（市町村名： | ） |
| 3 道外に住む予定（都府県名： | ） |
| 4 わからない | |

問18 卒業後も函館市に住み続けたいと思いますか？あてはまる番号を1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 住み続けたい | 2 できれば住み続けたい |
| 3 できれば転居したい | 4 転居したい |
| 5 わからない | 6 函館市に居住していない |

問18で1または2を選んだ方は、
問19-1 ^

問18で3または4を選んだ方は、
問19-2 ^

問19-1 「卒業後も住み続けたい」と思う理由は何ですか？
次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 買い物が便利
- 2 市内の移動（市電・バス）が便利
- 3 市外への移動（飛行機・鉄道等）が便利
- 4 道路事情が良い
- 5 医療や福祉体制が充実している
- 6 子育て支援が充実している
- 7 教育環境が良い
- 8 物価が安い
- 9 まち並みが良い
- 10 自然が多い
- 11 魅力的な職場がある
- 12 近所づきあいが良い
- 13 魅力的な進学先がある
- 14 娯楽・レジャーが楽しめる
- 15 愛着があるから
- 16 治安が良いから
- 17 気候が良い
- 18 実家があるため
- 19 食べ物がおいしい
- 20 その他（ ）

問19-2 「卒業後も住み続けたい」と思わない理由は何ですか？
次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 買い物が不便
- 2 市内の移動（市電・バス）が不便
- 3 市外への移動（飛行機・鉄道等）が不便
- 4 道路事情が悪い
- 5 医療や福祉体制が不十分
- 6 子育て支援が不十分
- 7 教育環境が悪い
- 8 物価が高い
- 9 まち並みが悪い
- 10 自然が少ない
- 11 魅力的な職場がない
- 12 近所づきあいが難しい
- 13 魅力的な進学先がない
- 14 娯楽・レジャーが楽しめない
- 15 愛着がないから
- 16 治安が悪いから
- 17 気候が悪い
- 18 実家のある地元に戻りたい
- 19 食べ物がおいしくない
- 20 その他（ ）

人口減少対策やまちづくりに関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。